

第一川東公営住宅改築工事（２・３工区）

図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺
A00	位置図・全体配置図	1/300									

（Ａタイプ）

図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺
A-A01	特記仕様書 1		A-A13	1階平面図・屋根伏図	1/100	A-S01	構造特記仕様書 1		A-E01	電気設備 特記仕様書	
A-A02	特記仕様書 2		A-A14	立面図	1/100	A-S02	構造特記仕様書 2		A-E02	幹線・弱電電気配線平面図	1/60
A-A03	特記仕様書 3		A-A15	断面図	1/100	A-S03	構造特記仕様書 3		A-E03	電灯コンセント設備平面詳細図	1/40
A-A04	特記仕様書 4		A-A16	矩計断面図	1/40	A-S04	基礎図	1/100 1/20			
A-A05	特記仕様書 5		A-A17	矩計断面図 2・部分詳細図	1/40 1/20	A-S05	木構造伏図	1/100			
A-A06	特記仕様書 6		A-A18	平面詳細図	1/40	A-S06	筋違い検討図 1	1/100	A-M01	機械設備 特記仕様書 1	
A-A07	特記仕様書 7		A-A19	展開図 1	1/50	A-S07	筋違い検討図 2	1/100	A-M02	機械設備 特記仕様書 2	
A-A08	特記仕様書 8		A-A20	展開図 2	1/50	A-S88	軸組図 1	1/100	A-M03	給排水全体配管図	1/300
A-A09	特記仕様書 9		A-A21	天井伏図・建具配置図	1/60	A-S09	軸組図 2	1/100	-N2 A-M04-N3 -N4	北 2 号棟 北 3 号棟 排水設備図 北 4 号棟	1/100
A-A10	工事概要・仕上表		A-A22	建具表 1	1/50						
A-A11	全体配置図	1/300	A-A23	建具表 2・部分詳細図	1/50 1/3				-N2 A-M05-N3 -N4	北 2 号棟 北 3 号棟 給水・給湯配管設備図 北 4 号棟	1/100
-N2 A-A12-N3 -N4	北 2 号棟 北 3 号棟 敷地配置図・丈量図 北 4 号棟	1/200								A-M06	ガス配管設備図 1/100

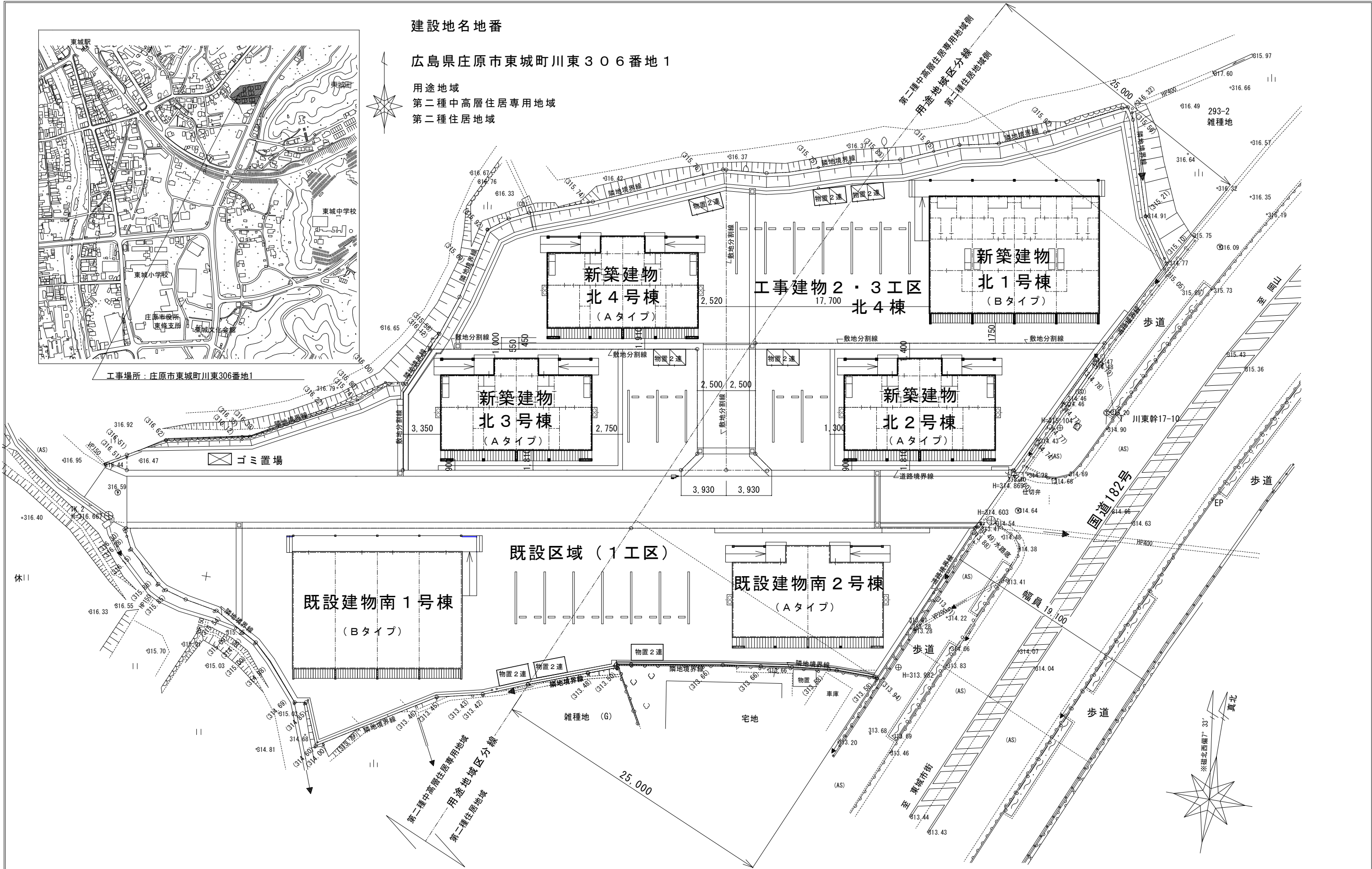
（Ｂタイプ）

図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺
B-A01	特記仕様書 1		B-A13	丈量図	1/200	B-S01	構造特記仕様書 1		B-E01	電気設備 特記仕様書	
B-A02	特記仕様書 2		B-A14	1階平面図・屋根伏図	1/100	B-S02	構造特記仕様書 2		B-E02	幹線・弱電電気配線平面図	1/60
B-A03	特記仕様書 3		B-A15	立面図	1/100	B-S03	構造特記仕様書 3		B-E03	電灯コンセント設備平面詳細図	1/40
B-A04	特記仕様書 4		B-A16	断面図	1/100	B-S04	基礎図	1/100 1/20			
B-A05	特記仕様書 5		B-A17	矩計断面図	1/40	B-S05	木構造伏図	1/100	B-M01	機械設備 特記仕様書 1	
B-A06	特記仕様書 6		B-A18	矩計断面図 2・部分詳細図	1/40 1/20	B-S06	筋違い検討図	1/100	B-M02	機械設備 特記仕様書 2	
B-A07	特記仕様書 7		B-A19	平面詳細図	1/40	B-S07	軸組図 1	1/100	B-M03	給排水全体配管図	1/300
B-A08	特記仕様書 8		B-A20	展開図 1	1/50	B-S08	軸組図 2	1/100	B-M04	排水配管図・樹リスト	1/100
B-A09	特記仕様書 9		B-A21	展開図 2	1/50				B-M05	排水設備縦断図	
B-A10	工事概要・仕上表		B-A22	天井伏図・建具配置図	1/60				B-M06	給水・給湯配管設備図	1/100
B-A11	全体配置図	1/300	B-A23	建具表	1/50				B-M07	ガス配管設備図	1/100
B-A12	敷地配置図	1/200	B-A24	法規チェック							

（外構）

図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺	図面番号	図面名	縮 尺
C-1	外構図 1		C-4	外構図 4		C-7	ごみ置場配置図				
C-2	外構図 2		C-5	物置		C-8	ごみ置場図				
C-3	外構図 3		C-6	テレビ受信引込工事 系統図							

建設地名地番
広島県庄原市東城町川東 3 0 6 番地 1
用途地域
第二種中高層住居専用地域
第二種住居地域



	 美しく輝く 里山共生都市 庄原市 SHOBARA CITY	令和 7 年度 施行	工事名称	第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）	縮尺	1/300	図面番号 A00	
			図面名称	位置図・全体配置図	日付			

[illegible]

[illegible]

章

項 目

特 記 事 項

13

タイル工事

3

有機系接着剤によるタイル張り

既調合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

(品質・性能)

項目	品質・性能	項目	品質・性能
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下
単位容積質量	1.80 kg/L以上	曲げ強さ	4.0 N/mm ² 以上
接着強さ	標準時	0.60 N/mm ² 以上	
	温冷繰返後	0.40 N/mm ² 以上	

既調合目地材

(品質・性能)

項目	品質・性能	項目	品質・性能
保水率	30.0%以上	吸水量	50 g以下
長さ変化率	0.2%以下(収縮)	単位容積質量	1.80 kg/L以上

タイルの形状、寸法等

<11.3.2～4.7>

施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料 の適用	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施釉	無釉	有	無	標準	特注	有	無	耐凍害性	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・ 行う ※ 行わない

見本焼き ・ 行う ・ 行わない

有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

目地のシーリング材

打継ぎ目地 ※ ポリウレタン系シーリング材

ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系シーリング材

伸縮調整目地 ※ 変成シリコーン系シーリング材

その他の目地 ※ 変成シリコーン系シーリング材

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理

※ 目荒し工法（高圧水洗処理） ・ MCR工法

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

14

屋根及び
とい工事

1

材料

下葺材料

<14.2.2>

※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)

○ アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

<14.3.2～8>

板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質
※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の工法

はぜの作り方 ※ 図示

2

金属板葺

板及びコイル
の種類

塗膜の耐久性、めっき
付着量等の種類・記号

厚さ
(mm)

屋根葺形式

固定釘等
の材質

※ JIS G 3322
の屋根用コイル
・

・ 平葺（一文字葺）
・ 心木あり瓦棒葺
・ 心木なし瓦棒葺
・ 横葺
・ 立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法()

・ 平葺（一文字葺）の

17

建具工事

18

塗装工事

章		項 目	特 記 事 項	18	3	3	3	19	3	3	3		
17	建 具 工 事	11	建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※ 既製建具は各メーカー保証の上、メーカー指定の標準品（別途付属品含む）とする。	塗 装 工 事	4	塗料	〈18.3.2.3〉 下地面等 鉄鋼面 見え掛り部分 見え隠れ部分 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具等 鋼製建具等以外	19	内 装 工 事	3	ビニル床タイル	該当なし
		4	ビニル幅木	〈19.2.2〉 材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ（mm） ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ（mm） ※ 1.5以上 ・									
		5	ゴム床タイル	該当なし									
		6	カーペット敷き	該当なし									
		7	合成樹脂塗床	該当なし									
		8	防じん用塗床	該当なし									
		9	フローリング	〈19.5.2～6〉 〈表19.5.1～5〉 単層フローリング 複合フローリング 該当なし フロアーパネル合板 表面強化化粧合板707-ﾊﾞｰﾈﾙ貼 厚さ ・ 9mm 12mm 15mm 18mm パネルサイズ 303×1,818（mm） 基材 2.7mm特殊MDF表面材 + エコ合板 表面 特殊オレフィンシート 艶消し ※ 短辺糸面取・長辺面取・V溝加工 F☆☆☆☆ 4VOC基準 上履き用 キッチンカーベットの対応品 グラスチックキャスター対応 車椅子対応 ワックス不用 擦り傷付きにくさ対応 凹みにくさ対応 汚れにくさ対応 滑りにくさ対応 工法 捨貼工法 （釘止め・接着剤併用） 接着工法の場合の裏面緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート 該当なし									
		10	畳敷き	〈19.7.2,3〉 〈表19.7.1〉 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 F☆☆☆☆									
		11	せっこうボード その他のボード 及び合板張り	〈19.7.2,3〉 〈表19.7.1〉 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 F☆☆☆☆									
		種 類	JISの 記号	厚さ（mm）、規格等									
1	けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK タイプ2（無石棉） 6 ・ 8											
2	せっこうボード	GB-R ※ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）											
3	シーリングせっこうボード	GB-S 12.5（※不燃 ・ 準不燃）											
4	強化せっこうボード	GB-F ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）											
5	化粧せっこうボード （トラバーチン模様）	GB-D 9.5（準不燃）											
6	普通合板	表板の樹種名 ※ 図示 生地、透明塗料塗り（※ラワン程度 ・ ） 不透明塗料塗り（※しな程度 ・ ） 板面の品質（ ） 厚さ（mm）（※図示） 接着の程度（ ・ 1類 2類 ） 防虫処理（ ・ 行う 行わない）											
7	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による厚さ（※ 1.2 3.0 ）											
8	単板張り パーティクルボード	・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・											
9	化粧パーティクルボード	・ 単板オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・											
10	インシュレーションボード	IB A級（天井仕上 内装仕上 ・ ） 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・											
せっこうボード等の下地 ※ 図示 軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材 ※ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド 合板類の張付け ※ B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ※ 仕上表による ・													

	Office M 〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600	一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号 一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛	工事名称 第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）			図面名称 特記仕様書6		図面番号 A-A06
			担当 一級建築士 増 原 寛	変更訂正年月日 内容記事欄	縮尺		(Aタイプ)	

章		項 目	特 記 事 項				20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	11	フェンス	フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス 高さ ※ 図示 ・ 材質、形状、寸法 ※ 図示 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ⊙ F☆☆☆☆ 本体材質 ※ ステンレス製 ・ 照明器具 ・ 有り ・ 無し 掲示板面材質 ・ 施錠装置 ※ 有り ・ 無し 形状寸法 ※ 図示による ・ 壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁） の材種 ※ アルミニウム既製品 ⊙ ビニル既製品 ・ MDF基材化粧既製品H30mm程度	21 排水工事	1	屋外雨水排水	〈21.2.1.2〉 〈表21.2.1.2〉				
20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	10	床点検口	(品質・性能)					材料	材料									
			部材名	材質	屋内外用			屋内用	材種		種類・記号	形状	呼び径	備考				
			受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15				⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管		⊙ RS-V P		※ 図示 ・					
				ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度		・ RS-V U				※ 図示 ・						
								⊙ V P				※ 図示 ・						
			鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの			・ V U				※ 図示 ・						
			二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501のFC150、FC200				基床の厚さ及び種類 ※ 図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤 側塊の形状及び寸法 ※ 図示 排水樹の種類 ※ 図示 砂地業に用いる材料 ※ シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 砂利地業に用いる材料 ※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込碎石 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18N/mm2 スランブ ※ 15cm又は18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295A 現場打ちの場合の足掛け金物 材料 ※ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 合成樹脂被覆加工を行った足掛け金物 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・ 行う ⊙ 行わない									
				その他	塩化ビニル樹脂製等													
			目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604													
				ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304													
底板材コーナースペース底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430															
	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—															
		鋼材	—	鋼製又はJIS G 3113にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの														
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等枠の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの																
アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの																
取手		黄銅鑄鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄鉄製、ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																
鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。																
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内																		
38	表札（公団型）					39	屋外物置											
40	構内共同 ゴミ置場																	



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛

工事名称
第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）

担当
一級建築士 増 原 寛

変更訂正年月日
内 容 記 事 欄

図面名称
特記仕様書 8

図面番号
A-A08

縮尺

(Aタイプ)

章		項 目	特 記 事 項	22	2	路盤	路盤の厚さ ※ 図示 ・ 路盤材料の種類 ・ クラッシャラン ・ 粒度調整碎石 ※ 再生クラッシャラン ・ 再生粒度調整碎石 ・ クラッシャラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 路盤締固め度の試験 ※ 行う ○ 行わない	22	7	ブロック系舗装	・ コンクリート平板舗装 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 備考 ※ 普通平板 (N) ※ 300角 ※ 60 ※ 砂 表面加工 ・ 透水平板 (P) ・ ・ ・ 研ぎ出し ・ 保水性平板 (M) ・ ・ ・ 洗い出し ・ たたき出し 仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、 コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。 ・ インターロッキングブロック舗装 種類 部位 形 状 厚さ 曲げ強度 備考 寸法 (mm) (N／mm ²) ※ 普通ブロック (N) 車路 ・ 図示 ※ 80 ※ 5.0 表面加工 ・ 透水性ブロック (P) ・ ・ ・ 標準品 ・ 保水性ブロック (M) ・ ・ ・ ※ 普通ブロック (N) 歩行者用 通路 ・ 図示 ※ 60 ※ 3.0 ・ 透水性ブロック (P) ・ ・ ・ ・ 保水性ブロック (M) ・ ・ ・ ・ 仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック 間の段差は3mm以内とする。 ・ 舗石舗装 種類 形 状 厚さ 施工方法 基層 基層の厚さ 寸法 (mm) (mm) (mm) ※ 花こう岩 ・ 割石 ・ ・ うろこ張り ・ コンクリート版 ※ 70 ・ ・ 図示 ・ ・ ・ アスファルト混合物 ※ 50 仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60 g／m ² 以上 ・ 厚さ (mm) ・ 0.5～1.0 ・ 引張強さ ・ 98 N／5 cm (10 kg f／5 cm) 以上 ・ 透水係数 ・ 1.5×10 ⁻¹ cm／sec 以上 ・ 種類 (22. 9. 2) ・ A種 (施工範囲： ・ 図示 ・ 通路 ・) ○ B種 (施工範囲： ・ 図示 ○ 建物周囲その他 ・) 路面標示用塗料はJIS K 5665による。 種類 施工 適用 色 幅 (mm) 塗布厚さ (mm) 適用部位 ※ 3種1号○溶融 粉体状 ○白 ※ 150 ・ 1.0 ○白線 ・ 1種 常温 液状 ・ ・ 100 ○2.0 ・ 車椅子駐車場ライン、マーク ・ 2種 加熱 該当なし 該当なし
21	排水工事	4	街きよ、縁石及び側溝 街きよ、縁石、側溝 種類 形状、寸法 ・ 縁石 ※ 図示 ・ ・ L形側溝 ※ 図示 ・ ・ U形側溝 ※ 図示 ・ ・ U形側溝ふた ※ 図示 ・ ・ ※ 図示 ・ 砂地業に用いる材料 ※ シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 砂利地業に用いる材料 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込碎石 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18 N／mm ² スランブ ※ 15 cm又は18 cm 砂利地業の厚さ ※ 100mm ・ 図示 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18 N／mm ² スランブ ※ 15 cm又は18 cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295A 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない	3	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・ 材料 アスファルト ※ 再生アスファルト (種類 ※ 60～80 ・ 80～100) ・ ストレートアスファルト 骨材 ・ 道路用碎石 ※ アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類 ○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ 密粒度アスファルト混合物 (13 F) シーลコートの施工 ※ 行わない ○ 行う (乳材の種類 ※ PK－1ただし、冬期はPK－2 ・) 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ○ 行わない 舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・	23	植栽工事			
22		舗装工事	5	埋戻し土	※ B種 (21. 2. 1)	4	コンクリート舗装		コンクリート舗装の構成及び厚さ 舗装の種類 部位 構成 厚さ (mm) コンクリート舗装 車路及び駐車場 図示 図示 歩行者用通路 図示 ※ 70 寒冷地の縁部立下り寸法等 ・ 図示 材料 コンクリート ※ 標準仕様書表22. 5. 1による ・ 早強ポルトランドセメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 ※ 標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による ・ 図示 舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 該当なし 該当なし	5	カラー舗装
	1		路床 路床の材料 種別 材料 厚さ (mm) ・ 盛土 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ※ 図示 ・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ ・ 凍上抑制層 ○ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ※ 図示 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ・ フィルター層 ○ 砂 ※ 図示 ・ ・ 路床安定処理の方法 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 添加量 ・ kg／m ³ (目標CBR ・ 3以上 ・) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土のCBR試験 ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60 g／m ² 以上 ・ 厚さ (mm) ・ 0.5～1.0 ・ 引張強さ ・ 98 N／5cm (10 kgf/5cm) 以上 ・ 透水係数 ・ 1.5×10 ⁻¹ cm/sec 以上 ・ 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ○ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ○ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う ○ 行わない	5	カラー舗装	6	透水性アスファルト舗装				



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称
第一川東公営住宅改築工事 (2・3工区)

担当
一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日
内容記事欄

図面名称
特記仕様書 9

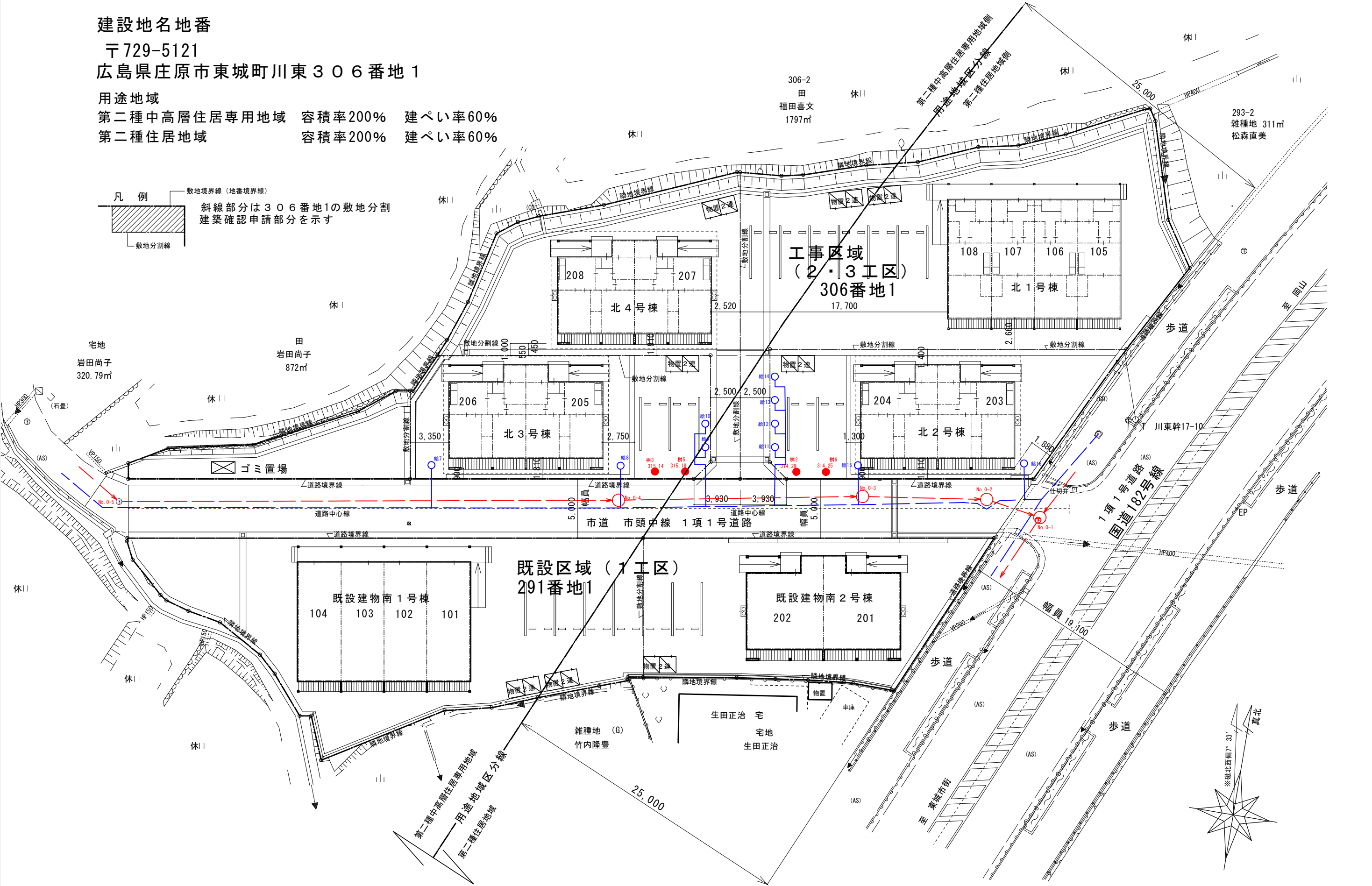
縮尺

図面番号
A-A09

(Aタイプ)

建設地名地番
〒729-5121
広島県庄原市東城町川東306番地1

用途地域
第二種中高層住居専用地域 容積率200% 建ぺい率60%
第二種住居地域 容積率200% 建ぺい率60%



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

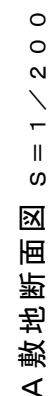
川東公営住宅全体配置図

縮尺 A3版標準スケールとする。
1/300

図面番号

A-A11

(Aタイプ)



敷地丈量表

敷地丈量図

敷地分割線

敷地分界線

北緯 34° 54' 01"

西経 133° 16' 44"

①

②

③

道路接道長さ合計 = 34,530

接道長さ = 20,980

接道長さ = 13,550

道路境界線

31.78

30.91

1.18

1.18

9.16

7.18

敷地丈量図
S = 1 / 200

付近見取図



O f f i c e M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 TEL (0824) 75-4600

第一川東公營住宅改築工事（2・3工区）

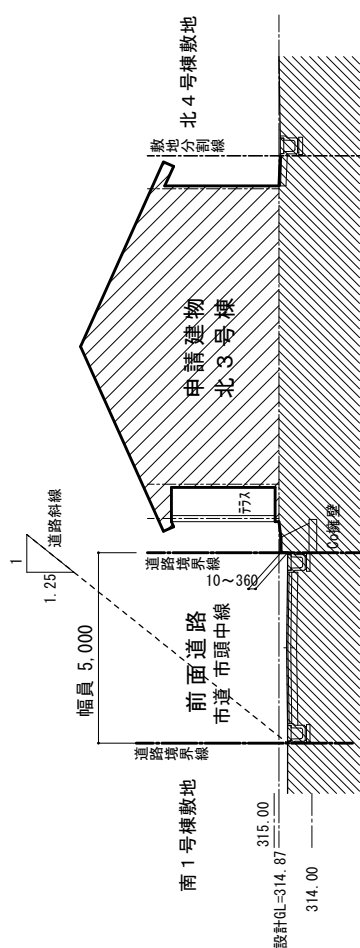
内容記事欄

A-A12-N2

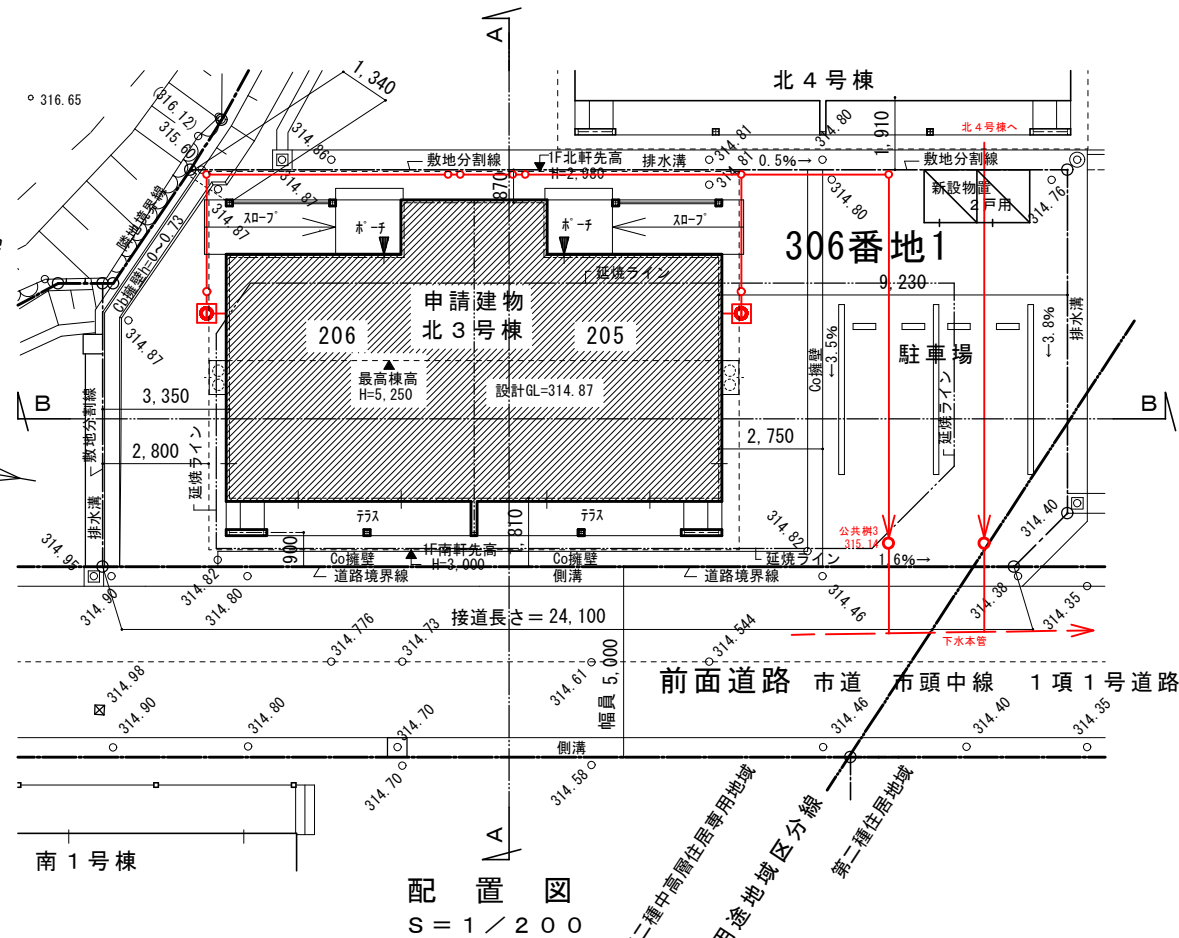
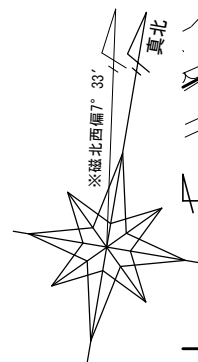
(Aタイプ)



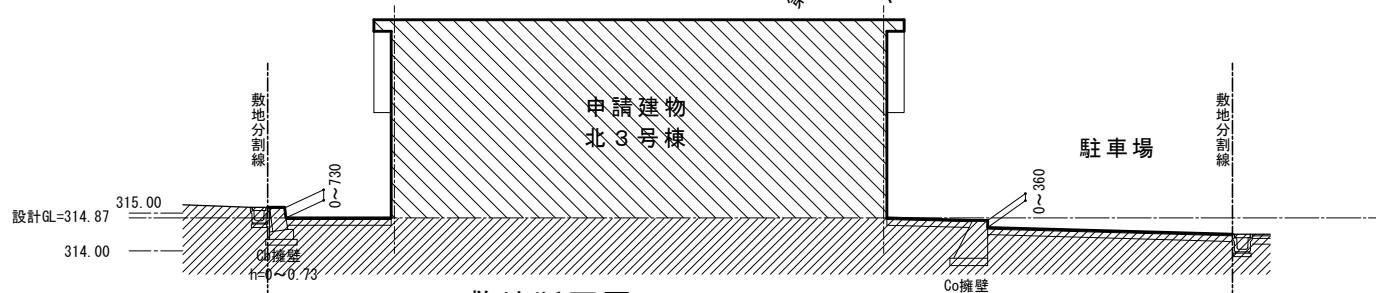
付近見取図



A 敷地断面図 S=1/200



配置図
S=1/200

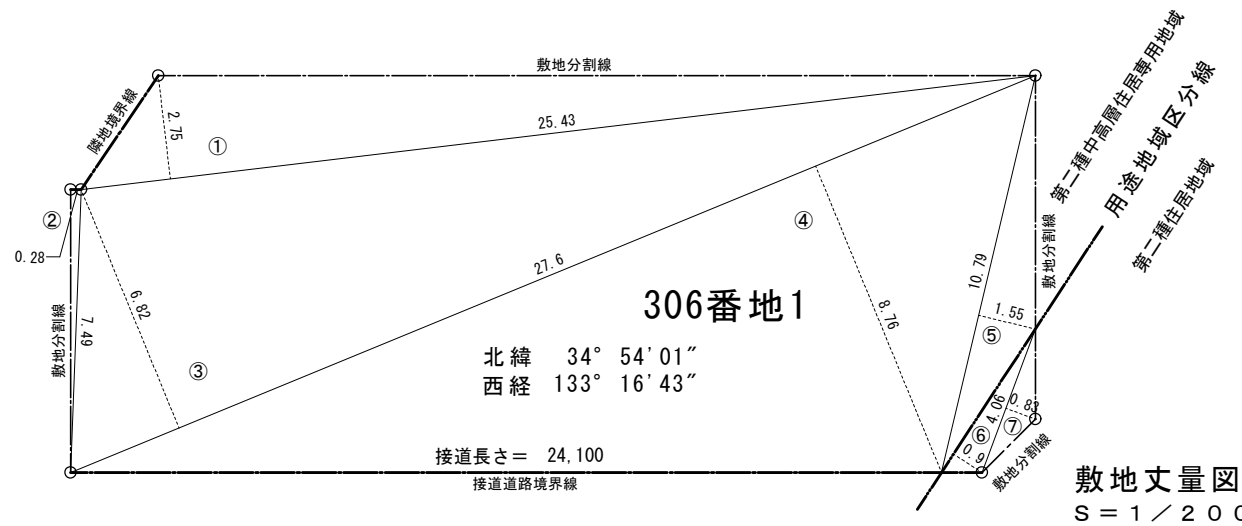


B 敷地断面図 S=1/200

建設地名地番
広島県庄原市東城町川東 306番地1の分割敷地
都市計画区域内区分未指定区域
用途地域 第二種中高層住居専用地域
第二種住居地域
法22条指定区域 宅地造成等工事規制区域
建ぺい率限度 60% 容積率限度 200%
道路幅員による容積率限度
5m×0.4×100=200%

敷地丈量表

地域区分	番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
第二種 中高層住居専用地域	1	25.43	2.75	69.9325	34.9663
	2	7.49	0.28	2.0972	1.0486
	3	27.60	6.82	188.2320	94.1160
	4	27.60	8.76	241.7760	120.8880
	5	10.79	1.55	16.7245	8.3623
	合 計				259.3812
	地 域 面 積				259.38 m ²
第二種 住居地域	6	4.06	0.90	3.6540	1.8270
	7	4.06	0.83	3.3698	1.6849
	合 計				3.5119
	地 域 面 積				3.51 m ²
合 計 敷 地 面 積					262.89 m ²



敷地丈量図
S=1/200



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

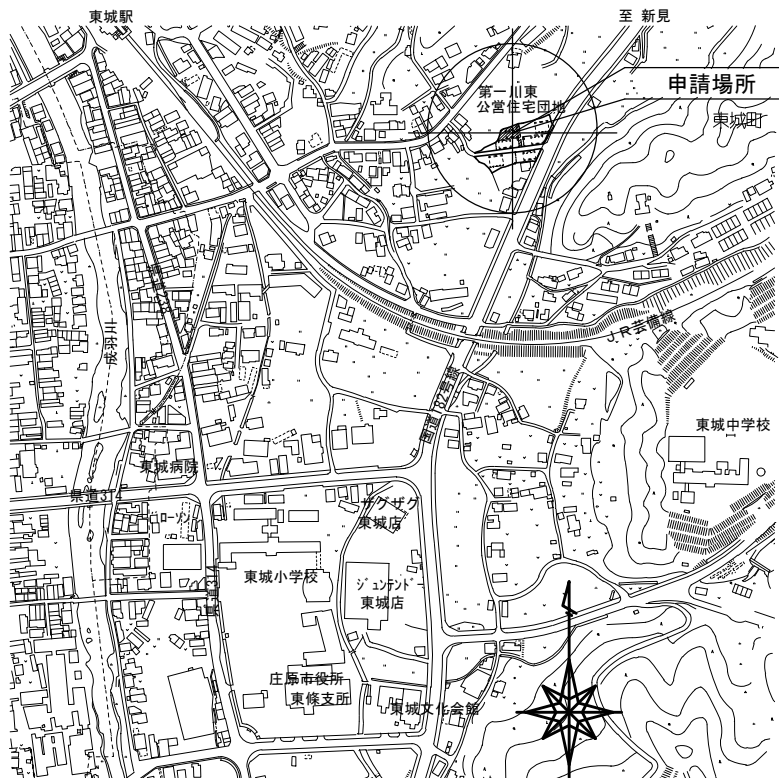
〈北3号棟〉 付近見取図
丈量図 申請配置図 敷地断面図

縮尺 A3版標準スケールとする。
1/200

図面番号

A-A12-N3

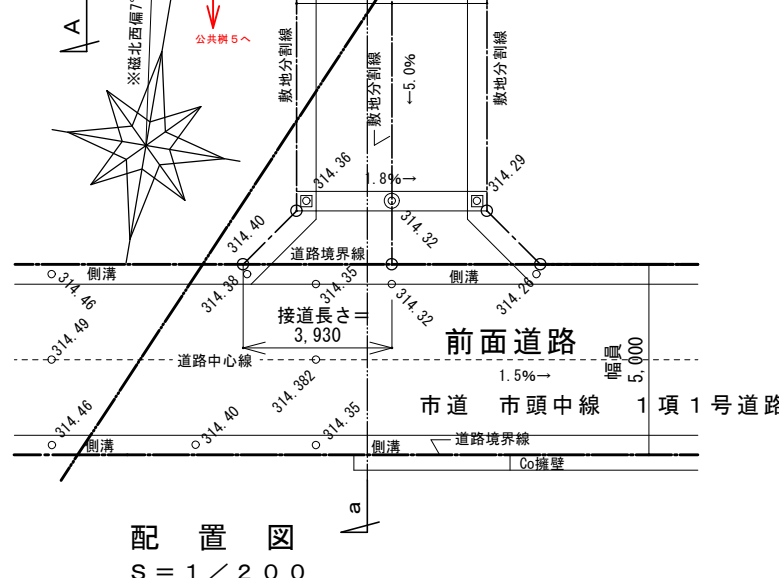
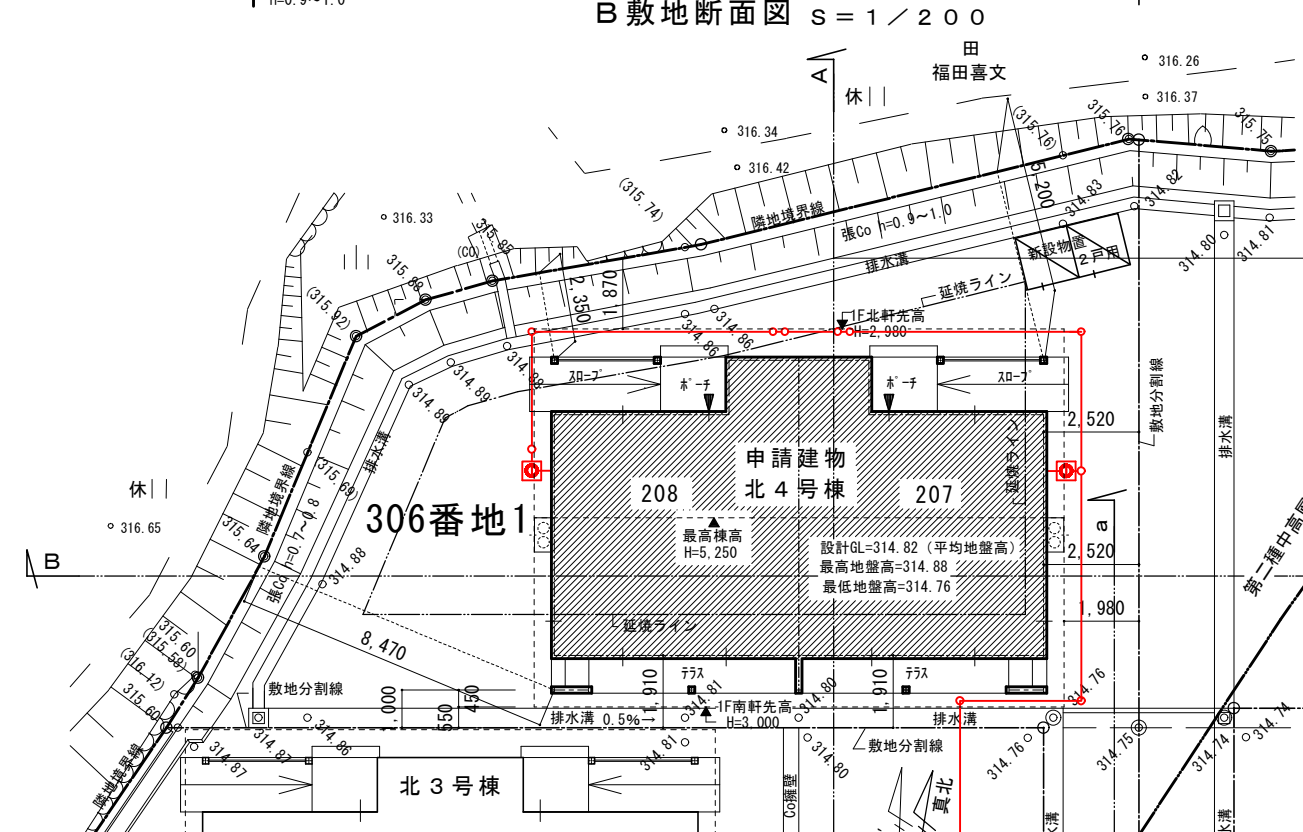
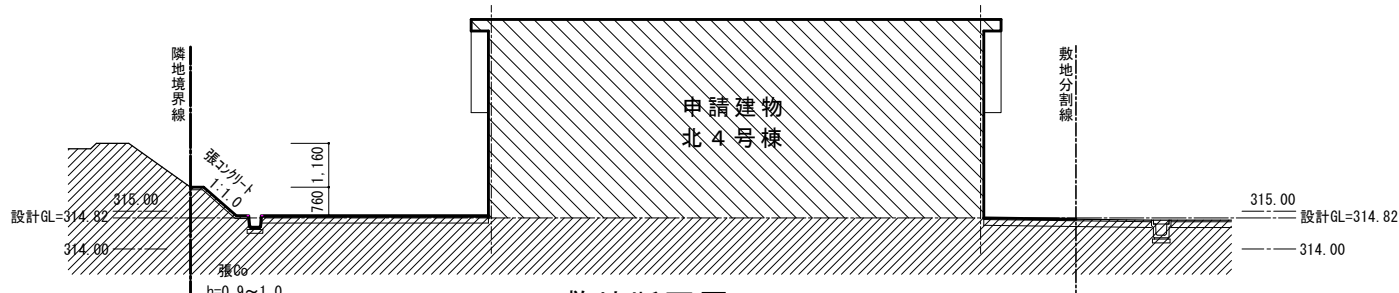
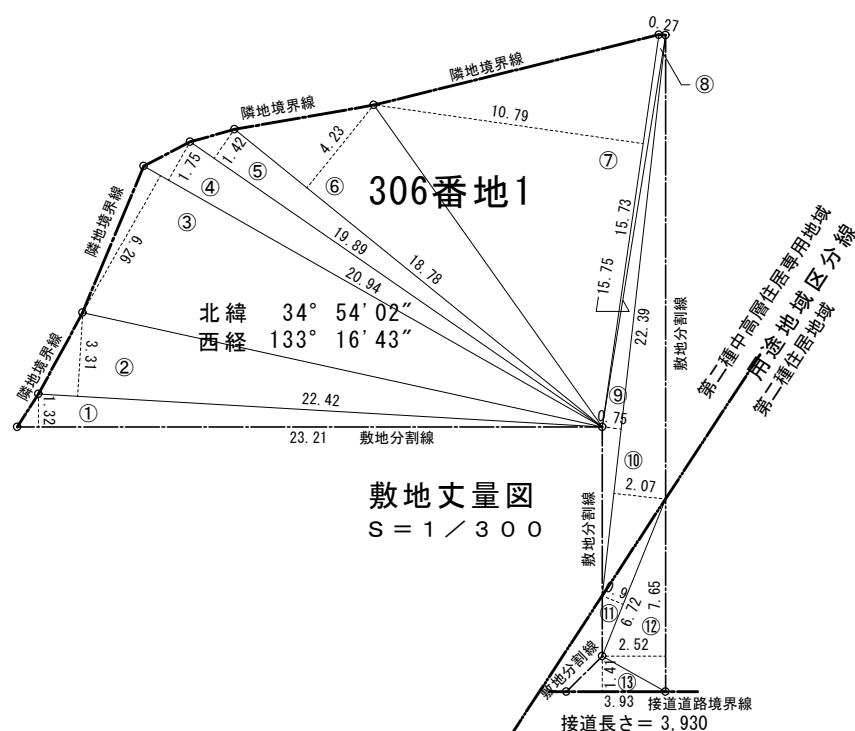
(Aタイプ)



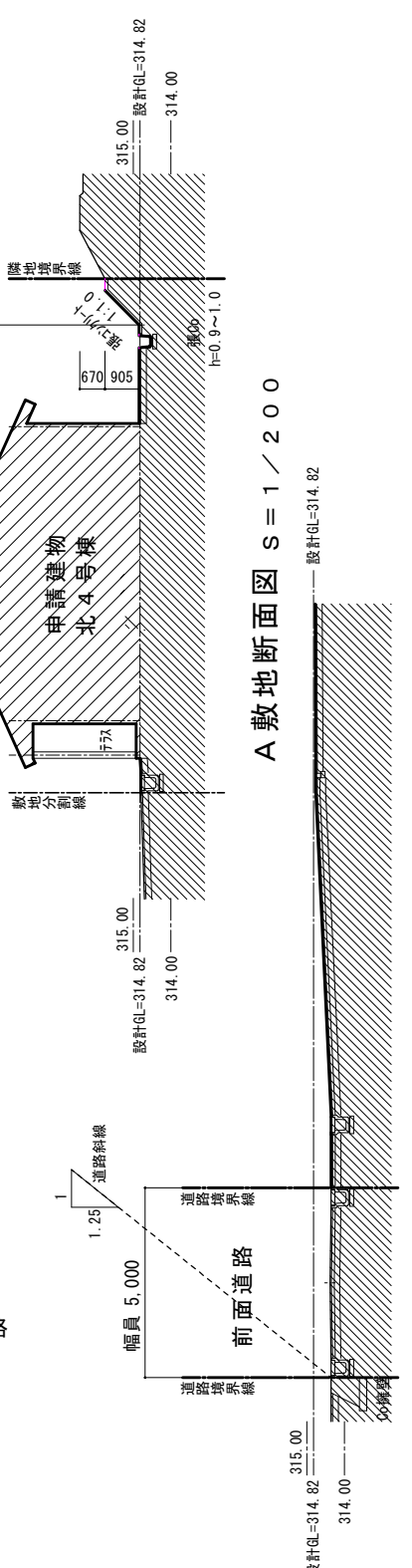
付近見取図

建設地名地番
広島県庄原市東城町川東 306番地1の分割敷地
都市計画区域内区分未指定区域
用途地域 第二種中高層住居専用地域
第二種住居地域
法22条指定区域 宅地完成等工事規制区域
建ぺい率限度 60% 容積率限度 200%
道路幅員による容積率限度
 $5m \times 0.4 \times 100 = 200\%$

敷地丈量表					
地域区分	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
第二種 中高層住居専用地域	1	23.21	1.32	30.637	15.319
	2	22.42	3.31	74.210	37.105
	3	20.94	6.26	131.084	65.542
	4	20.94	1.75	36.645	18.323
	5	19.89	1.42	28.244	14.122
	6	18.78	4.23	79.439	39.720
	7	15.73	10.79	169.727	84.864
	8	15.75	0.27	4.253	2.127
	9	22.39	0.75	16.793	8.397
	10	22.39	2.07	46.347	23.174
第二種 住居地域	合計			308.693	
	地域面積			308.69 m ²	
	11	6.72	0.9	6.048	3.024
	12	7.65	2.52	19.278	9.639
合計敷地面積	合計			15.434	
	地域面積			15.43 m ²	



※ 高さ制限・斜線制限の内、道路斜線制限を除き建物の最高高さが規定の高さ以下で検討不要



a 敷地断面図 S=1/200



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称
第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当
一級建築士 増原 寛

図面名称
〈北4号棟〉 付近見取図
丈量図 申請配置図 敷地断面図

縮尺 A3版標準スケールとする。
1/200 1/300

図面番号
A-A12-N4

(Aタイプ)



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 住 (0824) 754600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容 記事 欄

図面名称

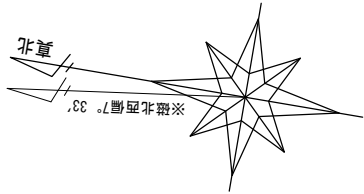
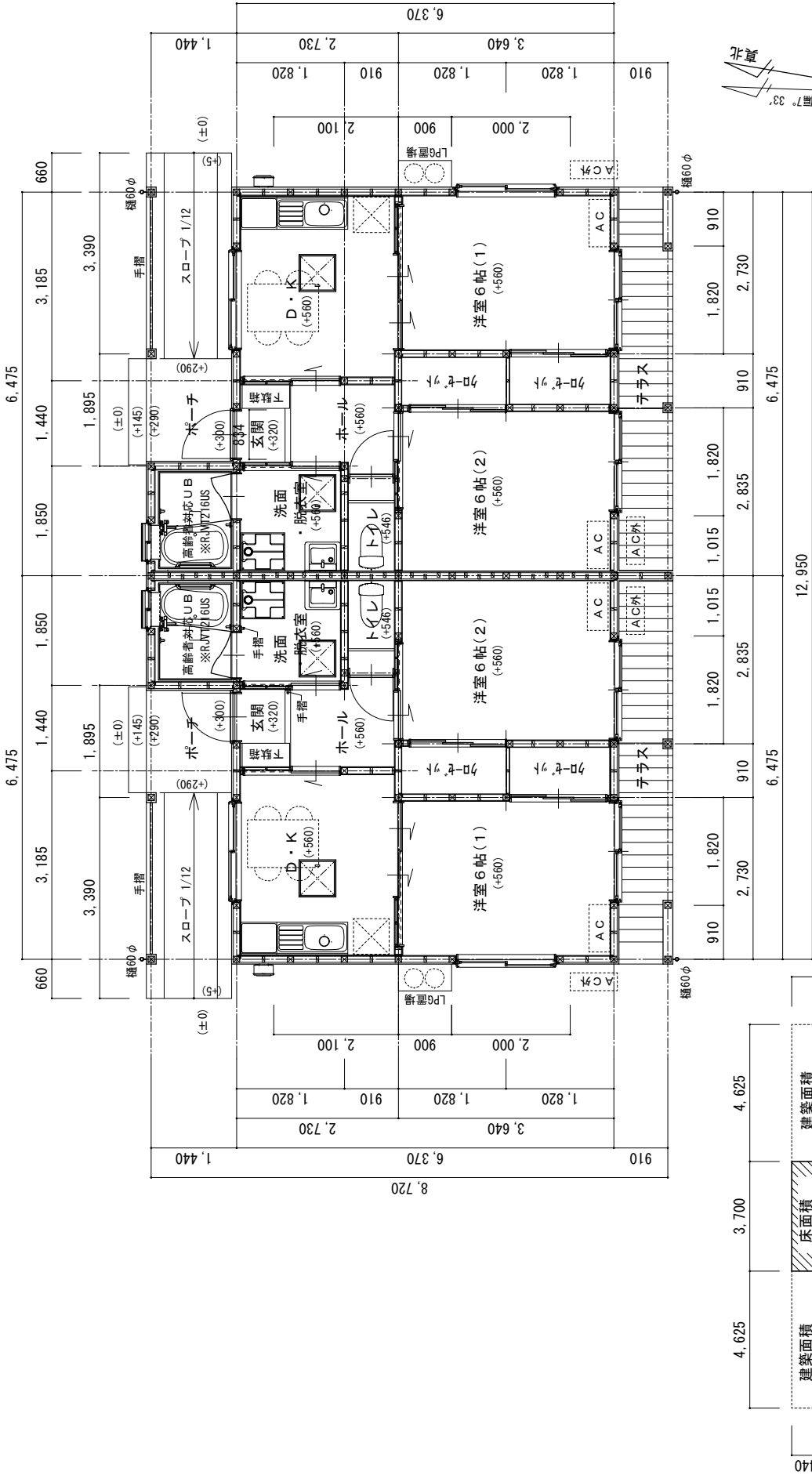
1 階平面図 屋根伏図

縮尺 A3版標準スケールとする。
1001/1

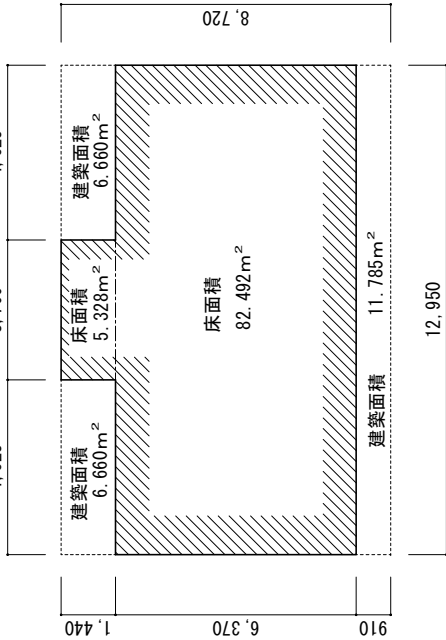
図面番号

A-A13

(Aタイプ)



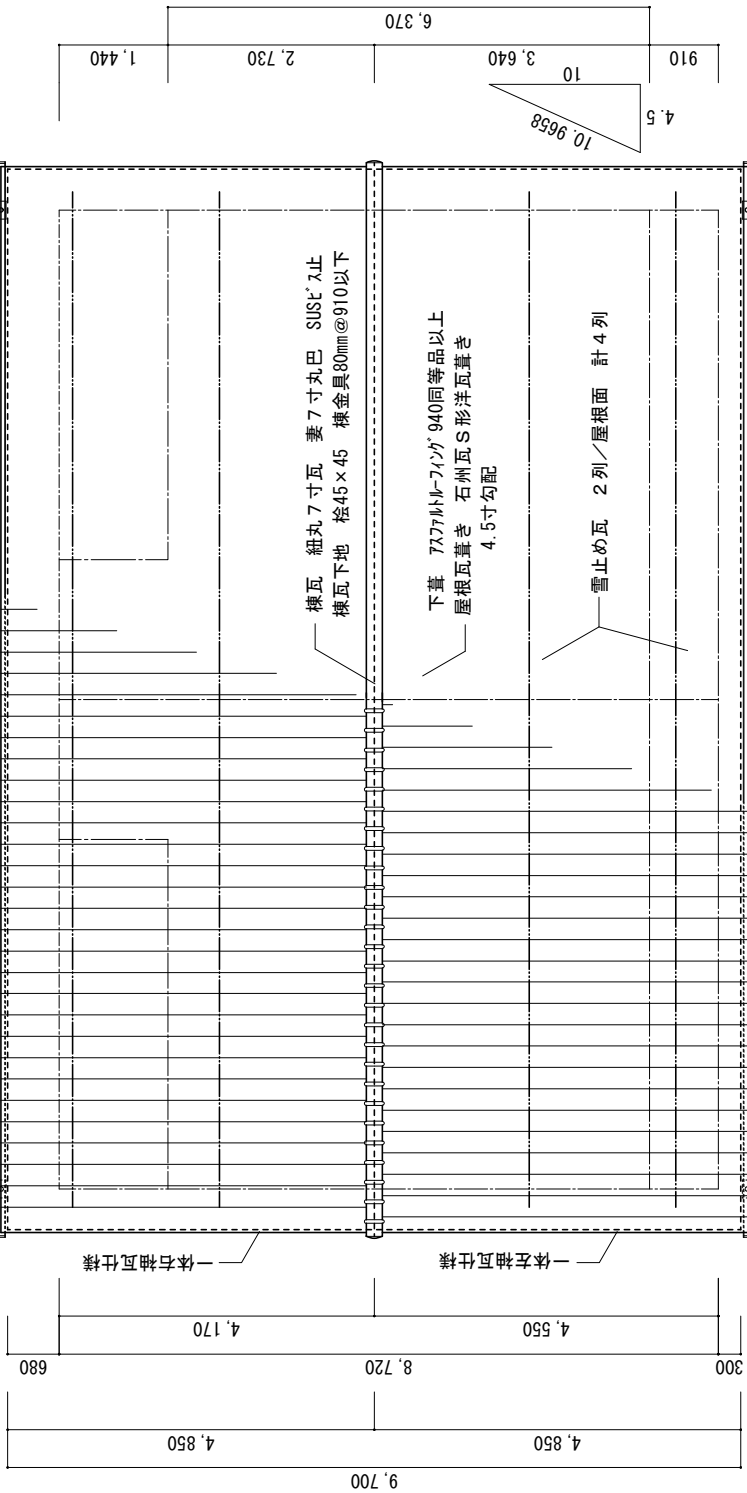
平面図 S=1/100



建物面積求積図 S=1/200

建物面積 2戸/棟

戸	8.72×6.475=56.462
延床面積	56.46㎡
棟	8.72×12.95=112.924
建築面積	112.92㎡
戸	6.37×6.475+1.44×1.85=43.90975
延床面積	43.91㎡
棟	82.492+5.328=87.82
建築面積	87.82㎡

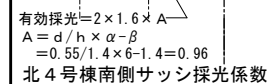
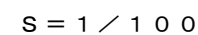
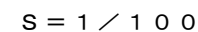
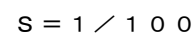


参考仕様
軒樋 エスロン住宅用角樋 Σ90 吊ブラケット@450
漏斗 洋風専用じょうごΣ90-Y60-UT60
堅樋 丸トップUT60+排水管カバー

小屋裏換気計算天井面積

※中央部に界壁を有するので一戸当たりの面積とする
10.00×7.015= 70.15 ㎡/戸

屋根伏図 S=1/100


$$S = 1 \text{ } / \text{ } 1 \text{ } 0 \text{ } 0$$


樋参考仕様	(下記同等品以上とする)
軒樋	エスロン住宅用角樋 Σ90 吊ブラケット@450
漏斗	洋風専用じょうごΣ90-Y60-UT60
豎樋	丸トップUT60+排水管カバー 受金物@≤1200



一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 TEL (0824) 75-4600

工事名称

第一川東公營住宅改築工事（2・3工区）

担当

一級建築士 増 原

變更訂正年月日

内容記事欄

図面名称	
------	--

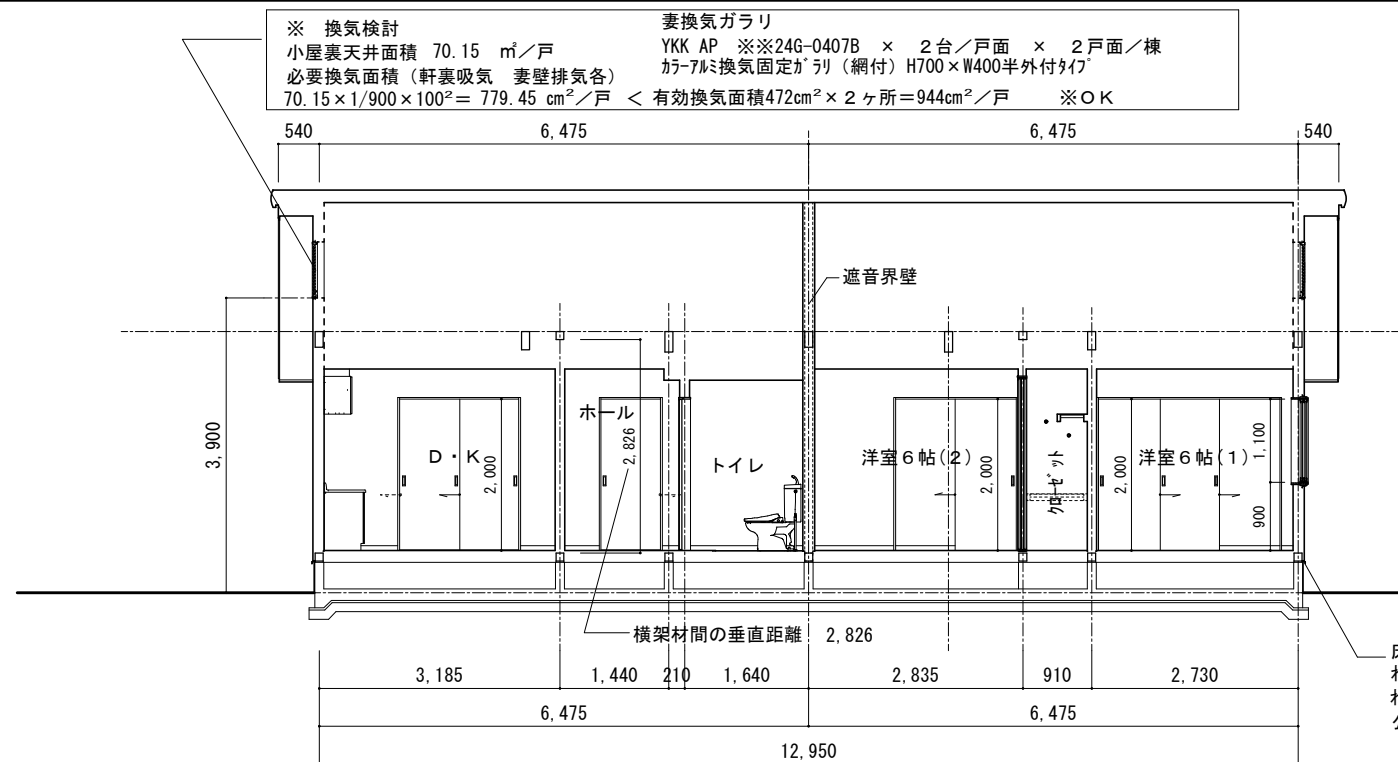
立面図 サイディング割付図

図面番号

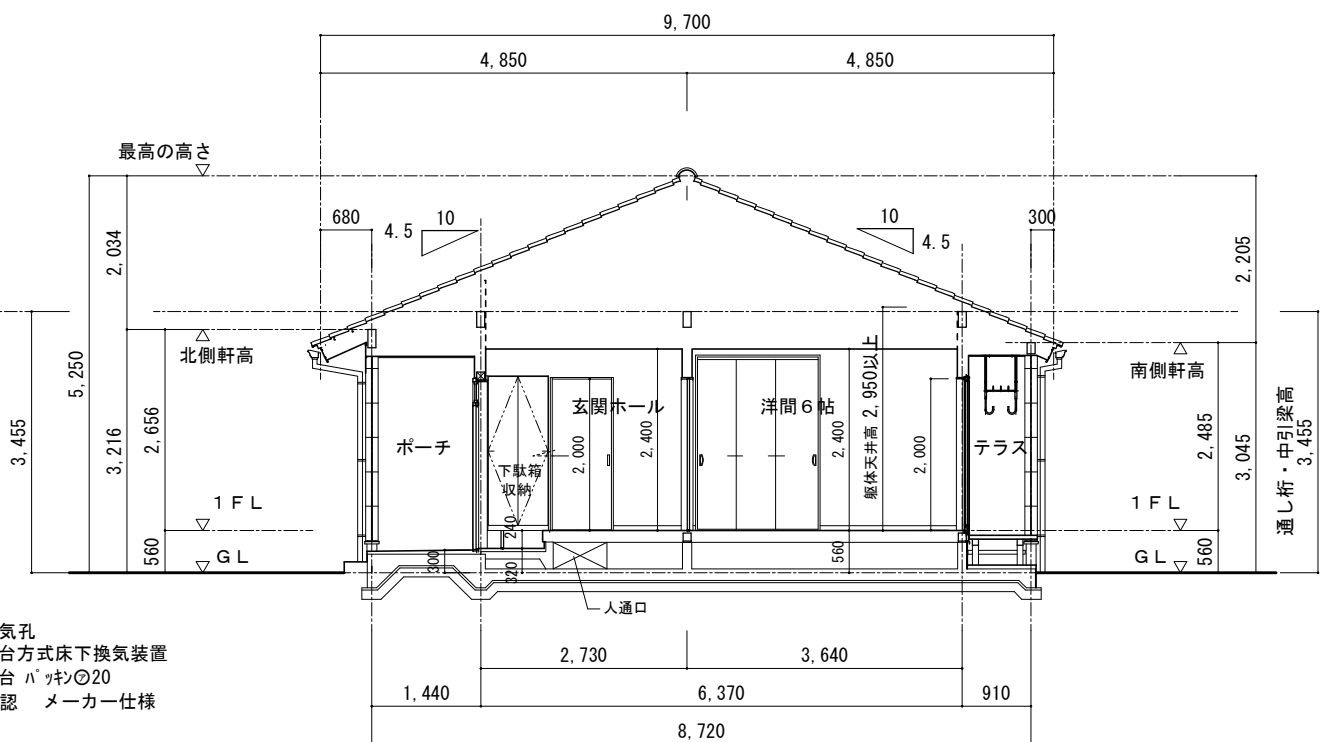
A-A14

縮尺 A3 版標準スケールとする。
1 / 100

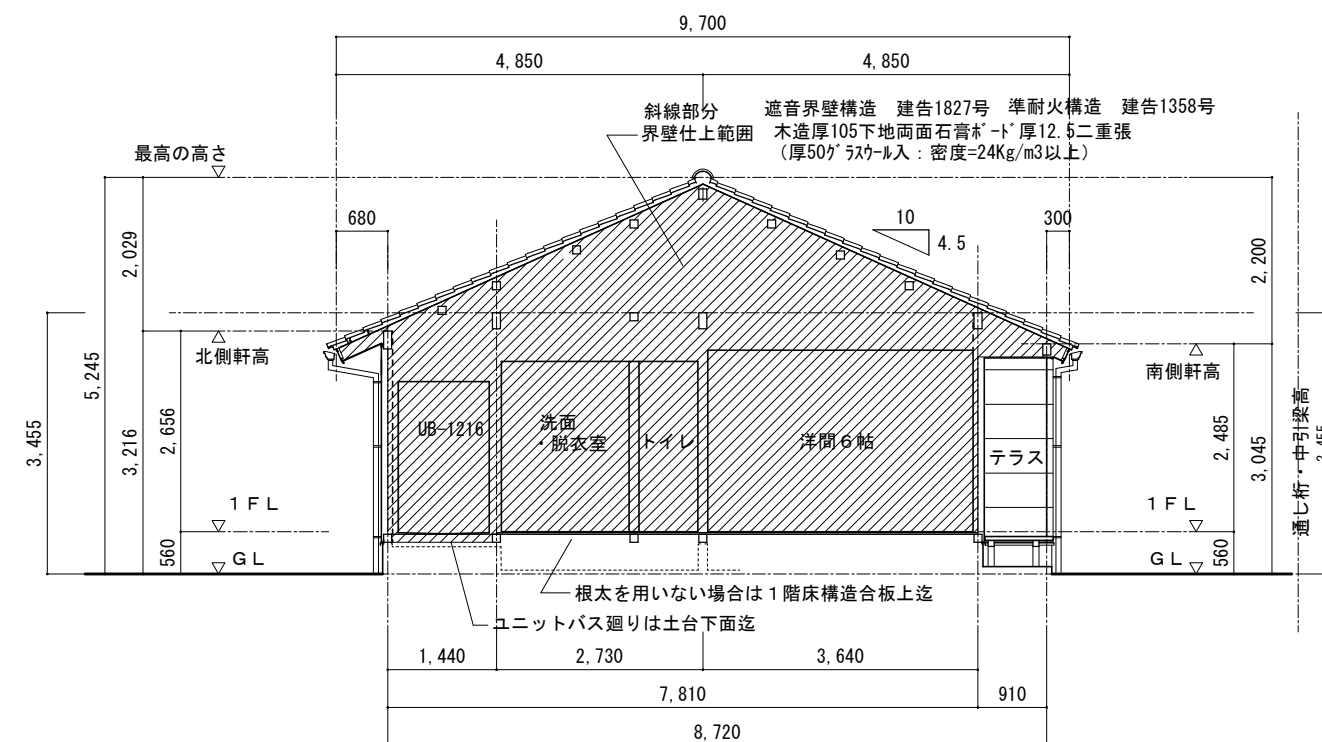
(Aタイプ)



桁行中央断面図 S = 1 / 100

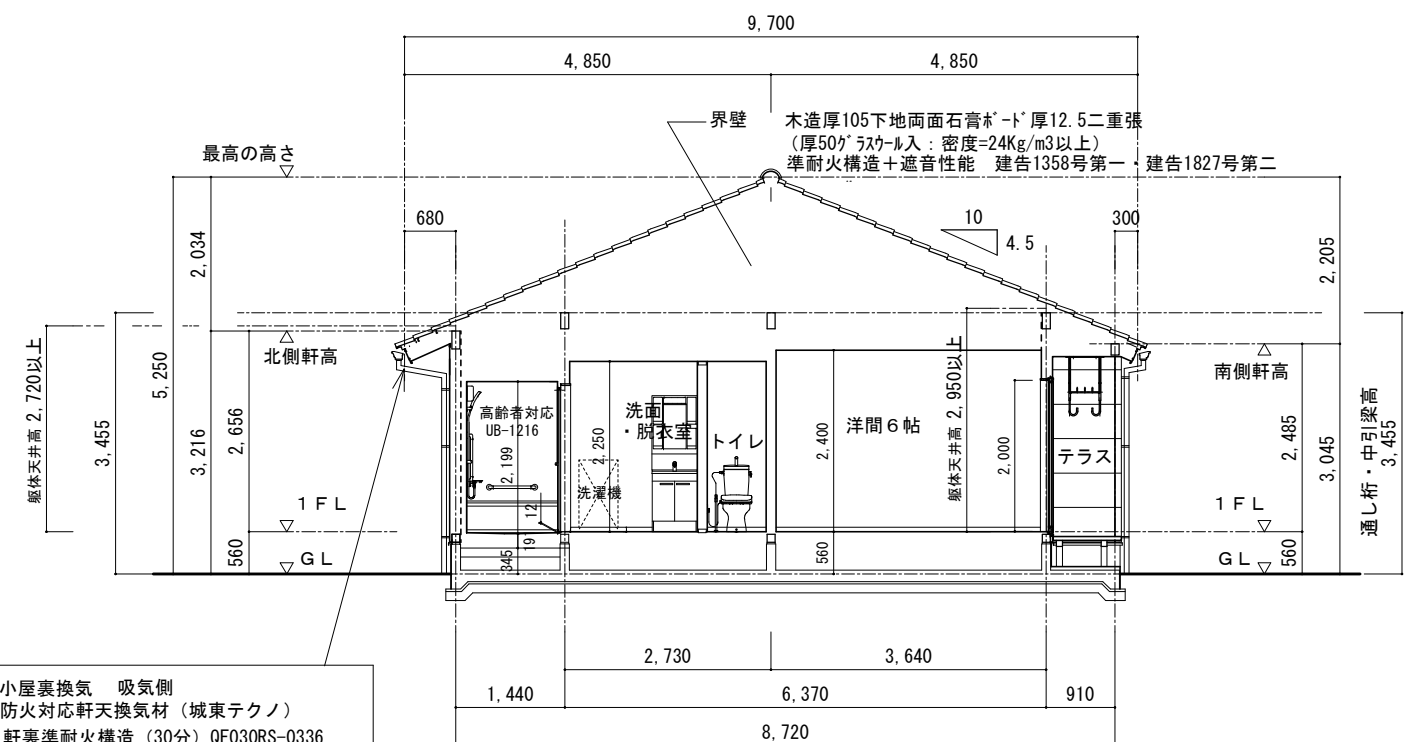


梁間A断面図 S = 1 / 100



準耐火遮音界壁立面図 S = 1 / 100

特記 界壁の設備配管の貫通について
令112条により 令129条の2の4-1項7号の配管の構造とする。
本件は電気配管以外の貫通はない。
平成12建告第1422号の管径による緩和規定により
配電管 (VE管) 82φ (外形90mm) 肉厚5.5mm未満の管径品を使用する



梁間B断面図 S = 1 / 100

小屋裏換気 吸気側
防火対応軒天換気材 (城東テクノ)
軒裏準耐火構造 (30分) QF030RS-0336
軒先部 桁行軒先全部分設置
FV-N12F-L27-※※ (150cm²/m)
有効換気面積/戸 7.0 + 7.0 = 14.0m²/戸
14.0m²/戸 × 150cm²/m = 2100cm²
必要換気面積/戸 779.45 cm²/戸
779.45 cm²/戸 < 2100cm²/戸 ※OK



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事 (2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

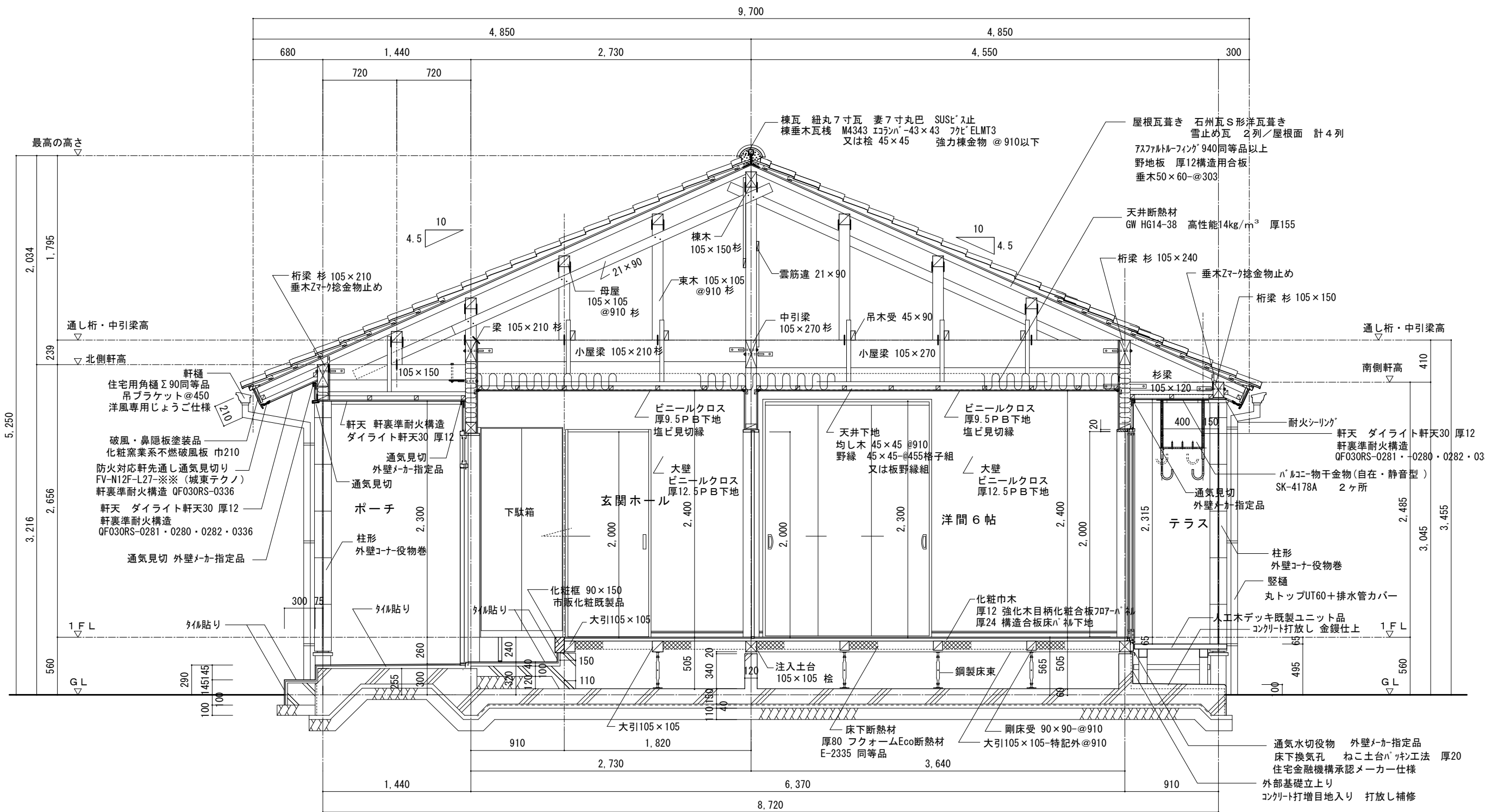
断面図

縮尺 A3版標準スケールとする。
1/100

図面番号

A-A15

(Aタイプ)



矩 計 図 S = 1 / 4 0

建物各部位の断熱材の仕様は下記とする 地域区分 ; 4 地域

住宅用グラスウール断熱材 (旭ファイバーグラスK アクアシリーズ)	
天井断熱材	ACM-00110572 (GWHG14-38) 高性能14kg/m ³ 厚155 (熱抵抗R=4.1m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.038W/m・K)
壁 断熱材	ACN-00113269 (GWHG14-38) 高性能14kg/m ³ 厚105 (熱抵抗R=2.8m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.038W/m・K)
界壁断熱材	AGPM-00111562 (GWHG24-34) 高性能24kg/m ³ 厚 50 (熱抵抗R=1.5m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.034W/m・K)
フクフォームEcoシリーズ	
床下断熱材	E-2235・2235K・2235K35型 JIS A 9521 厚 80 (熱抵抗R=2.2m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.036W/m・K)

外壁の全面は下記仕様とする

厚14以上 窯業系サイディング横張 (通気層厚15) 透湿防水シート張 準不燃OM-0639 防火PC030BE-9201
屋内側 厚100mmのグラスウール充填 厚9.5mm以上のPB張り (本件 厚12.5mmPB) 又は厚4.0mm以上の合板張り (本件 厚12.5mmライナー合板)



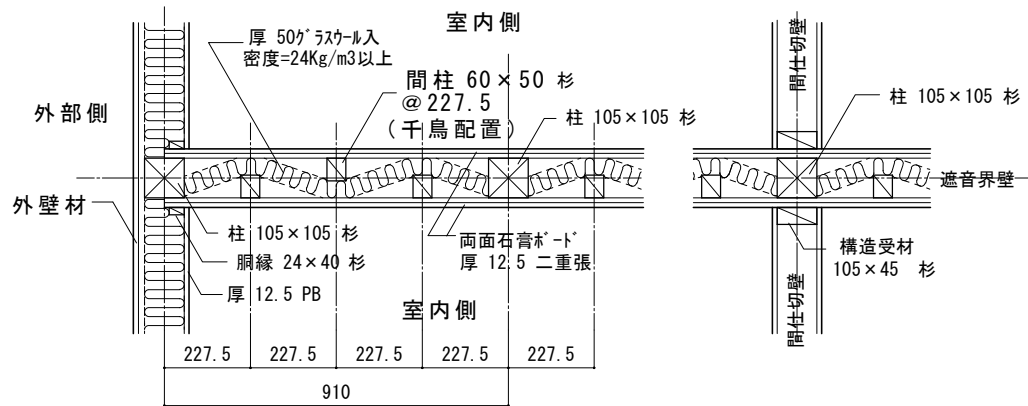
Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

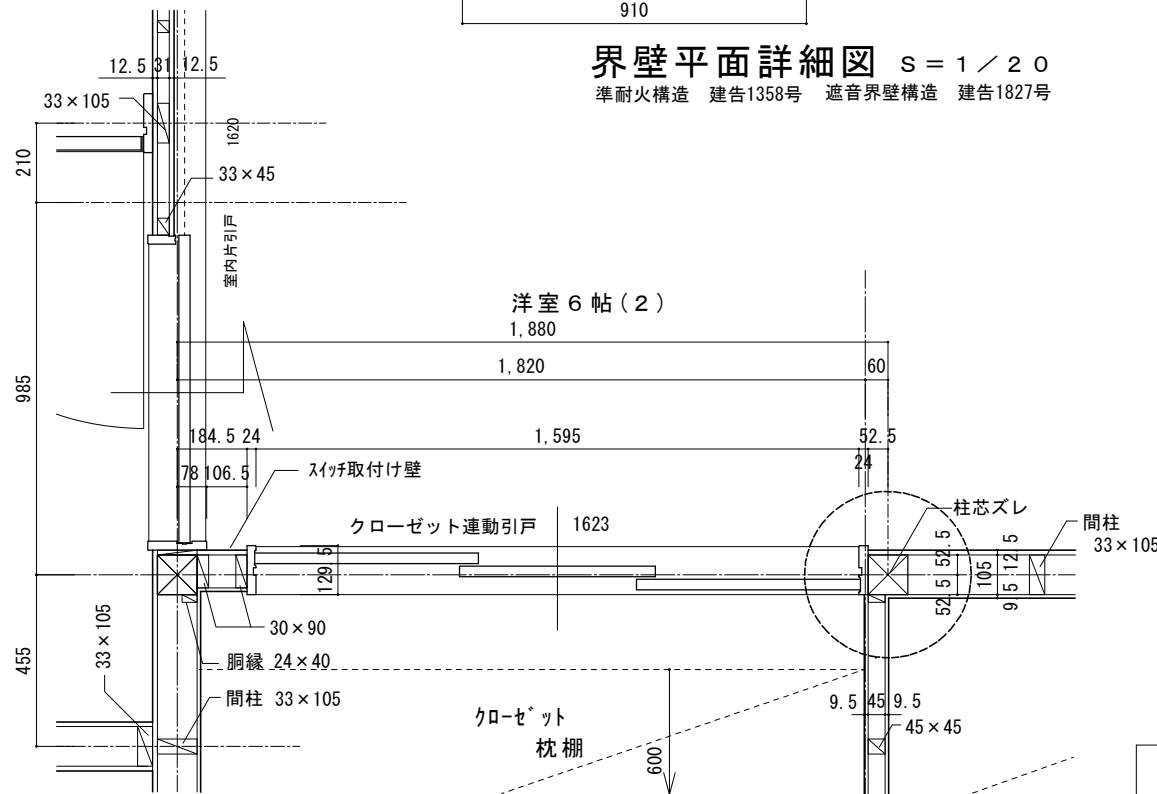
一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛



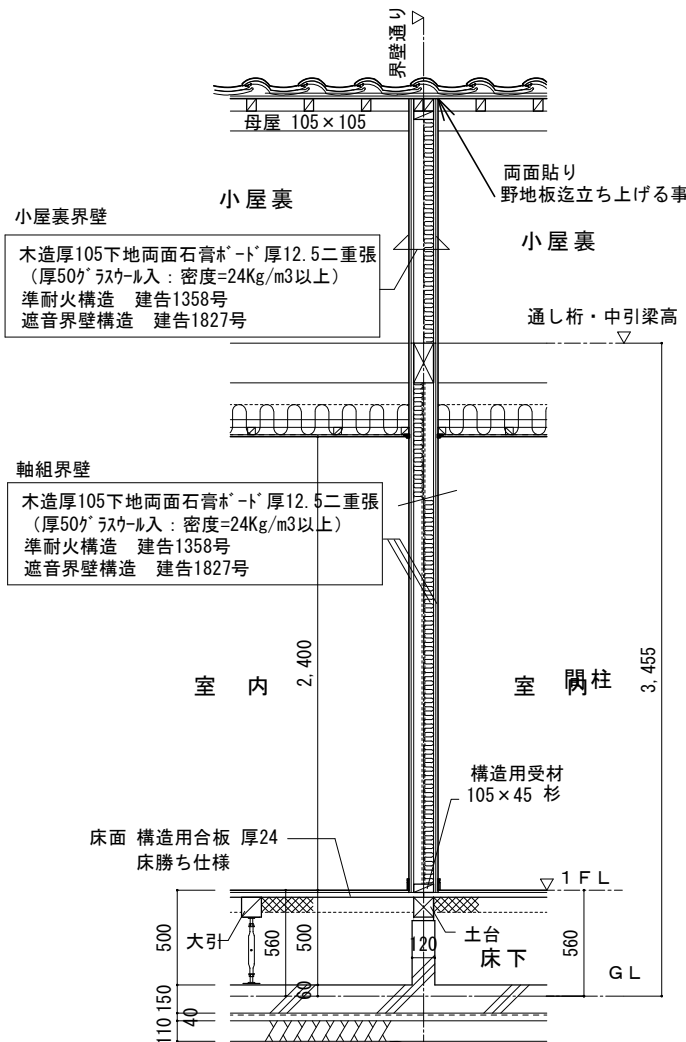
工事名称 第一川東公営住宅改築工事 (2・3工区)		図面名称 矩計断面図 1	図面番号 A-A16
担当 一級建築士 増原 寛	変更訂正年月日 内容記事欄	縮尺 A3版標準スケールとする。 1 / 40	(Aタイプ)



界壁平面詳細図 S = 1 / 2 0
準耐火構造 建告1358号 遮音界壁構造 建告1827号

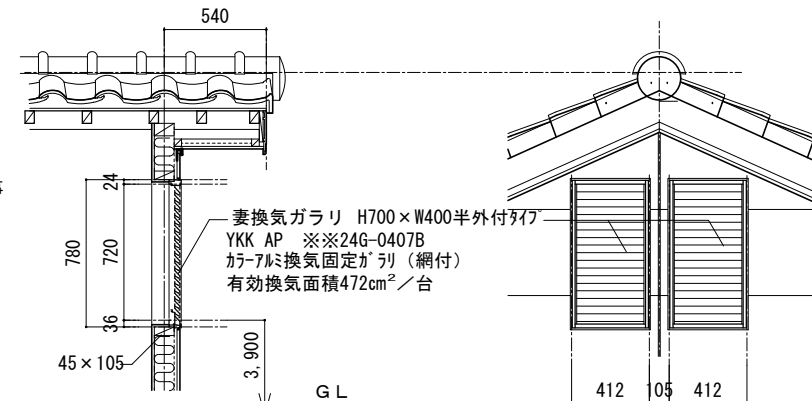


洋間 2 入口クローゼット間仕切袖壁平面詳細
(スイッチスペース袖壁) S = 1 / 2 0

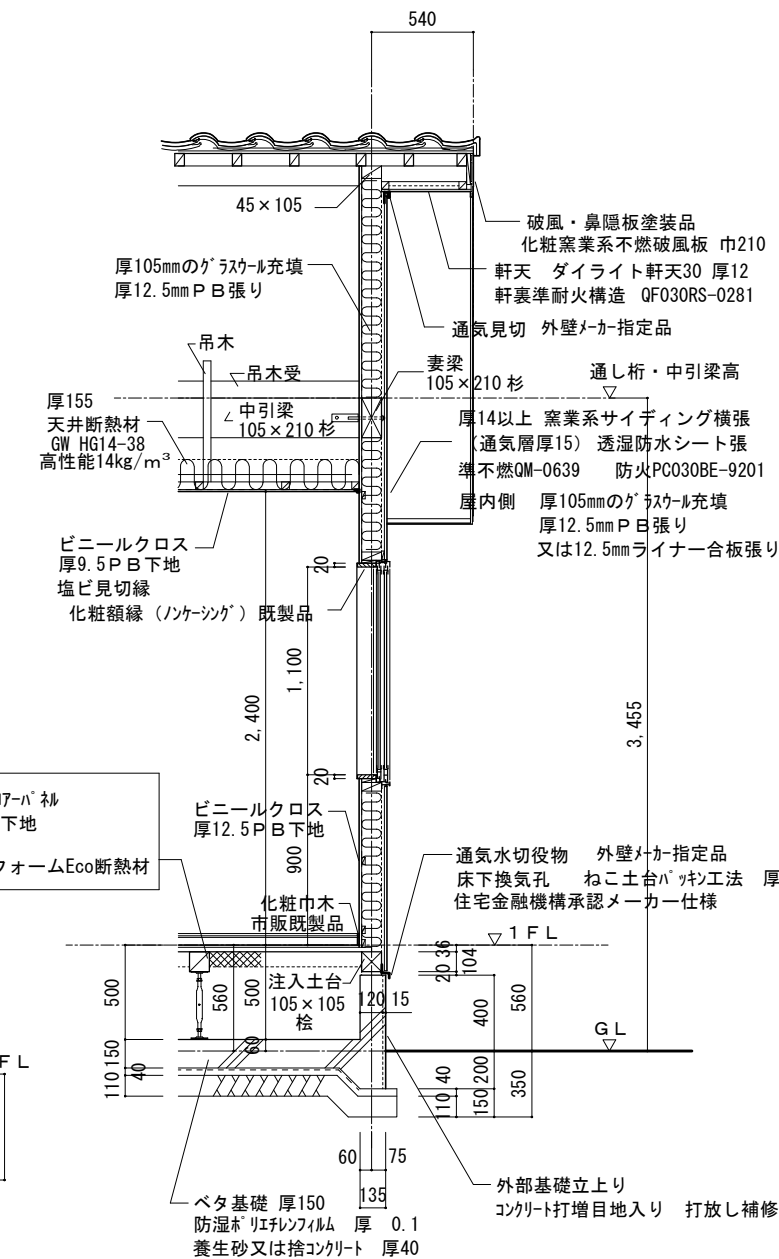


界壁断面図 S = 1 / 4 0

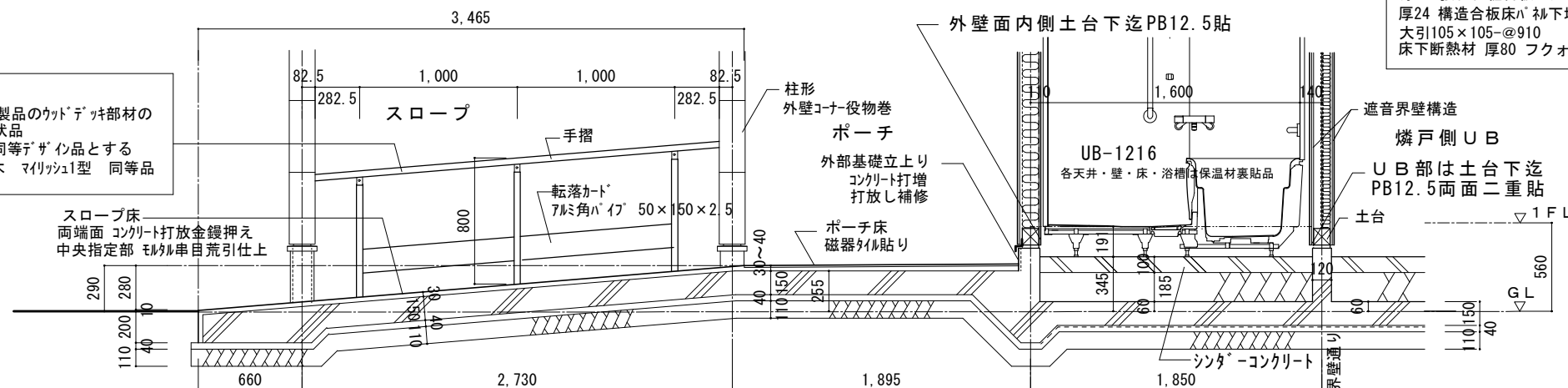
特記 界壁の設備配管の貫通について
令112条により 令129条の2の4-1項7号の配管の構造とする。
本件は電気配管以外の貫通はない。
平成12建告第1422号の管径による緩和規定により
配電管 (VE管) 82φ (外形90mm) 肉厚5.5mm 未満の管径品を使用する



妻矢切換気孔詳細図
S = 1 / 4 0



妻壁断面図 S = 1 / 4 0



スロープ断面図 S = 1 / 4 0



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 TEL (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事 (2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

矩計断面図 2 部分詳細図

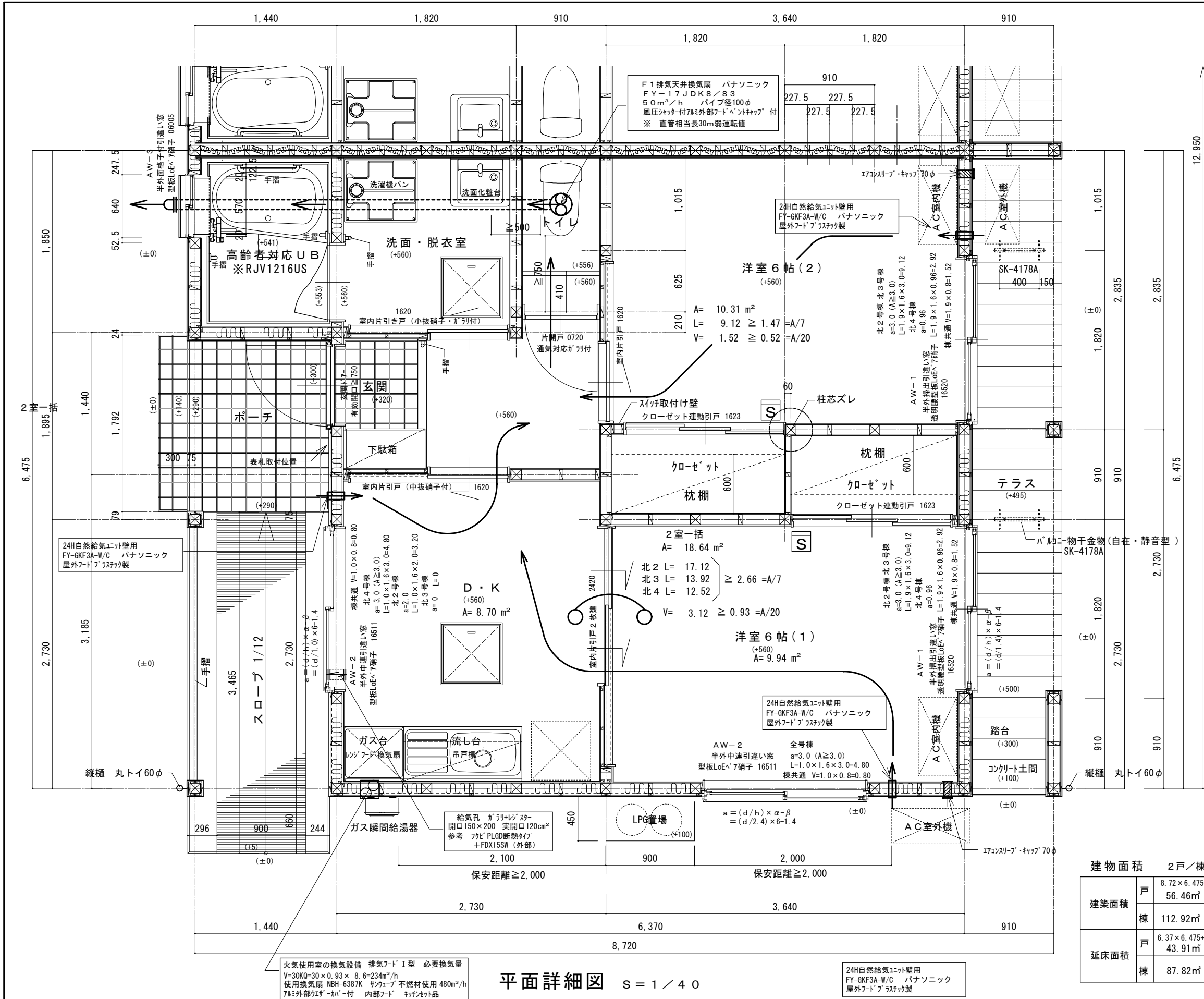
縮尺 A3版標準スケールとする。

1/40 1/20

図面番号

A-A17

(Aタイプ)



特 記
隔柱・管柱は杉105角とする。
給気ユニット取付け高さは、天井高の2/3以上の位置に取付ける
火気使用室の給気孔取付け高さは、天井高の1/2以下の位置に取付ける
火気使用室の室内仕上
本建物はガス機器その他の火気の器具はDKとし、天井・壁の仕上げは
準不燃仕上げとする。

(天井裏等への措置)
天井裏等(小屋裏・床裏・外壁・間仕切壁・収納等)の使用材料は、
第3種ホルムアルデヒド発散建材F☆☆☆☆以上の建材以外を使用しない。
(内装使用建築材料)
本工事の内装の建築材料(各面材仕上・建具・家具ユニット等)に使用する
材料種別は、建築基準法規制対象外F☆☆☆☆又は、告示対象外として国土交
通省建築指導課が例記した建材以外を使用しない。

凡 例

A = 室 面 積 m²
a = 採光補正係数
L = 採光面積 m²
V = 換気面積 m²

= 住宅用火災警報器
 = 換気扇
 = 給気孔 ガラリレジスター150φ
 = 24時間換気扇
 = 24時間自然給気ユニット
 = 隔 柱 105×105
 = 管柱 105×105

		(居室毎の機械換気設備)		換気方式	第三種換気方式とする。		
階数	室名	床面積 m ²	平均天井高 m	気積 m ³	換気 種別	排気機排気量 m ³ /h	換気回数 n/h
1F	洋室6帖(1)	9.94	2.40	23.86	排気機		
	洋室6帖(2)	10.31	2.40	24.74			
	D・K	8.70	2.40	20.88			
	玄関	1.31	2.64	3.46			
	ホール	2.81	2.40	6.74			
	トイレ	1.49	2.25	3.35			
合 計				83.03		50.00	0.60

換気回数0.5回以上 ○K

建物面積		2戸/棟
建築面積	戸	8.72×6.475=56.462
	棟	56.46m ²
延床面積	戸	6.37×6.475+1.44×1.85=43.90975
	棟	43.91m ²

平面詳細図 S = 1 / 4 0



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

図面名称

平面詳細図

図面番号

A-A18

担当

一級建築士 増 原 寛

変更訂正年月日

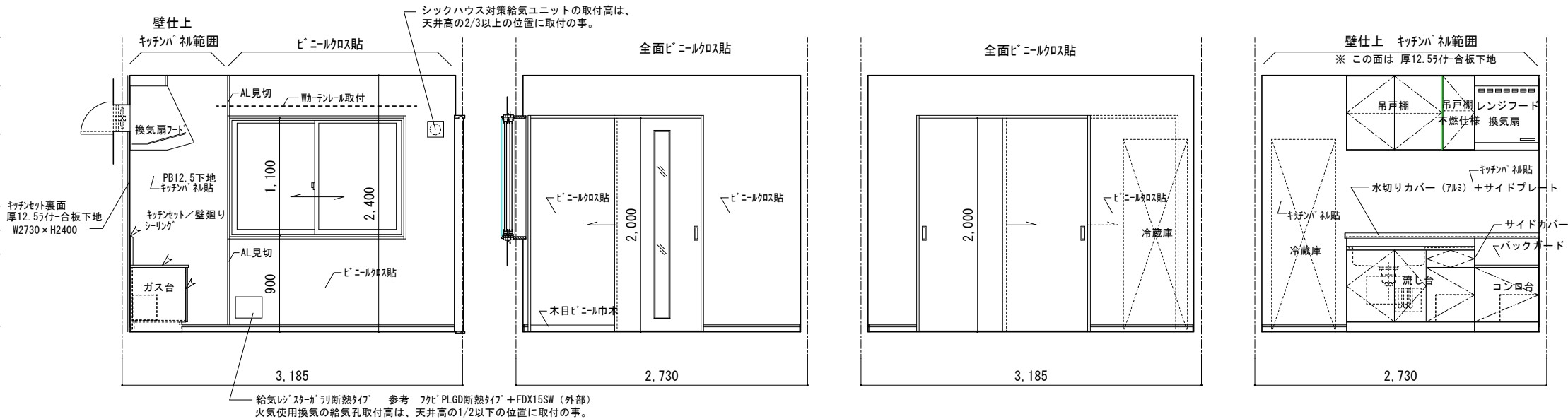
内容記事欄

縮尺 A3版標準スケールとする。

1/40

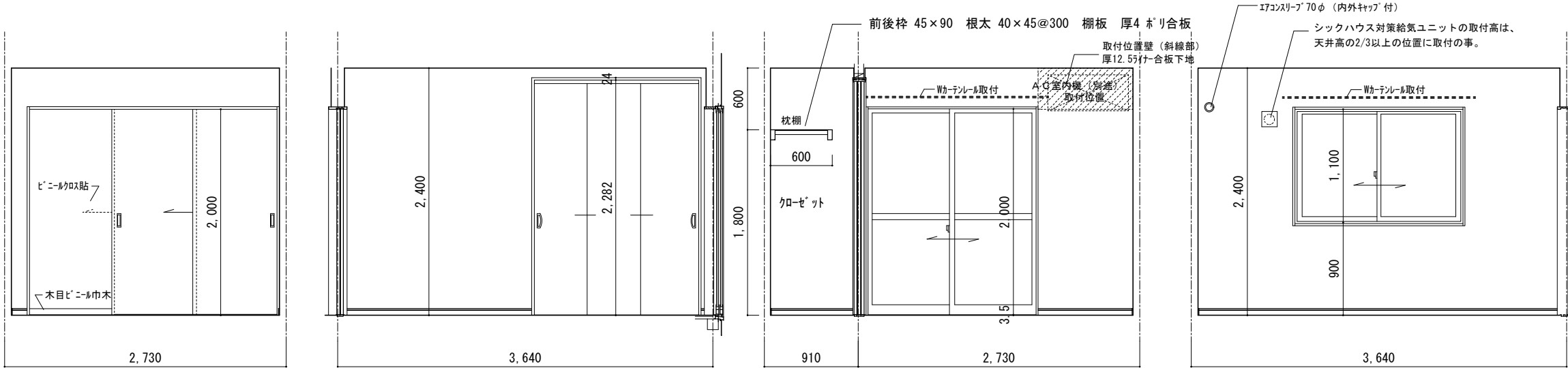
(Aタイプ)

D・K	
天井	厚9.5 石膏ボード下地 ビニルクロス貼
廻縁	塩ビ見切
壁	厚12.5 石膏ボード下地 ビニルクロス貼 流し台廻り 一部 厚3 マシン不燃化粧板貼 (キッチンパネル)
腰	〃
巾木	MDF基材 化粧巾木 H=60～65
床	厚24 構造合板床下地 厚9 耐水合板調整捨貼下地 クッションフロア貼り

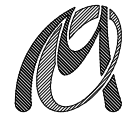
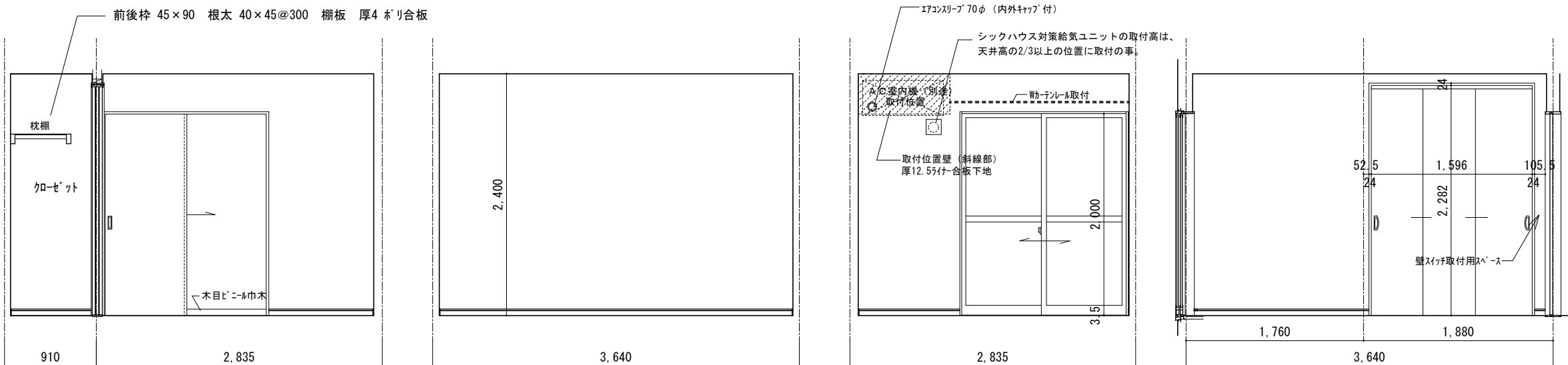


B L 認定キッチンセット参考型番 リクシル・サンウェブ同等品	
品 名	型 番
流し台	GS(M・E)-S-120MXT(R・L)
コンロ台	GS(M・E)-K-60K(R・L)
吊戸棚 (高さ70cm)	
ウォールキャビネット	GS(M・E)-AM-90Z
不燃仕様	GS(M・E)-AM-30ZF(R・L)
コンロ用バックガード	BGH-600
コンロ用サイドカバー	SG-512×160
水切りカバー (7&ミ)	ALMC-180SB
サイドプレート	ALMC-SPSB
レンジフード換気扇	NBH-6387K
屋外フード	WK-25K
給気レギュレーター断熱タイプ	PLGD
フクビ順風断熱タイプ	有効開口120cm ²
屋外フード	FDX15SW
フクビフードD X 北輝	有効開口120cm ²

洋室6帖(1)	
天井	厚9.5 石膏ボード下地 ビニルクロス貼 クローゼット 厚9.5 押入れ用化粧石膏ボード貼
廻縁	塩ビ見切
壁	厚12.5 石膏ボード下地 ビニルクロス貼 クローゼット 厚9.5 押入れ用化粧石膏ボード貼
腰	〃
巾木	MDF基材 化粧巾木 H=60～65
床	厚24 構造合板床下地 厚12 表面強化化粧合板フロア下地



洋室6帖(2)	
天井	厚9.5 石膏ボード下地 ビニルクロス貼 クローゼット 厚9.5 押入れ用化粧石膏ボード貼
廻縁	塩ビ見切
壁	厚12.5 石膏ボード下地 ビニルクロス貼 クローゼット 厚9.5 押入れ用化粧石膏ボード貼
腰	〃
巾木	MDF基材 化粧巾木 H=60～65
床	厚24 構造合板床下地 厚12 表面強化化粧合板フロア下地



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

図面名称

展開図1

図面番号

A-A19

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

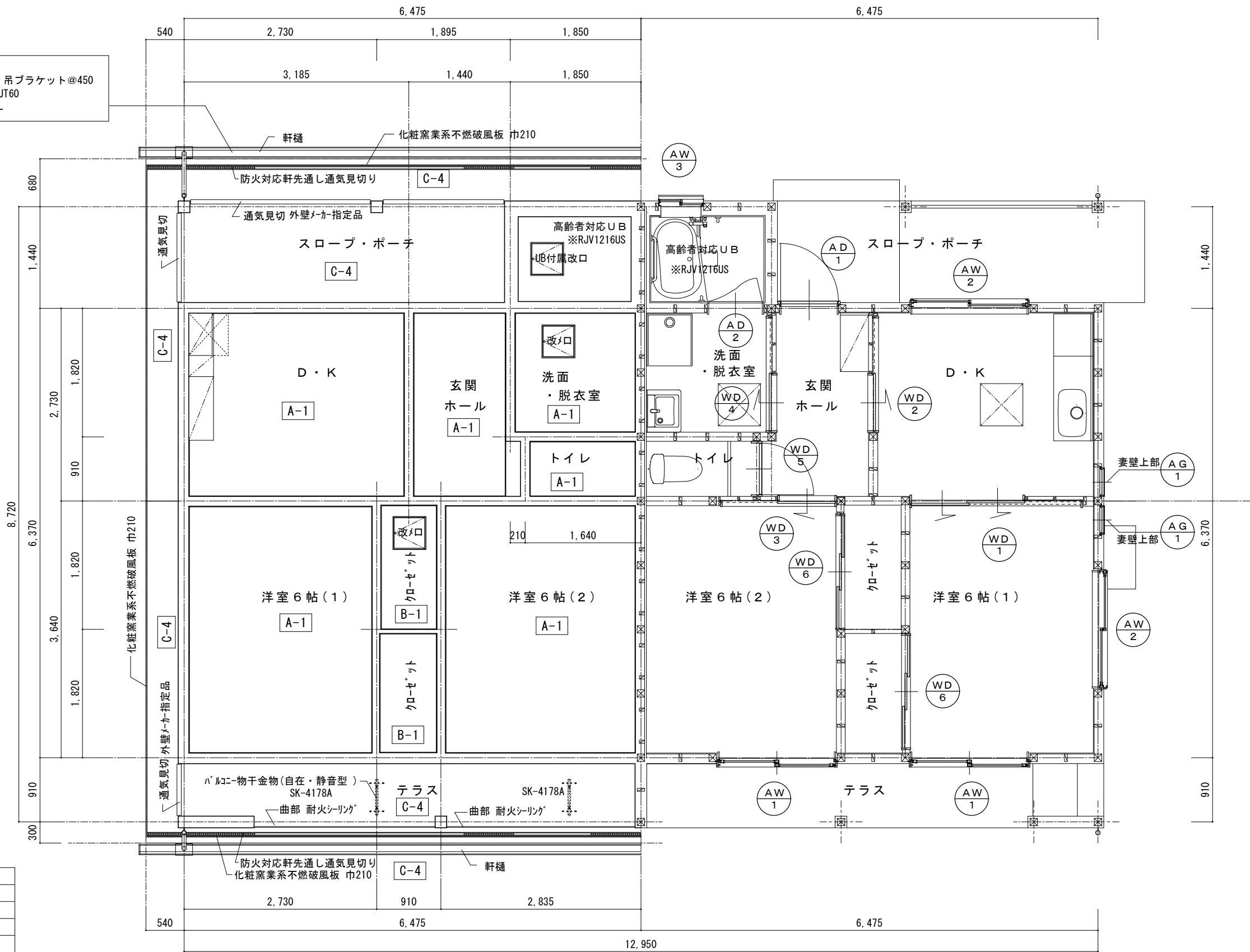
縮尺 A3版標準スケールとする。
1/50

(Aタイプ)

樋参考仕様
軒樋 エスロン住宅用角樋 Σ90 吊ブラケット@450
漏斗 洋風専用じょうごΣ90-Y60-UT60
縦樋 丸トップUT60+排水管カバー

天井改め口 断熱材 450×450

天井仕上記号表	
記号	下地 仕上
A	厚9.5 石膏ボード下地 ビニルクロス貼 準不燃指定
B	厚9.5 押入れ用化粧石膏ボード貼
C	厚12 軒天用化粧無機繊維混入板 (タライ化粧柄品) 準耐火指定
廻縁仕様記号表	
1	塩ビ見切 (フタF見切)
2	MDF基材 化粧廻縁 H=30~35程度
3	化粧鋼板 見切縁
4	突付 ほぞ差し



天井伏図 S=1/60 建具配置図 S=1/60

左右戸は、左右記載表記を
界壁芯にて反転したものとする



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

天井伏図・建具配置図

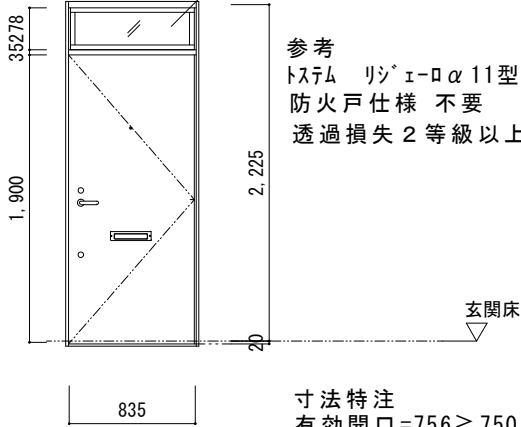
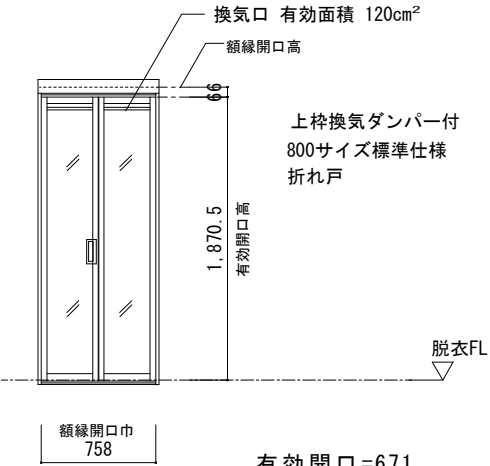
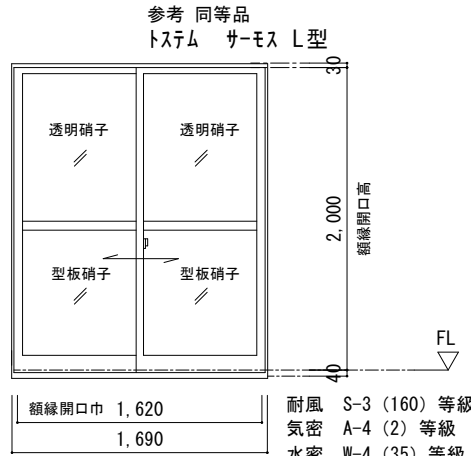
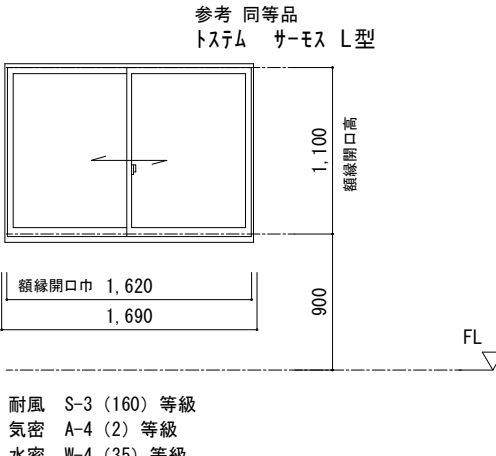
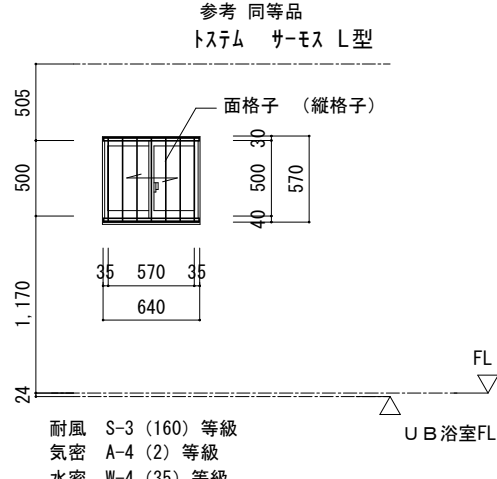
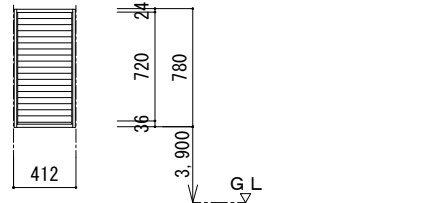
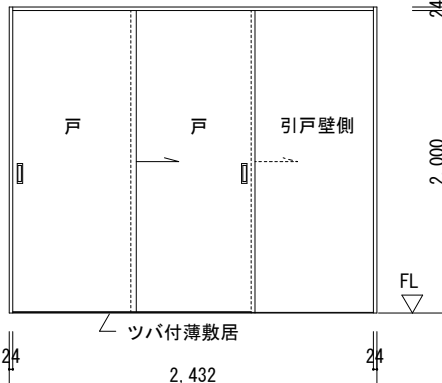
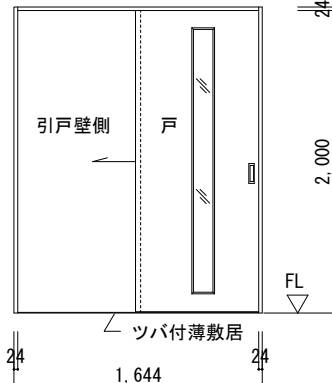
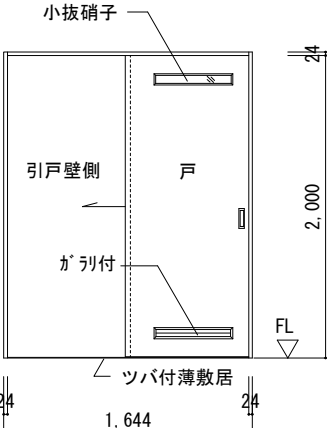
縮尺 A3版標準スケールとする。

1/60

図面番号

A-A21

(Aタイプ)

記号・箇所	AD1 寸法特注 欄間付玄関ドア 左右勝手各1箇所 2箇所	AD2 ユニットバスメーカー付属品 浴室中折ドア 2箇所	AW1 16520 半外テラス引違窓 4箇所	AW2 16511 半外中連引違窓 4箇所	AW3 06005 面格子付引違窓 2箇所
取付室名	外観図 玄関／ポーチ	外観図 浴室／脱衣室	外観図 外部／洋室	外観図 外部／洋室・DK	外観図 外部／UB
形状	断熱k2仕様（2.33W/㎡K）	脱衣側額縁は別途建築工事取付け	開口部熱貫流率 2.33 W/(㎡・K) 透過損失2等級以上	開口部熱貫流率 2.33 W/(㎡・K) 透過損失2等級以上	開口部熱貫流率 2.33 W/(㎡・K) 透過損失2等級以上
内法寸法					
材質	アパート用玄関ドアユニット 断熱バネEPS芯化粧鋼板フラッシュ戸/アルミ材枠アングル付	ユニットバス付属品カラーアルミサッシ	住宅用断熱カラーアル樹脂ハイブリッドサッシアングル付	住宅用断熱カラーアル樹脂ハイブリッドサッシアングル付	住宅用断熱カラーアル樹脂ハイブリッドサッシアングル付
見込	半外付タイプ 27 (79.5)	—	半外付タイプ 27～36 (88～90)	半外付タイプ 27～36 (88～90)	半外付タイプ 27～36 (88～90)
付属金物	丁番 DCドアスコープ下枠用SUSカバーボスト付レバーロック レバーハンドル2ロックDNシリンダー錠標準サムターン付属品一式	開閉取手 ロック 付属品一式	クレセント戸車 付属品一式	クレセント戸車 付属品一式	クレセント戸車 枠付面格子 浴室用防水部品 付属品一式
ガラス	型板 複層ガラス 19 (3+A12+4) k2仕様	型板 樹脂面材	透明／型板 Low-E複層ガラス FL4+A15+LowE3 F4+A15+LowE3	型板 Low-E複層ガラス F4+A15+LowE3	型板 Low-E複層ガラス F4+A15+LowE3
塗装・色柄	メーカー標準カラー	メーカー標準カラー	メーカー標準カラー	メーカー標準カラー	メーカー標準カラー
額縁・枠	MDF木目柄化粧三方枠 ※ 20×ﾀｲ107・ｺｺ104	MDF木目柄化粧三方枠 ※ 20×ﾀｲ137・ｺｺ134	MDF木目柄化粧三方枠 ※ 20×ﾀｲ96・ｺｺ93	MDF木目柄化粧四方枠 ※ 20×ﾀｲ96・ｺｺ93	UB取合い施工図提出 ※UBメーカー施工 樹脂内四方額縁 ※ 見込ﾀｲ180・ｺｺ180程度
備考			網戸付 黒色網	網戸付 黒色網	網戸付 黒色網
記号・箇所	AG1 0407 両矢切 合計2枚/片面×2ヶ所 半外付アルミ屋切換気孔 4箇所	WD1 2420 ノケシingle 固定枠 室内片引戸2枚建 左右勝手各1箇所 2箇所	WD2 1620 ノケシingle 固定枠 室内片引戸（中抜硝子付）2 左右勝手各1箇所 2箇所	WD3 1620 ノケシingle 固定枠 室内片引戸 左右勝手各1箇所 2箇所	WD4 1620 ノケシingle 固定枠 室内片引き戸（小抜硝子・ガラリ付）2 左右勝手各1箇所 2箇所
取付室名	妻壁換気ガラリ 外壁妻壁／小屋裏	外観図 ホール／洋間6帖（1）	外観図 ホール／DK	外観図 ホール／洋間6帖（2）	外観図 ホール／洗面脱衣室
形状					
材質	市販住宅用カラーアルミ矢切換気孔	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）
見込	半外付タイプ 27 (60～75)	戸厚 30～36 メーカーによる	戸厚 30～36 メーカーによる	戸厚 30～36 メーカーによる	戸厚 30～36 メーカーによる
付属金物	カラーアルミ換気固定ガラリ（網付）	戸車 レール 引手 付属品一式	戸車 レール 引手 付属品一式	戸車 レール 引手 付属品一式	戸車 レール 引手 付属品一式
ガラス	—	—	メーカー付属型板硝子	—	メーカー付属型板硝子
塗装・色柄	メーカー標準カラー	メーカー標準色柄	メーカー標準色柄	メーカー標準色柄	メーカー標準色柄
額縁・枠	ダイライト軒天30 厚12	メーカー専用化粧部材枠 壁厚 130用	メーカー専用化粧部材枠 壁厚 130用	メーカー専用化粧部材枠 壁厚 130用	メーカー専用化粧部材枠 壁厚 130用
備考	網付				換気ガラリ付

 Office M 一級建築士事務所 知事登録 20（1）第3525号 一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛 〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel（0824）75-4600	工事名称 第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）	図面名称 建具表1	図面番号 A-A22
	担当 一級建築士 増原 寛	変更訂正年月日 内容記事欄	縮尺 A3版標準スケールとする。 1／50

記号・箇所	WD 50720 ハンゲツグ 固定枠 室内ドア（小抜硝子・ガリ付）2箇所	WD 61623 ハンゲツグ 固定枠 クローゼット連動引戸 4箇所			
取付室名	外観図 ホール／トイレ	外観図 洋間／クローゼット			
形状	参考 同等品 リカシル ランツァS シリーズ	参考 同等品 リカシル ランツァS シリーズ			
内法寸法					
材質	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）			
見 込	戸厚 30～36 メーカーによる	戸厚 30～36 メーカーによる			
付属金物	丁番 レバー・ハンドル 表示錠 ドアストッパー 付属品一式	埋込Vレール 引手 戸車 ブレーキ 付属品一式			
ガラス	メーカー付属型板硝子	—			
塗装・色柄	メーカー標準色柄	メーカー標準色柄			
額縁・枠	メーカー専用化粧部材枠 壁厚 130用	メーカー専用化粧部材枠 壁厚 112用			
備 考	換気ガラリ付				

雑
部
品
図

表 札 アルミ室名札 詳細図

S = 1 / 3

※ 参考株式会社ナスタ
アルミ室名札
KS-N22A
KS-N22AB

公団住宅標準詳細設計図集 A E - 8 1 4
室名札板 A - 1 型

※ ルームナンバーは、シール貼付標準位置を示す。
カッティングシール丸ゴシック文字入れ

材質 : アルミニウム
仕上 : H L , アルマイト処理, クリアー塗装
色 : シルバー, ブロンズ
表現外寸法 : 1 2 5 x 2 5 0

木造用鉄筋コンクリート部分構造特記

適用範囲

1. 「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築工事共通仕様書」最新年度版及びフラット35対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）及び日本住宅性能表示基準（国土交通省）による。
2. 図面、特記仕様書に記載してある事項以外は、この基準に寄る。
3. 使用鉄筋は原則として異形鉄筋JISG3112の規格品とし、溶接金網はJISG3551之規格品とする。
4. 特に設計者の指示のある場合には、その指示に従うものとする。

1. 共通事項

A. 鉄筋の表示記号

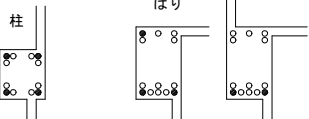
表示記号	/	×	∅	●	○	⊙	⊗	◎
異形鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32

- (1) この配筋基準図は異形鉄筋で表示してあるが、特記で丸膏と指定されている場合は、その径を上記鉄筋径欄該当の径に読み替えるものとする。
- (2) 上記の表示記号を使用しない場合は特記による。
- (3) 上記の表示記号は、この配筋基準図には適用しない。

B. 異形鉄筋の末端部

下記の場合はフックを付ける。

- (1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合。
- (2) はり主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。
- 但し基礎ばりを除く。



- (3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合）。
- (4) 杭基礎のベース筋。

~~(5) 帯筋、あばら筋及び巾止め筋。~~

C. 鉄筋の折曲げ加工

- (1) 末端部の折曲げ。

曲げ 角度	折曲げ図	すべてのコンクリート				使用箇所
		SR 235 SRR 235 SD 235 SDR 235	SD 295 SD 345	SD 295 SD 345	SD 390	
180°		D	3d以上	4d以上	5d以上	 柱、はりの主筋及び杭基礎のベース筋並びに径16mm以上の鉄筋
		L	11d以上	12d以上	14d以上	
135°		D	3d以上	4d以上	—	 径13mm以下の鉄筋並びにあばら筋、帯筋、スパイラル筋及び床版筋
		L	11d以上	12d以上	—	
90°		D	3d以上	4d以上	—	 T形及びL形はりのあばら筋
		L	12d以上	12d以上	—	
90° 135°		D	3d以上	4d以上	—	 巾止め筋
		L	8d以上	8d以上	—	
		L'	9d以上	10d以上	—	

- (注) 1. Dは、曲げ内のり直径
2. L及びL'は、フック部分の長さ

- (1) 末端部の折曲げ。

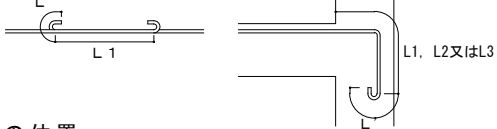
曲げ 角度	折曲げ図	すべてのコンクリート				使用箇所
		SR235 SRR235	SD235 SDR235	SD295 SD345	SD390	
90° 以下		D	3d以上	4d以上	—	 あばら筋、帯筋、スパイラル筋
90° 以下		D	5d以上	5d以上	—	 径16mm以下の床版筋、壁筋
90° 以下		D	6d以上	6d以上	—	 上記以外の鉄筋で、丸鋼は28mm以下、異形鉄筋はD25以下
90° 以下		D	8d以上	8d以上	—	 上記以外の鉄筋で、丸鋼は32mm以下、異形鉄筋はD29以上D41以下

D. 鉄筋の継手及び定着の長さ

(Fo)が210Kg/Cm2以上270Kg/Cm2未満の場合。

鉄筋の 種 別	設計基準 強 度 Fo (Kg/Cm2)	フックなし				フックあり			
		L1	L2	L3		L1	L2	L3	
				小ばり	床版			小ばり	床版
SR235 SRR235	21以上 27未満	—	—	—	—	35d	35d	25d	150mm
SD235 SDR235	21以上 27未満	30d	25d	25d	10d 且つ 150mm 以上	20d	15d	15d	—
SD295 SD345	21以上 27未満	40d	35d	25d	10d 且つ 150mm 以上	30d	25d	15d	—
SD390	21以上 27未満	45d	40d	25d	10d 且つ 150mm 以上	35d	30d	15d	—

- (注) 1. L1：継手並びに下記2.、及び3.、以外の定着の長さ。
2. L2：異形鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所の定着の長さ。
3. L3：小ばり及びスラブの下端筋の定着の長さ。但し、基礎耐圧版、これを受ける小ばりなどを除く。
4. フックのある場合の、L1、L2及びL3は下記に示すようにフックの部分L'を含まない。



E. 隣接継手の位置

フックのある場合	L		L	
	a	a	a	a
フックのない場合	a = 0.5L	a = 0.5L	a = 0.5L	a = 0.5L
	a = 0.5L	a = 0.5L	a = 0.5L	a = 0.5L
圧接の場合	a ≥ 400mm	a ≥ 400mm	a ≥ 400mm	a ≥ 400mm
	a ≥ 400mm	a ≥ 400mm	a ≥ 400mm	a ≥ 400mm

(注) スラブ及び壁の場合は除く。

2. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

A. 鉄筋の最小かぶり厚さ (mm)

構 造 部 分 の 種 別				すべてのコンクリート
土に接しない部分	床版、耐力壁 以外の壁	仕 上 げ あ り		30
		仕 上 げ な し		40
	柱 は り 耐 力 壁	屋 内	仕上げあり	40
			仕上げなし	40
		屋 外	仕上げあり	40
			仕上げなし	50
	擁 壁			50
土に接する部分	柱、はり、床版、壁			*50
	基礎、擁壁、耐圧床版			*70
煙突など高熱を受ける部分				70

- (注) 1. *印のかぶり厚さは普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
2. 仕上げありとは、モルタル塗りなどの仕上げのあるものとし、吹付け塗装などの鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものは除く。
3. スラブ、はり、基礎及び擁壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。

B. 鉄筋相互の間隔

下記の値のうち最大のものとする。

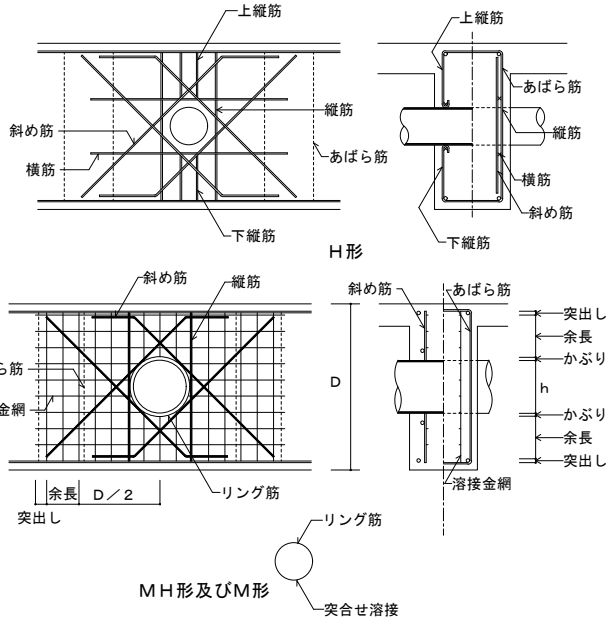
- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 丸鋼では径の1.5倍、異形鉄筋では径の1.7倍

C. 主筋と軸方向鉄骨との間隔

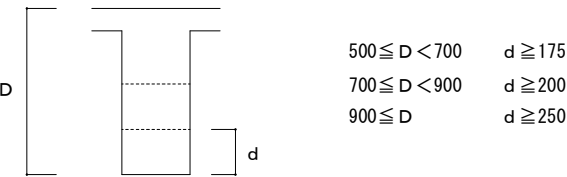
25mm以上とする。

1.1. はり貫通孔の補強

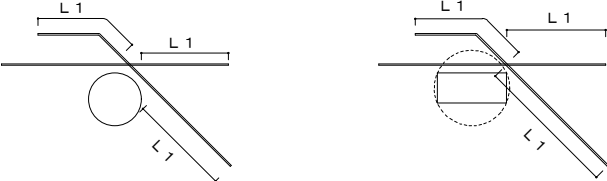
- (1) はり貫通孔補強筋の名称



- (2) 孔の径は、はりせいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- (3) 孔の上・下方向の位置



- (4) 孔の中心位置の限度は、柱及び直交するはり（小ばり）の面から原則として1.2D（Dは、はりせい）以上離す。
- (5) 孔の並列する場合は、その中心間隔は孔の径の平均値の3倍以上とする。
- (6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- (7) 鉄筋の定着長さ。



- (8) 孔の径が、はりせいの1/10以下且つ150mm未満のものは、補強を省略することが出来る。
- (9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突き出しは10mm以上。
- (10) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

1.4. その他の事項

- (注) 特記事項は⊙印のあるものを適用する。
- ⊙印のない場合は、※印のあるものを適用する。
- ⊙と※印のある場合は、共に適用する。

A. コンクリート特記事項

1. 設計基準強度

設計基準強度 (N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所
Fo=21	15 ・ ⑱	躯体・内部床・ベタ基礎
Fo=18	⑮ ・ 18	外部床土間、外部工作物
Fo=		
Fo=18	15	捨コンクリート

2. レディーミクストコンクリート種別

※Ⅰ類（JIS表示許可工場製品）・Ⅱ類（左記工場以外の製品）

3. セメントの種別

特記無き限り、普通ポルトランドセメントを使用するものとする。

上記以外のセメントを使用する場合は、監督員の承認を受ける事。

4. 混和材料

※AE減水材標準型（塩化物を含む物を除く）

5. コンクリート試験

各1工程毎、かつ150m3毎を基準として行う。

B. 鉄筋特記事項

1. 一般事項

鉄筋の使用範囲、継手及び補強配筋等については共通仕様書の外、構造設計図による。

2. 材料

異形鉄筋	種 別	径	備 考
	SD 295	D16以下	
	SD 345	D19以上	

溶接金網 線径 mm、 網目 mm × mm

使用場所

スパーサー ・ 金属製 ⊙モルタル製 ⊗塩ビ製

3. 加工組立て

継ぎ手	接合方法	径	施工場所
	重ね継ぎ手	D16以下	柱、梁、主筋
	重ね継ぎ手	D16以下	その他
	ガス圧接	D19以上	

帯 筋 ~~形式~~ 形（特記無き限り、H形とする）

かぶり厚さ 共通仕様書による。

外壁の打ち増し部は、かぶり厚さに算入しない。



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号

一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）

担当

一級建築士 増 原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

構造特記仕様書（木造）1

縮尺

A3版標準スケールとする。

1/1

図面番号

A-S01

（Aタイプ）

木造特記仕様書（構造関係） 共通仕様事項 （１）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築木造工事標準仕様書（最新年度版）」（以下、「木造標準仕様書」という。）及びフラット３５対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）及び日本住宅性能表示基準（国土交通省）による。				6 軸組構法（軸構造系）工事	1	木材	<6.2.2> 軸組構法（軸構造系）工事に使用する木材は、使用材料表１による	6 軸組構法（軸構造系）工事	9	接着剤	<6.2.4> ○床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類（床根太用接着剤JIS A 5550） 種類（ ） ○接着剤による接合 ○接着剤を併用した接合 接着剤の種類（ フロリングメーカー指定品 ）
章		項 目	特 記 事 項		2	構造用面材	<6.2.3> 軸組構法（軸構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表４による		10	現寸図	<6.4.2> 床書き現寸図を作成する
					3	接合金物	<6.2.4> Z、C、D、Sマーク表示金物 Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 使用位置・規格・強度 フラット３５対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）による。 ○Z、C、D、Sマーク表示金物以外 ※図示		11	孔あけ加工	<6.4.5> ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表5.4.2による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示 <6.4.6>（18.14.2） 見え掛り面の表面仕上げ ・製材 機械加工 ・A種 ○B種 ・C種 <表6.4.2> 手加工 ・H-A種 ○H-B種 ・H-C種 <表6.4.4> ・集成材 機械加工 ・A種 ※B種 <表6.4.3> ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ○B種
					4	釘及び木ねじ	<6.2.4><6.5.10> 釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘 種類 材質 その他 ○鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ○太め鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ○ステンレス鋼くぎ ステンレス製 ・ ・ 木ねじ（JIS B1112又はJIS B 1135）、その他の木ねじ 種類 材質 その他 ○十字穴付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1112 ○すりわり付き木ねじ ステンレス製 JIS B 1135 ・ ・		12	表面の仕上げ	<6.5.3> 埋込み深さ ※図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ○B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示 <6.5.4> 材料 ・木造標準仕様書6.5.4(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示 柱底均しモルタルの工法 ※B種 ・A種
					5	ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金	<6.2.4><6.5.11> Z、C、D、Sマーク表示金物 Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 使用位置・規格・強度 フラット３５対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）による。 ○Z、C、D、Sマーク表示金物以外 ※図示		13	アンカーボルトの設置	<6.5.7> 建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下 ・図示 <6.5.9> 熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ○埋め木 ○簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材（JIS A 9526） ・（ ）
5	軸組構法（壁構造系）工事	7	枠組壁工法工事	8	丸太組構法工事	9	CLTパネル工法工事	5・7～9は該当なしで適用しない	17	釘及び木ねじの工法	<6.5.10> 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ○釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木 ○木ねじ頭現し平坦迄 該当なし 該当なし <6.6.2> ・木製の火打土台 ・鋼製火打土台 ○剛床合板工法で不用 <6.7.8><6.8.6> 小屋組 ○木製の火打梁 ○鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 ・木製床束 ○鋼製床束 ・樹脂製床束 <6.8.2>
 Office M 〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel. (0824) 75-4600 一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号 一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛 工事名称 第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 担当 一級建築士 増原 寛 図面名称 構造特記仕様書2 図面番号 A-S02 変更訂正年月日 内容記事欄 縮尺 A3版標準スケールとする。 1／1 (Aタイプ)											

<5. 2. 2>

施工箇所	樹種	構造材の種類	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等 の適用
		・ 構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・ 構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級		・ SD15 ・ SD20		・

施工箇所	樹種	曲げ性能 (等級)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等 の適用
				・ SD15 ⊙SD20		・

等級	E 50	E 70	E 90	E 110	E 130	E 150
曲げヤング率 ($\times 10\text{N/mm}$)	3.9以上 ～5.9未満	5.9以上 ～7.8未満	7.8以上 ～9.8未満	9.8以上 ～11.8未満	11.8以上 ～13.7未満	13.7以上

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・ 特等 ・ 1 級 ・ 2 等				・

施工箇所	寸法 (mm)	樹種	含水率 (%)	保存処理	強度試験	等級 (材面の品質)	間伐材等 の適用
					・ 製材のＪＡＳ規格第６条 (対象部材：) ・ 縦振動ヤング係数測定 (対象部材：)	・ 製材のＪＡＳ規格第６条 ・ 旧ＪＡＳ規格第１０条 ひき角類１等	・

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
					.

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用
		・ 1 級 ・ 2 級		・ SD15 ・ SD20		・

[illegible]

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面 の品質	間伐材等 の適用
		芯材：				・ 1 等 ・ 2 等	・

該当なし

<6. 2. 3>

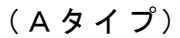
[illegible]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・ 1 類 ・ 特類	・

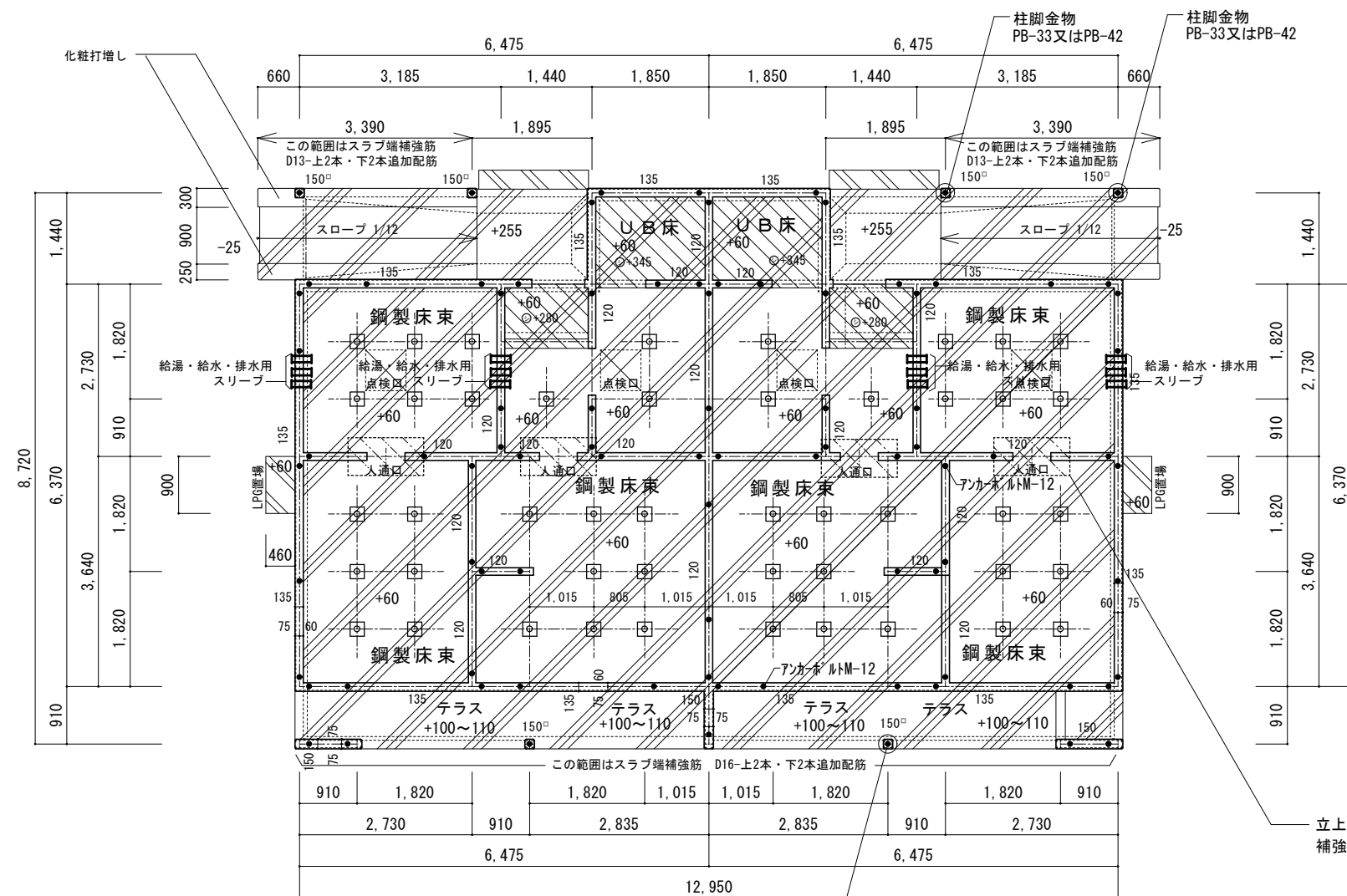
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用

施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用
		・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 ・ 4 級	・

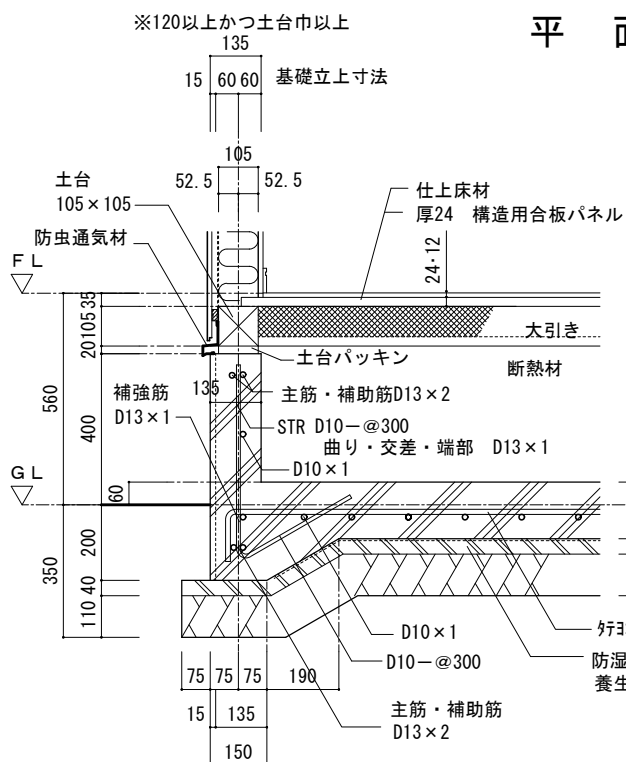
該当なし



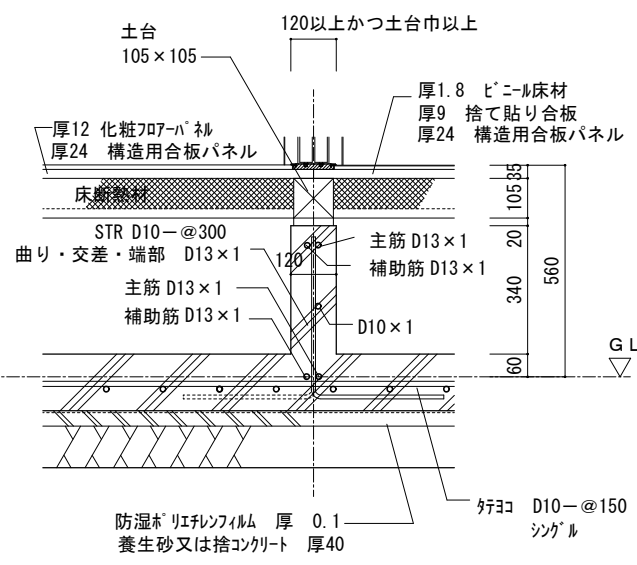
内容記事欄



平面図 S = 1 / 100



基礎一般詳細図 S = 1 / 20



テラス基礎詳細図 S = 1 / 20

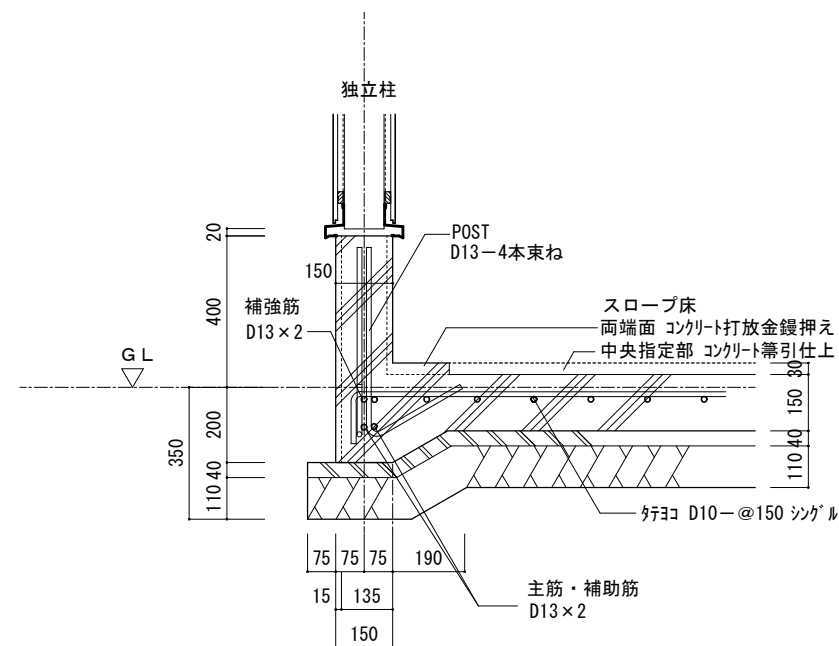
- 基礎ベース厚150コンクリートを示す
好コ D10-@150 シングル配筋
- 立上開口（人入口）の
スラブ補強位置を示す
人入口の開口幅は600mm以下とする。
この範囲の配筋はD13を好コ共@150
シングル配筋スラブ筋の中間に補強配筋する。
- 土間コンクリートを示す
6mmメッシュ100×100シングル配筋
又はD10-@200メッシュシングル配筋
特記外 厚100とする
- シングルコンクリートを示す
6mmメッシュ100×100シングル配筋
又はD10-@200メッシュシングル配筋
特記外 厚100とする

立上開口（人入口） 4ヶ所
補強範囲は巾600×長さ1,200（開口600）

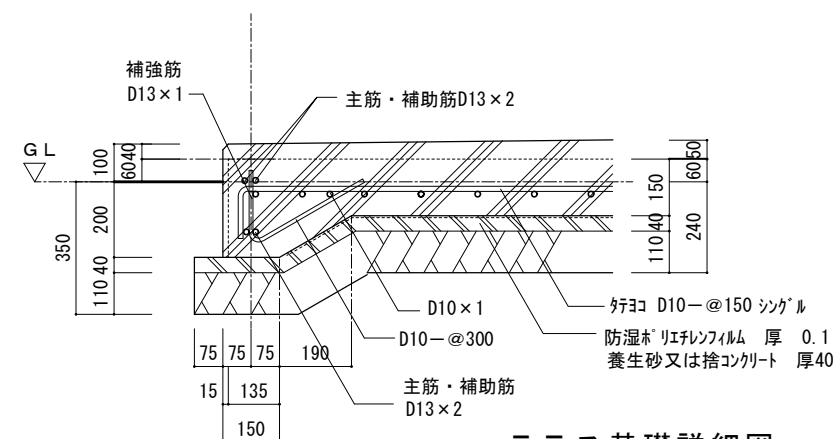
床下換気孔の方式
ねこ土台方式床下換気孔により、住宅金融機構承認床下換気装置による。
パッキン厚は20mmとし、メーカー特記仕様による。
アンカーボルト
ホールダウン金物の取り付け部分以外のアンカーボルトは、
M-12以上とし、耐力壁・筋違いの取り付け両側及び端部
・土台継手部としその他の部分は@2,000以下に取付ける事

基礎タイプ ベタ基礎構造
使用材料
基礎コンクリート強度
FC=21+3=24 N/cm²
スラブ 18cm
鉄筋 SD295

※ 地耐力30KN/m²以上とする。
補強筋は、開口部直下に施すか全部に施す事。
基礎立上り巾は120以上とする。



独立柱基礎詳細図 S = 1 / 20



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 TEL (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

基礎図

縮尺

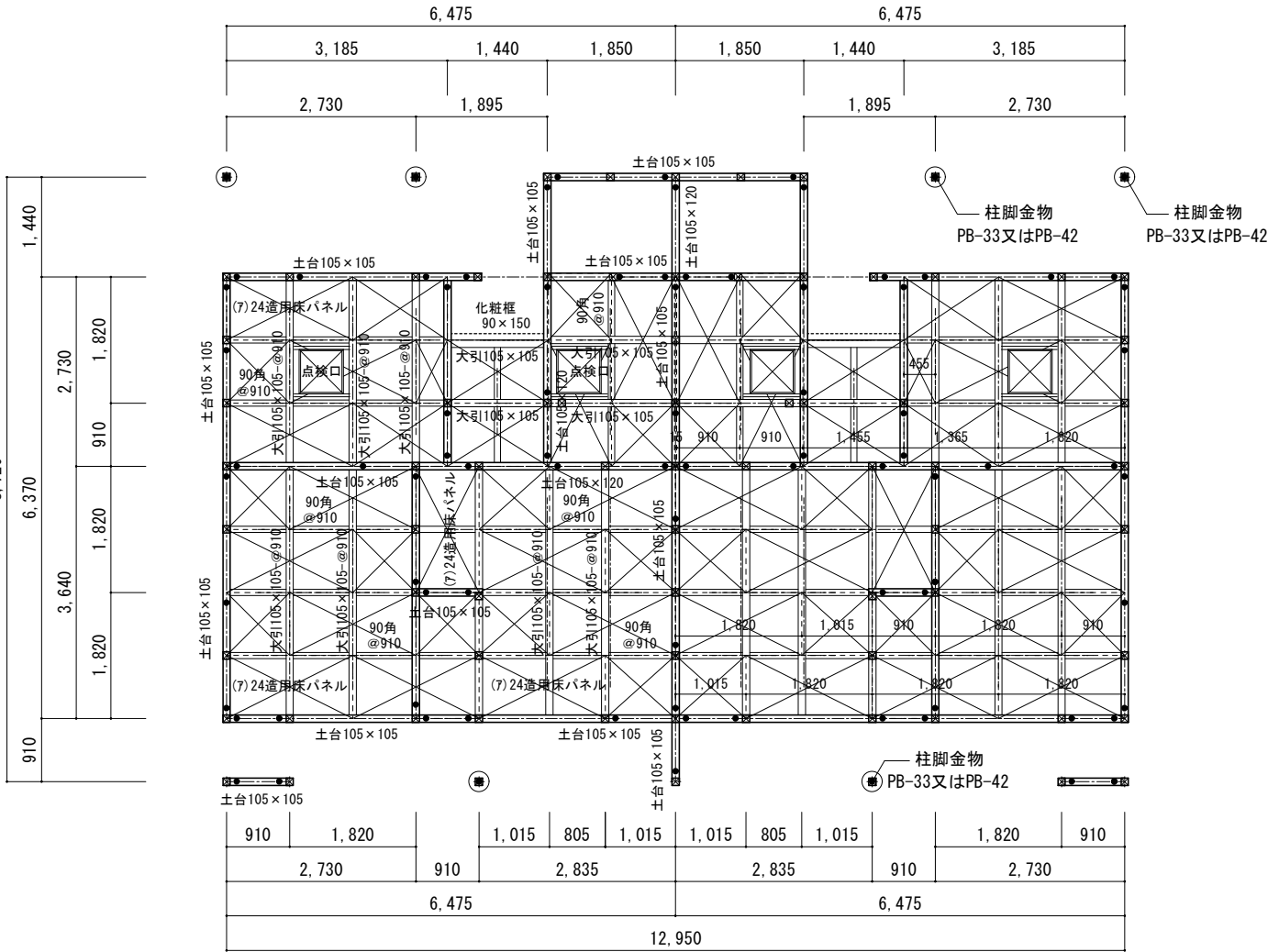
1/100

1/20

図面番号

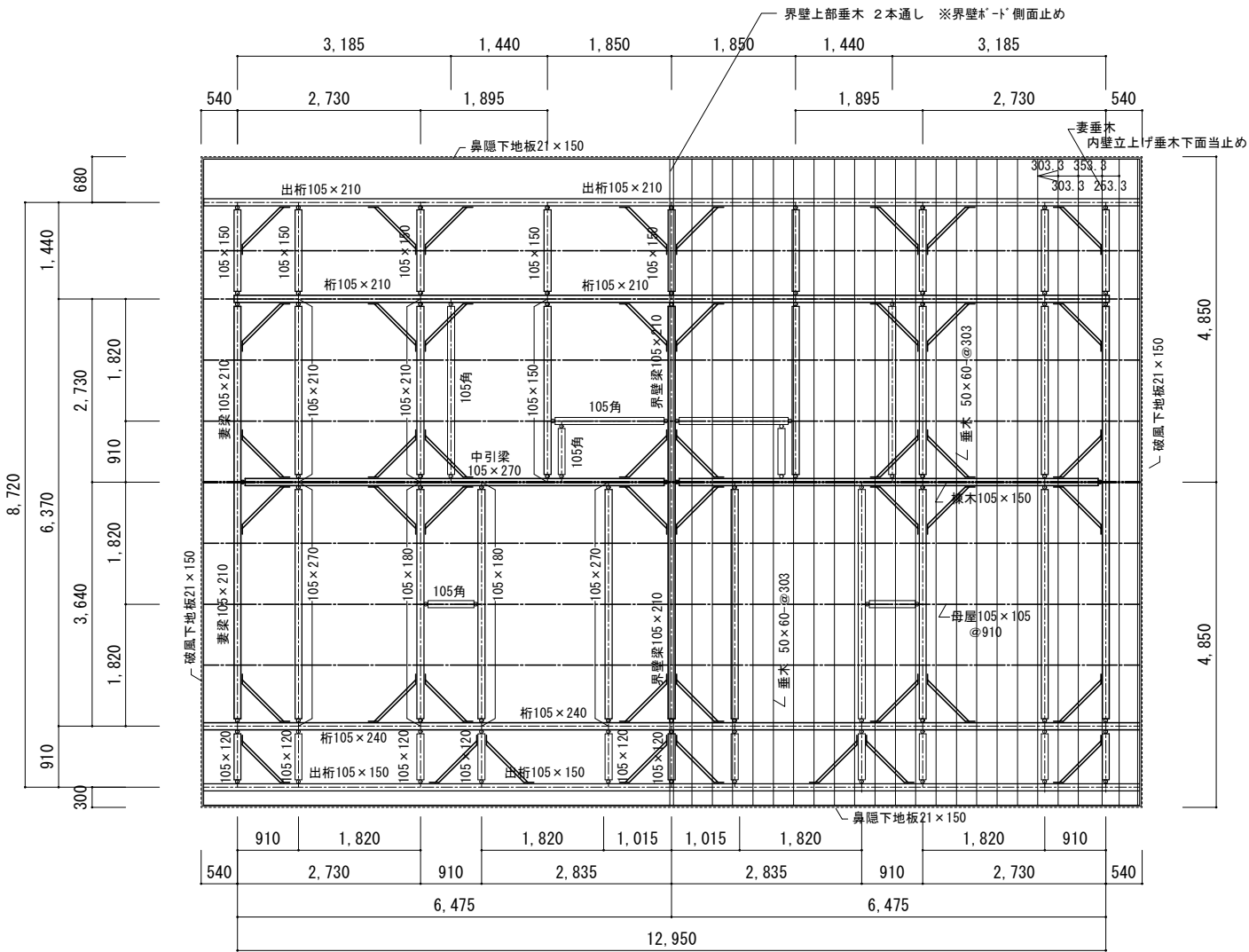
A-S04

（Aタイプ）



床 伏 図 S = 1 / 1 0 0

※土台材は全て防腐防蟻処理K3相当以上の土台用材又は、桧とする。



小 屋 伏 図 S = 1 / 1 0 0

※ 共通柱仕様
隅柱・管柱は全て杉・ 105角以上とする。

凡 例
火打ち金物
公庫指定 HB金物
又は90×90以上の木材とする。

※ 共通注記
記載事項 記載事項は中央界壁芯を境に左右同形状にて同一仕様とし省略記載する
使用木材 素材、製材、各種合板、集成材の品質は、日本農林規格（JAS）に適合したものとし、なるべく庄原市内産地品・広島県内産を使用する。
柱の逃げ・梁の逃げ方向と寸法に注意する事。
桁梁・梁材・母屋・垂木材は全て国内県内産杉材とする。
材料の変更は係員監督員と協議の上 承諾を得る事。
1階の床組みは、構造用合板厚24mmパネル面材による剛床工法とする。
構造施工図は 監督員と打合わせの上承認を必ず受ける事。



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ（0824）75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20（1）第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）

担当

一級建築士 増 原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

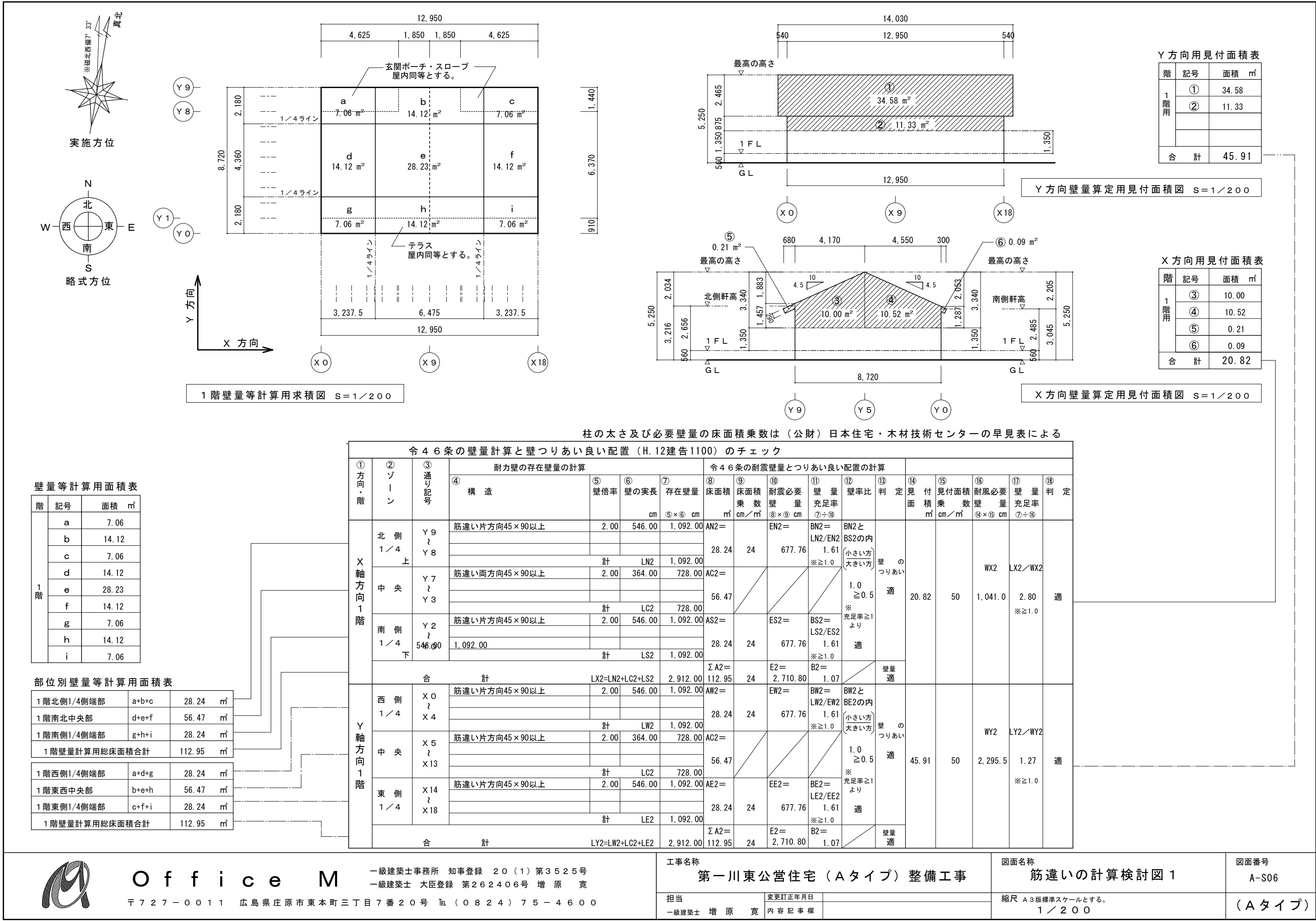
木構造伏図

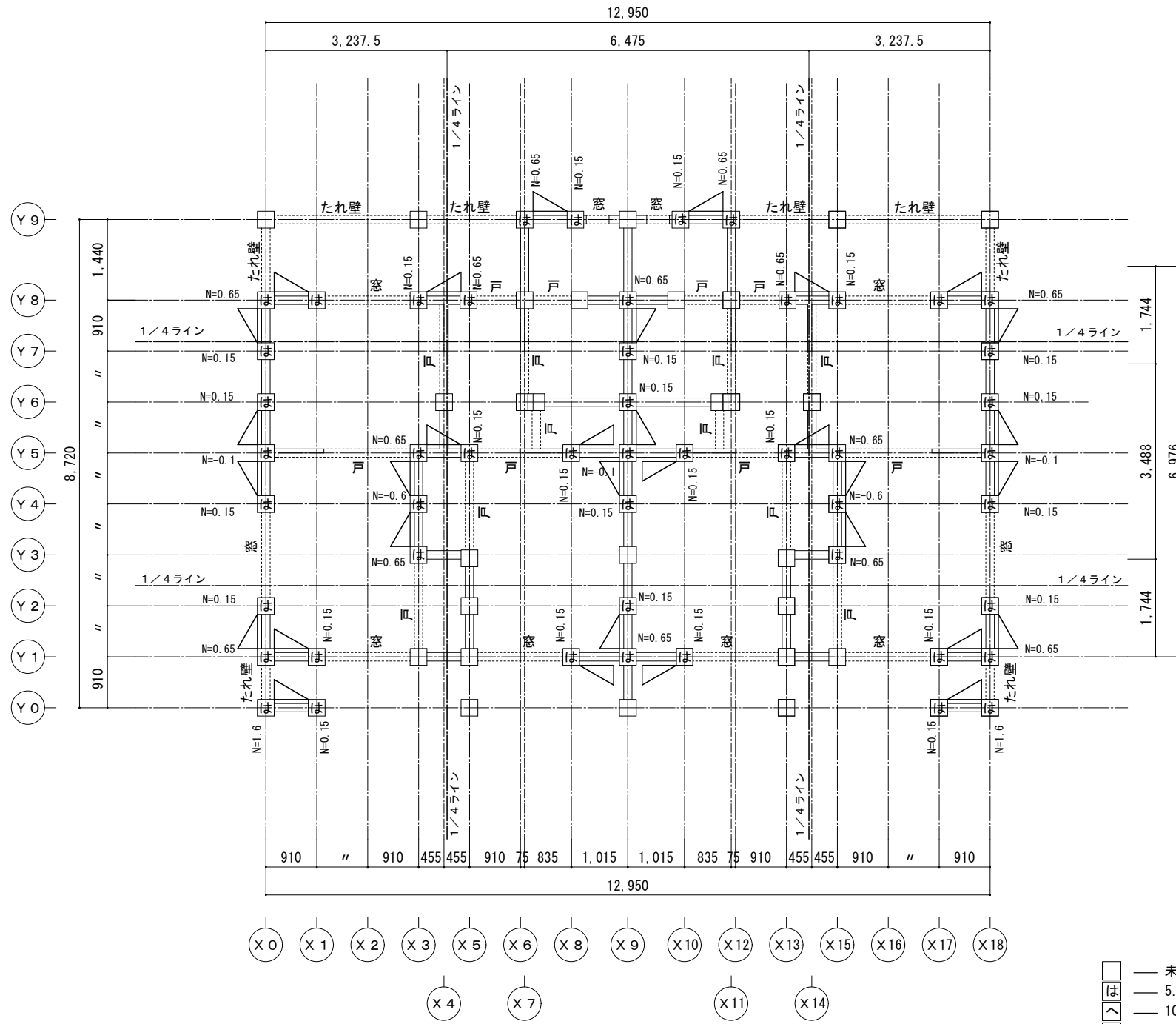
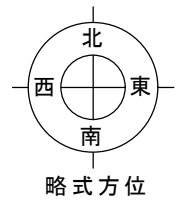
縮尺 A3版標準スケールとする。
1/100

図面番号

A-S05

（Aタイプ）



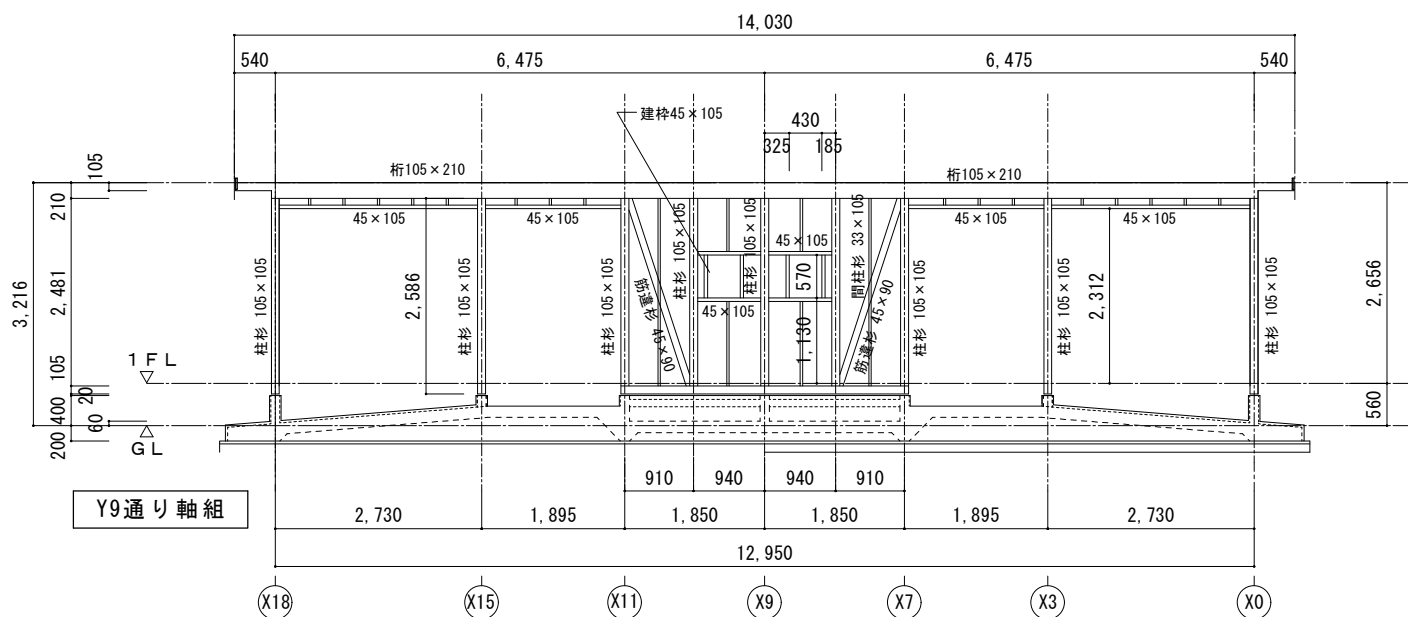
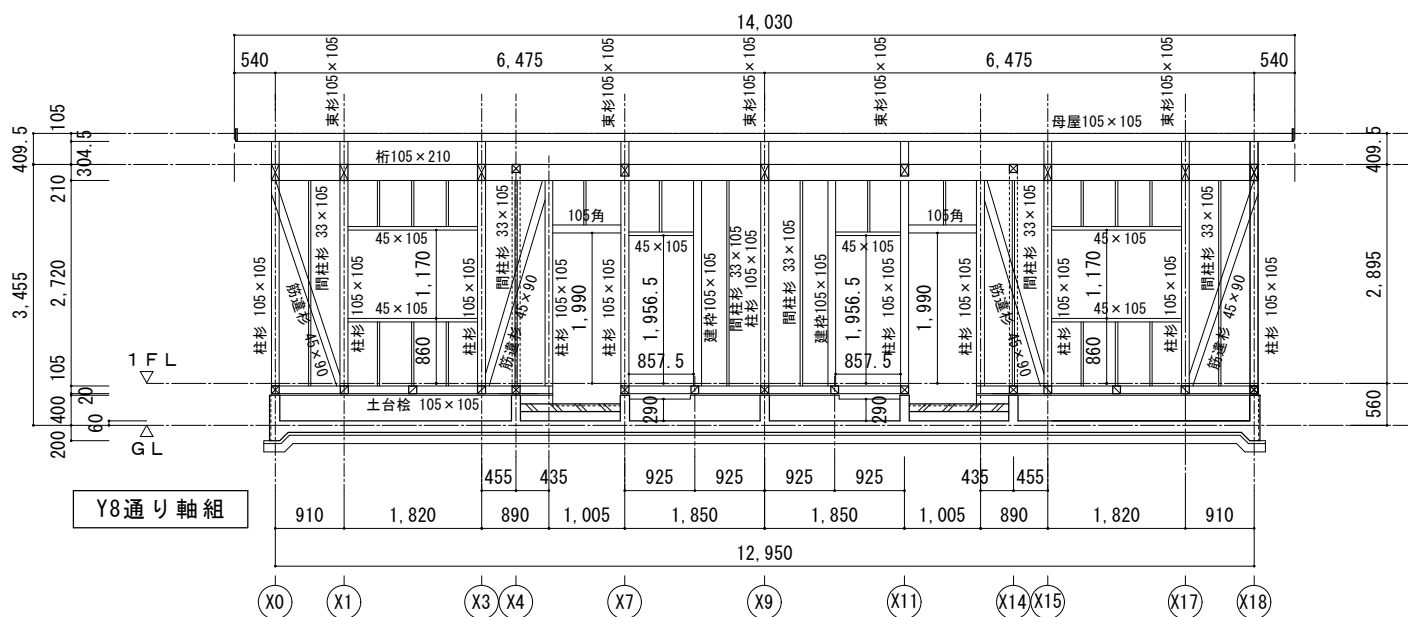
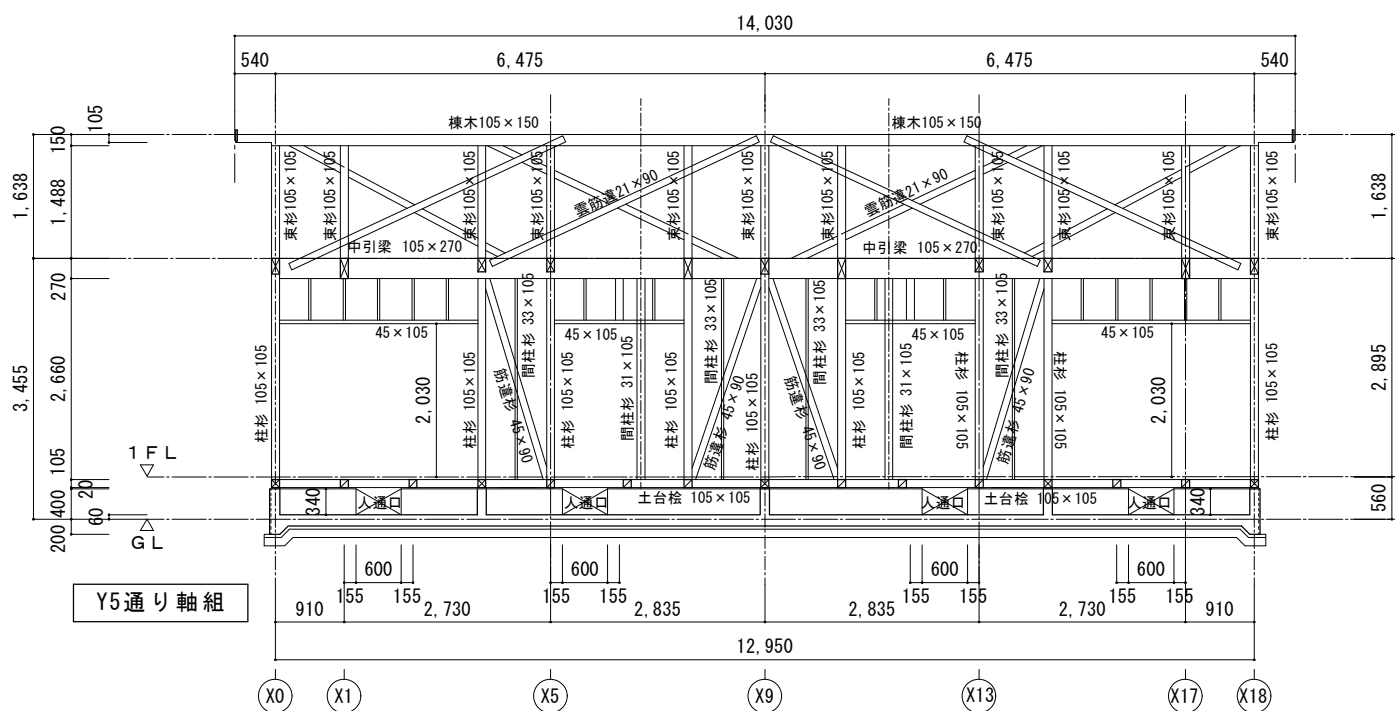
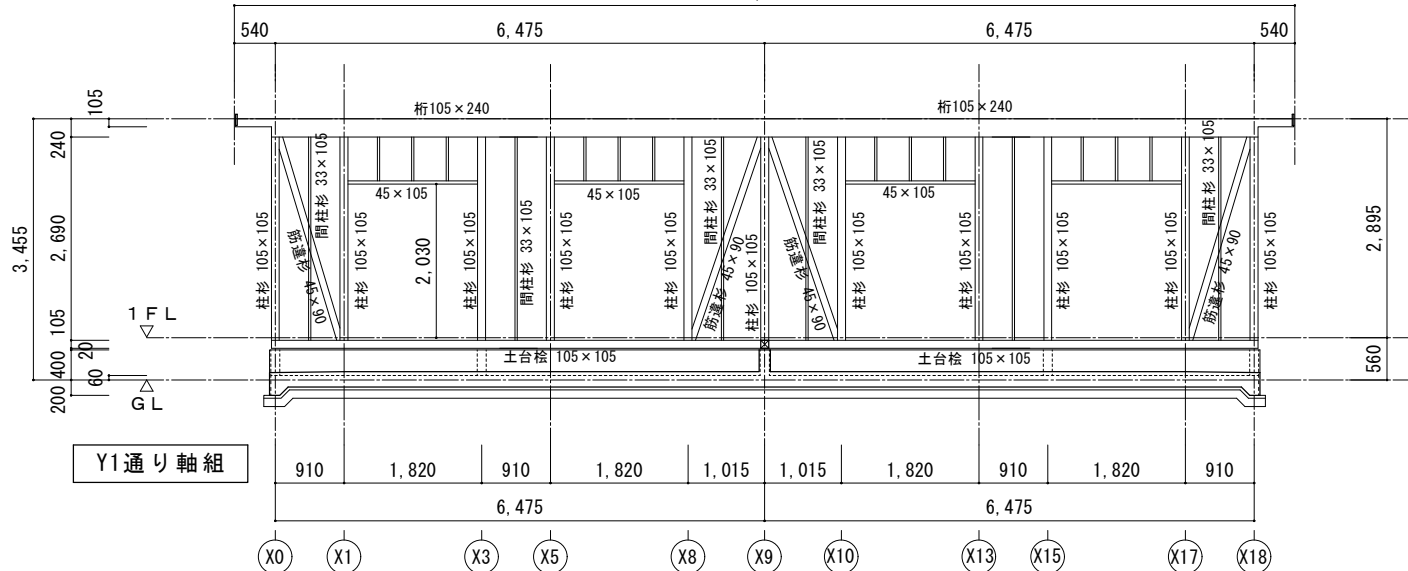
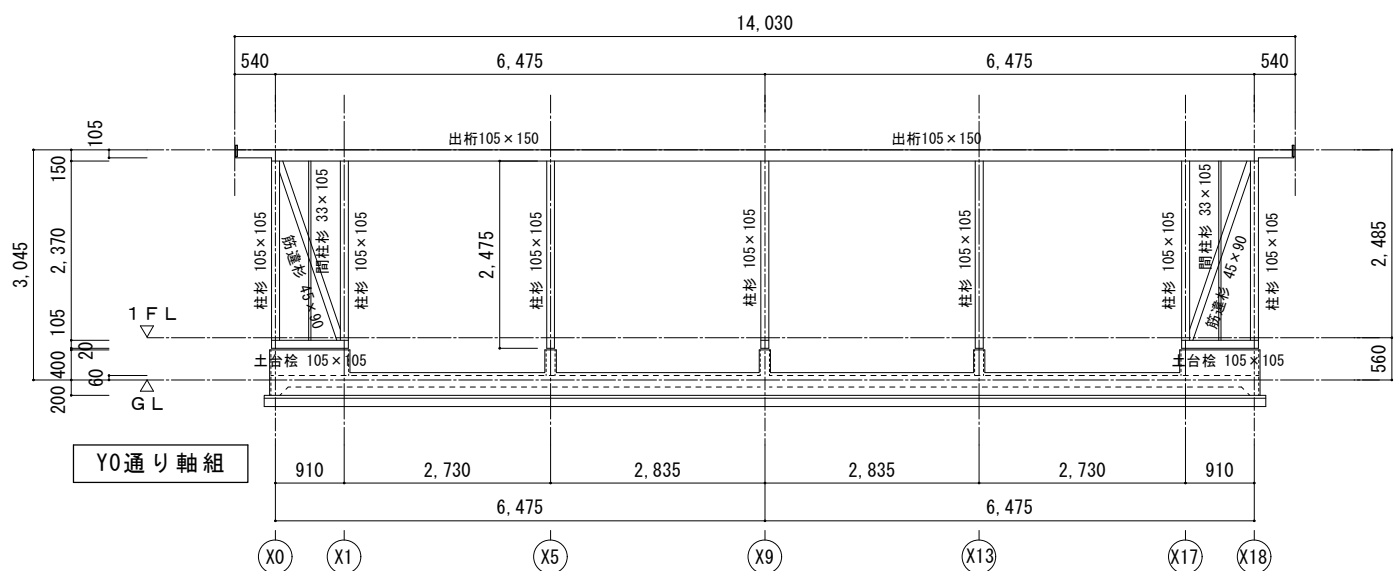


1 階 柱 ・ 壁 ・ 筋 違 伏 図 s=1/100

- — 未記入は「い」とする。
- は — 5.1KN CP-T VP
- へ — 10 KN 鈎金物特殊認定品 S10A02-6又は、「は」×2
- と — 15 KN HD-B15
- り — 25 KN HD-B25
- ぬ — 30 KN HD-B15×2組

柱記号凡例	特記事項	柱頭・柱脚記号は、平成12年5月31日 建設省告示 第1460号 第二項の表三による。						
	記 号	無記号柱仕口 い 同等	は 同等	へ 同等	と 同等	ち 同等	り 同等	ぬ 同等
	耐 力	0.0KN	5.1KN	10KN	15KN	20KN	25KN	30KN
		短ぼぞ差し かすがい打ち 山形プレート釘打 角金物・平金物を当て釘打 長ぼぞ差し、込みせん打ち	CP-T VP 三角プレート コナプレート・ビスタイプ はしらどめ付部・2枚 はしらどめ次郎・2枚	鈎金物特殊認定品 S10A02-6	HD-B15	HD-B20	HD-B25	HD-B15 ×2組

壁・筋違い凡例	※ 共通柱仕様 隅柱は全て杉105角以上とする。 隅柱以外の管柱は杉105角以上とする。		※ アンカーボルト ホールダウン金物の取り付け部分以外のアンカーボルトは、M-12以上とし、 耐力壁・筋違いの取り付け両側及び端部・土台継手部としその他の部分は@2,000以下に取付けれる事			
	記 摘要 号 倍率					
	仕	木造筋違い 45×90以上 なすき掛け 令46条の表一該当	木造筋違い 45×90以上 一方向 令46条の表一該当	木摺り片面 令46条の表一該当	JAS構造用合板φ9.0 釘N50@150 受材30×40 S.56建告1100第1～第三号の 別表第二（一）該当	石膏ボードφ12.5 釘GNF4@150 胴縁15×45-@300 S.56建告1100第1～第三号の 別表第二（四）該当
	様	筋違プレート BP-2	筋違プレート BP-2			S.56建告1100第1～第二号該当



※ 共通注記
 柱の逃げ・梁の逃げ方向と寸法に注意する事。
 構造施工図は 監督員と打合わせの上承認を必ず受ける事。
 隅柱・管柱は全て杉・ 105角以上とする。
 筋違は全て杉・45×90以上とする。



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
 一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

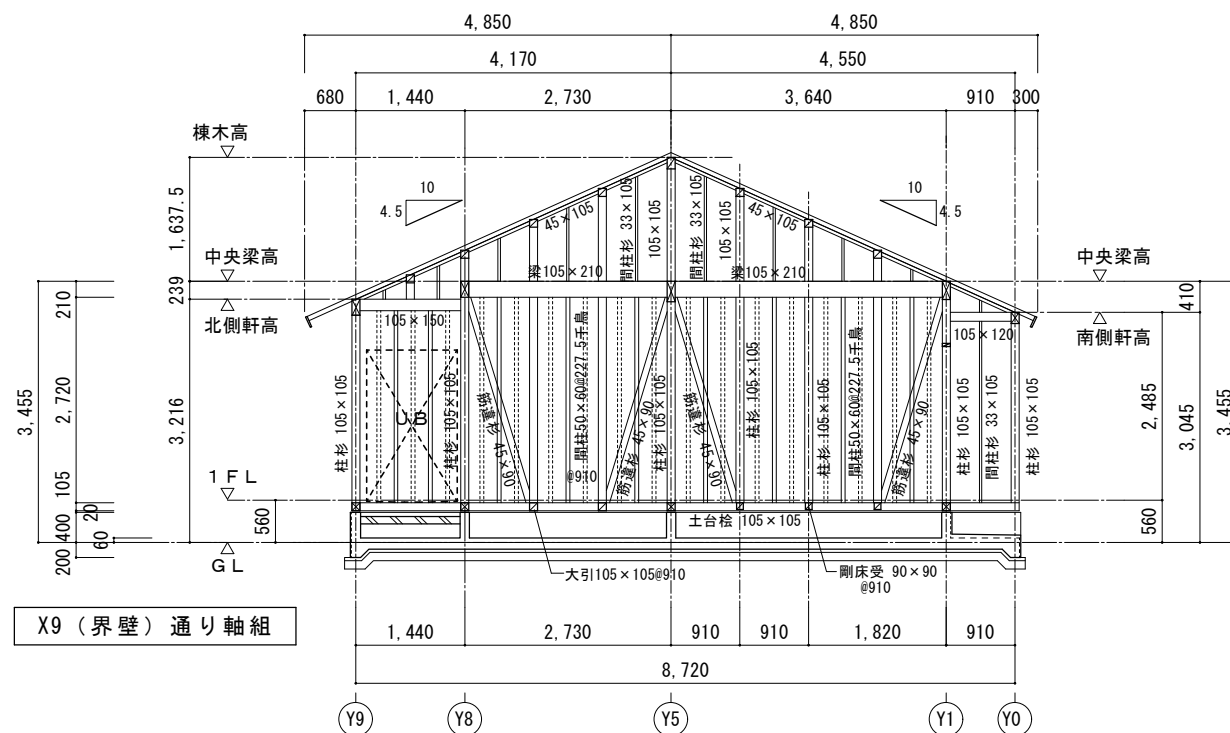
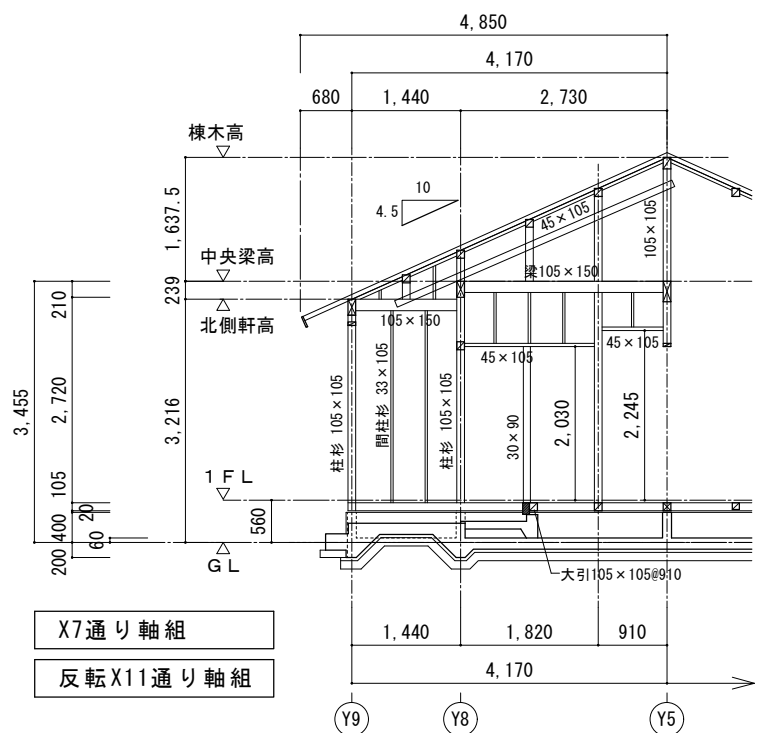
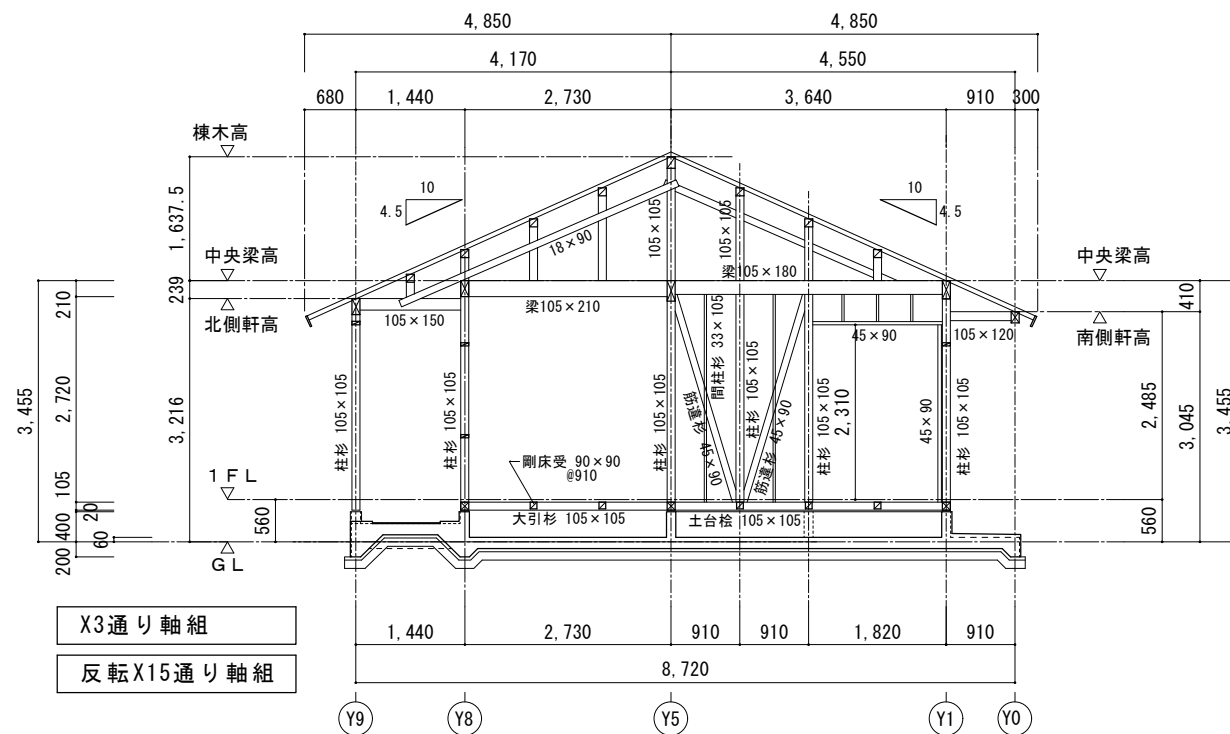
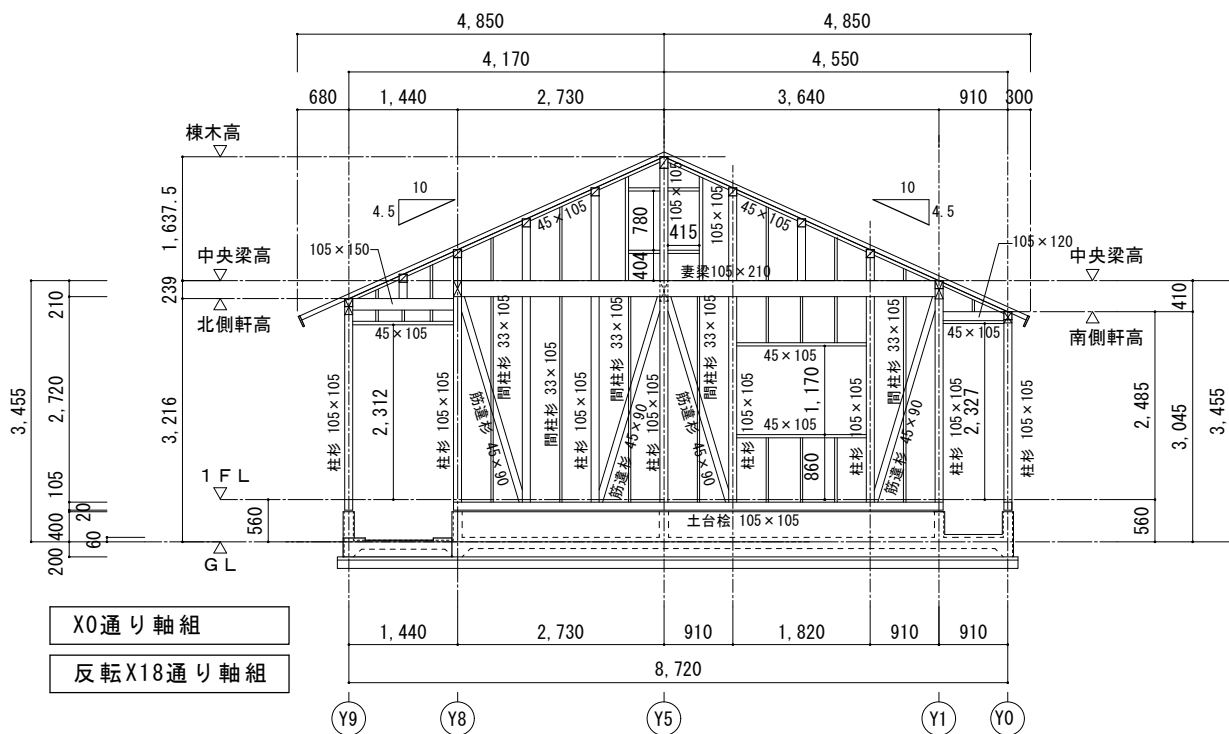
軸組図 1

縮尺 A3版標準スケールとする。
 1/100

図面番号

A-S08

(Aタイプ)



※ 共通注記
 柱の逃げ・梁の逃げ方向と寸法に注意する事。
 構造施工図は 監督員と打合わせの上承認を必ず受ける事。
 隅柱・管柱は全て杉・105角以上とする。
 筋違は全て杉・45×90以上とする。



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
 一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

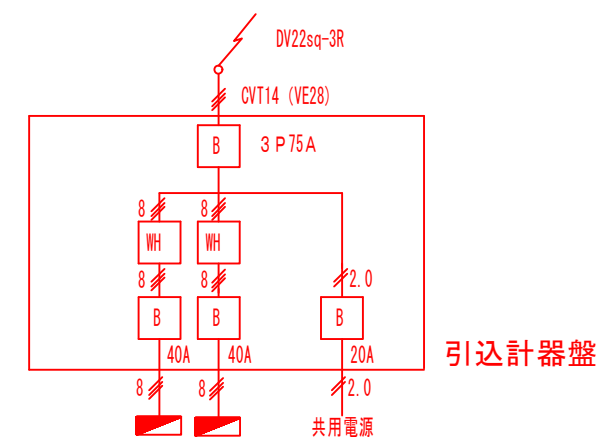
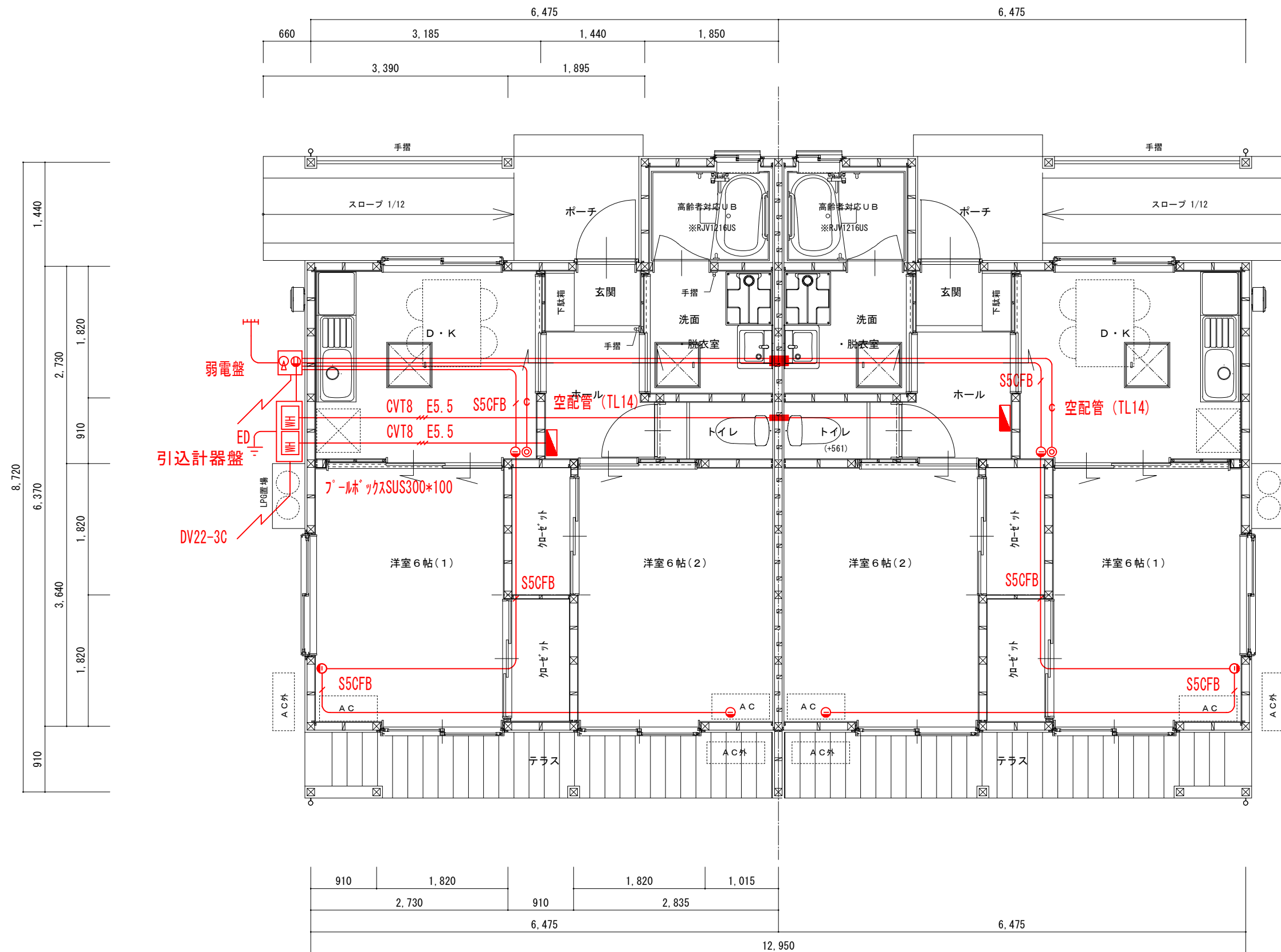
軸組図 2

縮尺 A3版標準スケールとする。
 1/100

図面番号

A-S09

(Aタイプ)



幹線・弱電電気配線平面図 S = 1 / 6 0



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

幹線・弱電電気配線平面図

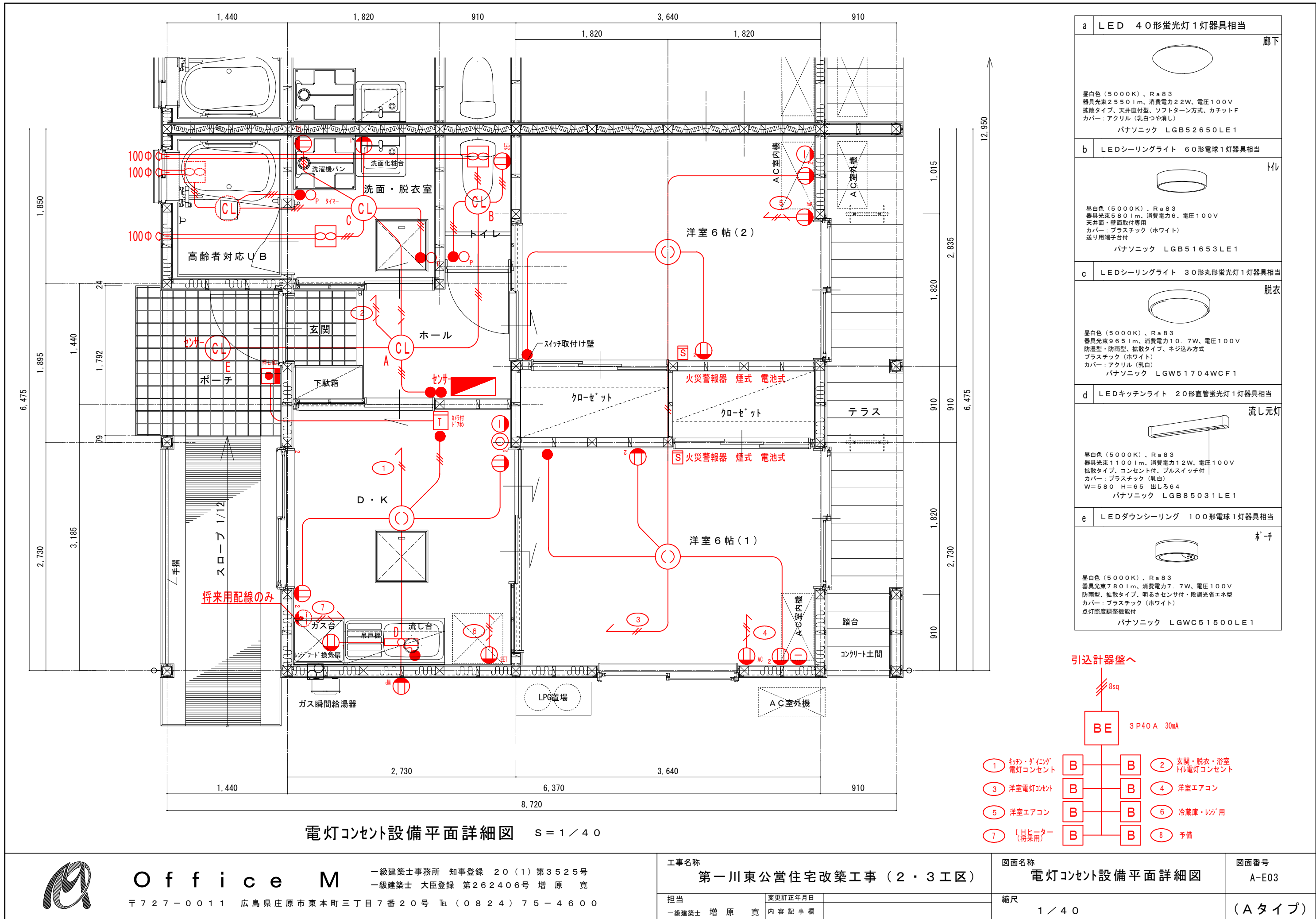
縮尺 A3版標準スケールとする。

1/60

図面番号

A-E02

(Aタイプ)



電灯コンセント設備平面詳細図 S = 1 / 4 0



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

電灯コンセント設備平面詳細図

縮尺

1 / 4 0

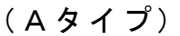
図面番号

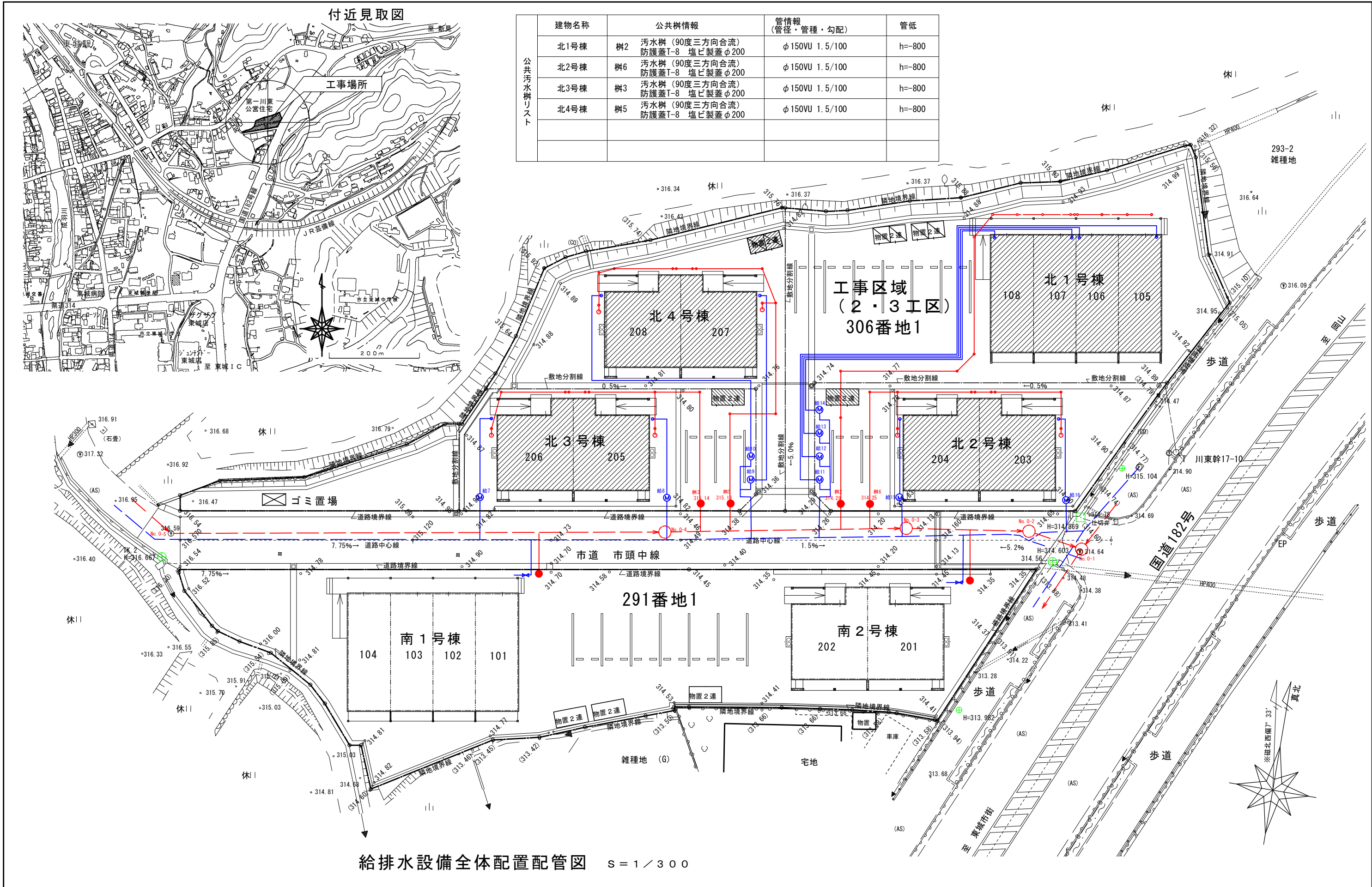
A-E03

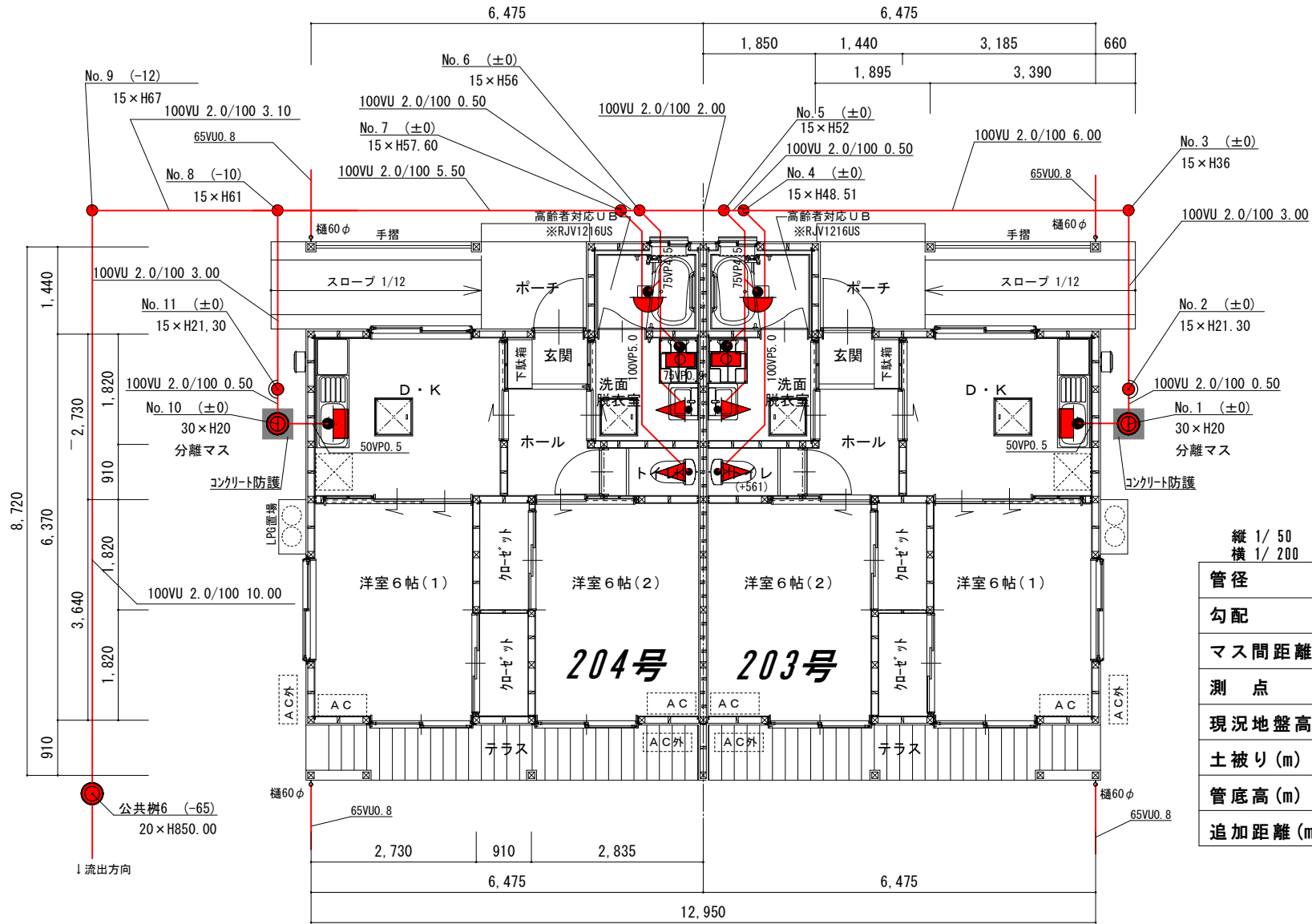
(Aタイプ)

20 消音内貼り ○ 空調設備 21 空調用流体の水質基準 22 天井吊り形FCU及び全熱交換機換気扇 23 瞬間流量計及び流量測定口 24 防振吊り及び支持金物 25 油積算流量計 26 フィルターの予備品 27 冷媒ガス 28 直熱吸収冷温水機 29 パッケージ空調機の内外渡配線	(1) 空調用吸出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 (2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 (3) 吸出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を設ける。 点検口の大きさは、原則として400×600とする。 日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器水質ガイドライン）による。 (1) 遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製（ステンレス、新金属も含む）とする。 (2) 遠方操作スイッチの渡り配管は ・ 別途工事 ・ 本工事 (3) 遠方操作スイッチの渡り配線は ・ 別途工事 ・ 本工事 (1) 形式はビーター管（コック付）とする。 ※ 固定式 ・ 着脱式 (2) 下記の箇所、若しくは図示により取付ける ・ 冷凍機種の冷水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷凍機種の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷温水ヘッダーの各送水管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ユニット形空調機種の冷温水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷水配管、冷温水管、及び空調室内ユニット等の吊り、及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 ※ 設ける（図示した箇所に取り付ける） ・ 設けない 空気調和機器等又はフィルターチャンパーの装着枚数の100%を予備品（特付）として納める。 ファンコイルユニットは総台数の（ ・ 50% ・ 100% ）に当たるフィルターを予備品（特付）として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着枚数の100%を予備品として納める。 ※ R407C、R410A又はR32 形式 煙管式又は液管式 製造業者の標準品とし、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む）
○ 排煙設備 1 一般事項 2 ダクト 3 排煙口 4 排煙口開放及び復帰方式 5 排煙風量測定	空調、換気の当該事項を適用する。 ※ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト ※ 亜鉛鉄板製 ・ 銅板製 ・ パネル形 （ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） ・ スリット形 （ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） ・ ダンパー形 （ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） 電気式（遠隔操作 ※ 不要 ・ 要） 建築設備定期検査業務標準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる
○ 自動制御設備 1 温度調節器等 2 中央監視制御装置 3 計装工事の記録	取付寸法は ※ 1300mm ・ ・ 有り（構成機能は図示による） ・ 無し (1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記がない限り金属管配管とする。 天井隠蔽の配線は、図面に特記がない限りケーブル配線とする。 (2) 原則として、次の用途に使用する電線ケーブルはEMケーブルとし、規格は一般事項1.7.電線ケーブルの規格による。（機器、盤類はこれによらずともよい） 用途：①電線槽 接地線 ②電気式の調節器（サーモ、ヒューミディ）用電線 ③各種検出器（温度、湿度等）、操作器（バルブ、ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線

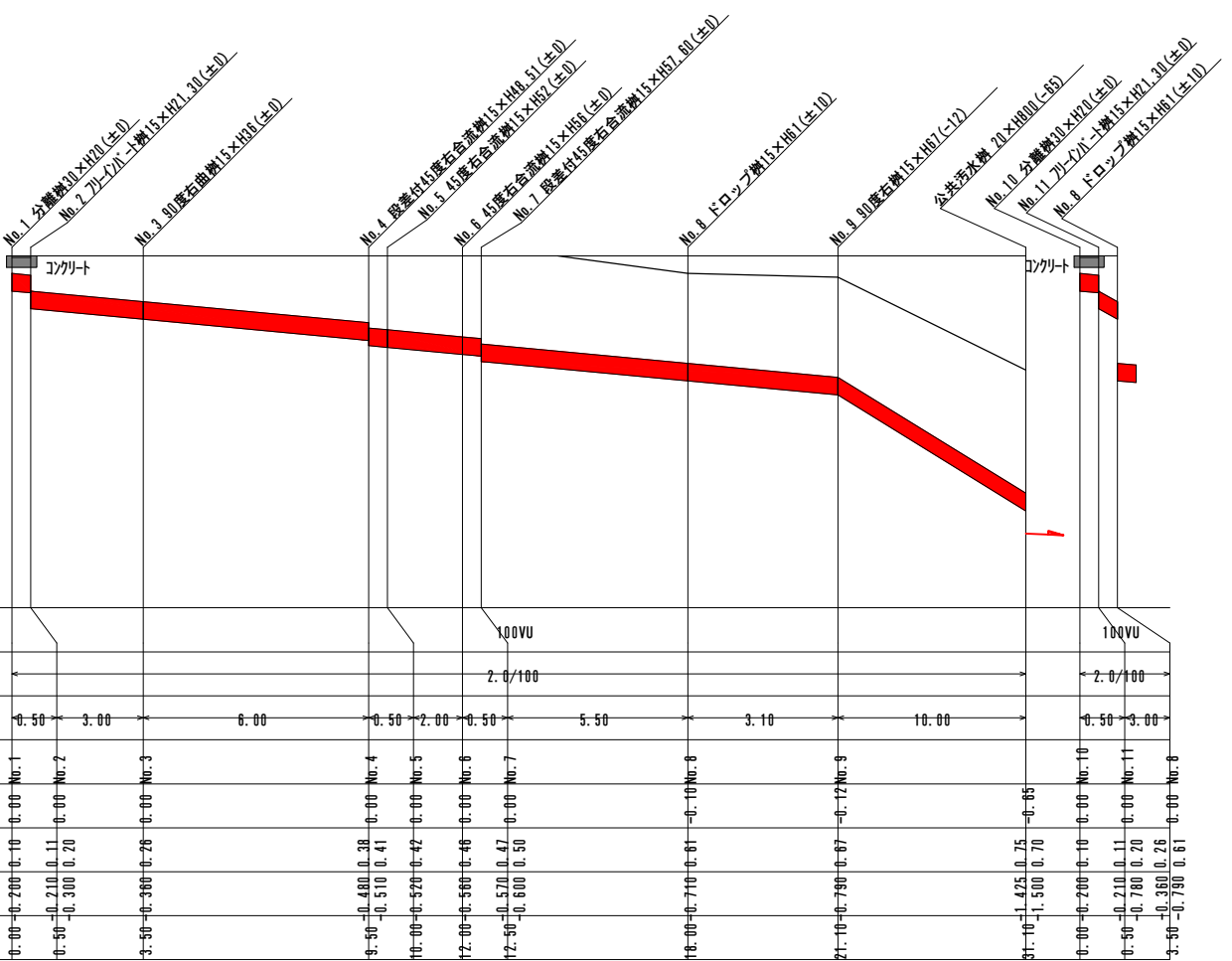
給湯設備	1. 配管材料	(1) 給湯管 ※ 保温付き被覆銅管 ・ 銅管 ・ ステンレス銅管 ・ 耐熱性ライニング銅管 (2) 湯沸器、給湯器廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
	2. 弁類	図面に特記なき場合の耐圧は、5 Kとする。ただし、公営水道へ直結する部分及び特記部分は、10 Kとする。
	3. 保温	湯沸器の給排気口の隠ぺい箇所は保温 h (イ) Ⅸ を行う。
消火設備	1. 配管材料	(1) 屋内消火栓 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼銅管 (白管) ・ 一般配管 (ピット内) ※ 消火用硬質強化ビニル外面被覆銅管 (STPG370VS) ・ 配管用炭素鋼銅管 (白管) ・ 土中配管用 (土間を含む) ※ 消火用硬質強化ビニル外面被覆銅管 (SGP-VS) (2) 連結送水管 一般配管用 ※ 圧力配管用炭素鋼銅管 ・ 一般配管 (ピット内) ※ 消火用硬質強化ビニル外面被覆銅管 (STPG370VS) ・ 圧力配管用炭素鋼銅管 ・ 土中配管用 (土間を含む) ※ 消火用硬質強化ビニル外面被覆銅管 (SGP-VS)
	2 消火栓弁の耐圧	※ 10 K ・ 16 K
	3. 保温	(1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する (2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する (3) 消火配管の保温は次による ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 屋内消火栓 ・ 易操作性1号消火栓 ・ 屋内2号消火栓 ※ 広範囲型2号消火栓 屋外消火栓開閉弁の材質は ・ 鋼鉄製 (要部銅製) ・ ステンレス鋼物製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 (1) 不活性ガス ・ IG-541 ・ IG-55 ・ 窒素 (2) ハロゲン化物ガス ※ FK-5-1-12 ・ HFC-227ea ・ HFC-23 7. 新ガス系消火の起動方式 ※ 手動 ・ 自動、手動切替式 8. 二酸化炭素消火の起動方式 ※ 手動 ・ 自動、手動切替式
Oガス設備	1 都市ガス設備 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 (1) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼銅管 (白管) ・ (2) 一般配管 (ピット内) ・ ポリエチレン被覆銅管 ・ 配管用炭素鋼銅管 (白) (3) 土間配管 ・ ポリエチレン被覆銅管 ・ ガス用ポリエチレン管 (JIS-K6774) (4) 屋外土中配管 ・ ポリエチレン被覆銅管 ・ ガス用ポリエチレン管 (JIS-K6774)
	3 ガス漏れ警報器	・ 要 (取付位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要) ※ 不要
	4 ガスメーター	(1) 親メーターは ※ ガス事業者より借用 ・ 買収 (2) 子メーターは ※ 買収 ・ ガス事業者より借用 (3) 子メーターの計量方式は ※ 直読 ・ 遠隔表示 自動切替式で施工方法は標準図 (施工72) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b)
O浄化槽設備	5 容器廻りの配管	・ 10 kg ・ 20 kg ・ 50 kg _____ 本 ※ 借用 ・ 買収
	6 容器転倒防止	・ 流量検知式 (切替形又は圧力監視形) ・ 圧力検知式
	7 漏洩検知装置	・ 流量検知式 (切替形又は圧力監視形) ・ 圧力検知式
O浄化槽設備	9 配管支持金物	ビニル被覆支持金物、又は配管クランプ部を電食防止テープ巻き
	1 処理種別及び方式	・ 小規模合併処理 (※ 拒体流動方式 ・ 嫌気床接触ばっ気方式 ・ 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ・ 分置接触ばっ気方式) ・ 合併処理 (・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 回転床接触方式) ※ ユニツト形 ・ 現場施工形
	2. 形式	処理対象入員 _____ 人 処理水量 _____ m ³ /d 流入BOD濃度 _____ mg/l ₅ BOD ・ 60 ・ 30 ・ 20 ・ 10 mg/l ₅ 以下 ・ _____ mg/l ₅ 以下
O浄化槽設備	4 放流水水質	※ 根切土の中の負質土 (FRP槽周りは山砂の類) ・ 購入土 3ヶ月分相当を納入する。 性能責任施工とする。
	5. 埋戻し土	竣工後6ヶ月間流入・放流のSS、BOD、PH、透し度、大腸菌菌数等を (※ 報告する ・ 報告しない)
	6. 消毒薬	
O浄化槽設備	7. その他	







排水配管設備平面図 S = 1 / 100
〈北 2 号棟〉

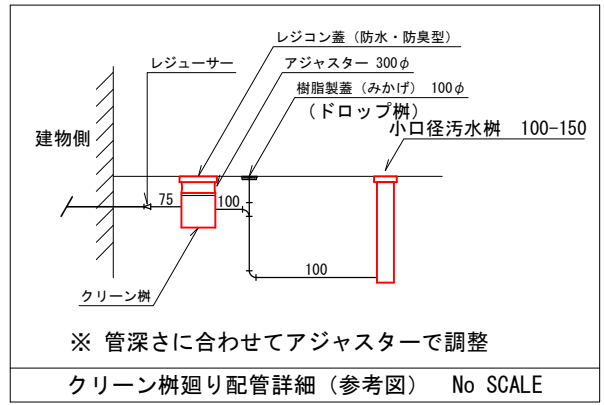


汚水桝配管設備断面図

桝 リ ス ト

記号 (No.)	名 称	仕 様	管 底		最終地盤 基準 G L より	桝 蓋	備 考
			基準 G L より	最終地盤より			
1	小 口 径 汚 水 桝	分離桝 100-300	-200	-200	±0	樹脂製ミカゲ蓋 (T2)	
2	〃	FREE 100-150 (フリーインパート桝)	-210 -300	-210 -300	±0	〃	
3	〃	90L 100-150	-360	-360	±0	〃	
4	〃	45YS 100-150 (段差付)	-480 -510	-480 -510	±0	〃	
5	〃	45Y 100-150	-520	-520	±0	〃	
6	〃	45Y 100-150	-560	-560	±0	〃	
7	〃	45YS 100-150 (段差付)	-570 -600	-570 -600	±0	〃	
8	〃	ストレート 100-150 ドロップ 100-150	-710	-610	-100	〃	
9	〃	90L 100-150	-790	-670	-120	〃	
K	〃 既設	公共桝 100×150-200 (段差付)	-1425 -1500	-775 -850	-650	〃 既設	防護蓋 T-8付
10	〃	分離桝 100-300	-200	-200	±0	〃	
11	〃	FREE 100-150 -89Q(フリーインパート桝)	-210 -300	-210 -300	±0	〃	

(注) 管底は桝中心部の深さを示す。但し 2 段に記入したもの (ドロップ桝・段差付桝等) は上段が上流側、下段が下流側を示す。
最終地盤は予想最終地盤を示す。(施工時の最終地盤を確認し桝蓋のレベルを調整すること。)



Office M

〒 7 2 7 - 0 0 1 1 広島県庄原市東本町三丁目 7 番 2 0 号 Tel (0 8 2 4) 7 5 - 4 6 0 0

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛

工事名称
第一川東公営住宅改築工事 (2・3工区)

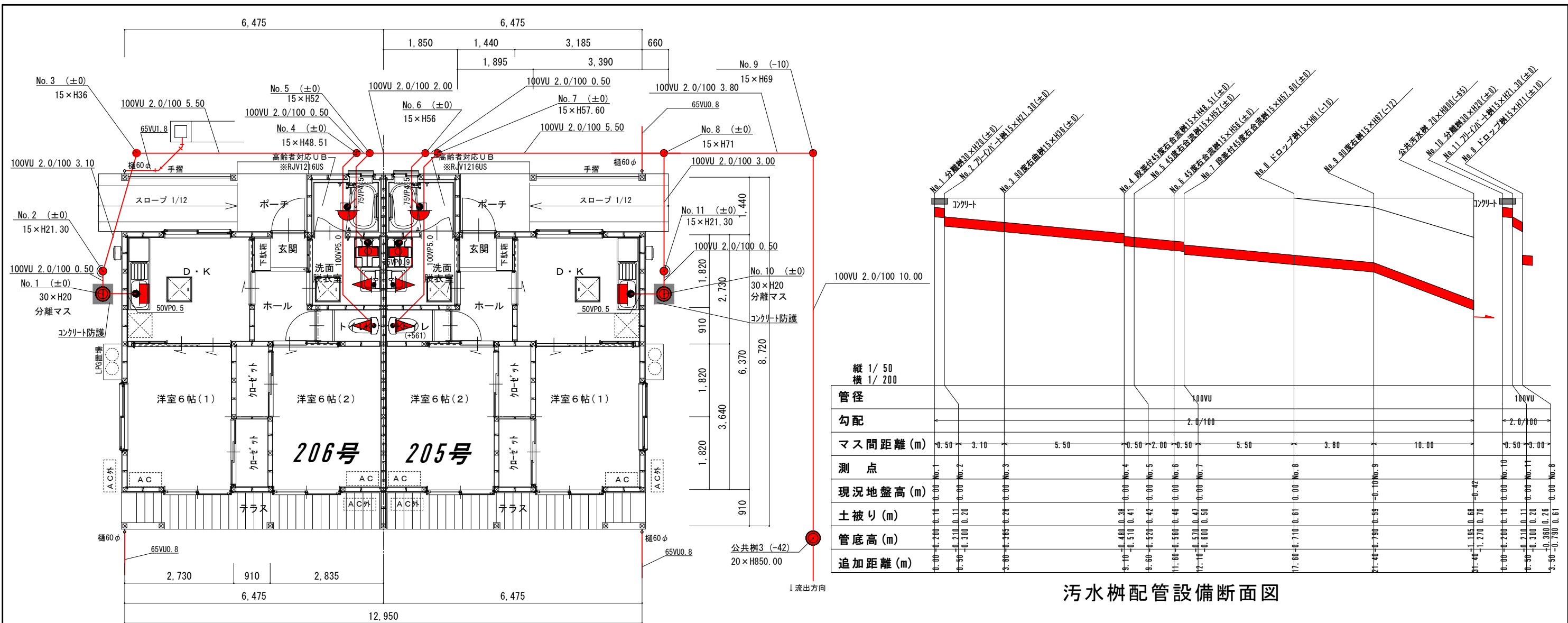
担当
一級建築士 増 原 寛

図面名称
〈北 2 号棟〉
排水設備図

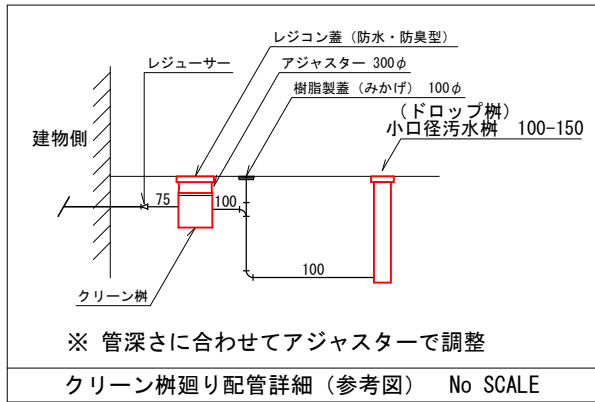
縮尺 A3 版標準スケールとする。
1 / 100

図面番号
A-M04-N2

(Aタイプ)



排水配管設備平面図 S = 1 / 1 0 0
＜北 3 号棟＞



樹 リ ス ト

記号 (No.)	名 称	仕 様	管 底		最終地盤 基準 G L より	樹 蓋	備 考
			基準 G L より	最終地盤より			
1	小 口 径 汚 水 樹	分離樹 100-300	-200	-200	±0	樹脂製ミカゲ蓋 (T2)	
2	〃	FREE 100-150 (フラインパート樹)	-210 -300	-210 -300	±0	〃	
3	〃	FREE 100-150 (フラインパート樹)	-360	-360	±0	〃	
4	〃	45YS 100-150 (段差付)	-480 -510	-480 -510	±0	〃	
5	〃	45Y 100-150	-520	-520	±0	〃	
6	〃	45Y 100-150	-560	-560	±0	〃	
7	〃	45YS 100-150 (段差付)	-570 -600	-570 -600	±0	〃	
8	〃	ストレート 100-150 ドロップ 100-150	-710	-710	±0	〃	
9	〃	90L 100-150	-790	-690	-100	〃	
K	〃 既設	公共樹 100×150-200 (段差付)	-1195 -1270	-775 -850	-420	〃 既設	防護蓋 T-8付
10	〃	分離樹 100-300	-200	-200	±0	〃	
11	〃	FREE 100-150 (フラインパート樹)	-210 -300	-210 -300	±0	〃	

(注) 管底は樹中心部の深さを示す。但し 2 段に記入したもの (ドロップ樹・段差付樹等) は上段が上流側、下段が下流側を示す。
最終地盤は予想最終地盤を示す。(施工時の最終地盤を確認し樹蓋のレベルを調整すること。)



Office M

〒 7 2 7 - 0 0 1 1 広島県庄原市東本町三丁目 7 番 2 0 号 Ⅱ (0 8 2 4) 7 5 - 4 6 0 0

一級建築士事務所 知事登録 2 0 (1) 第 3 5 2 5 号
一級建築士 大臣登録 第 2 6 2 4 0 6 号 増 原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事 (2 ・ 3 工区)

担当

一級建築士 増 原 寛

変更訂正年月日

内 容 記 事 欄

図面名称 <北 3 号棟>

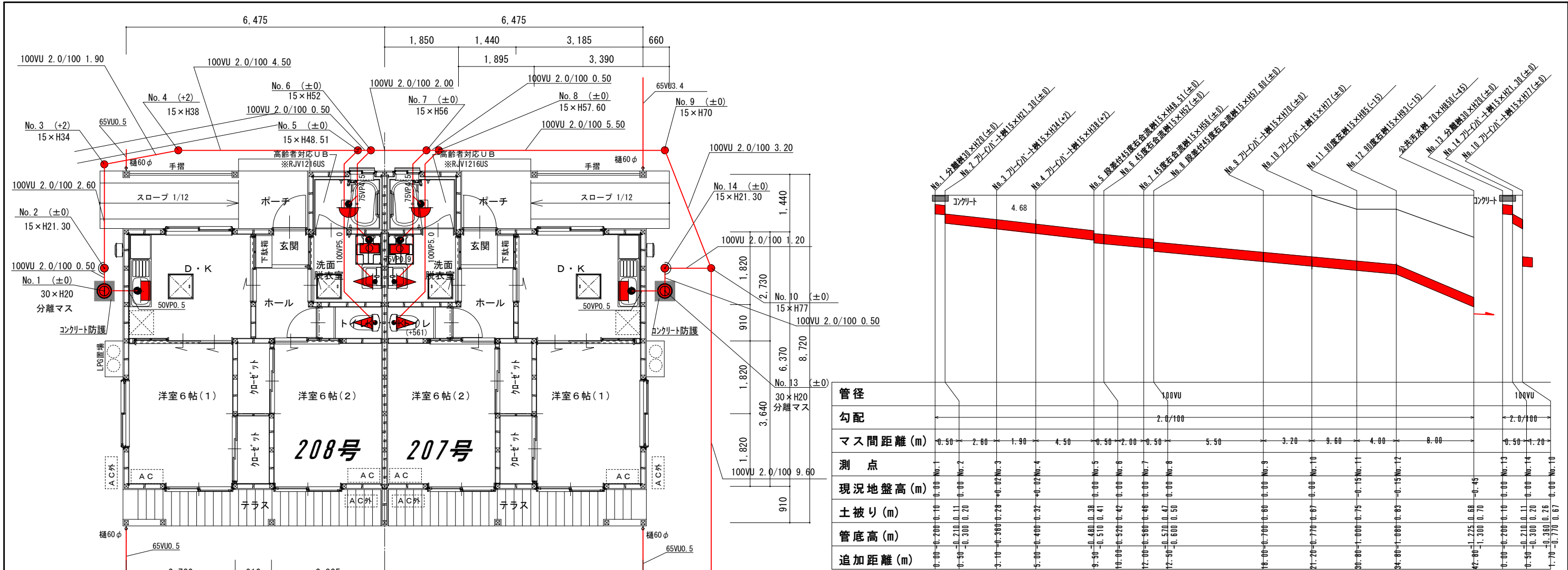
排水設備図

縮尺 A 3 版標準スケールとする。
1 / 1 0 0

図面番号

A-M04-N3

(A タイプ)

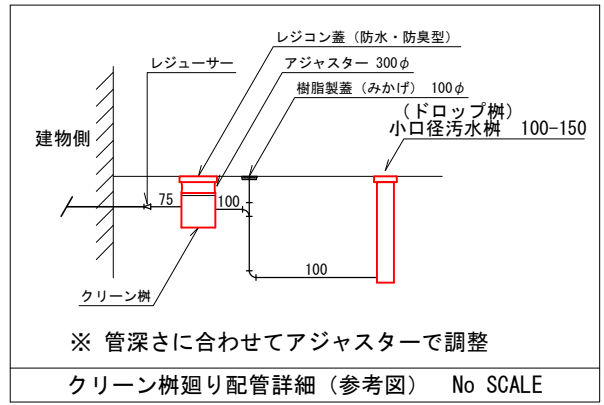


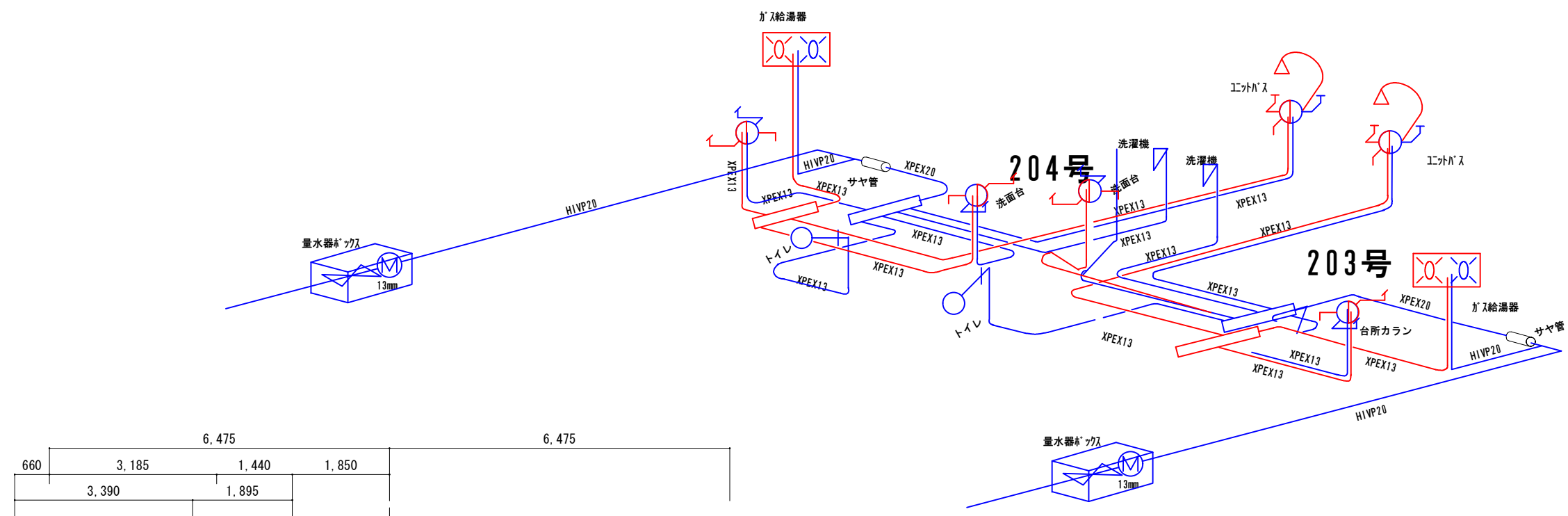
排水配管設備平面図 S = 1 / 1 0 0
〈北 4 号棟〉

桧 リ ス ト

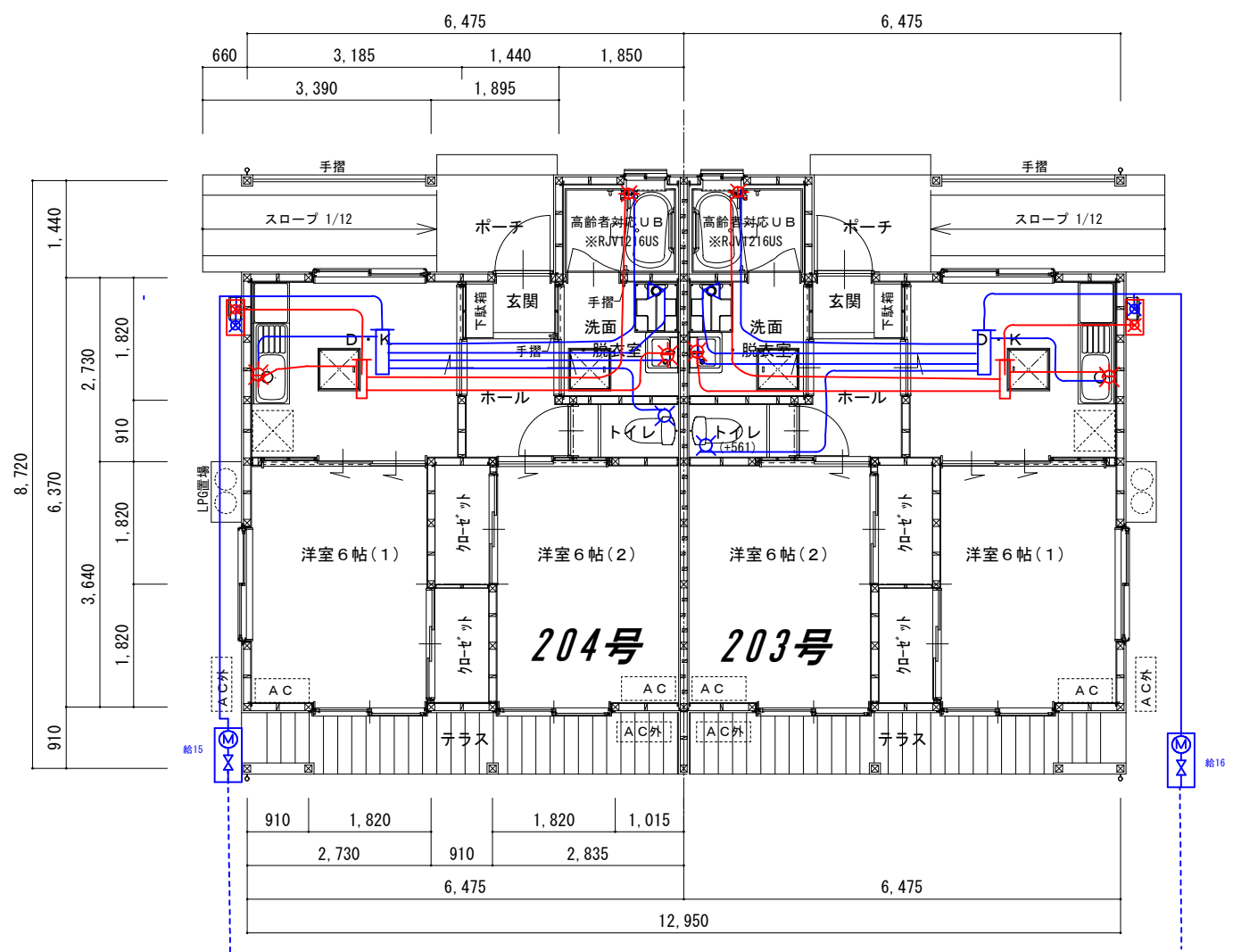
(注) 管底は桧中心部の深さを示す。但し 2 段に記入したもの (ドロップ桧・段差付桧等) は上段が上流側、下段が下流側を示す。
最終地盤は予想最終地盤を示す。(施工時の最終地盤を確認し桧蓋のレベルを調整すること。)

記号 (No.)	名 称	仕 様	管 底		最終地盤 基準 G L より	桧 蓋	備 考
			基準 G L より	最終地盤より			
1	小 口 径 汚 水 桧	分離桧 100-300	-200	-200	±0	樹脂製ミカゲ蓋 (T2)	
2	〃	FREE 100-150 (フラインバート桧)	-210 -300	-210 -300	±0	〃	
3	〃	FREE 100-150 (フラインバート桧)	-360	-340	+20	〃	
4	〃	FREE 100-150 (フラインバート桧)	-400	-380	+20	〃	
5	〃	45YS 100-150 (段差付)	-480 -510	-480 -510	±0	〃	
6	〃	45Y 100-150	-520	-520	±0	〃	
7	〃	45Y 100-150	-560	-560	±0	〃	
8	〃	45YS 100-150 (段差付)	-570 -600	-570 -600	±0	〃	
9	〃	FREE 100-150 (フラインバート桧)	-700	-700	±0	〃	
10	〃	FREE 100-150 ドロップ 100-150	-770	-770	±0	〃	
11	〃	90L 100-150	-1000	-850	-150	〃	
12	〃	90L 100-150	-1080	-930	-150	〃	
K	〃 既設	公共桧 100×150-200 (段差付)	-1225 -1300	-775 -850	-450	〃 既設	防護蓋 T-8付
13	〃	分離桧 100-300	-200	-200	±0	〃	
14	〃	FREE 100-150 (フラインバート桧)	-210 -300	-210 -300	±0	〃	





給水・給湯配管設備アイソメ図



給水・給湯配管設備平面図 S = 1 / 100
〈北2号棟〉



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称
第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

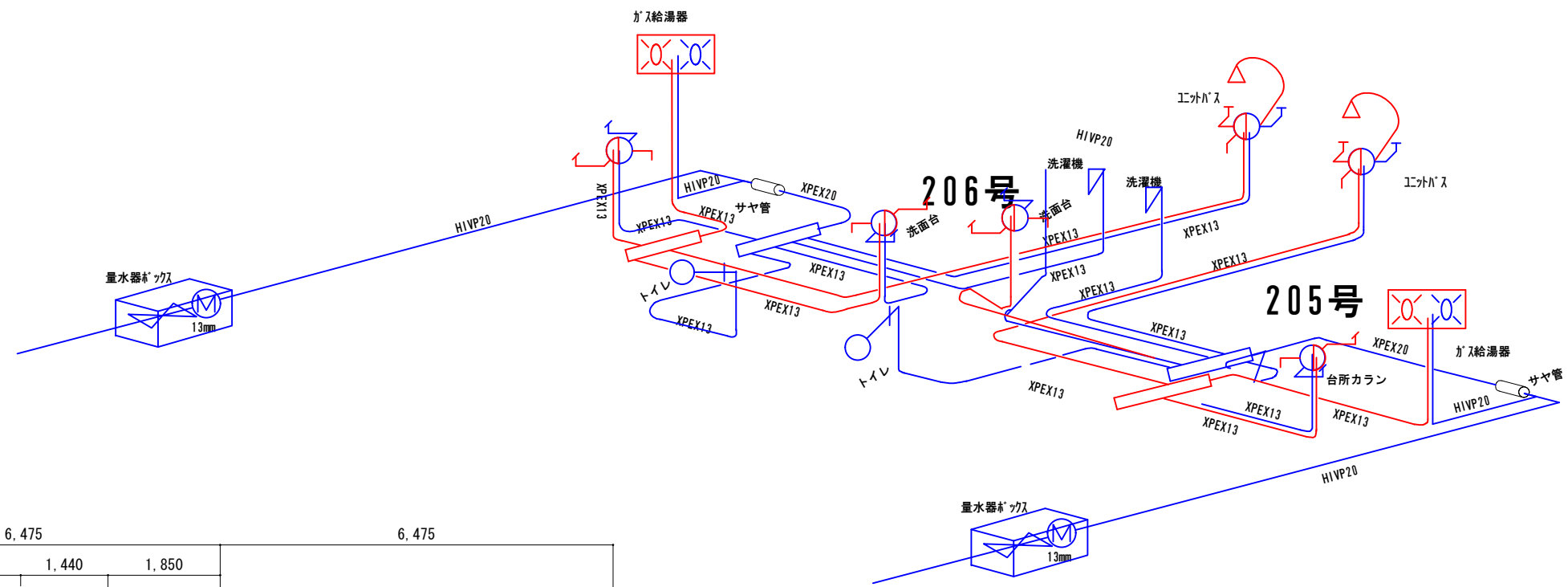
担当 一級建築士 増原 寛	変更訂正年月日 内容記事欄
------------------	------------------

図面名称 〈北2号棟〉
給水・給湯配管設備図

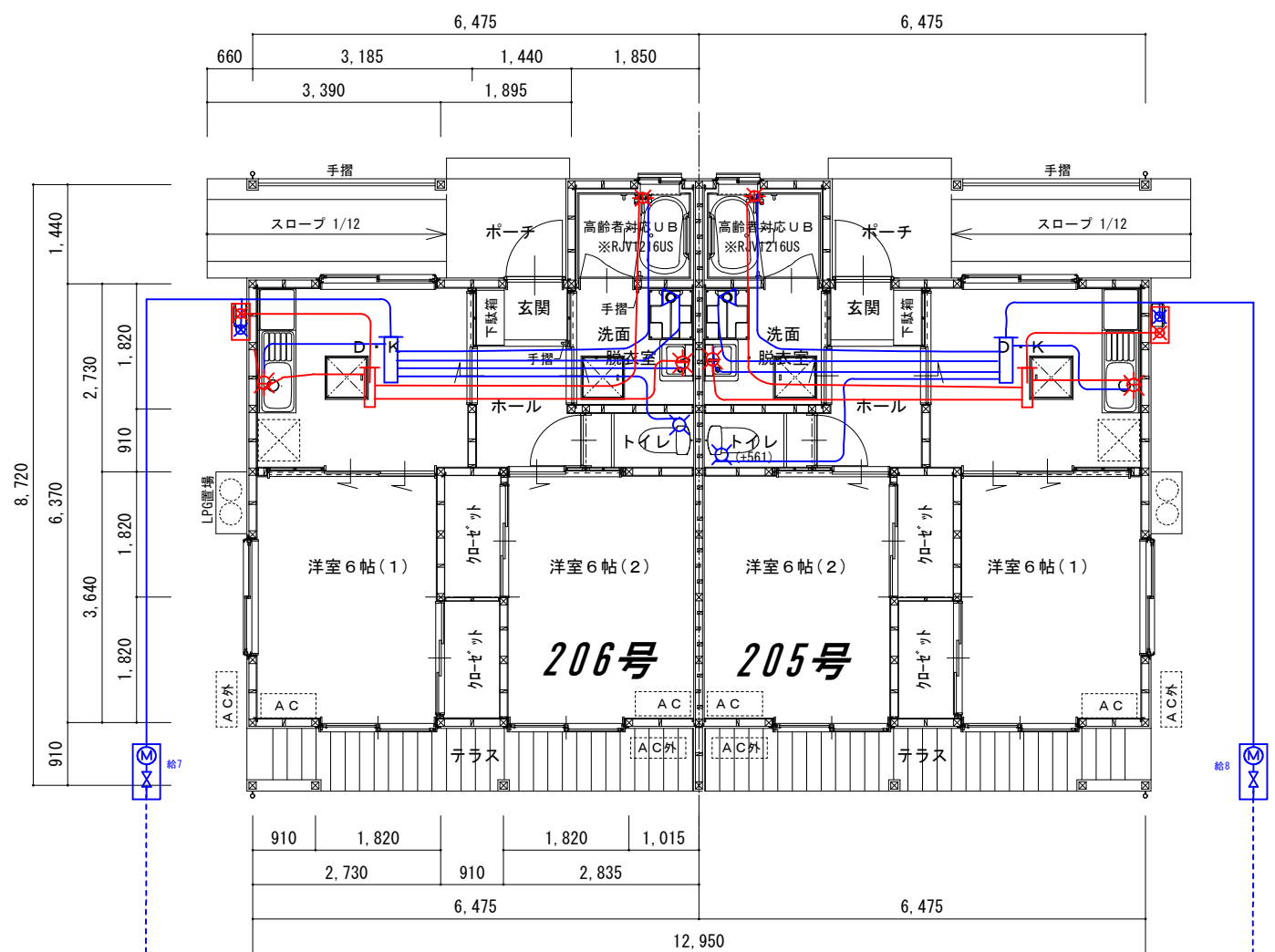
縮尺 A3版標準スケールとする。
1/100

図面番号
A-M05-N2

(Aタイプ)



給水・給湯配管設備アイソメ図



給水・給湯配管設備平面図 S = 1 / 100
〈北 3 号棟〉



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称
第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

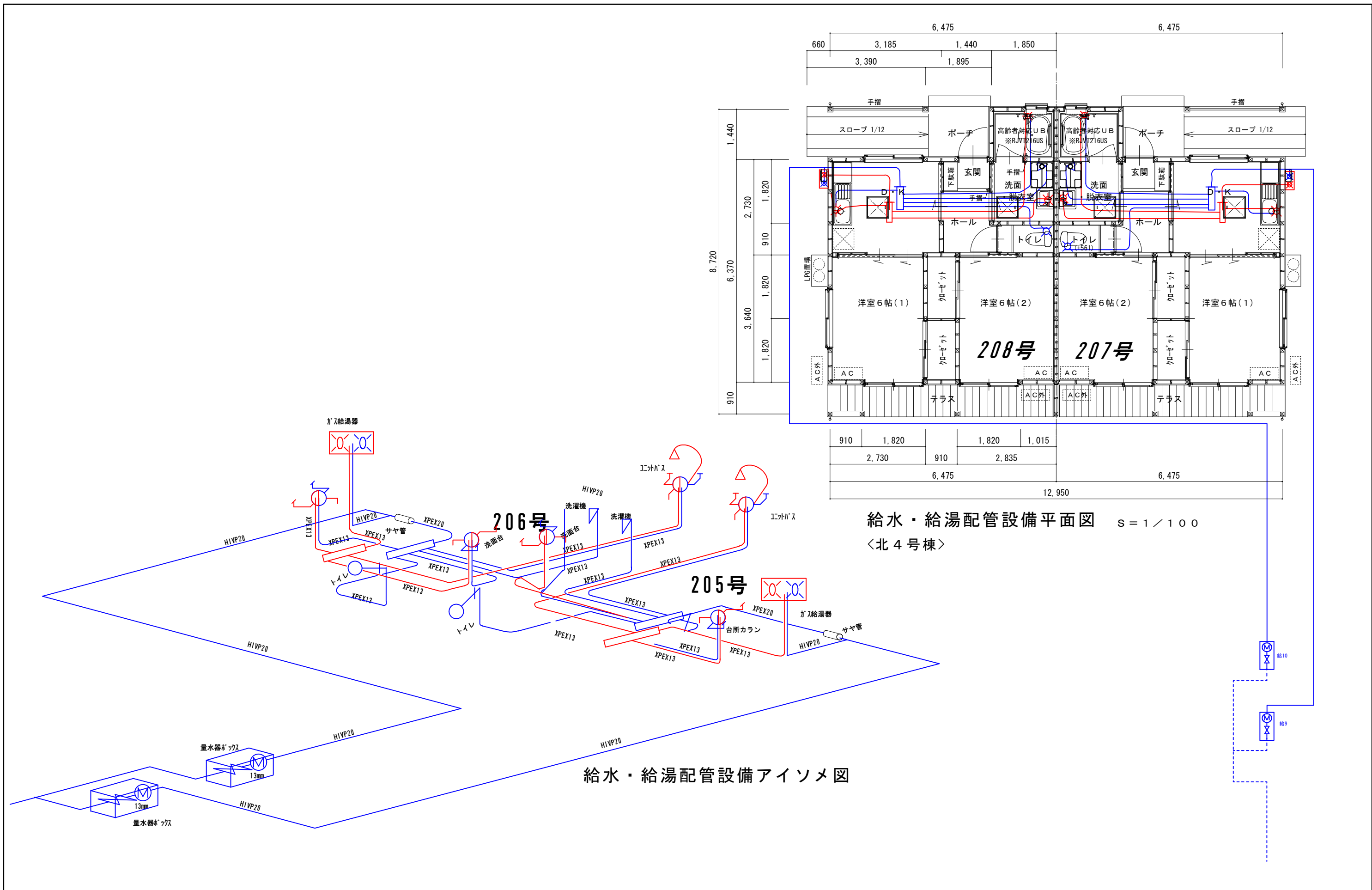
担当 一級建築士 増原 寛	変更訂正年月日 内容記事欄
------------------	------------------

図面名称 〈北 3 号棟〉
給水・給湯配管設備図

図面番号
A-M05-N3

縮尺 A3版標準スケールとする。
1/100

(Aタイプ)



給水・給湯配管設備平面図 S = 1 / 100
〈北4号棟〉

給水・給湯配管設備アイソメ図



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称
第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

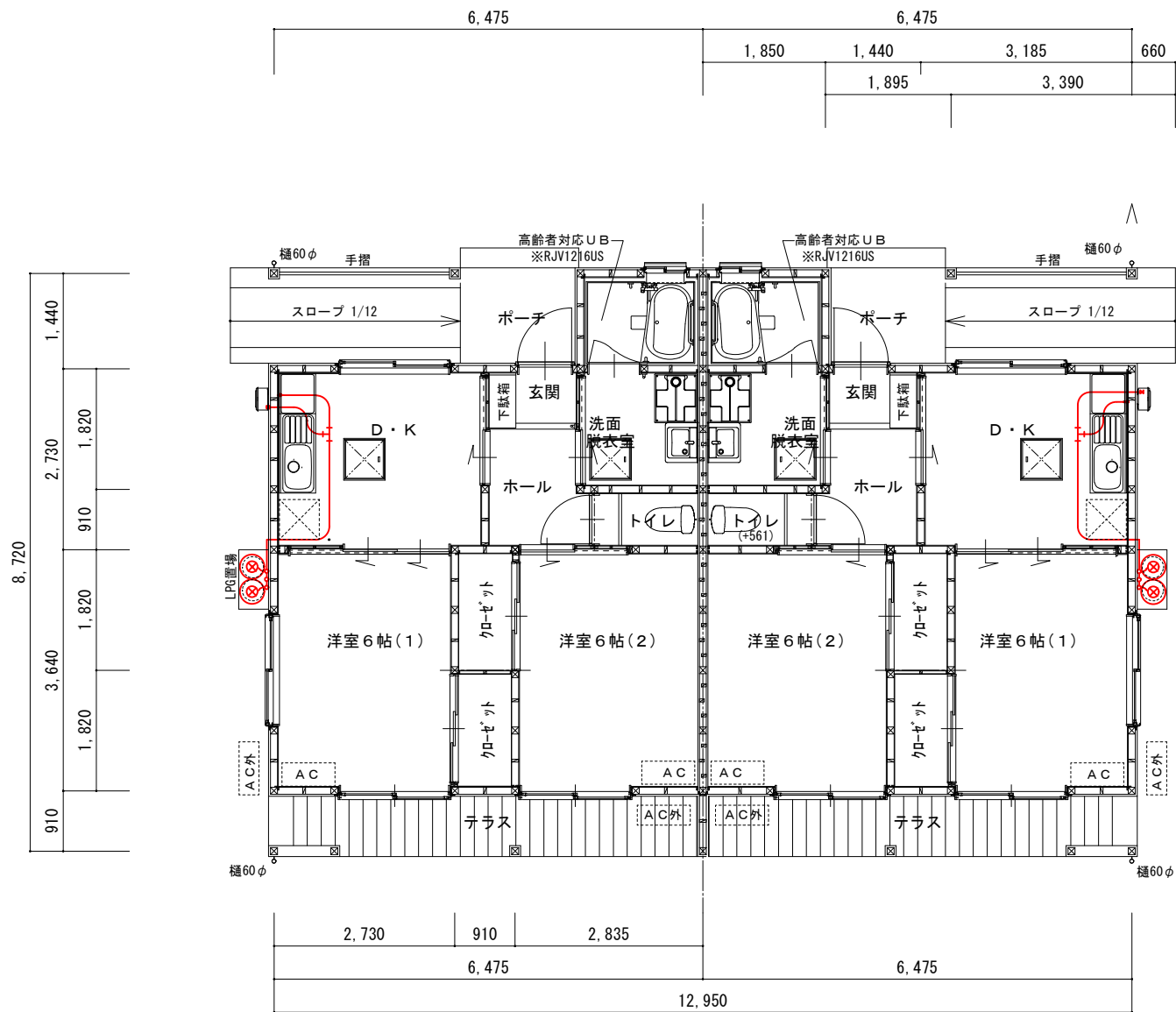
担当 一級建築士 増原 寛
変更訂正年月日 内容記事欄

図面名称 〈北4号棟〉
給水・給湯配管設備図

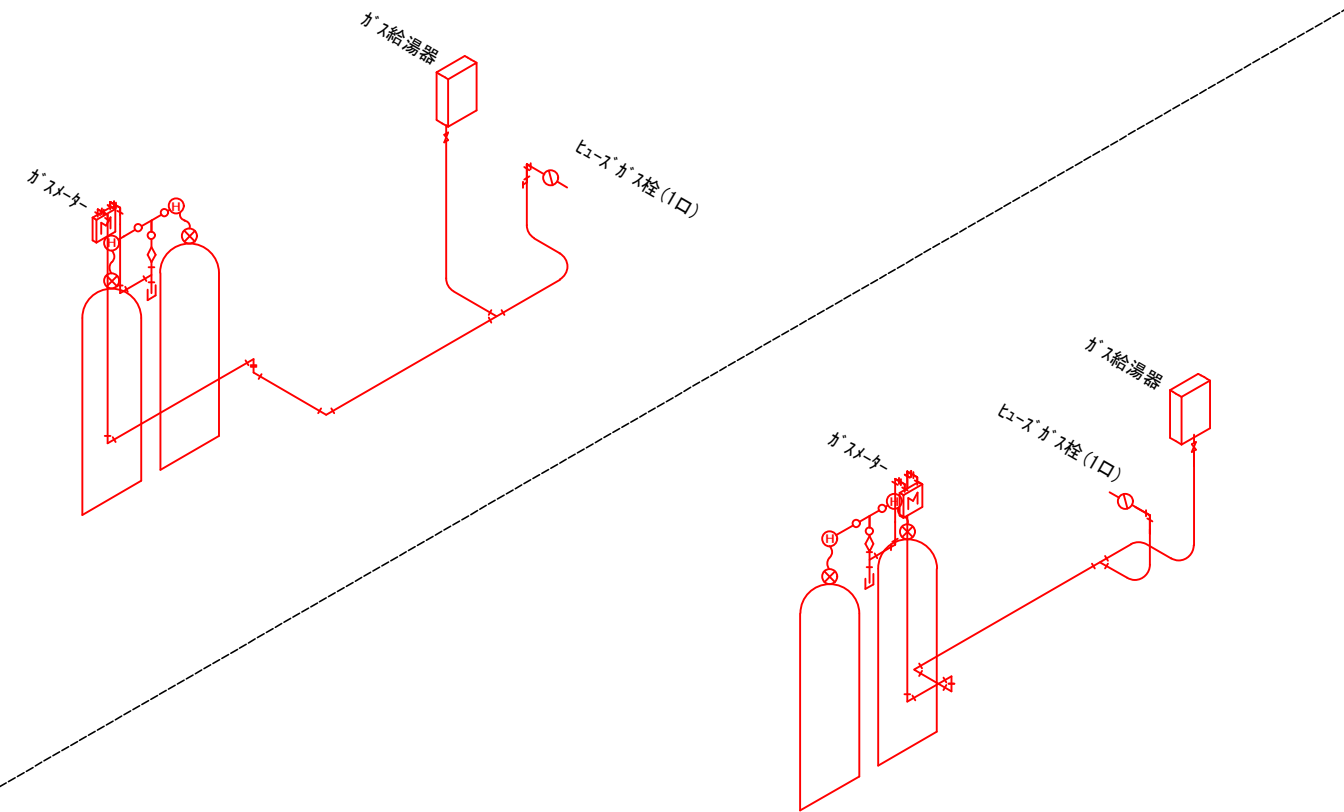
縮尺 A3版標準スケールとする。
1/100

図面番号
A-M05-N4

(Aタイプ)



ガス配管設備平面図 S = 1 / 1 0 0
〈全棟共通〉



ガス配管設備アイソメ図



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

ガス配管設備図

縮尺

1 / 1 0 0

図面番号

A-M06

(Aタイプ)

仕 様 書		章		項 目	特 記 事 項	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</
-------	--	---	--	-----	---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

[illegible]

章		項 目	特 記 事 項	3	2	建設発生土 の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積	10	4	木材の 防虫処理	施工箇所 処理方法	<10. 3. 2>				
1 一般共通事項	1 9	中間技術検査 <1. 6. 2>	※行う（回数及び時期については監督職員の手示による） ・ 行わない	土・地業・基礎工事	2	砂利・砂 ・ 捨てコンクリート地業等 鉄筋工事	公共建築工事標準仕様書（建築工事編）4章による。 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章 及び 日本住宅性能表示基準（国土交通省） 及び フラット3 5対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修） による。 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）6章 及び 日本住宅性能表示基準（国土交通省） 及び フラット3 5対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修） による。 打放し仕上げ種別 ○A種 ・ B種 ・ C種	木工事	5	外壁通気 構法下地	積雪地の場合の下地補強 工法種別 ○ 縦通気胴縁工法 ・ 横通気胴縁工法	<10. 8. 2> 補強高さ (mm)				
	2 0	石綿含有成形板 の処理等	該当品なし		該当品なし				該当品なし	該当品なし						
	2 1	設計G L	※図示による ・ （ ）		該当品なし				該当品なし	該当品なし						
2 仮設工事	2 2	耐荷重及び 耐外力	外壁A L Cパネル工事、外壁押出成形セメント板工事、合成高分子系ルーフィングシート防水工事（機械的固定工法）、外壁石取付け（乾式工法）工事、屋根葺き（長尺金属板、折板、粘土瓦）工事、アルミニウム製笠木工事、ガラスブロック積み工事において、施工計画書により工法を定める際の、建築基準法に基づき定まる風圧力算定のための風速（Vo）、区分等は次のとおりとする 基準風速 V o = 30 m / s 地表面粗度区分 ・ I ・ II ○III ・ IV 積雪区分 建設省告示第1 4 5 5号 別表（ 3 3 ）	木造工事	4	5	6	7	8	9	【4～9は木造特記仕様書（構造関係）による】	防水工事	1	2	FRP系 塗膜防水 シーリング	該当品なし <11. 3. 2> <表11. 3. 1> <11. 3. 3> 下表以外は、木造標準仕様書表11. 3. 1及び各メーカー指定の標準仕様による。 ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。
	2 3	検査記録	杭地業工事、鉄筋工事、コンクリート工事、鉄骨工事については、次の内容を記載した検査記録を整備すること * 工事完了通知書第4面及び照合方法が確実に行われていることを証明する書類（I C B A（建築行政 センター）の「構造審査・検査の運用解説」第5章資料に示す「施工状況報告書等」に記載する内容）		施工箇所	シーリング材の種類（記号）	シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11. 3. 3(1)から(2)による 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上 バルコニー手すりの工法 ※ 木造標準仕様書11. 4. 3(㌾)①～⑤までによる固定方法 ・ 図示									
	3	足場等	<2. 2. 4> 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインにより行う。 屋根及び小屋組の建方工事における転落防止対策はJIS A 8971の施工基準に基づく装備基材をもちいる。		10	1	材料	<10. 2. 2><10. 2. 3><10. 2. 4> 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表1 0による ○ 釘 ○ JIS A 5508 材質（ 表面処理鉄・ステンレス ） ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（ ） ○ 造作材化粧面の釘打ち ⊗ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質 （ 表面処理鉄・ステンレス ） ・ 製材の表面仕上げ <10. 1. 4><表10. 1. 1><表10. 1. 2> ○ 機械加工（ ・ A種 ○ B種 ・ C種） ○ 手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH－B種、下地材はH－C種 ・ H－A種 ○ H－B種 ○ H－C種 ○ 造作用集成材の表面仕上げ ○ 機械加工（○ A種 ・ B種 ・ C種）	12	1			施工	該当品なし		
3 土地業 基礎工事	2	監督職員 事務所等	※ 設ける m程度 ○ 設けない 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による	木工事	2	表面仕上げ	<10. 1. 4><表10. 1. 1><表10. 1. 2> ○ 機械加工（ ・ A種 ○ B種 ・ C種） ○ 手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH－B種、下地材はH－C種 ・ H－A種 ○ H－B種 ○ H－C種 ○ 造作用集成材の表面仕上げ ○ 機械加工（○ A種 ・ B種 ・ C種）	タイル工事	1	2	伸縮調整目地 及びひび割れ 誘発目地 セメントモルタルによるタイル張り	<11. 1. 3> <表11. 1. 1> 位置 ※ 標準仕様書表11. 1. 1による ・ 図示 タイルの形状、寸法等 <11. 2. 2. 7> 施工箇所 種類 形状/寸法の適用 再生材料 吸水率区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 施釉 無釉 有 無 標準 特注 有 無 玄関 廊下 床 外装 玄関巾木 磁器 150角 ・ ・ ・ ・ ・ ○ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 耐滑り性：JIS A 1509-12（セラミックタイル試験方法―第12部：耐滑り性試験方法）で規定する C. S. R値は0. 4～1. 0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ○ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目荒し工法（高圧水洗処理） ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り				
	3	工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償）		2	表面仕上げ	・ 製材の表面仕上げ <10. 1. 4><表10. 1. 1><表10. 1. 2> ○ 機械加工（ ・ A種 ○ B種 ・ C種） ○ 手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH－B種、下地材はH－C種 ・ H－A種 ○ H－B種 ○ H－C種 ○ 造作用集成材の表面仕上げ ○ 機械加工（○ A種 ・ B種 ・ C種）		1	2	伸縮調整目地 及びひび割れ 誘発目地 セメントモルタルによるタイル張り					
	4	工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償）		2	表面仕上げ	・ 製材の表面仕上げ <10. 1. 4><表10. 1. 1><表10. 1. 2> ○ 機械加工（ ・ A種 ○ B種 ・ C種） ○ 手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH－B種、下地材はH－C種 ・ H－A種 ○ H－B種 ○ H－C種 ○ 造作用集成材の表面仕上げ ○ 機械加工（○ A種 ・ B種 ・ C種）		1	2	伸縮調整目地 及びひび割れ 誘発目地 セメントモルタルによるタイル張り					
3 土地業 基礎工事	5	仮囲い等の 安全施設	別紙設計図による	木工事	3	木材の 耐候性処理	屋外に使用する仕上げ木材 <10. 3. 1>(18. 13. 2) ○ 木材保護塗料塗り 施工箇所 ○ 図示 種別 ・ A種 ○ B種	タイル工事	1	2	伸縮調整目地 及びひび割れ 誘発目地 セメントモルタルによるタイル張り	<11. 1. 3> <表11. 1. 1> 位置 ※ 標準仕様書表11. 1. 1による ・ 図示 タイルの形状、寸法等 <11. 2. 2. 7> 施工箇所 種類 形状/寸法の適用 再生材料 吸水率区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 施釉 無釉 有 無 標準 特注 有 無 玄関 廊下 床 外装 玄関巾木 磁器 150角 ・ ・ ・ ・ ・ ○ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 耐滑り性：JIS A 1509-12（セラミックタイル試験方法―第12部：耐滑り性試験方法）で規定する C. S. R値は0. 4～1. 0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ○ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目荒し工法（高圧水洗処理） ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り				
	6	工事現場の 表示	現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する ※工事名等の表示板（900mm×600mm） ・ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm） ○建築確認表示板（350mm×250mm以上）		2	表面仕上げ	・ 製材の表面仕上げ <10. 1. 4><表10. 1. 1><表10. 1. 2> ○ 機械加工（ ・ A種 ○ B種 ・ C種） ○ 手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH－B種、下地材はH－C種 ・ H－A種 ○ H－B種 ○ H－C種 ○ 造作用集成材の表面仕上げ ○ 機械加工（○ A種 ・ B種 ・ C種）		1	2	伸縮調整目地 及びひび割れ 誘発目地 セメントモルタルによるタイル張り					
	7	交通誘導員	※配置する ・ 配置しない ※大型車両進入時 （ 2 ） 人／日 ・ 常時配置 （ ） 人／日 ・ （ ） 作業期間 （ ） 人／日		2	表面仕上げ	・ 製材の表面仕上げ <10. 1. 4><表10. 1. 1><表10. 1. 2> ○ 機械加工（ ・ A種 ○ B種 ・ C種） ○ 手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH－B種、下地材はH－C種 ・ H－A種 ○ H－B種 ○ H－C種 ○ 造作用集成材の表面仕上げ ○ 機械加工（○ A種 ・ B種 ・ C種）		1	2	伸縮調整目地 及びひび割れ 誘発目地 セメントモルタルによるタイル張り					
3 土地業 基礎工事	1	埋戻し及び盛土	材料及び工法 <3. 2. 3> <表3. 2. 1> ※ 標準仕様書表3. 2. 1による種別 ・ A種 適用場所（ ） 山砂類 ○ B種 適用場所（一般部） 良質根切土 ・ C種 適用場所（ ） 土質（ ） 受渡場所（ ） ・ D種 適用場所（ ） （品質：細粒分（75 μ m以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。） ・ （材料： 工法： ）	3	木材の 耐候性処理	屋外に使用する仕上げ木材 <10. 3. 1>(18. 13. 2) ○ 木材保護塗料塗り 施工箇所 ○ 図示 種別 ・ A種 ○ B種	13	1	2	伸縮調整目地 及びひび割れ 誘発目地 セメントモルタルによるタイル張り	<11. 1. 3> <表11. 1. 1> 位置 ※ 標準仕様書表11. 1. 1による ・ 図示 タイルの形状、寸法等 <11. 2. 2. 7> 施工箇所 種類 形状/寸法の適用 再生材料 吸水率区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類 施釉 無釉 有 無 標準 特注 有 無 玄関 廊下 床 外装 玄関巾木 磁器 150角 ・ ・ ・ ・ ・ ○ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 耐滑り性：JIS A 1509-12（セラミックタイル試験方法―第12部：耐滑り性試験方法）で規定する C. S. R値は0. 4～1. 0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ○ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目荒し工法（高圧水洗処理） ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り					
			富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669				第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号						
							特記仕様書 3			B-A03						

章		項 目	特 記 事 項													14 屋根及び とい工事	3 4	3 4	折板葺 粘土瓦葺	・ 心木あり瓦棒葺の工法 銅板以外の板による屋根一般部分の工法 溝板及びキャップの留付け方法 ※ 木造標準仕様書14.3.5(3)(7)(c)による 瓦棒の間隔 ※ 図示 銅板による屋根一般部分の工法 瓦棒の間隔 ※ 図示 ・ 心木なし瓦棒葺の工法 屋根の流れ方向に並行な壁との取合い部 ・ 雨押さえを付ける場合 ※ 木造標準仕様書14.3.4(オ)(a)による ・ 雨押さえを用いない場合 ※ 木造標準仕様書14.3.4(オ)(b)による 工法 吊子、各部の釘の留付け間隔 ・ 図示 建築基準法に基づく風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に 対応した工法 雪止め ・ 設置する（施工箇所 ・ 図示 ・ ） 該当なし ＜14.5.2,3＞ <table><tr><th colspan="3">種類</th><th colspan="8">役物</th><th>大きさ</th><th>産地等</th></tr><tr><th>形状に よる区分</th><th>製法に よる区分</th><th>寸法に よる区分</th><th>軒瓦</th><th>そで瓦</th><th>のし瓦</th><th>冠瓦</th><th>半瓦</th><th>雪止め瓦</th><th>鬼瓦</th><th>巴瓦</th><th></th><th></th></tr><tr><td>○ J形瓦</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">※ 図示</td><td rowspan="3">石州産 石州産</td></tr><tr><td>○ S形瓦</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>・ F形瓦</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 補強用心木の防腐・防蟻処理方法（ 検材使用 ） 工法 建築基準法に基づく風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ○ 1.3）倍の 風圧力に対応した工法 瓦棧木の留付け工法 ※ 図示 棟の工法 ※ 木造標準仕様書14.5.3(5)(7)から(イ)までによる 該当なし 該当なし	種類			役物								大きさ	産地等	形状に よる区分	製法に よる区分	寸法に よる区分	軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	鬼瓦	巴瓦			○ J形瓦			○	○	○	○	○	○	○	○	※ 図示	石州産 石州産	○ S形瓦			○	○	○	○	○	○	○	○	・ F形瓦			・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・			15 金属 工事	1 2 3 4 5 6 7 8	ステンレスの 表面仕上げ アルミニウム 及びアルミニウ ム合金の 表面処理 鉄鋼の 亜鉛めっき 軽量鉄骨 天井下地 軽量鉄骨壁下地 金属成形板張り アルミニウム製 笠木 手すり及び タラップ	とい受金物 材種 ・ 熔融亜鉛めっきを行った銅板製 ・ 銅板製 ○ メーカー指定品 形状 ○ 市販品（とい径100以下） ・ 25×4.5以上 足金物 材種 ・ 熔融亜鉛めっきを行った銅板製 ・ 銅板製 ○ メーカー指定品 多雪地域 ○ 適用する ・ 適用しない 硬質塩化ビニル製集水器の形状 ○ 図示 ○ メーカー指定品 硬質塩化ビニル製あんこうの形状 ・ 図示 ・ メーカー指定品
種類			役物								大きさ	産地等																																																																																						
形状に よる区分	製法に よる区分	寸法に よる区分	軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	鬼瓦	巴瓦																																																																																								
○ J形瓦			○	○	○	○	○	○	○	○	※ 図示	石州産 石州産																																																																																						
○ S形瓦			○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																								
・ F形瓦			・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																								
			・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																								
3 有機系接着剤に よるタイル張り	既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 （品質・性能） <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>70.0%以上</td><td>長さ変化率</td><td>0.20%以下</td></tr><tr><td>単位容積質量</td><td>1.80 k g / L 以上</td><td>曲げ強さ</td><td>4.0 N / mm² 以上</td></tr><tr><td>接着強さ</td><td>標準時 0.60 N / mm² 以上 温冷繰返後 0.40 N / mm² 以上</td><td></td><td></td></tr></table> 既調合目地材 （品質・性能） <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>保水率</td><td>30.0%以上</td><td>吸水量</td><td>50 g 以下</td></tr><tr><td>長さ変化率</td><td>0.2%以下（収縮）</td><td>単位容積質量</td><td>1.80 k g / L 以上</td></tr></table> タイルの形状、寸法等 ＜11.3.2～4,7） <table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>形状 /寸法 (mm)</th><th>再生材料 の適用</th><th>吸水率区分</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑り性</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類</td><td>施釉 無釉</td><td>有 無</td><td>標準 特注</td><td>有 無</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ ポリウレタン系シーリング材 ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系シーリング材 伸縮調整目地 ※ 変成シリコン系シーリング材 その他の目地 ※ 変成シリコン系シーリング材 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目荒し工法（高圧水洗処理） ・ MCR工法													項目	品質・性能						項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下	単位容積質量	1.80 k g / L 以上	曲げ強さ	4.0 N / mm ² 以上	接着強さ	標準時 0.60 N / mm ² 以上 温冷繰返後 0.40 N / mm ² 以上			項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	30.0%以上	吸水量	50 g 以下	長さ変化率	0.2%以下（収縮）	単位容積質量	1.80 k g / L 以上	施工箇所	種類	形状 /寸法 (mm)	再生材料 の適用	吸水率区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考				○	Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	施釉 無釉	有 無	標準 特注	有 無						・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・								
	項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																														
	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下																																																																																														
	単位容積質量	1.80 k g / L 以上	曲げ強さ	4.0 N / mm ² 以上																																																																																														
	接着強さ	標準時 0.60 N / mm ² 以上 温冷繰返後 0.40 N / mm ² 以上																																																																																																
	項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																																														
	保水率	30.0%以上	吸水量	50 g 以下																																																																																														
	長さ変化率	0.2%以下（収縮）	単位容積質量	1.80 k g / L 以上																																																																																														
	施工箇所	種類	形状 /寸法 (mm)	再生材料 の適用	吸水率区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																							
				○	Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	施釉 無釉	有 無	標準 特注	有 無																																																																																									
				・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																							
				・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																							
	14 屋根及び とい工事	1	材料	下葺材料 ＜14.2.2＞ ※ 改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ） ○ アスファルトルーフィング940 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う																																																																																														
2		金属板葺	＜14.3.2～8＞ <table><tr><th>板及びコイル の種類</th><th>塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号</th><th>厚さ (mm)</th><th>屋根葺形式</th><th>固定釘等 の材質</th></tr><tr><td>※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・</td><td></td><td></td><td>・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺</td><td>・</td></tr></table> 心木の防腐・防蟻処理方法（ ） ・ 平葺（一文字葺）の工法 はぜの作り方 ※ 図示													板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質	※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・																																																																									
			板及びコイル の種類	塗膜の耐久性、めっき 付着量等の種類・記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等 の材質																																																																																											
			※ JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・ 平葺（一文字葺） ・ 心木あり瓦棒葺 ・ 心木なし瓦棒葺 ・ 横葺 ・ 立平葺	・																																																																																											
＜14.8.2、3＞＜表14.8.1＞ といの材料 ・ 金属板（銅板を除く。） 種類 ※ 木造標準仕様書表14.8.1（ ） 板 厚 ・ 谷どい 種類 ※ 木造標準仕様書表14.8.1（ ） 板 厚 ・ 銅板 板厚 ※ 一般部0.35mm、谷どい部0.4mm ・ 硬質塩化ビニル樹脂製 種類 （ ） 外径 （ ） 厚さ （ ） 長さ （ ） ○ 特殊塩化ビニル樹脂製又は樹脂被覆銅板製 ○ 図示																																																																																																		
16 左 官 工 事	1	モルタル塗り	＜15.3.2,5＞ モルタル ※ 現場調査材料 ・ 既調査材料（材料 ） 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所（ ）形状（※図示 ・ ） ○ 設けない 床の目地 ※ 設ける（目地割り2㎡程度 最大目地間隔3㎡程度・ ） （種類 ※ 押し目地 ・ ） ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ○ 適用しない																																																																																															

			富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
					特記仕様書 4			B-A04

章		項 目	特 記 事 項	16	6	A L Cパネルの場合の下地処理	該当なし	17	6	樹脂製建具	性能値等 ◉ 耐風圧性の等級（S-3）、気密性の等級（A-3）、水密性の等級（W-3） ※ 標準仕様書表16.3.1による種別 外部に面する建具の種別（コンクリート下地及び鉄骨下地） 該当なし 外部に面する建具の種別（木下地） ・ D種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・ ） ◉ E種（建具符号： ・ 全て ◉ 建具表による ・ ） 防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ◉ T-2 （建具符号： ◉ 建具表による ・ ） 断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ◉ H-5 ・ H-6 ・ （建具符号： ◉ 建具表による ・ ） 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 水切り板、ぜん板 ※ 図示 ガラス ※ 建具表による																																																																																																																																													
16	左官工事	2	ラス系下地	該当なし	7	マスチック	該当なし					建具工事	鋼製建具	鋼製軽量建具	該当なし																																																																																																																																									
		3	床コンクリート直均し仕上げ	〈15.4.2〉 〈6.2.5〉 仕上げの平たんさは、図示及び標準仕様書15.4.2(7)(i)以外は下記による <table><tr><td>標準仕様書表6.2.5</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>による平坦さの種別</td><td></td></tr><tr><td>a種</td><td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上、</td></tr><tr><td></td><td>フリアクレスフロア（置敷式）（ ）</td></tr><tr><td>b種</td><td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り</td></tr><tr><td></td><td>（ ）</td></tr><tr><td>c種</td><td>タイル張り、モルタル塗り、フリアクレスフロア（支柱調整式）</td></tr><tr><td></td><td>（ ）</td></tr></table>	標準仕様書表6.2.5	施工箇所	による平坦さの種別										a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上、		フリアクレスフロア（置敷式）（ ）	b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り		（ ）	c種	タイル張り、モルタル塗り、フリアクレスフロア（支柱調整式）		（ ）	8	石膏プラスター	該当なし	17	6	鋼製建具	鋼製軽量建具	該当なし																																																																																																																				
		標準仕様書表6.2.5	施工箇所																																																																																																																																																					
		による平坦さの種別																																																																																																																																																						
		a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上、																																																																																																																																																					
			フリアクレスフロア（置敷式）（ ）																																																																																																																																																					
		b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り																																																																																																																																																					
			（ ）																																																																																																																																																					
		c種	タイル張り、モルタル塗り、フリアクレスフロア（支柱調整式）																																																																																																																																																					
			（ ）																																																																																																																																																					
4	セルフレベリング材塗り	該当なし	9	ロックウール	該当なし	木製建具	木製建具	性能値等	◉ 耐風圧性の等級（S-3）、気密性の等級（A-3）、水密性の等級（W-3）	※ 標準仕様書表16.2.1による種別	外部に面する建具の種別（コンクリート下地及び鉄骨下地）	該当なし	外部に面する建具の種別（木下地）	・ D種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・ ）	◉ E種（建具符号： ・ 全て ◉ 建具表による ・ ）	防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級（等級2・3）	（建具符号： ◉ 建具表による ・ ）	断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級（ H-5 ）	（建具符号： ◉ 建具表による ・ ）	耐震性能	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	（建具符号： ◉ 建具表による ・ ）	ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1	枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・	表面処理	外部に面する建具 種別 ◉ BB-1種 ・ BB-2種 ・	色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）	屋内の建具 種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・	色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）						結露水の処理方法 ※ 図示 ◉ メーカー仕様による	水切り板、ぜん板 ※ 図示 ◉ メーカー仕様による																																																																																																																		
5	仕上塗材仕上げ	〈15.6.2〉 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材 <table><tr><td>呼び名</td><td>仕上げの形状</td><td>工法</td><td>吸放湿性</td><td>防火材料</td></tr><tr><td>※ 外装薄塗材E</td><td></td><td></td><td>・ 適用する</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td>・ 適用する</td><td>・</td></tr></table> ・ 厚付け仕上塗材 <table><tr><td>呼び名</td><td>仕上げの形状</td><td>工法</td><td>吸放湿性</td><td>上塗り材</td><td>防火材料</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 適用する</td><td>・ 適用する</td><td>・</td></tr></table> ・ 複層仕上塗材 <table><tr><td>呼び名</td><td>仕上げの形状</td><td>工法</td><td>上塗り材の種類</td><td>耐候性</td><td>防火材料</td></tr><tr><td>※ 複層塗材E</td><td></td><td></td><td>溶媒 ※水系</td><td>※ 耐候形3種</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>樹脂 ※アクリル系</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>外観 ※つやあり</td><td></td><td></td></tr></table> ・ <table><tr><td>軽量骨材仕上塗料</td></tr><tr><td>呼び名</td><td>防火材料</td></tr><tr><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	呼び名	仕上げの形状	工法																											吸放湿性	防火材料	※ 外装薄塗材E					・ 適用する	・	・			・ 適用する	・	呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料				・ 適用する	・ 適用する	・	呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐候性	防火材料	※ 複層塗材E			溶媒 ※水系	※ 耐候形3種	・				樹脂 ※アクリル系	・					外観 ※つやあり			軽量骨材仕上塗料	呼び名	防火材料		・		・			10	しっくい塗り	該当なし	11	こまい塗り	該当なし	1	防火戸	〈16.1.3〉 ◉ 適用する 指定箇所（ ※ 建具表による ・ ） 〈16.1.4〉 ※ 製作しない ・ 製作する（ ※ 納まり等が分かる程度のもの ・ ） 〈16.1.6〉 ◉ 適用する 適用箇所（ ※ 建具表による ・ ） 〈16.2.2,4,5〉 〈表14.2.1〉 〈表16.2.1〉 性能値等 ◉ 耐風圧性の等級（S-3）、気密性の等級（A-3）、水密性の等級（W-3） ※ 標準仕様書表16.2.1による種別 外部に面する建具の種別（コンクリート下地及び鉄骨下地） 該当なし 外部に面する建具の種別（木下地） ・ D種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・ ） ◉ E種（建具符号： ・ 全て ◉ 建具表による ・ ） 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（等級2・3） （建具符号： ◉ 建具表による ・ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ H-5 ） （建具符号： ◉ 建具表による ・ ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による （建具符号： ◉ 建具表による ・ ） ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・ 表面処理 外部に面する建具 種別 ◉ BB-1種 ・ BB-2種 ・ 色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 屋内の建具 種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 結露水の処理方法 ※ 図示 ◉ メーカー仕様による 水切り板、ぜん板 ※ 図示 ◉ メーカー仕様による 〈16.2.3〉 <table><tr><td>種類</td><td>材質</td><td>線径</td><td>網目</td></tr><tr><td>◉ 防虫網</td><td>※ 合成樹脂製</td><td>※ 0.25mm以上</td><td>※ 16～18メッシュ</td></tr><tr><td></td><td>・ ガラス繊維入り合成樹脂製</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・ ステンレス（SUS316）製</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防鳥網</td><td>ステンレス（SUS304）線材</td><td>1.5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table>	種類	材質	線径	網目	◉ 防虫網	※ 合成樹脂製	※ 0.25mm以上	※ 16～18メッシュ		・ ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・		・ ステンレス（SUS316）製			・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm	2	建具見本の製作	〈16.1.4〉	3	防犯建物部品	〈16.1.6〉	4	アルミニウム製建具	〈16.2.2,4,5〉 〈表14.2.1〉 〈表16.2.1〉 性能値等 ◉ 耐風圧性の等級（S-3）、気密性の等級（A-3）、水密性の等級（W-3） ※ 標準仕様書表16.2.1による種別 外部に面する建具の種別（コンクリート下地及び鉄骨下地） 該当なし 外部に面する建具の種別（木下地） ・ D種（建具符号： ・ 全て ・ 建具表による ・ ） ◉ E種（建具符号： ・ 全て ◉ 建具表による ・ ） 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（等級2・3） （建具符号： ◉ 建具表による ・ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ H-5 ） （建具符号： ◉ 建具表による ・ ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による （建具符号： ◉ 建具表による ・ ） ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 枠の見込み寸法 ※ 建具表による ・ 表面処理 外部に面する建具 種別 ◉ BB-1種 ・ BB-2種 ・ 色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 屋内の建具 種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 結露水の処理方法 ※ 図示 ◉ メーカー仕様による 水切り板、ぜん板 ※ 図示 ◉ メーカー仕様による 〈16.2.3〉 <table><tr><td>種類</td><td>材質</td><td>線径</td><td>網目</td></tr><tr><td>◉ 防虫網</td><td>※ 合成樹脂製</td><td>※ 0.25mm以上</td><td>※ 16～18メッシュ</td></tr><tr><td></td><td>・ ガラス繊維入り合成樹脂製</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・ ステンレス（SUS316）製</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 防鳥網</td><td>ステンレス（SUS304）線材</td><td>1.5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table>	種類	材質	線径	網目	◉ 防虫網	※ 合成樹脂製	※ 0.25mm以上	※ 16～18メッシュ		・ ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・		・ ステンレス（SUS316）製			・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm	5	網戸等	5	網戸等
呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																																																				
※ 外装薄塗材E			・ 適用する	・																																																																																																																																																				
・			・ 適用する	・																																																																																																																																																				
呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料																																																																																																																																																			
			・ 適用する	・ 適用する	・																																																																																																																																																			
呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐候性	防火材料																																																																																																																																																			
※ 複層塗材E			溶媒 ※水系	※ 耐候形3種	・																																																																																																																																																			
			樹脂 ※アクリル系	・																																																																																																																																																				
			外観 ※つやあり																																																																																																																																																					
軽量骨材仕上塗料																																																																																																																																																								
呼び名	防火材料																																																																																																																																																							
	・																																																																																																																																																							
	・																																																																																																																																																							
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																					
◉ 防虫網	※ 合成樹脂製	※ 0.25mm以上	※ 16～18メッシュ																																																																																																																																																					
	・ ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・																																																																																																																																																					
	・ ステンレス（SUS316）製																																																																																																																																																							
・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																					
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																					
◉ 防虫網	※ 合成樹脂製	※ 0.25mm以上	※ 16～18メッシュ																																																																																																																																																					
	・ ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・																																																																																																																																																					
	・ ステンレス（SUS316）製																																																																																																																																																							
・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																					

	富永建築設計事務所	1級建築士事務所		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）	「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
	広島県庄原市川手町276-1	1級建築士登録		特記仕様書 5				B-A05
	TEL 0824-72-6669	第211472号 富永隆司						

章	項	目	特	記	事	項	18	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

章		項 目	特 記 事 項				20					20	5	鏡	〈20. 2. 9〉			
19	内装工事	12	壁紙張り	〈19. 8. 2, 3〉				断熱・防露、ユニット及びその他の工事				断熱・防露、ユニット及びその他の工事	6	表示	〈20. 2. 10〉			
		13	断熱材	〈19. 9. 2, 3〉										7	カーテンレール	〈20. 2. 14〉		
20	断熱・防露、ユニット及びその他の工事	1	断熱材等材料	〈20. 1. 2～4〉				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉			
		サイディング材	種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ							耐凍害 性能	防 火 耐火性能			
○ 図示		○ 図示	○ 図示	○ 14	○ 塗装品	○ 図示	○ 図示	張り方 ・ 縦張り ○ 横張り										
換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる				・ 図示														
現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ																		
通気胴縁 樹種 ※ 杉																		
通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)																		
該当なし																		
該当なし																		
3		複合金属サイディング工事	4	ALCパネル(溝形パネル)工事					3	複合金属サイディング工事			10	床点検口	〈20. 3. 2〉			
			現場発泡断熱材(品質・性能)				3	複合金属サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			項目 品質・性能											項目 品質・性能				項目 品質・性能
			難燃性 下記のいずれかによっていること				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。											(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。				(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
			発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) ～ (3) に適合していること。											(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。				(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。
			(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW／m2を超えないこと。											(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
			断熱材の施工				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			○ 充填断熱工法											○ 充填断熱工法				○ 充填断熱工法
			・ 外張断熱工法				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			防蟻処理 ○ 行う											防蟻処理 ○ 行う				防蟻処理 ○ 行う
			○ 図示				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			防湿層の施工 ・ 省略する											防湿層の施工 ・ 省略する				防湿層の施工 ・ 省略する
			各部位の工法 ※ 木造標準仕様書20. 1. 5(7) から (㉔) までによる				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			サイディング材											サイディング材				サイディング材
			種類 形状 働き長さ 働き幅 厚さ (mm) 表面 仕上げ 耐凍害 性能 耐火性能				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示											○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示				○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示
			張り方 ・ 縦張り ○ 横張り				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる											換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる				換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる
			・ 図示				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ											現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ				現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ
			通気胴縁 樹種 ※ 杉				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)											通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)				通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)
			該当なし				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			該当なし											該当なし				該当なし
			現場発泡断熱材				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			項目 品質・性能											項目 品質・性能				項目 品質・性能
			難燃性 下記のいずれかによっていること				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。											(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。				(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
			発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) ～ (3) に適合していること。											(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。				(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。
			(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW／m2を超えないこと。											(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
			断熱材の施工				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			○ 充填断熱工法											○ 充填断熱工法				○ 充填断熱工法
			・ 外張断熱工法				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			防蟻処理 ○ 行う											防蟻処理 ○ 行う				防蟻処理 ○ 行う
			○ 図示				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			防湿層の施工 ・ 省略する											防湿層の施工 ・ 省略する				防湿層の施工 ・ 省略する
			各部位の工法 ※ 木造標準仕様書20. 1. 5(7) から (㉔) までによる				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			サイディング材											サイディング材				サイディング材
			種類 形状 働き長さ 働き幅 厚さ (mm) 表面 仕上げ 耐凍害 性能 耐火性能				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示											○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示				○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示
			張り方 ・ 縦張り ○ 横張り				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる											換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる				換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる
			・ 図示				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ											現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ				現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ
			通気胴縁 樹種 ※ 杉				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)											通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)				通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)
			該当なし				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			該当なし											該当なし				該当なし
			現場発泡断熱材				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			項目 品質・性能											項目 品質・性能				項目 品質・性能
			難燃性 下記のいずれかによっていること				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。											(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。				(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
			発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) ～ (3) に適合していること。											(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。				(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。
			(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW／m2を超えないこと。											(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
			断熱材の施工				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			○ 充填断熱工法											○ 充填断熱工法				○ 充填断熱工法
			・ 外張断熱工法				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			防蟻処理 ○ 行う											防蟻処理 ○ 行う				防蟻処理 ○ 行う
			○ 図示				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			防湿層の施工 ・ 省略する											防湿層の施工 ・ 省略する				防湿層の施工 ・ 省略する
			各部位の工法 ※ 木造標準仕様書20. 1. 5(7) から (㉔) までによる				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			サイディング材											サイディング材				サイディング材
			種類 形状 働き長さ 働き幅 厚さ (mm) 表面 仕上げ 耐凍害 性能 耐火性能				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示											○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示				○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示
			張り方 ・ 縦張り ○ 横張り				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる											換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる				換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる
			・ 図示				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ											現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ				現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ
			通気胴縁 樹種 ※ 杉				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)											通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)				通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)
			該当なし				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			該当なし											該当なし				該当なし
			現場発泡断熱材				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			項目 品質・性能											項目 品質・性能				項目 品質・性能
			難燃性 下記のいずれかによっていること				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。											(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。				(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
			発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) ～ (3) に適合していること。											(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。				(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。
			(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW／m2を超えないこと。											(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
			断熱材の施工				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			○ 充填断熱工法											○ 充填断熱工法				○ 充填断熱工法
			・ 外張断熱工法				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			防蟻処理 ○ 行う											防蟻処理 ○ 行う				防蟻処理 ○ 行う
			○ 図示				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			防湿層の施工 ・ 省略する											防湿層の施工 ・ 省略する				防湿層の施工 ・ 省略する
			各部位の工法 ※ 木造標準仕様書20. 1. 5(7) から (㉔) までによる				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			サイディング材											サイディング材				サイディング材
			種類 形状 働き長さ 働き幅 厚さ (mm) 表面 仕上げ 耐凍害 性能 耐火性能				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示											○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示				○ 図示 ○ 図示 ○ 図示 ○ 14 ○ 塗装品 ○ 図示 ○ 図示
			張り方 ・ 縦張り ○ 横張り				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる											換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる				換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20. 3. 2(3) (㉔) (㉕) ①から④までによる
			・ 図示				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ											現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ				現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ
			通気胴縁 樹種 ※ 杉				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)											通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)				通気胴縁の防腐処理方法(住宅金融公庫仕様書による)
			該当なし				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			該当なし											該当なし				該当なし
			現場発泡断熱材				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			項目 品質・性能											項目 品質・性能				項目 品質・性能
			難燃性 下記のいずれかによっていること				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。											(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。				(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
			発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20. 3. 2〉				
			(1) ～ (3) に適合していること。											(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。				(1) 総発熱量が8MJ／m2以下であること。
			(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。				2	窯業系サイディング工事			断熱材の施工	9	天井点検口	〈20.				

20

断熱・防露、ユニット及びその他の工事

10

床点検口

特記事項			
(品質・性能)			
部材名	材質	屋内外用	屋内用
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S -T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度
	銅製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
	二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501のFC150、FC200
	その他	塩化ビニル樹脂製等	
目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604	
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304	
底板材コーナースペース底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430
	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等枠の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの	
アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの	
取手		黄銅鑄鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄鉄製、ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする	
鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする	
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。	
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内			

20

断熱・防露、ユニット及びその他の工事

11

フェンス

12

収納家具

13

屋外掲示板

14

天井見切り縁等

37

流し台ユニット

38

表札（公団型）

39

屋外物置

40

構内共同ゴミ置場

フェンスの種類

・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス

高さ ※ 図示

材質、形状、寸法 ※ 図示
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ○ F-☆☆☆☆

本体材質 ※ ステンレス製
照明器具 ・ 有り ・ 無し
掲示板面材質 ・
施錠装置 ※ 有り ・ 無し
形状寸法 ※ 図示による

壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁）の材種
※ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品
・ MDF基材化粧既製品H30mm程度

種類	寸法（mm）			備考
	W	D	H	
○ 流し台	○ 1200 ・ 1500 ・ 1800	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 800 ・ 850	市販品（木製扉・木製キャビネット） 仕上げ： ※ 化粧パーティクルボード トラップ付き 壁水切り板 天板ステンレス製
○ コンロ台	○ 600	○ 550 ・ 600 ・ 650	○ 620 ・ 670	市販品（木製扉・木製キャビネット） 仕上げ： ※ 化粧パーティクルボード バックガード有り 壁水切り板 天板ステンレス製
○ つり戸棚	○ 1200 ・ 900	○ 450	・ 500 ○ 700	市販品（木製扉・木製キャビネット） 仕上げ： ※ 化粧パーティクルボード
・ 水切り棚	・ 1200 ・ 900 ・ 600	—	—	市販品 ステンレス製 ・ 1 段式 ・ 2 段式
○ レンジフード	○ 600	—	○ 深型 ・ 浅型	市販品 屋外フード グリスフィルター・換気扇付

(品質・性能)
(1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
(2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき表1の規定による。
形状 ※ 図示

本体 アルミニウム ステンカラー ヘアライン アルマイト処理＋クリア塗装 125×250
名札部（小） アクリル樹脂 60.5×90×2
名札部（大） アクリル樹脂 60.5×160×2
カッティングシートにて 室番号を指定文字で記載の事
参考品名： 表札（公団タイプ） ナス KS-N22AS
連続型物置 各戸1庫連結設置（標準メーカー基礎共） ※ 図示
参考品名： イハ FL-1414SL 引戸タイプ 1400×1400/戸
構内共同ゴミ置場 指定位置 構内1ヶ所設置
参考品名： イハ DPN-187P 22袋タイプ

21

排水工事

1

屋外雨水排水

2

排水樹ふた

3

グレーチング

材料

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（1種）	・ B形管	※ 図示	
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ RS-VP		※ 図示	・
	・ RS-VU		※ 図示	・
	○ VP		※ 図示	・
	・ VU		※ 図示	・

基床の厚さ及び種類 ※ 図示
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤
側塊の形状及び寸法 ※ 図示
排水樹の種類 ※ 図示
砂地業に用いる材料 ※ シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂
砂利地業に用いる材料 ※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込碎石
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度 ※ 18N／mm2
スランブ ※ 15cm又は18cm
現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295A
現場打ちの場合の足掛け金物
材料
※ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 合成樹脂被覆加工を行った足掛け金物
凍上抑制層に用いる材料
砂の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない

(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鑄鉄製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形（パッキン式） ・ 密閉形（テーパー・パッキン式） ・ 中ふた付き密閉形（テーパー・パッキン式）	・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用 ・	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による
塩ビ製	・ RS-VU			

(21.2.1)
材料（鋼製、ステンレス製）
用途（溝ふた【横断用、側溝用】、樹ふた用、U字溝用）
適用荷重（歩行用、T-2、T-6、T-14、T-20）、
形式（受枠付きボルト固定の有無）、
メインバーピッチ（細目、普通目）、上面形状（凹凸形、平形）は図示による
(品質・性能等)
＜鋼製グレーチング＞

項目	品質・性能
メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101 SS400
クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505 「軟鋼線材」SWRM
受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132 「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」SPHT 塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料
溶融亜鉛めっきの付着量	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上
アンカー	間隔 側溝の場合500mm内外
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする

		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
		特記仕様書 8			B-A08

富永建築設計事務所

1級建築士事務所
登録番号 23(1)4914号
広島県庄原市川手町276-1
TEL 0824-72-6669

1級建築士登録
第211472号 富永隆司

章		項 目	特 記 事 項	22 舗 装 工 事	2	路盤	路盤の厚さ ※ 図示 ・ 路盤材料の種類 ・ クラッシャラン ・ 粒度調整碎石 ※ 再生クラッシャラン ・ 再生粒度調整碎石 ・ クラッシャラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 路盤締固め度の試験 ※ 行う ○ 行わない	22 舗 装 工 事	7	ブロック系舗装	・ コンクリート平板舗装 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 備考 ※ 普通平板 (N) ※ 300角 ※ 60 ※ 砂 表面加工 ・ 透水平板 (P) ・ ・ ・ 研ぎ出し ・ 保水性平板 (M) ・ ・ ・ 洗い出し ・ たたき出し 仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、 コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。 ・ インターロッキングブロック舗装 種類 部位 形 状 厚さ 曲げ強度 備考 寸法 (mm) (N／mm ²) ※ 普通ブロック (N) 車路 ・ 図示 ※ 80 ※ 5.0 表面加工 ・ 透水性ブロック (P) ・ ・ ・ 標準品 ・ 保水性ブロック (M) ・ ・ ・ ※ 普通ブロック (N) 歩行者用 通路 ・ 図示 ※ 60 ※ 3.0 ・ 透水性ブロック (P) ・ ・ ・ ・ 保水性ブロック (M) ・ ・ ・ ・ 仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック 間の段差は3mm以内とする。 ・ ・ 舗石舗装 種類 形 状 厚さ 施工方法 基層 基層の厚さ 寸法 (mm) (mm) (mm) ※ 花こう岩 ・ 割石 ・ ・ うろこ張り ・ コンクリート版 ※ 70 ・ ・ 図示 ・ ・ ・ アスファルト混合物 ※ 50						
21 排 水 工 事	4	街きよ、縁石 及び側溝	街きよ、縁石、側溝 種類 形状、寸法 ・ 縁石 ※ 図示 ・ ・ L形側溝 ※ 図示 ・ ・ U形側溝 ※ 図示 ・ ・ U形側溝ふた ※ 図示 ・ ・ ※ 図示 ・ 砂地業に用いる材料 ※ シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 砂利地業に用いる材料 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込碎石 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18N／mm ² スランプ ※ 15cm又は18cm 砂利地業の厚さ ※ 100mm ・ 図示 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18N／mm ² スランプ ※ 15cm又は18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295A 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない	3	3	アスファルト 舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・ 材料 アスファルト ※ 再生アスファルト (種類 ※ 60～80 ・ 80～100) ・ ストレートアスファルト 骨材 ・ 道路用碎石 ※ アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類 ○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ 密粒度アスファルト混合物 (13F) シーลコートの施工 ※ 行わない ○ 行う (乳材の種類 ※ PK－1ただし、冬期はPK－2 ・) 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ○ 行わない 舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・	23 植 栽 工 事	8	砂利敷き	種類 ・ A種 (施工範囲： ・ 図示 ・ 通路 ・) ○ B種 (施工範囲： ・ 図示 ○ 建物周囲その他 ・) 路面標示用塗料はJIS K 5665による。 種類 施工 適用 色 幅 (mm) 塗布厚さ (mm) 適用部位 ※ 3種1号○熔融 粉体状 ○ 白 ※ 150 ・ 1.0 ○ 白線 ・ 1種 常温 液状 ・ ・ 100 ○ 2.0 ・ 車椅子駐車場ライン、マーク ・ 2種 加熱						
22 舗 装 工 事	1	路床	路床の材料 種別 材料 厚さ (mm) ・ 盛土 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ※ 図示 ・ 建設汚泥から再生した処理土 ・ ・ 凍上抑制層 ○ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ※ 図示 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ・ フィルター層 ○ 砂 ※ 図示 ・ 路床安定処理の方法 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 添加量 ・ kg／m ³ (目標CBR ・ 3以上 ・) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土のCBR試験 ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g／m ² 以上 ・ 厚さ (mm) ・ 0.5～1.0 ・ 引張強さ ・ 98N／5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ 透水係数 ・ 1.5×10 cm/sec以上 ・ 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ○ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ○ 行わない	4	4	コンクリート 舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ 舗装の種類 部位 構成 厚さ (mm) コンクリート舗装 車路及び駐車場 図示 図示 歩行者用通路 図示 ※ 70 寒冷地の縁部立下り寸法等 ・ 図示 材料 コンクリート ※ 標準仕様書表22.5.1による ・ 早強ポルトランドセメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 ※ 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・ 図示 舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 該当なし 該当なし	5	6	カラー舗装 透水性アスファルト舗装	該当なし						
			富永建築設計事務所 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号		第一川東公営住宅改築工事 (2・3工区) 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号								
				1級建築士登録 第211472号 富永隆司													
				特記仕様書 9													
			該 当 な し			特記記載末尾 終了											

設計概要

工事名称		第一川東公営住宅改築工事（２・３工区）（Ｂタイプ）								関連付帯工事	電気設備	電灯・コンセント・光電話配線・照明器具・ＴＶアンテナ・人感センサー・警報装置 機器新設配線配管工事一式				別途工事	居室照明器具・TV電話機器類		
建設地名地番		〒729-5121 広島県庄原市東城町川東306番地1									給排水設備	給水・排水・衛生設備・換気設備・公共上下水有り 機器新設配線配管工事一式 ※諸申請共							
構造		木造在来軸組工法 平屋		用途	共同住宅						外構付帯工事	敷地内及び駐車場舗装工事 駐車場車止取付 車区画線引							
都市計画区域		・計画区域内 ・計画区域外		用途地域	第二種中高層住居専用地域 第二種住居地域			防火地域	・防火 ・準防火 ・指定なし			外部仕上表	屋根	石州防災瓦葺 勾配4.5寸 野地板：厚12mm耐水構造用合板 アスファルトルーフィング940同等品以上 棟瓦：紐丸7寸瓦 妻：7寸丸巴 SUSビス止 棟瓦下地：桧45×45 棟金具80mmφ900以下 雪止瓦連続2段/面 不燃 告示H12第1400号					
その他の区域 地域・地区・街区		・風致地区 ・宅地造成等 工事規制区域		絶対高さ制限 10m ・ 12m		外壁の後退線 ・無し ・1m ・1.5m		日影規制	・有 ・無 ・規制地域に影を落す ・対象物件 ・対象外物件				軒裏	吉野石膏不燃ボード 厚6mm エンボスカラー同等品 NM8315 一部有孔厚6mmエンボスカラー同等品 窯業系鼻隠し及び破風板 塗装品（巾210）					
法22条の指定		・指定区域 ・指定なし		福祉のまちづくり条例 協議対象物件の別		・協議物件 ・対象外物件		バリアフリー新法 認定対象物件の別	・対象物件 ・対象外物件 ※特定建築物（高齢者配慮等級３）				外壁	厚14mm以上 窯業系サイディング横貼（通気層厚15mm）透湿防水シート貼					
ふるさと広島の景観の 保全と創造に関する条例				・景観モデル区域 ・景観形成区域		・大規模行為届出対象区域		行為の届出	・必要物件 ・不要物件				基礎・巾木	土台廻り通気水切、軒天廻通気見切縁 コンクリート打放補修 補修はセパレーター跡面落防水モルタル補修 出隅45° 面取 面幅15mm 基礎下端：基礎通気パッキン ねこ土台パッキン工法 厚20mm 公庫承認メーカー仕様					
敷地面積		棟別配置図記載 ㎡（登記・計測）		建ぺい率		棟別配置図記載 ≤ 60 %		容積率	道路幅員 用途地域規定 棟別配置図記載 ≤ 前面道路幅員(m) × 0.4 × 100 = ≤ 200 %				建具	住宅用カーテンミサッ 網戸付 一部面格子付 遮音等級区分(JIS) T-1以上 JISA4706、JISA4702 窓等ガラス：低放射（Low-e）複層ガラス 遮熱タイプ・断熱タイプ					
建築面積		工事部分 180.11 ㎡/棟		申請車庫部分 ㎡		既存部分 ㎡		合計建築面積 180.11 ㎡/棟		雨樋									
床面積	区分種別		共同住宅				合 計		申請建築2号 用途（ ）		1階 ㎡ 2階 ㎡ 延面積 ㎡		外部その他	通路床：コンクリート金コテ押え テラス：人工デッキ既製ユニット品 表札（公団タイプ）付 KS-N22AS 玄関：コンクリート打放 目地・面木有 中打放 目地・面木有 中央指定部：モルタル欄目荒引仕上 手摺：指定アルミ手摺 換気孔：図示指定換気ガラリ（リビング部分）					
	住宅部分床面積		1階 145.75 ㎡	1階 ㎡	1階 ㎡	延面積 145.75 ㎡/棟		既存申請外建物		1階 ㎡ 2階 ㎡ 延面積 ㎡									
	その他用途床面積		1階 ㎡	1階 ㎡	1階 ㎡	延面積 ㎡/棟		敷地内建物 床面積合計		145.75 ㎡/棟									
	新築部分床面積合計		1階 145.75 ㎡	1階 ㎡	1階 ㎡	延面積 145.75 ㎡/棟													
	既存部分床面積		1階 ㎡	1階 ㎡	1階 ㎡	延面積 ㎡/棟													
	床面積合計		1階 145.75 ㎡	1階 ㎡	1階 ㎡	延面積 145.75 ㎡/棟													

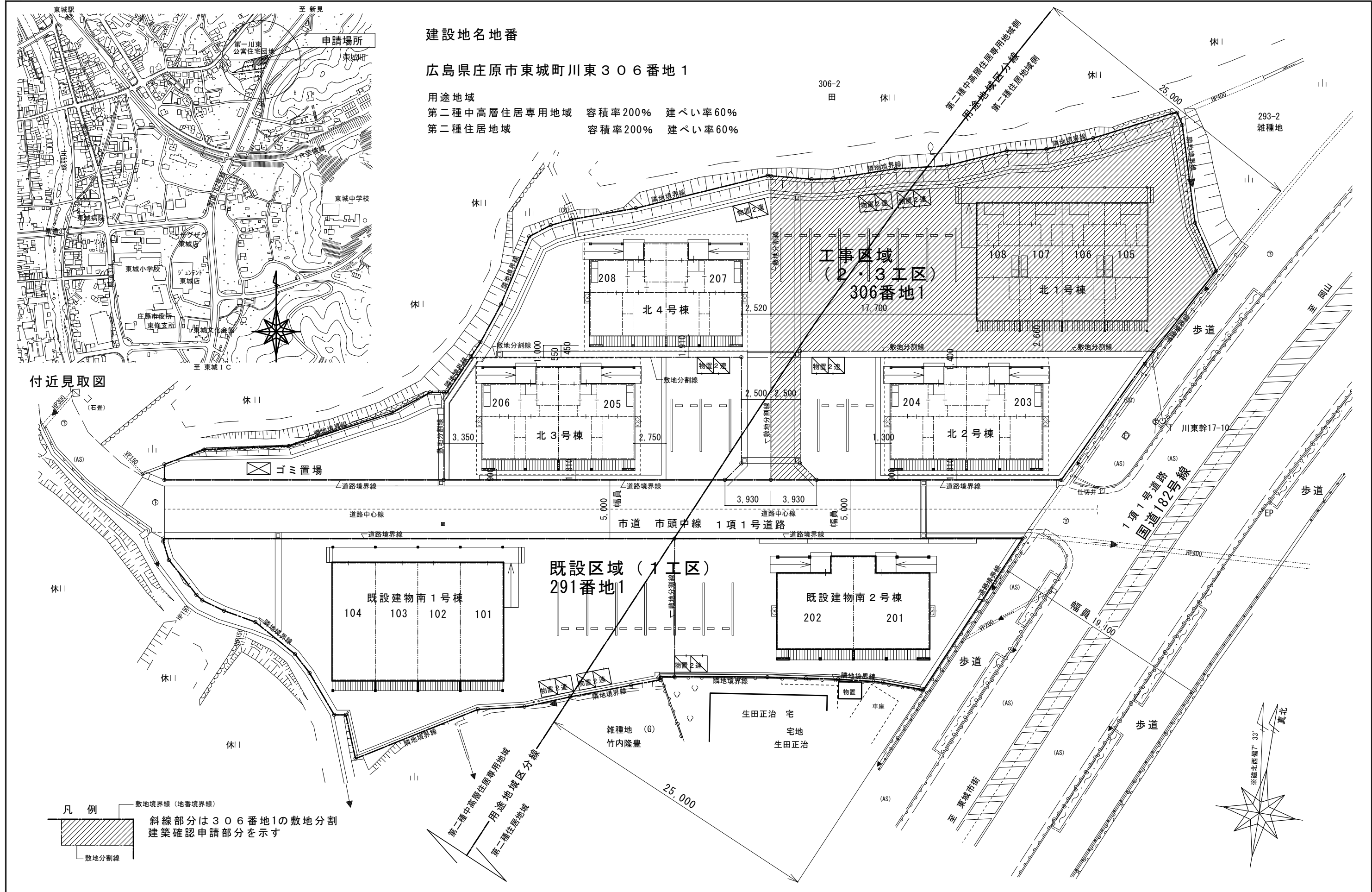
内部仕上表

1階	階	室名	床			巾木		壁		天井		廻縁	備 考		
			下地 ・ 仕上		GL+H	下地・仕上	H	下地 ・ 仕上		下地 ・ 仕上		天井高			
		玄関	コンクリート下地調合モルタル下地 150角 磁器質タイル張り			370	モルタル下地 磁器質タイル		界壁面・外壁面は、指定ボード下地 指定外 厚12.5mm石膏ボード下地 ビニールクロス貼 ※下駄箱裏面側面は厚12.5mm5合板下地貼とする		厚9.5mm 石膏ボード下地 ビニールクロス張り		2550	塩ビ	玄関框 ・手摺（段差部昇降） 下駄箱ユニット
		廊下	厚24mm 構造合板床パネル下地 厚12mm 化粧フローリング			576	MDF化粧巾木	60	厚12.5mm石膏ボード下地 ビニールクロス貼		"		2400	"	手摺取付壁補強（ライナー合板）
		D・K	厚24mm 構造合板床パネル下地 厚9mm 耐水合板調整捨貼下地 クッションフロア貼			"	"	"	厚12.5mm 石膏ボード下地 ビニールクロス貼 流し台廻り 厚3mmメラミン不燃化粧貼 キッチンセット裏面 厚12.5mmライナー合板下地		"		"	床下点検口450角断熱タイプ、給気レジスター・ガラリ、住民告知端末（光回線）用空配管、ガス漏れ警報器 流し台+コンロ台+吊戸棚+レンジフード換気扇、水切りカバー、24h用給気レジスター・ガラリ、住宅用火災警報器	
		洋室	厚24mm 構造合板床パネル下地 厚12mm 化粧フローリング			"	"	"	界壁面・外壁面は、指定ボード下地 指定外 厚12.5mm石膏ボード下地 ビニールクロス貼 ※エアコン取付予定面は厚12.5mm5合板下地貼とする		"		"	"	24h用給気レジスター・ガラリ、住宅用火災警報器 エアコン取付壁補強、エアコン配管スリーブ（内外キップ付）
		クローゼット	"			"	"	"	界壁面・外壁面は、指定ボード下地 普通合板貼		普通合板貼		"	"	枕棚 ハンガーパイプ
		トイレ	厚24mm 構造合板床パネル下地 厚9mm 耐水合板調整捨貼下地 クッションフロア貼			"	"	"	界壁面・外壁面は、指定ボード下地 指定外 厚12.5mm石膏ボード下地 ビニールクロス貼 ※手摺取付予定面展開図指定部は厚12.5mm5合板下地貼とする		"		"	"	腰掛便器（ウォシュレット）、紙巻器、手摺、タオル掛 24h換気用換気扇
	洗面所	"			"	"	"	"		"		"	"	洗面化粧台ユニット、タイル掛、洗濯機防水パン 浴室出入り口手摺、天井点検口、床下点検口450角断熱タイプ	
	ユニットバス	UB-1216 （高齢者対抗）			556										

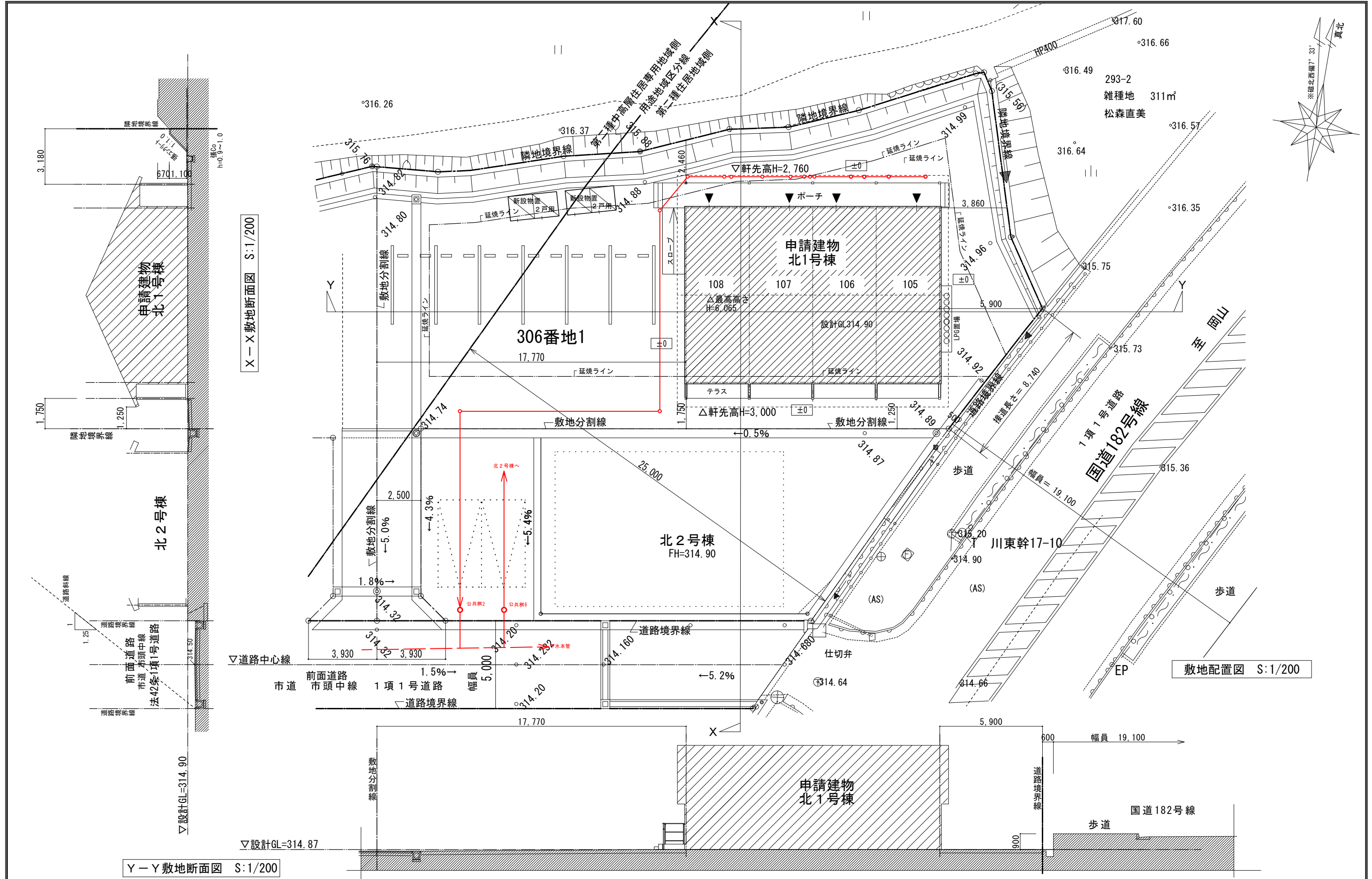
住宅原整備公営基準

性能評価 必須項目	住宅性能表示 制度の評価項目	主な仕様・内容		特 記				断熱材		
	①温熱環境	5-1(断熱等性能)：等級4又は等級3 庄原市の地域区分：4地域		厚9.5mm PB 準不燃 認定番号QM-9828				厚5・6mm カバタイル 不燃 認定番号NM-9430・9371	天井：高性能グラスウール厚155（14kg/m3）	
	②音環境	8-1重量床衝撃音対策(界床スラブ厚)：該当なし8-4透過損失(外壁開口部)：等級2		厚12.5mm PB 準不燃 認定番号NM-8619				厚6mm 化粧タイルカバネ 不燃 認定番号NM-1897他	壁：高性能グラスウール厚105（14kg/m3）	
	③劣化軽減	3-1劣化対策(構造躯体等)：等級2 外壁通気工法、軸組小径＝12cm以上等		ビニールクロス：準不燃認定品QM-9***品以上				断熱材	床：ミラフォーム入厚50	
	④維持管理	4-1、4-2維持管理対策(共用及び専用配管)：等級2 点検、清掃、補修		厚12.5mm 防水PB 不燃：認定番号NM-9639				別紙図示の位置に別紙断熱材の仕様で下記の位置に施工の事		
	⑤空気環境	6-1ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)：等級3 ホルムアルデヒド発散建材（第一種～第三種）の使用禁止		不燃化粧石膏ボード 認定番号NM-8315				外部面の壁面・床下全面（コンクリート床・UBを除く）		
	⑥高齢者配慮	9-1、9-2高齢者等配慮対策(内装及び天井裏等)：等級3 段差・手摺、通路幅、浴室・便所空間、特定寝室(9㎡以上)		厚6mm ケイカル板 不燃 認定番号NM-8578				・天井全面（軒裏を除く）・界壁内部		
	⑦構造安定	1-1～7（1-5を除く）：等級1 建築基準法の定めるもの、地盤、基礎		準不燃化粧石膏ボード 認定番号QM-9824				シツパ対策建材：使用建築材料（面材仕上下地共・建具・家具ユニット等）は全てF☆☆☆☆とする		
※選択項目：計7項目		※○番号：性能表示制度による評価必須項目(平成27年4月1日施工)		厚3mm メラミン不燃化粧板・フィカ・大建ケレド 不燃 認定番号NM-2183・1386				瓦葺：（法2条1項9号・令108条の2・建告H12-1400-3不燃材）		
						使用木材（素材、製材、各種合板、集成材）の品質は、農林規格（JAS）に適合したものとし、広島県内産とする。				

	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（２・３工区）「Ｂタイプ」	縮尺	設計	図面番号
			工事概要・仕上表	-		B-A10



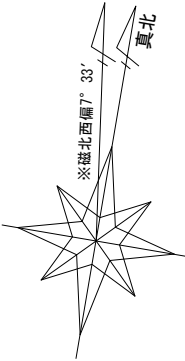
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
				付近見取り図 全体配置図	1/300		B-A11



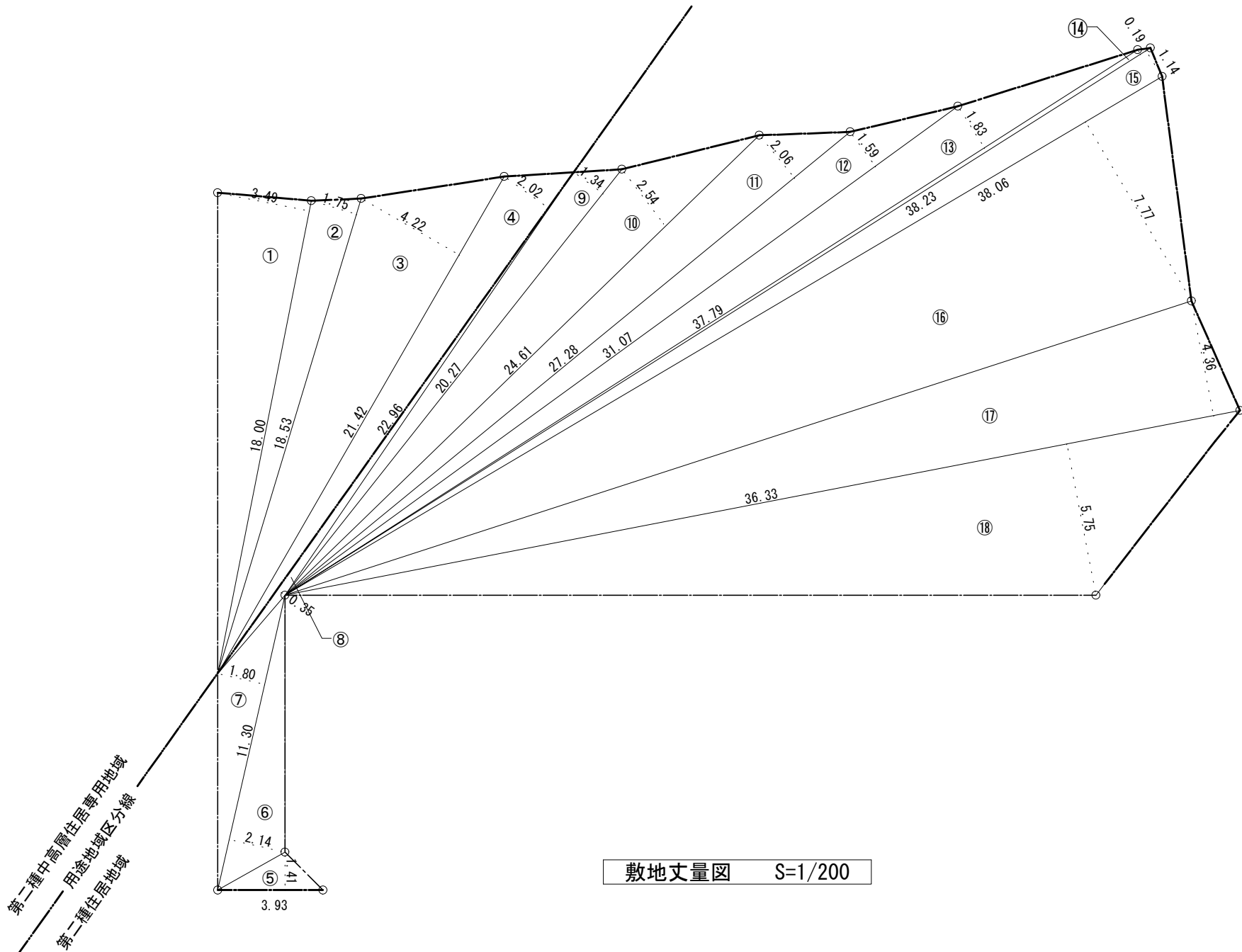
X-X敷地断面図 S:1/200

Y-Y敷地断面図 S:1/200

敷地配置図 S:1/200



	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)「Bタイプ」 北1号棟 敷地配置図 敷地断面図	縮尺	設計	図面番号
				1/200		B-A12



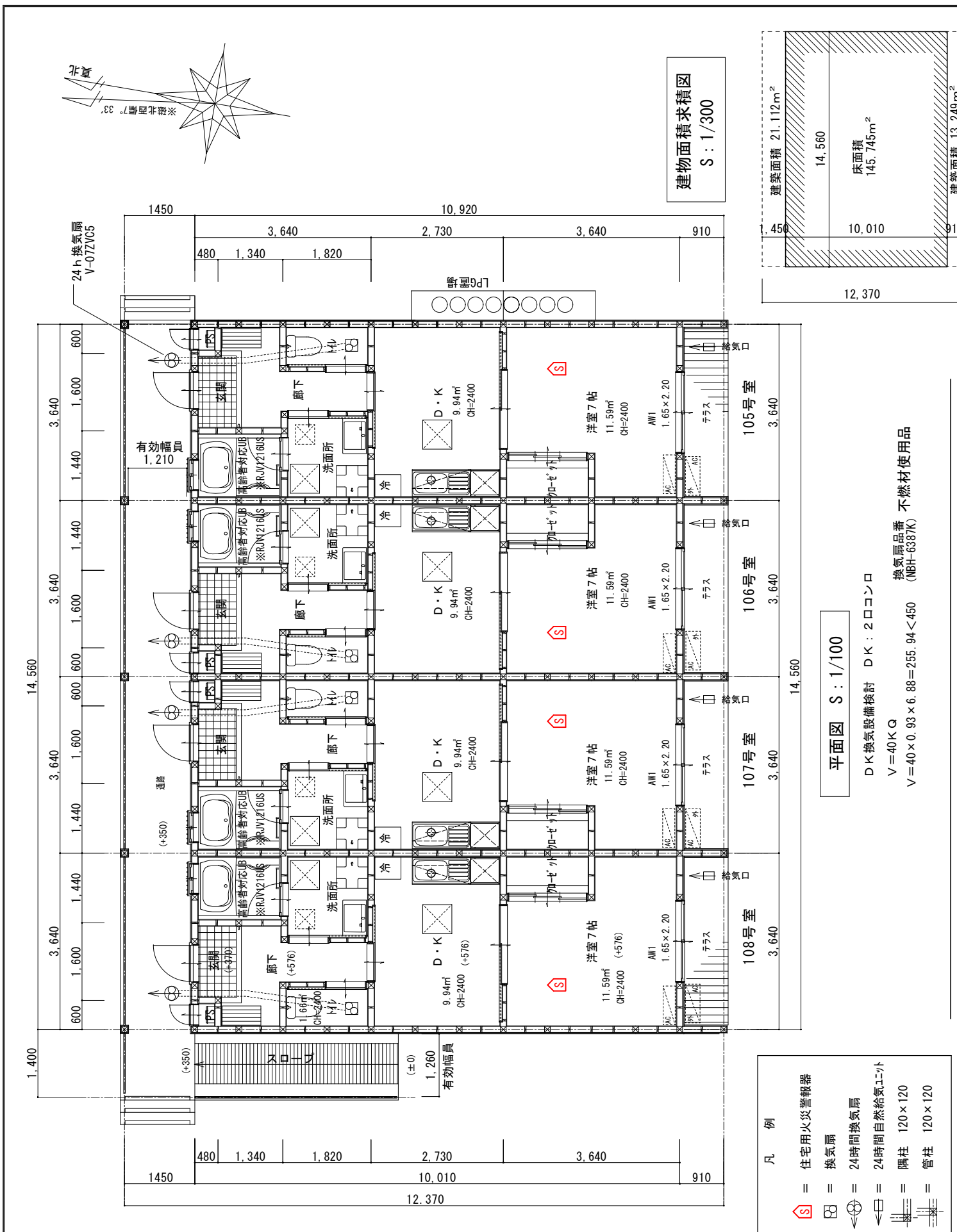
敷地丈量図 S=1/200

建設地名地番
広島県庄原市東城町川東 306番地1の分割敷地
都市計画区域内区分未指定区域
用途地域 第二種中高層住居専用地域
第二種住居地域
法22条指定区域 宅地造成等工事規制区域
建ぺい率限度60% 容積率限度200%
(道路幅員による容積率限度
5m×0.4×100=200%)

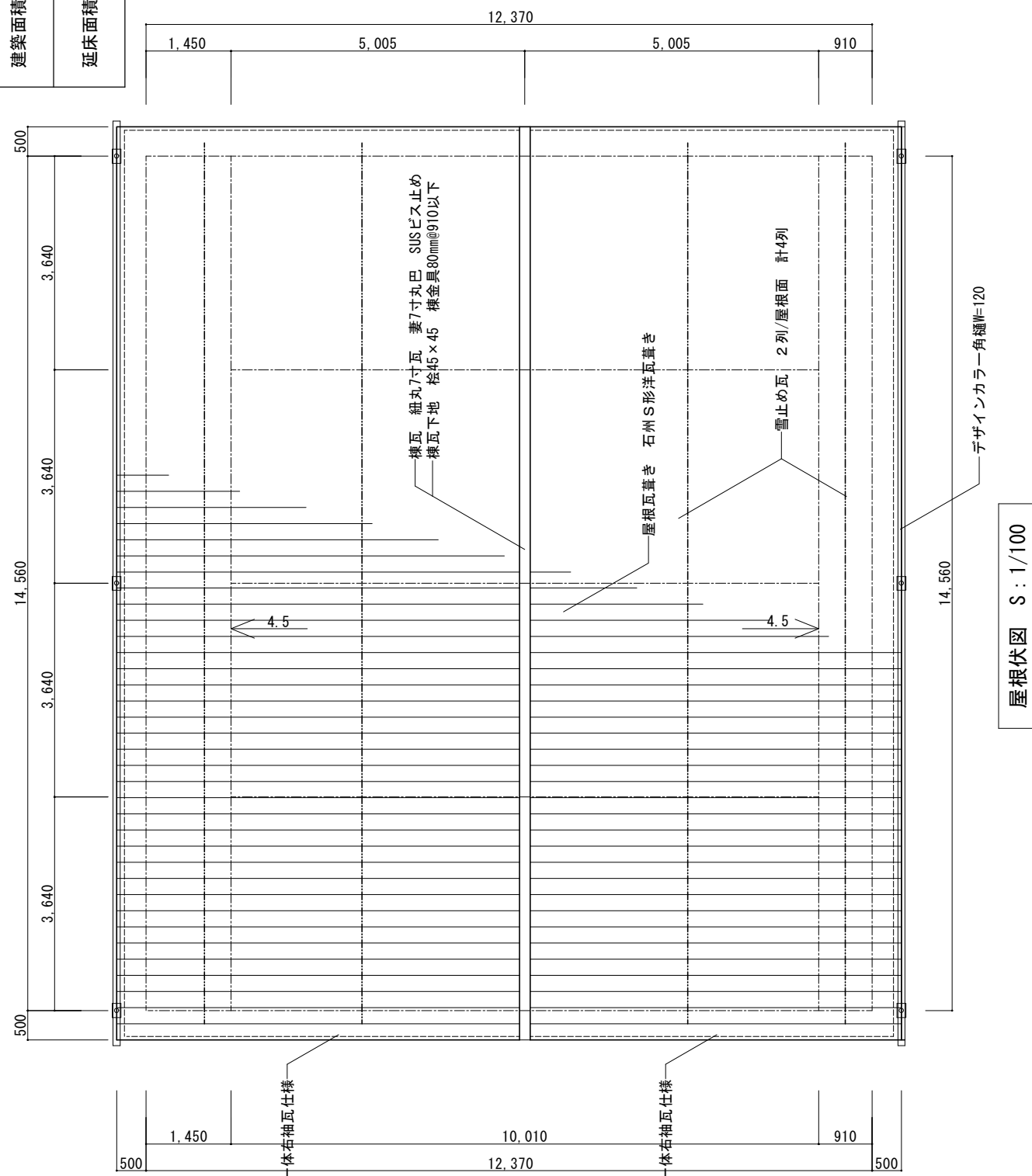
敷地丈量表

地域区分	番号	底 辺	高 さ	倍面積	面 積
住第二種 居専用中高層 地域層	①	18.00	3.49	62.820	31.410
	②	18.53	1.75	32.4275	16.21375
	③	21.42	4.22	90.3924	45.1962
	④	22.96	2.02	46.3792	23.1896
	合 計				116.00955
	地域面積				116.00㎡
第二種住居地域	⑤	3.93	1.41	5.5413	2.77065
	⑥	11.30	2.14	24.182	12.091
	⑦	11.30	1.80	20.340	10.170
	⑧	22.96	0.35	8.036	4.018
	⑨	20.27	1.34	27.1618	13.5809
	⑩	24.61	2.54	62.5094	31.2547
	⑪	27.28	2.06	56.1968	28.0984
	⑫	31.07	1.59	49.4013	24.70065
	⑬	37.79	1.83	69.1557	34.57785
	⑭	38.23	0.19	7.2637	3.63185
	⑮	38.23	1.14	43.5822	21.7911
	⑯	38.06	7.77	295.7262	147.8631
	⑰	36.33	4.36	158.3988	79.1994
	⑱	36.33	5.75	208.8975	104.44875
	合 計				518.19635
	地域面積				518.19㎡
合計敷地面積					634.19㎡

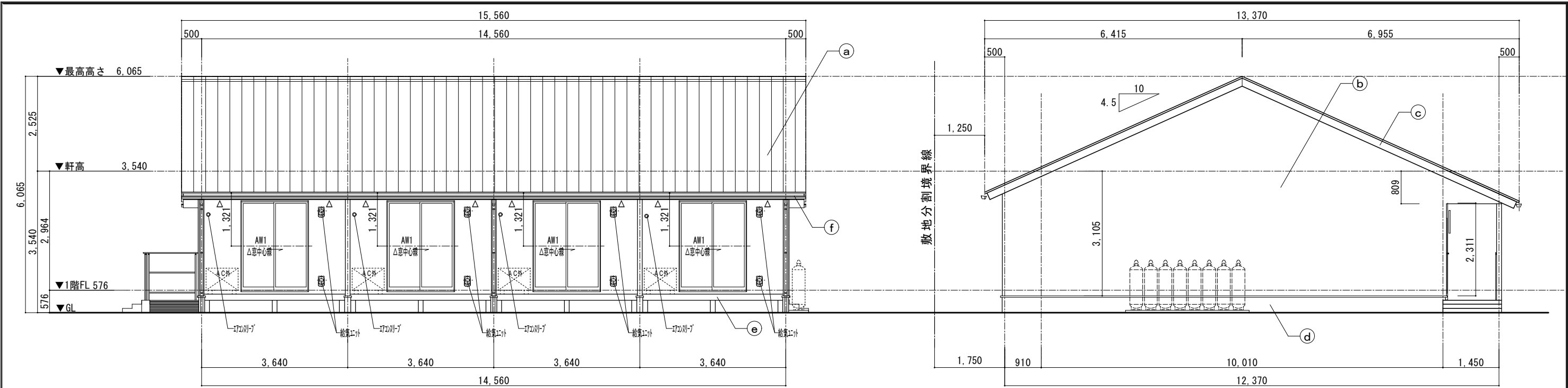
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
			北1号棟 敷地丈量図	1/200		B-A13



建築面積	戸	12. 37 × 3. 64 = 45. 0268 45. 03㎡
	棟	12. 37 × 14. 56 = 180. 1072 180. 11㎡
延床面積	戸	10. 01 × 3. 64 = 36. 4364 36. 44㎡
	棟	10. 01 × 14. 56 = 145. 7456 145. 75㎡



	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
			1階平面図 ・ 屋根伏図	S:1/100		B-A14



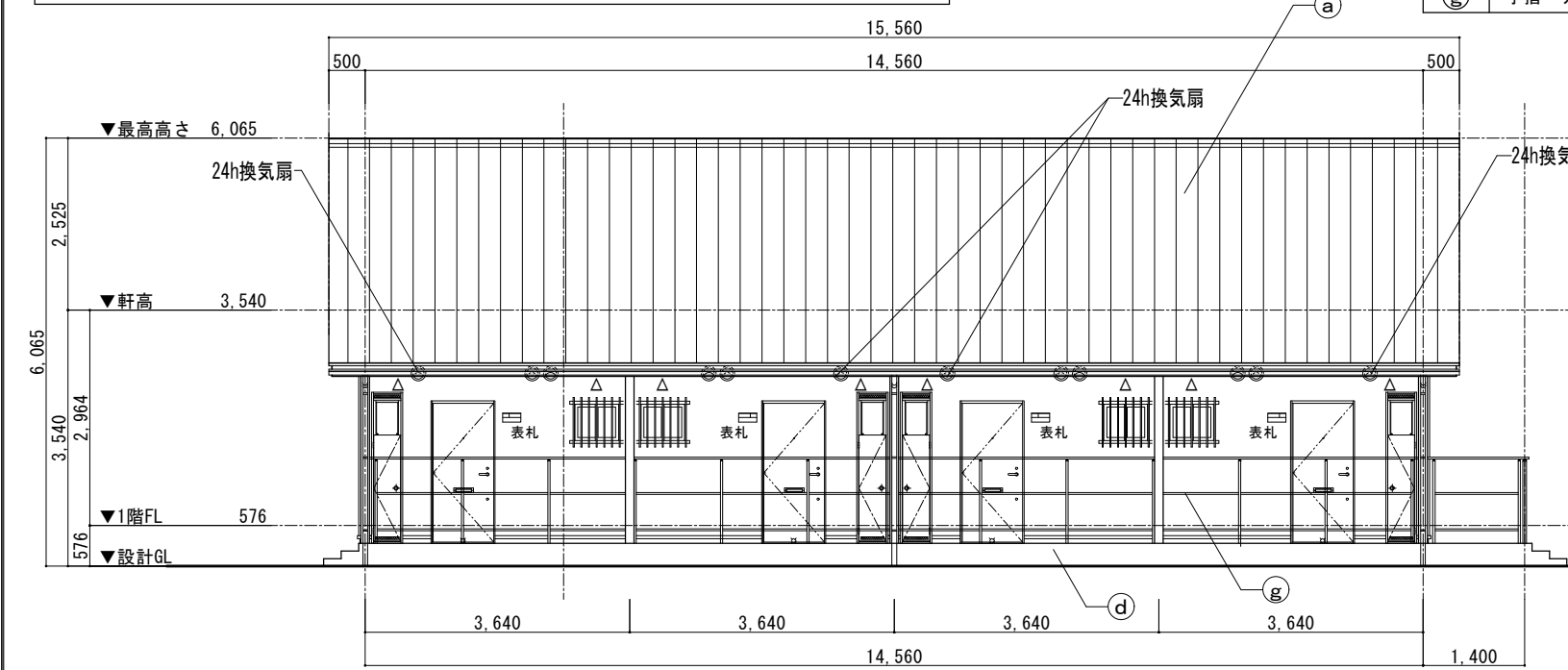
南立面図 S:1/100

東立面図 S:1/100

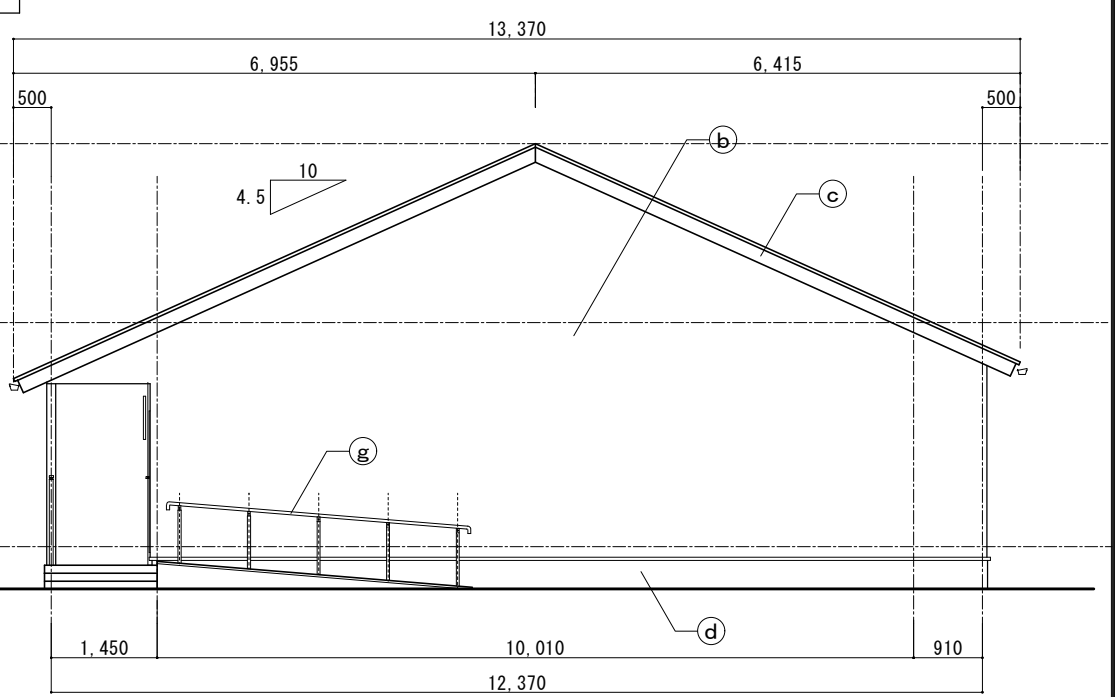
(a)	屋根 石州防災瓦 S 形
(b)	外壁 窯業系サイディング
(c)	破風板 窯業系不燃破風
(d)	巾木 モルタル
(e)	テラス
(f)	軒樋 角樋W120 縦樋 60φ丸樋
(g)	手摺 アルミ手摺

□小屋裏換気検討（有孔板位置△）

小屋裏面積：（床面積）=36.43㎡/戸
北側 軒天（有孔板）：1.365×0.910×0.044×10⁴=546.54cm²/箇所：NBLアスノン有孔板（開孔板4.4%）
南側 軒天（有孔板）：0.910×0.910×0.044×10⁴=364.36cm²/箇所：NBLアスノン有孔板（開孔板4.4%）
必要小屋裏換気量
36.43㎡/250×10⁴=1457.20cm² < 546.54×2+364.36×2=1821.80cm² よって、各2箇所設置（図示）△



北立面図 S:1/100



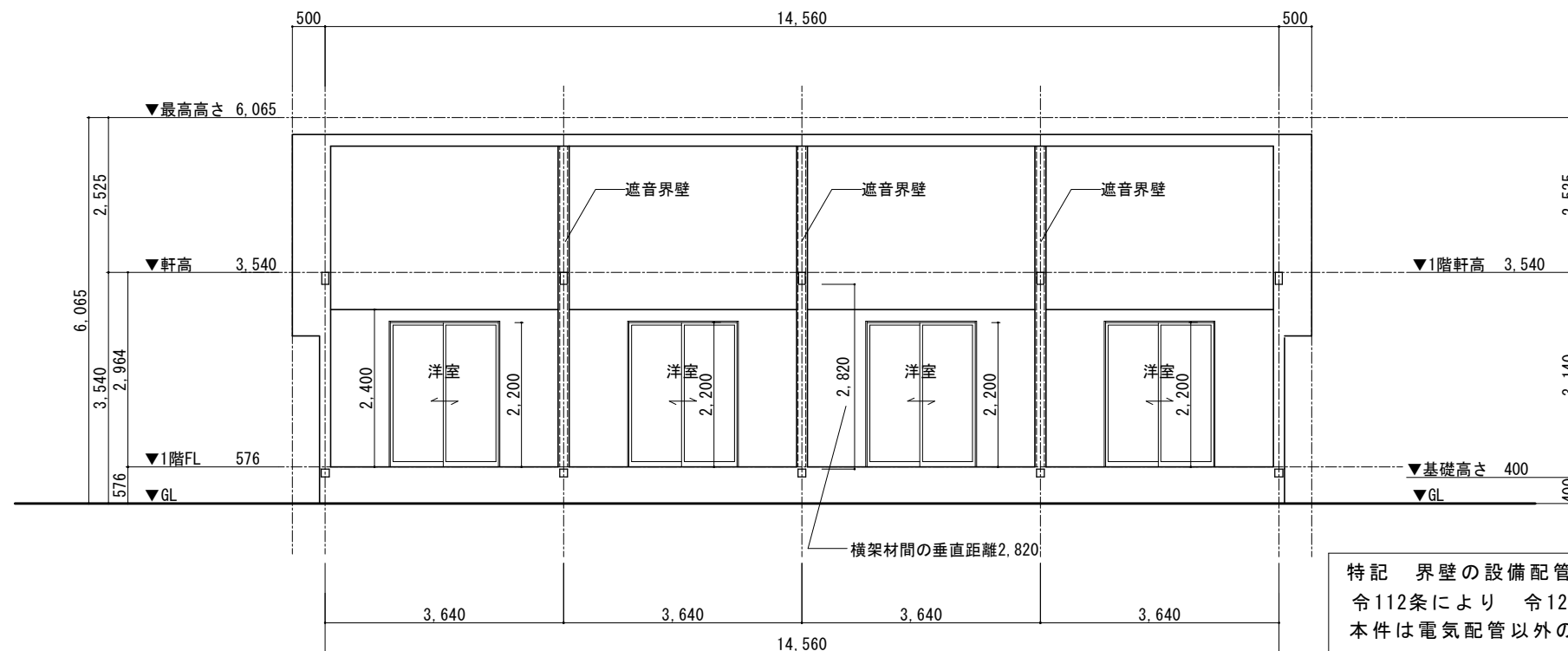
西立面図 S:1/100

外部法定指定仕上げ ※全面下記仕上げとする。（延焼のおそれのある部分以外も含む）

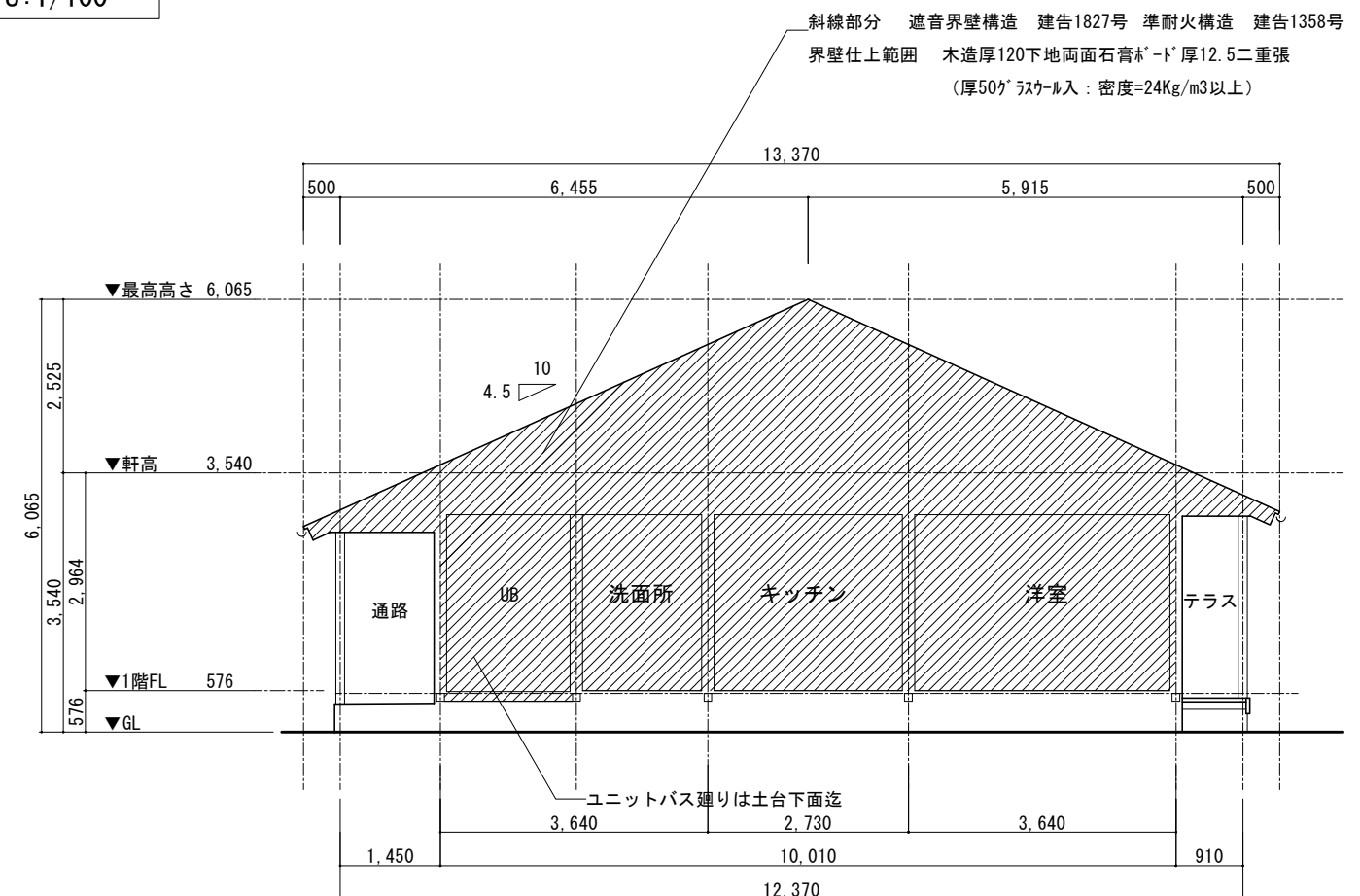
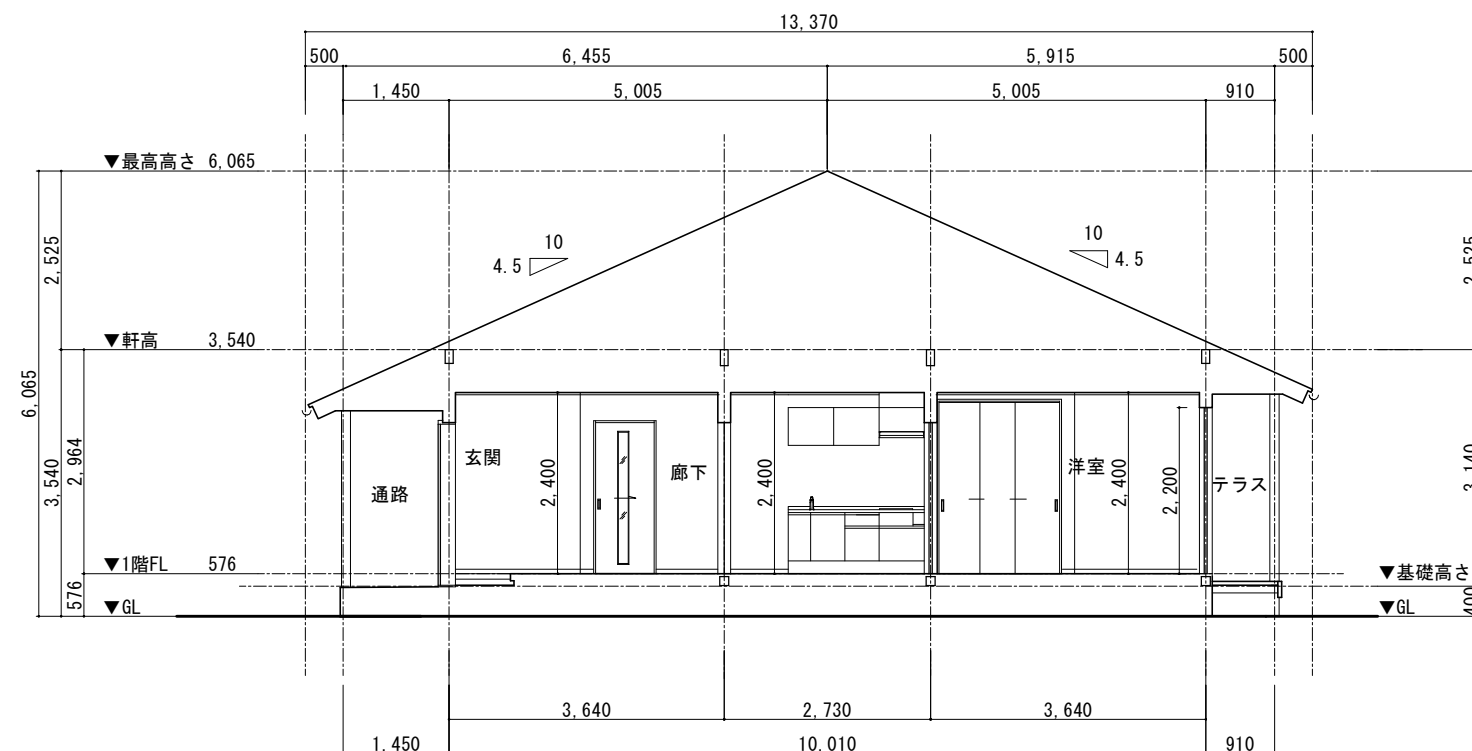
法定地域	屋根	瓦葺き（S形瓦） 勾配 4.5寸 不燃材	外部側	14t 窯業系サイディング貼
第二種中高層住居専用地域	軒裏	不燃 法2条1項9号 令108条の2 建告H12-1400-3	屋内側	厚100mmのグラスウール充填
第二種住居地域		厚12吉野石膏不燃板・ト・インボ・スカー同等品 一部有孔板・ト・インボ・スカー同等品		厚12.5mm PB張り
法第22条指定区域		不燃NM-4132・4133		
防火・準防火地域未指定区域		軒裏準耐火構造（30分）QF030RS-0281・0336		認定防火構造（木造下地）PC030BE-9201

富永建築設計事務所 1級建築士事務所
登録番号 23(1)4914号
広島県庄原市川手町276-1 1級建築士登録
TEL 0824-72-6669 第211472号 富永隆司

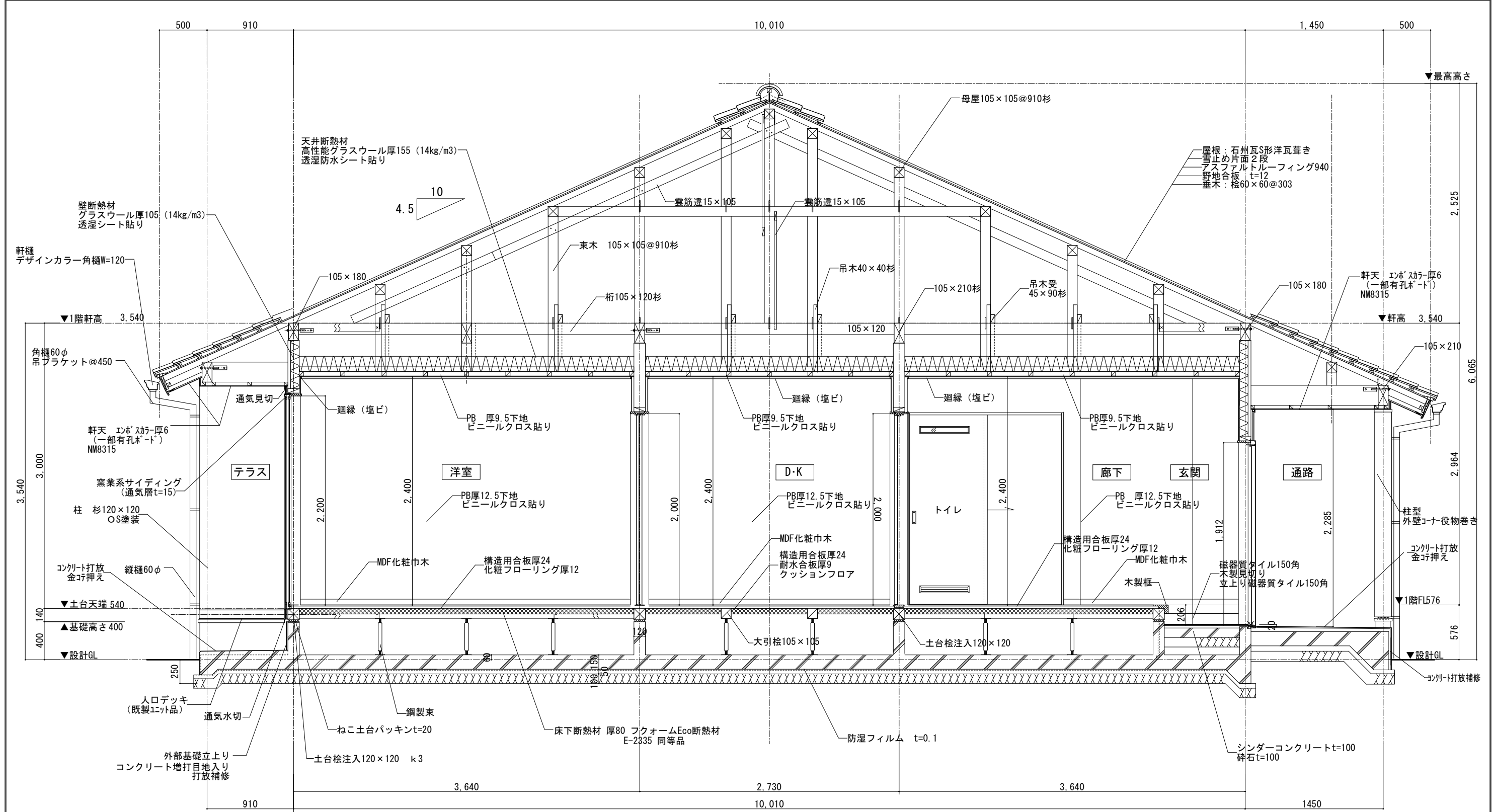
第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」 縮尺 設計 図面番号
立面図 S:1/100 B-A15



特記 界壁の設備配管の貫通について
 令112条により 令129条の2の4-1項7号の配管の構造とする。
 本件は電気配管以外の貫通はない。
 平成12建告第1422号の管径による緩和規定により
 配電管（VE管）82φ（外形90mm）肉厚5.5mm未満の管径品を使用する



	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
			断面図	S:1/100		B-A16

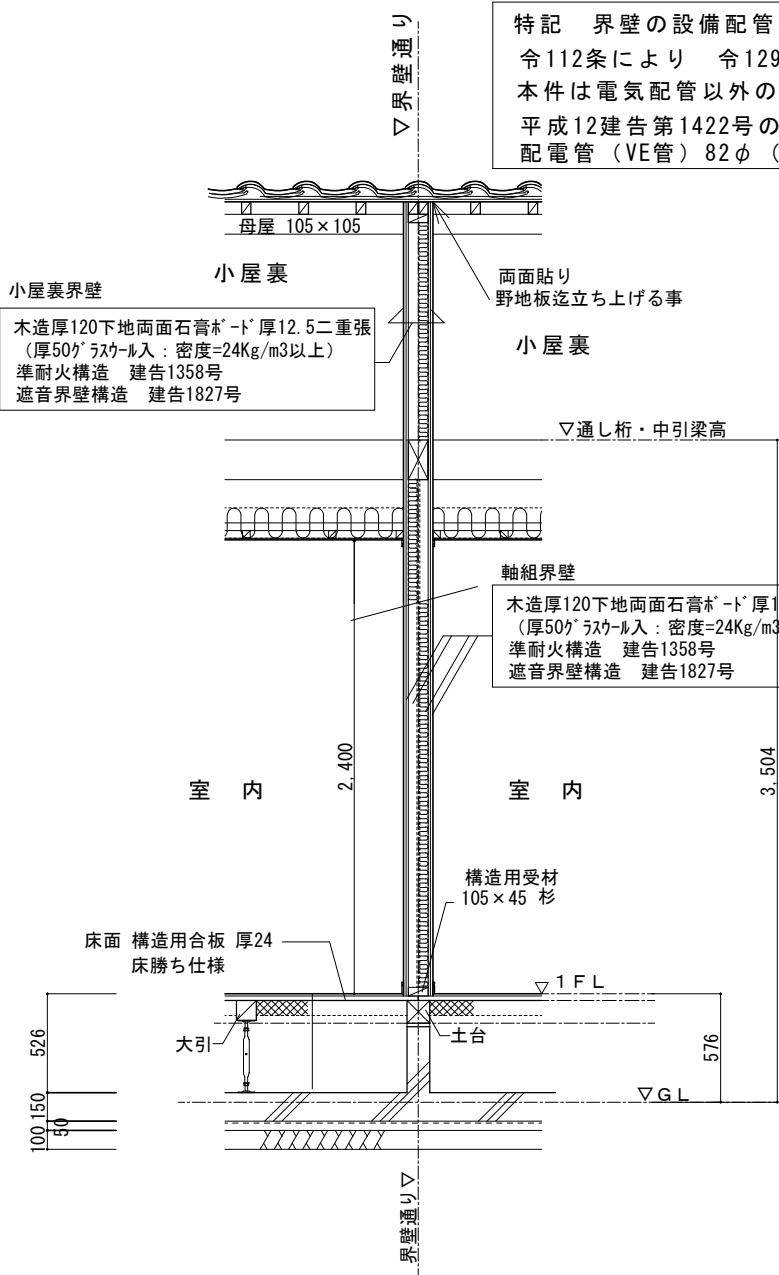


矩計図 S:1/40

外壁の全面は下記仕様とする

厚14以上 窯業系サイディング横張（通気層厚15）	透湿防水シート張
準不燃QM-0639	防火PC030BE-9201
屋内側 厚105mmのグラスウール充填	厚12.5mmPB張

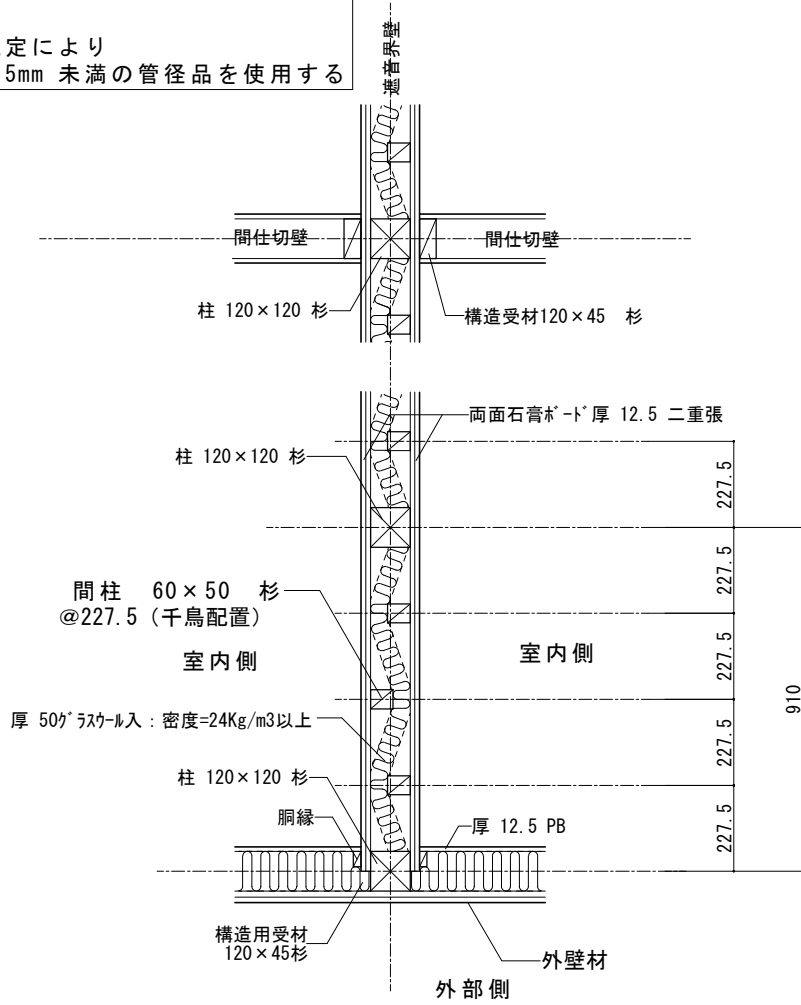
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
				1 : 40		B-A17
				矩計図		



界壁断面図 S:1/40

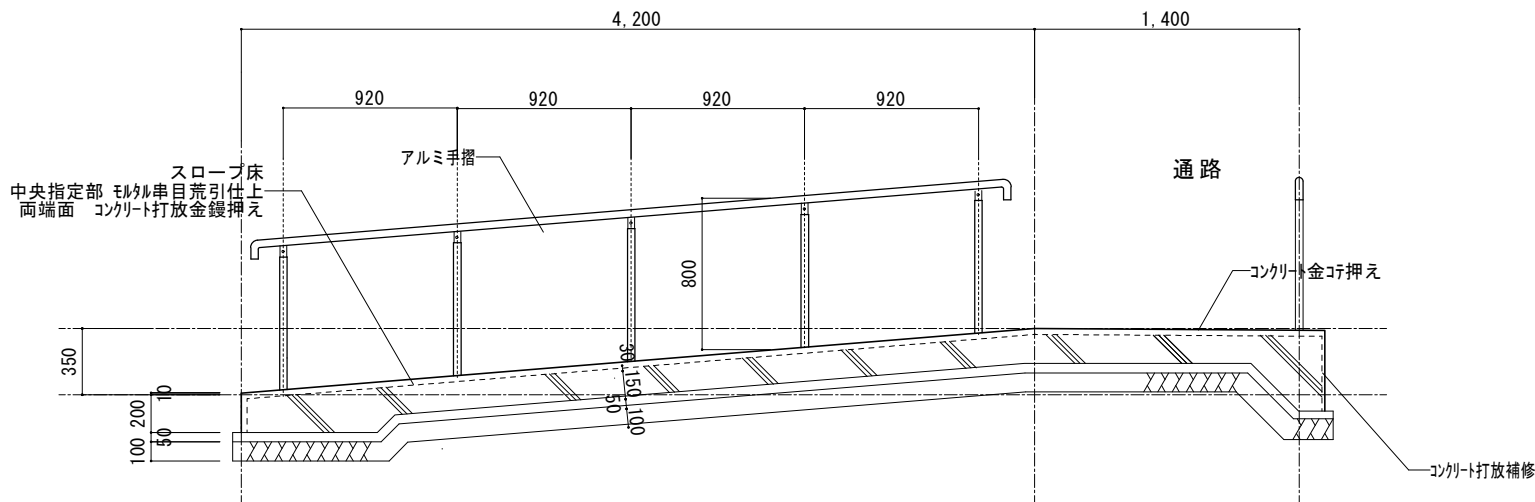
スロープ手摺
国内各サッシメーカー市販既製品のウッドデッキ部材の
フェンス手摺笠木同等形状品
笠木手摺木目柄とし同等デザイン品とする
※参考 三協ひとと木 マリッシュ1型 同等品

特記 界壁の設備配管の貫通について
令112条により 令129条の2の4-1項7号の配管の構造とする。
本件は電気配管以外の貫通はない。
平成12建告第1422号の管径による緩和規定により
配電管 (VE管) 82φ (外形90mm) 肉厚5.5mm 未満の管径品を使用する

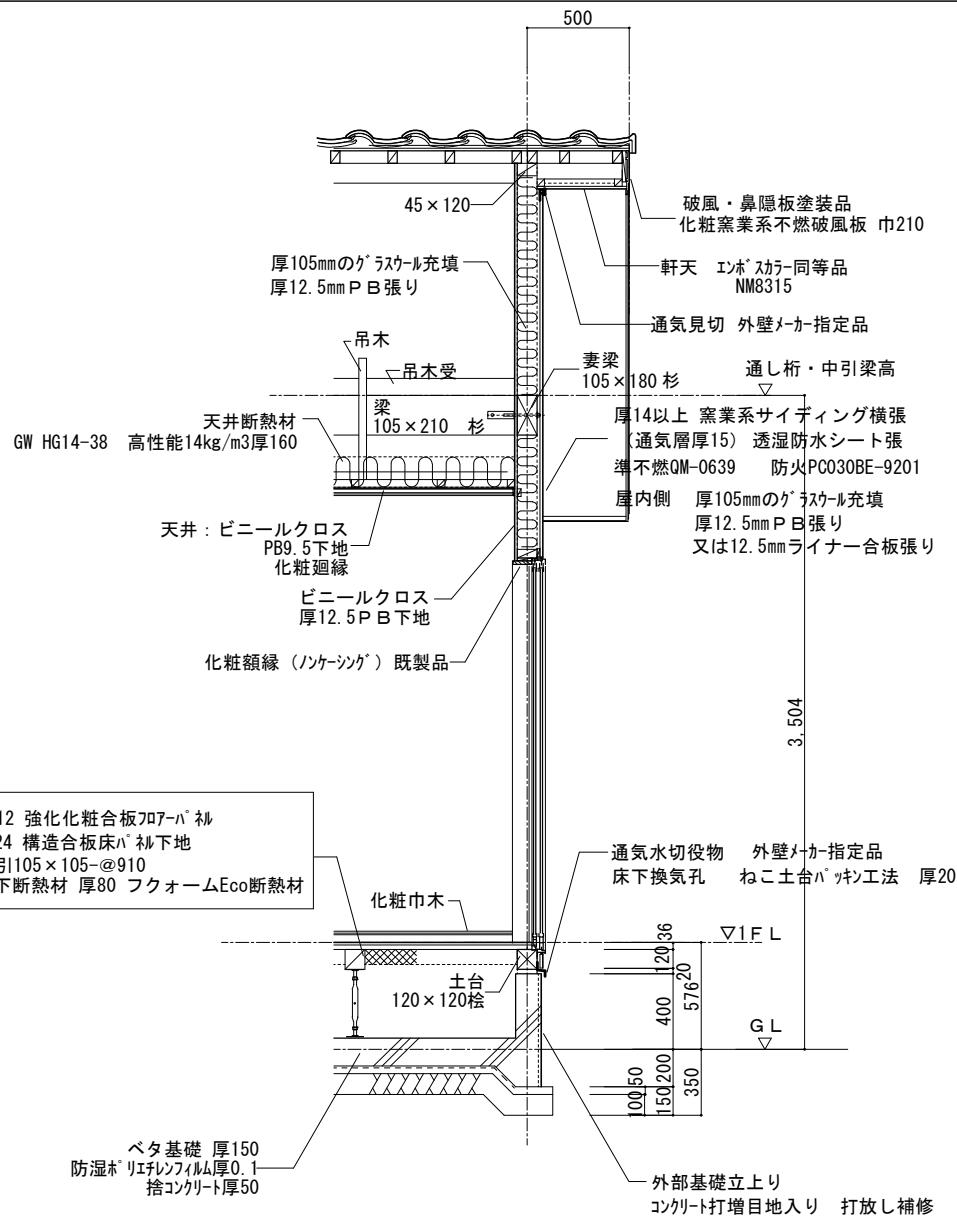


界壁平面詳細図 S:1/20

準耐火構造 建告1358号 遮音界壁構造 建告1827号

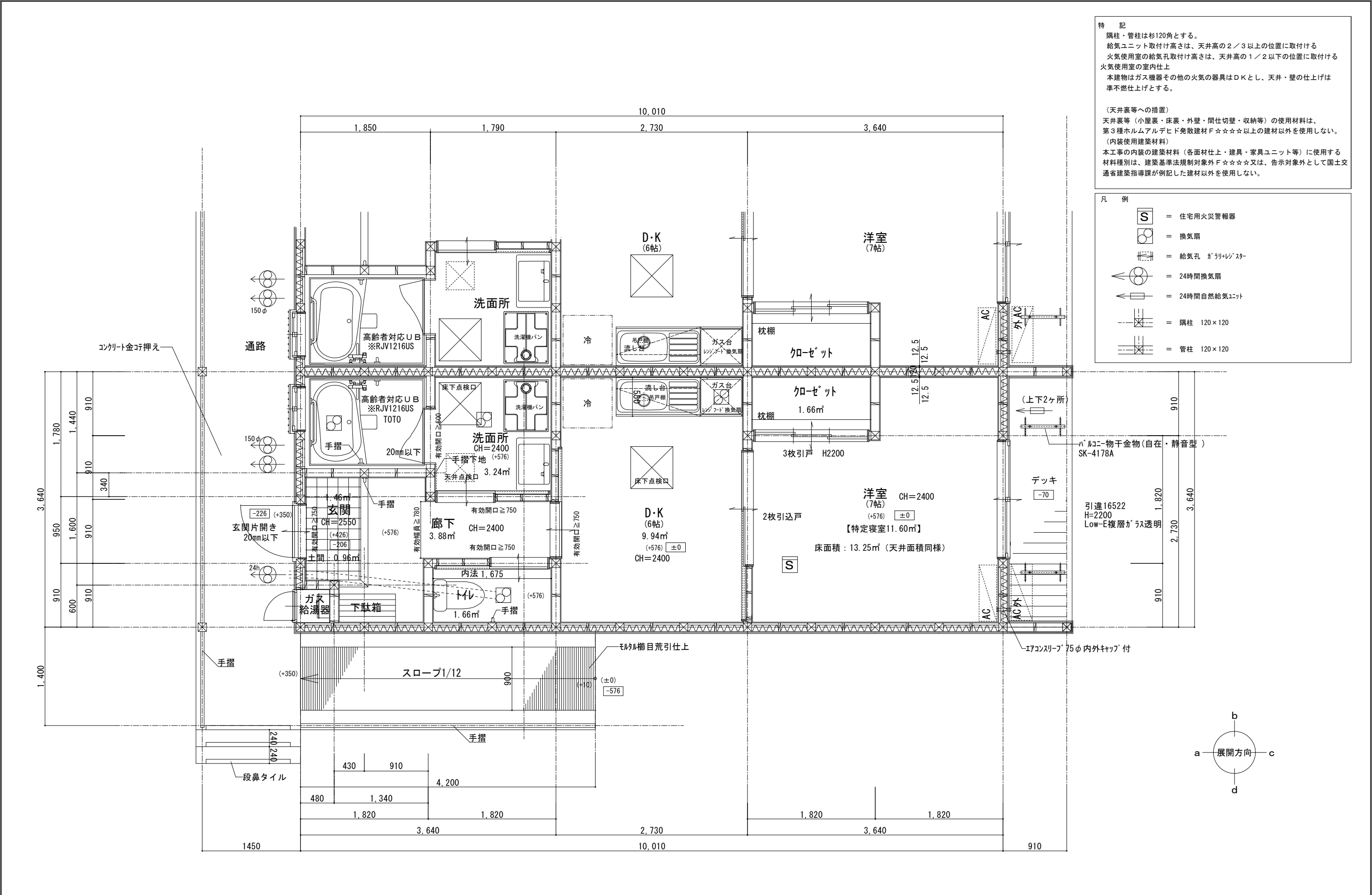


スロープ断面図 S:1/40

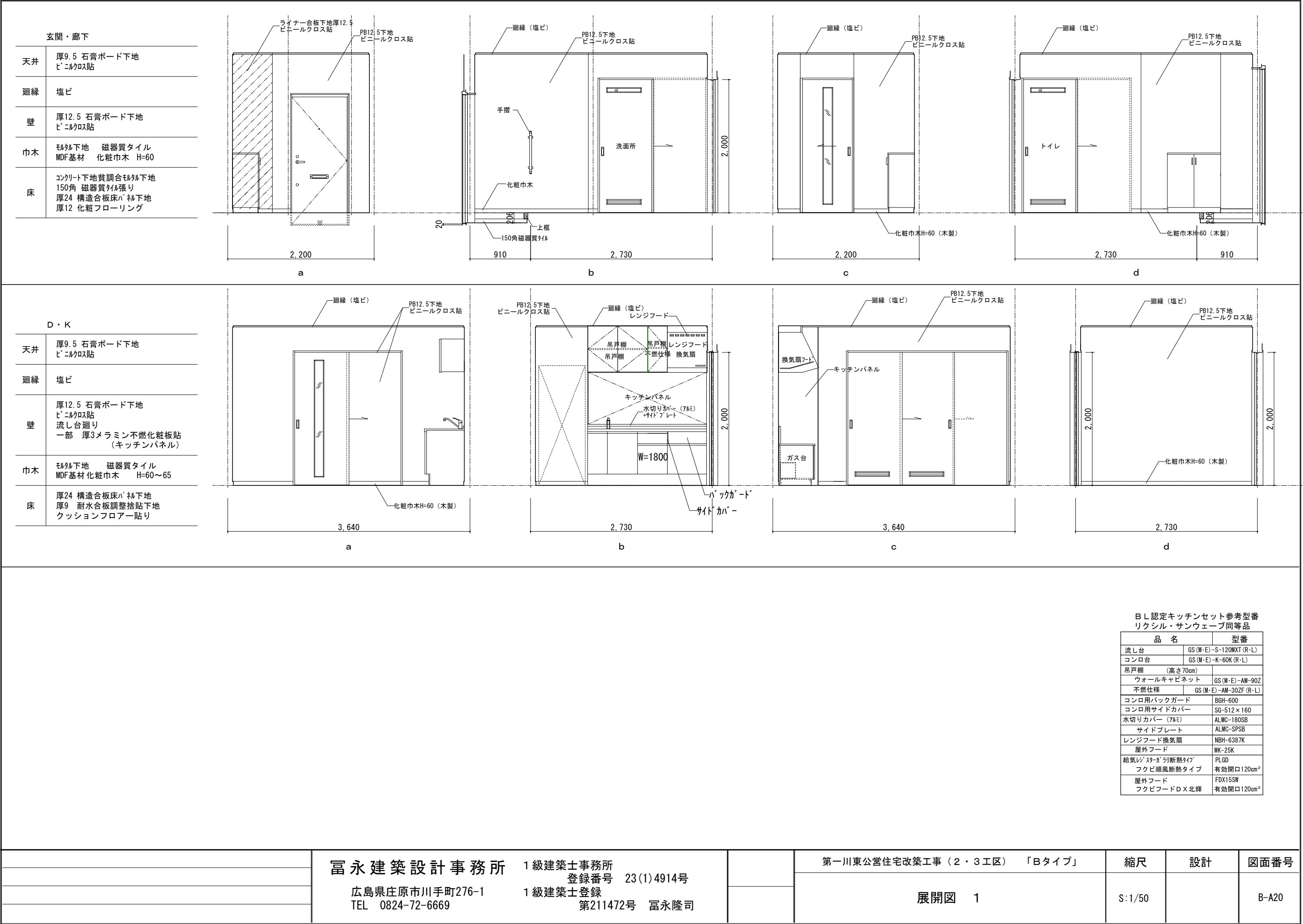


妻壁断面図 S:1/40

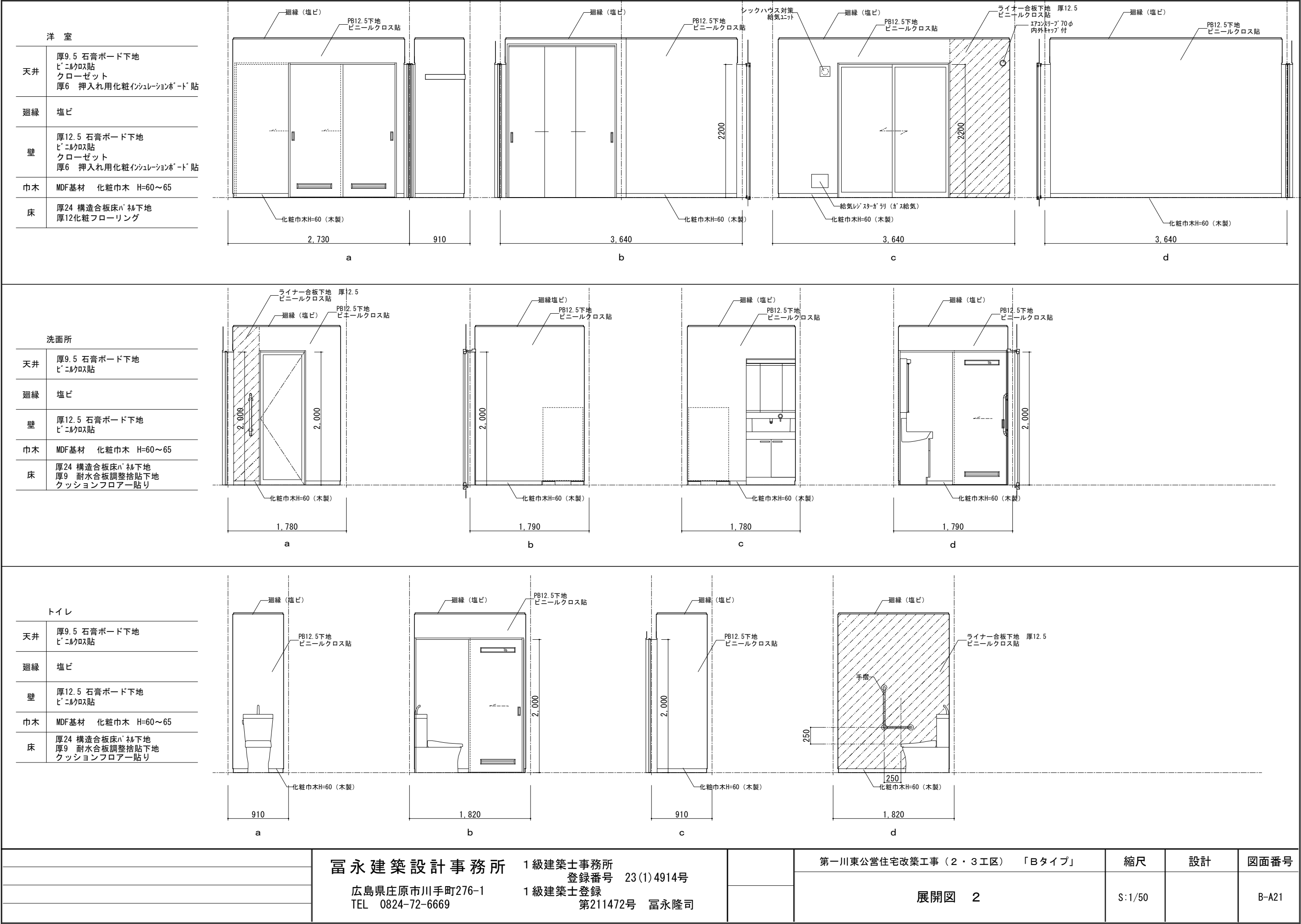
	富永建築設計事務所	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	第一川東公営住宅改築工事 (2・3工区) 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
				部分詳細図	S:1/20 S:1/40		B-A18

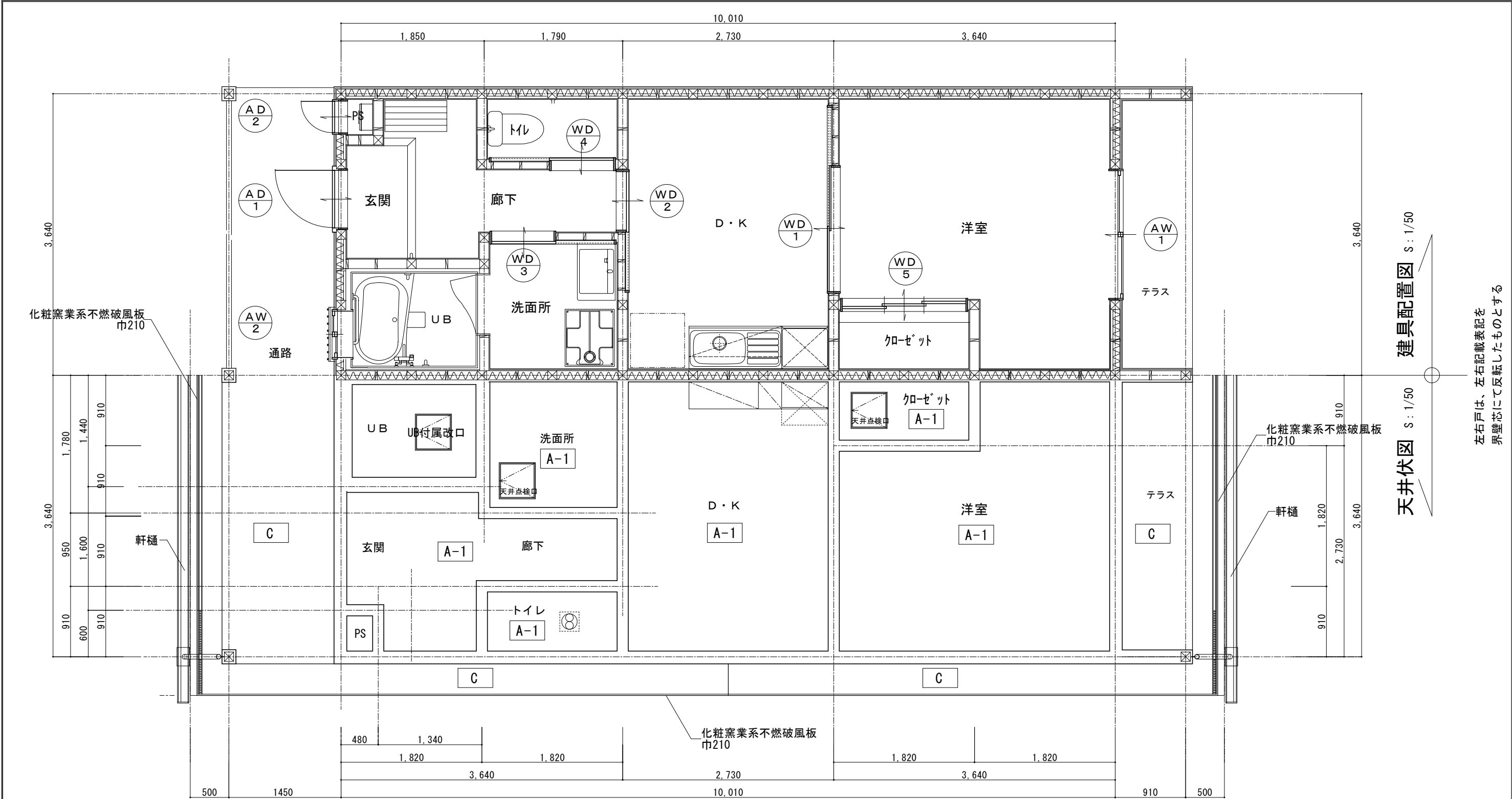


	富永建築設計事務所	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
					1/50		B-A19
					平面詳細図		



	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事(2・3工区) 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
				展開図 1	S:1/50		B-A20





建具配置図 S : 1/50

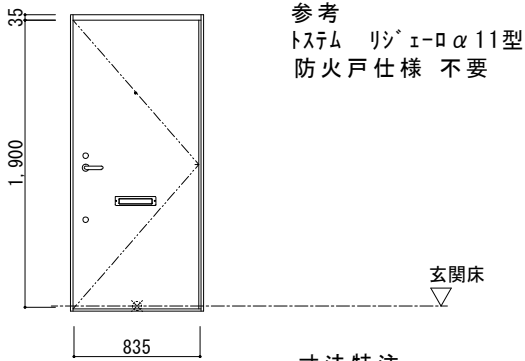
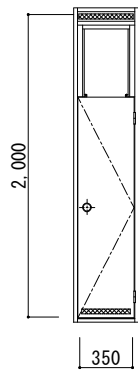
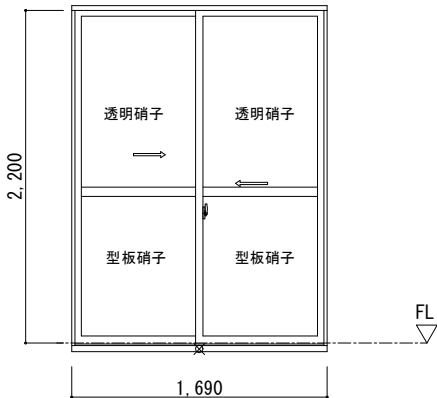
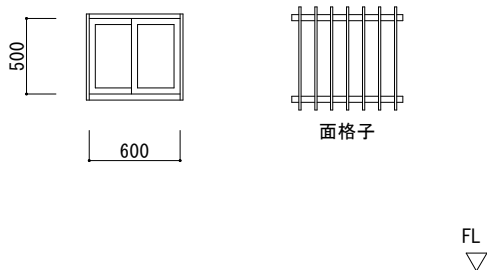
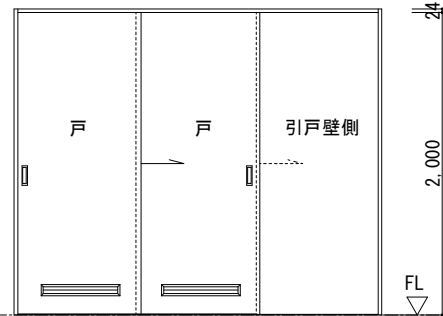
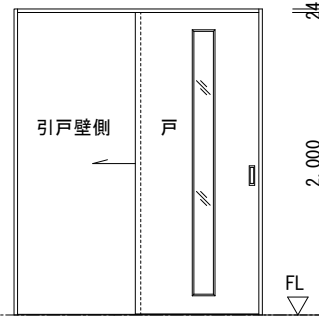
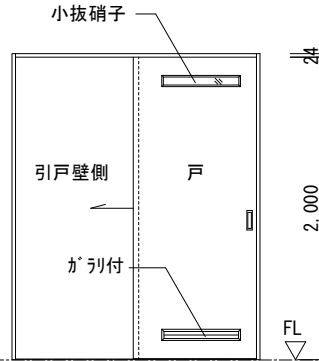
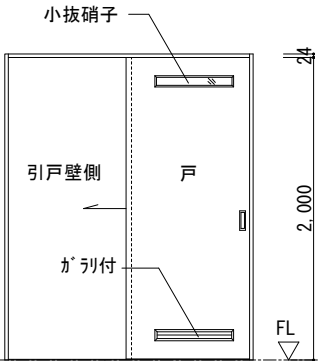
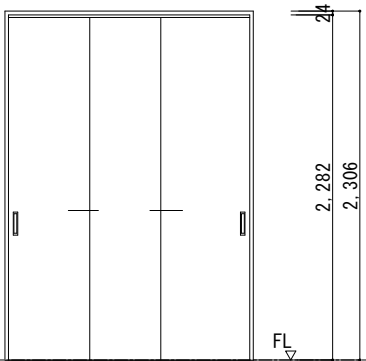
天井伏図 S : 1/50

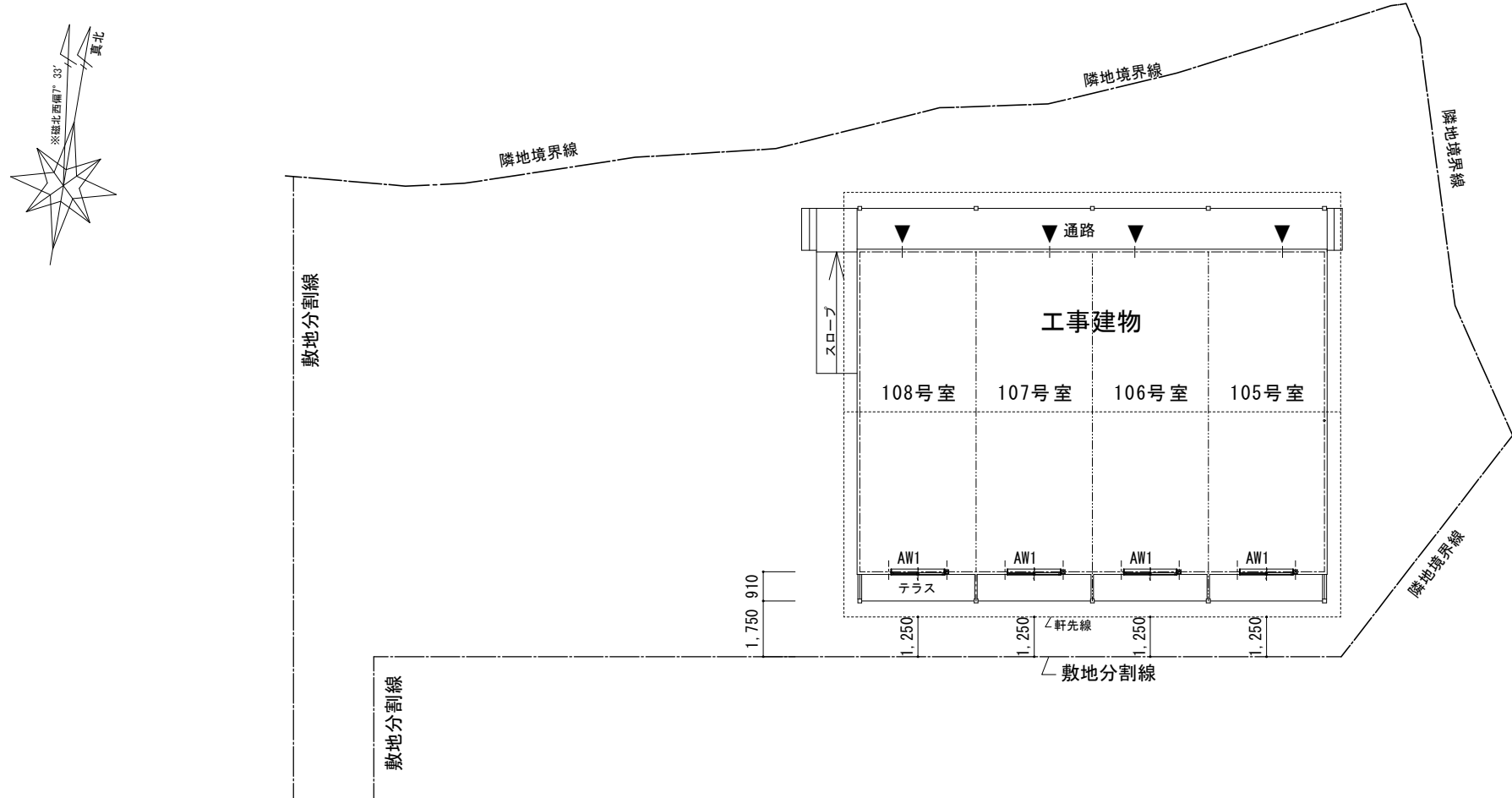
左右戸は、左右記載表記を
界壁芯にて反転したものととする

天井仕上記号表	
記号	下地 仕上
A	厚9.5 石膏ボード下地 ビニール貼 準不燃指定
B	厚6 押入れ用化粧インシュレーションボード貼
C	エンボスカラー厚6mm同等品 (一部有孔ボード)
廻縁仕様記号表	
1	塩ビ見切(7ヶF見切)

天井点検口 断熱材付 450×450

	富永建築設計事務所 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
				天井伏図 ・ 建具配置図	1/50		B-A22

記号・箇所	AD 1 玄関ドア4箇所	AD 2 P S ガスチャンバー 4 箇所	AW 1 16520 半外テラス引違窓 4 箇所	AW 2 0605 面格子付引違窓 4 箇所	
取付室名	外観図 玄関／ポーチ断熱k3仕様（3.49W/㎡K）		外観図 外部／洋室断熱k3仕様（3.49W/㎡K）	外観図 外部／UB断熱k3仕様（2.33W/㎡K）	
形状					
内法寸法	寸法特注 有効開口=756≧750				
材質	アパート用玄関ドアユニット ペーパーコア化粧鋼板フラッシュ戸/アルミ型材枠アングル付	熔融亜鉛メッキ鋼板・枠(扉)板厚1.2ミリ	住宅用断熱カーアルミ樹脂アングル付	住宅用断熱カーアルミ樹脂アングル付	
見込	半外付タイプ 27 (79.5)	W=600 H=2,300 扉厚25(枠見込60)	半外付タイプ 27~36 (88~90)	半外付タイプ 27~36 (88~90)	
付属金物	丁番 DC トアスコ-フ下枠用SUSカーボスト付レバーロック レバーハンドル 2ロックDNシリンダー錠 標準サムターン 標準金物一式	ケースハンドル・戸当りゴム・旗丁番	標準金物一式	標準金物一式	
ガラス			透明 Low-E複層ガラス FL4+A15+LowE3 F4+A15+LowE3	型板 Low-E複層ガラス F4+A15+LowE3	
塗装・色柄	メーカー標準カラー	カチオン電着塗装	メーカー標準カラー	メーカー標準カラー	
額縁・枠	MDF木目柄化粧三方枠 ※ 20×ﾀｲ122・ｺｺ119	平面ハンドル・ピボットヒンジ	MDF木目柄化粧三方枠 ※ 20×ﾀｲ110・ｺｺ107	カーアルミ内四方額縁	
備考		自閉式スプリング丁番・煽り止めチェーン	網戸付 黒色網	固定網戸付 黒色網	
記号・箇所	WD 1 室内片引戸2枚建 ノケ-ｼﾝｸﾞ 固定枠 左右勝手各2箇所 4 箇所	WD 2 室内片引戸（中抜硝子付）4 箇所 ノケ-ｼﾝｸﾞ 固定枠 左右勝手各2箇所	WD 3 室内片引き戸（小抜硝子・ガラリ付）4 箇所 ノケ-ｼﾝｸﾞ 固定枠 左右勝手各2箇所	WD 4 室内片引き戸（小抜硝子・ガラリ付）4 箇所 ノケ-ｼﾝｸﾞ 固定枠 左右勝手各2箇所	WD 5 クローゼット連動引戸 4 箇所 ノケ-ｼﾝｸﾞ 固定枠
取付室名	外観図 DK／洋間参考 同等品 リクシル ラシッサS シリーズ	外観図 ホール／DK参考 同等品 リクシル ラシッサS シリーズ	外観図 ホール／洗面所参考 同等品 リクシル ラシッサS シリーズ	外観図 ホール／トイレ参考 同等品 リクシル ラシッサS シリーズ	外観図 洋間／クローゼット参考 同等品 リクシル ラシッサS シリーズ
形状					
内法寸法	ツバ付薄敷居	ツバ付薄敷居	ツバ付薄敷居	ツバ付薄敷居	埋込Vレール
材質	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット（既製品）
見込	戸厚 30~36 メーカーによる	戸厚 30~36 メーカーによる	戸厚 30~36 メーカーによる	戸厚 30~36 メーカーによる	戸厚 30~36 メーカーによる
付属金物	戸車 レール 引手 付属品一式	戸車 レール 引手 付属品一式	戸車 レール 引手 付属品一式	戸車 レール 引手 付属品一式	埋込Vレール 引手 戸車 プレキ 付属品一式
ガラス	—	メーカー付属型板硝子	メーカー付属型板硝子	メーカー付属型板硝子	—
塗装・色柄	メーカー標準色柄	メーカー標準色柄	メーカー標準色柄	メーカー標準色柄	メーカー標準色柄
額縁・枠	メーカー専用化粧部材枠	メーカー専用化粧部材枠	メーカー専用化粧部材枠	メーカー専用化粧部材枠	メーカー専用化粧部材枠
備考			換気ガラリ付	換気ガラリ付	
		富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 1級建築士登録 TEL 0824-72-6669 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」	
				縮尺	
				設計	
				図面番号	
				建具表	
				1/50	
				B-A23	



■採光・換気チェック

号室	室名		床面積	採 光		換 気		排 煙	
				必要	有効	必要	有効	必要	有効
105	洋室	11.59㎡	21.53㎡	3.07	AW1 1.60×2.20×3.0=10.56	1.08	1.60×2.20÷2=1.76	0.43	1.60×0.6÷2=0.48
	D K	9.94㎡							
106	洋室	11.59㎡	21.53㎡	3.07	AW1 同 上	1.08	同 上	0.43	同 上
	D K	9.94㎡							
107	洋室	11.59㎡	21.53㎡	3.07	AW1 同 上	1.08	同 上	0.43	同 上
	D K	9.94㎡							
108	洋室	11.59㎡	21.53㎡	3.07	AW1 同 上	1.08	同 上	0.43	同 上
	D K	9.94㎡							

有効採光面積=W×A
(W：窓面積 A：採光補正係数)

□採光補正係数 (A=D/H×6-1.4)
105～108号室共通
A= AW1 1.25÷1.321×6-1.4=4.27 ≧3.0→3.0

■シックハウス対策

	床面積	天井高	気 積
洋室	11.60	2,400	27.840
D K	9.94	2,400	23.856
洗面所	3.24	2,400	7.776
トイレ	1.66	2,400	3.984
廊下	3.88	2,400	9.312
玄関	1.46	2,550	3.723
合 計			76.491
×0.5			38.25

24時間換気扇
VD-07ZVC7×1ヶ所 (50m3/ h > 38.25m3)

	富 永 建 築 設 計 事 務 所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
			法規チェック	1/200		B-A24

木造用鉄筋コンクリート部分構造特記

適用範囲

- 1. 「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築工事共通仕様書」最新年度版及びフラット35対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）及び日本住宅性能表示基準（国土交通省）による。
- 2. 図面、特記仕様書に記載してある事項以外は、この基準に寄る。
- 3. 使用鉄筋は原則として異形鉄筋JISG3112の規格品とし、溶接金網はJISG3551之規格品とする。
- 4. 特に設計者の指示のある場合には、その指示に従うものとする。

1. 共通事項

A. 鉄筋の表示記号

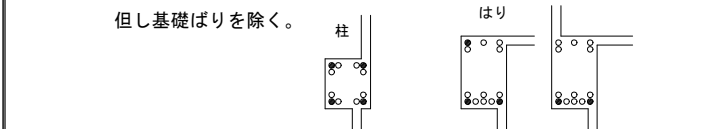
表示記号	/	×	∅	●	○	⊙	⊗	◎
異形鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32

- (1) この配筋基準図は異形鉄筋で表示してあるが、特記で丸膏と指定されている場合は、その径を上記鉄筋径欄該当の径に読み替えるものとする。
- (2) 上記の表示記号を使用しない場合は特記による。
- (3) 上記の表示記号は、この配筋基準図には適用しない。

B. 異形鉄筋の末端部

下記の場合はフックを付ける。

- (1) 柱の四隅にある主筋で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合。
- (2) はり主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。但し基礎ばりを除く。



- (3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合）。
- (4) 杭基礎のベース筋。

~~(5) 帯筋、あばら筋及び巾止め筋。~~

C. 鉄筋の折曲げ加工

- (1) 末端部の折曲げ。

曲げ 角度	折曲げ図	すべてのコンクリート				使用箇所
		SR 235 SRR 235 SD 235 SDR 235	SD 295 SD 345	SD 295 SD 345	SD 390	
180°	D	3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上		柱、はりの主筋及び杭基礎のベース筋並びに径16mm以上の鉄筋
	L	11 d 以上	12 d 以上	14 d 以上		
135°	D	3 d 以上	4 d 以上			径13mm以下の鉄筋並びにあばら筋、帯筋、スパイラル筋及び床版筋
	L	11 d 以上	12 d 以上			
90°	D	3 d 以上	4 d 以上			T形及びL形はりのあばら筋
	L	12 d 以上	12 d 以上			
90° 135°	D	3 d 以上	4 d 以上			巾止め筋
	L	8 d 以上	8 d 以上			
	L'	9 d 以上	10 d 以上			

- (注) 1. Dは、曲げ内のり直径
- 2. L及びL'は、フック部分の長さ

- (1) 末端部の折曲げ。

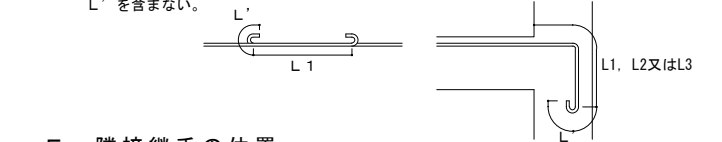
曲げ 角度	折曲げ図	すべてのコンクリート				使用箇所
		SR235 SRR235	SD235 SDR235	SD295 SD345	SD390	
90° 以下	D	3 d 以上		4 d 以上		あばら筋、帯筋、スパイラル筋
	L					
	D	5 d 以上		5 d 以上		径16mm以下の床版筋、壁筋
	L					
	D	6 d 以上		6 d 以上		上記以外の鉄筋で、丸鋼は28mm以下、異形鉄筋はD25以下
	L					
	D	8 d 以上		8 d 以上		上記以外の鉄筋で、丸鋼は32mm以下、異形鉄筋はD29以上D41以下
	L					

D. 鉄筋の継手及び定着の長さ

(F_o)が210Kg/Cm²以上270Kg/Cm²未満の場合。

鉄筋の 種 別	設計基準 強 度 F _o (Kg/Cm ²)	フックなし				フックあり			
		L1	L2	L3		L1	L2	L3	
				小ぶり	床版			小ぶり	床版
SR235 SRR235	21以上 27未満	—	—	—	—	35 d	35 d	25 d	150mm
SD235 SDR235	21以上 27未満	30 d	25 d	25 d	10 d 且つ 150mm 以上	20 d	15 d	15 d	—
SD295 SD345	21以上 27未満	40 d	35 d	25 d	10 d 且つ 150mm 以上	30 d	25 d	15 d	—
SD390	21以上 27未満	45 d	40 d	25 d	10 d 且つ 150mm 以上	35 d	30 d	15 d	—

- (注) 1. L1：継手並びに下記2.、及び3.、以外の定着の長さ。
- 2. L2：異形鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所の定着の長さ。
- 3. L3：小ぶり及びスラブの下端筋の定着の長さ。但し、基礎耐圧版、これを受ける小ぶりなどを除く。
- 4. フックのある場合の、L1、L2及びL3は下記に示すようにフックの部分L'を含まない。



E. 隣接継手の位置

フックのある場合	L		L	
	a	a = 0.5 L	a	a = 0.5 L
フックのない場合	L		L	
	a	a = 0.5 L	a	a = 0.5 L
圧接の場合	L		L	
	a	a ≥ 400mm	a	a ≥ 400mm

(注) スラブ及び壁の場合は除く。

2. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

A. 鉄筋の最小かぶり厚さ (mm)

構 造 部 分 の 種 別				すべてのコンクリート
土に接しない部分	床版、耐力壁 以外の壁	仕 上 げ あ り		3 0
		仕 上 げ な し		4 0
	柱 は り 耐 力 壁	屋 内	仕上げあり	4 0
			仕上げなし	4 0
		屋 外	仕上げあり	4 0
			仕上げなし	5 0
	擁 壁			5 0
	土に接する部分	柱、はり、床版、壁		
基礎、擁壁、耐圧床版			*7 0	
煙突など高熱を受ける部分				7 0

- (注) 1. *印のかぶり厚さは普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
- 2. 仕上げありとは、モルタル塗りなどの仕上げのあるものとし、吹付け塗装などの鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものは除く。
- 3. スラブ、はり、基礎及び擁壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
- 4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。

B. 鉄筋相互の間隔

下記の値のうち最大のものとする。

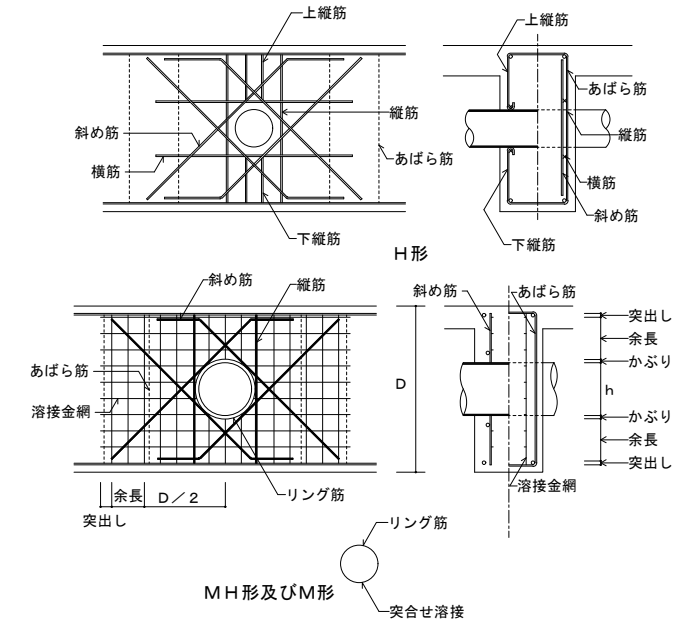
- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 丸鋼では径の1.5倍、異形鉄筋では径の1.7倍

C. 主筋と軸方向鉄骨との間隔

25mm以上とする。

1.1. はり貫通孔の補強

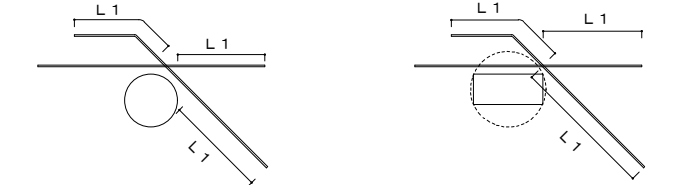
- (1) はり貫通孔補強筋の名称



- (2) 孔の径は、はりせいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- (3) 孔の上・下方向の位置

D	d	500 ≤ D < 700	d ≥ 175
		700 ≤ D < 900	d ≥ 200
		900 ≤ D	d ≥ 250

- (4) 孔の中心位置の限度は、柱及び直交するはり（小ぶり）の面から原則として1.2D（Dは、はりせい）以上離す。
- (5) 孔の並列する場合は、その中心間隔は孔の径の平均値の3倍以上とする。
- (6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- (7) 鉄筋の定着長さ。



- (8) 孔の径が、はりせいの1/10以下且つ150mm未満のものは、補強を省略することが出来る。
- (9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突き出しは10mm以上。
- (10) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

1.4. その他の事項

- (注) 特記事項は◎印のあるものを適用する。
- 印のない場合は、※印のあるものを適用する。
- ◎と※印のある場合は、共に適用する。

A. コンクリート特記事項

1. 設計基準強度

設計基準強度 (N/mm ²)	スランパ (cm)	適用箇所
F _o = 21	15 ・ ⑱	躯体・内部床・ベタ基礎
F _o = 18	⑮ ・ 18	外部床土間、外部工作物
F _o =		
F _o = 18	15	捨コンクリート

2. レディーミクストコンクリート種別

※Ⅰ類（JIS表示許可工場製品）・Ⅱ類（左記工場以外の製品）

3. セメントの種別

特記無き限り、普通ポルトランドセメントを使用するものとする。上記以外のセメントを使用する場合は、監督員の承認を受ける事。

4. 混和材料

※AⅡ減水材標準型（塩化物を含む物を除く）

5. コンクリート試験

各1工程毎、かつ150m3毎を基準として行う。

B. 鉄筋特記事項

1. 一般事項

鉄筋の使用範囲、継手及び補強配筋等については共通仕様書の外、構造設計図による。

2. 材 料

種 別	径	備 考
異形鉄筋	SD 295	D16以下
	SD 345	D19以上

溶接金網 線径 mm、網目 mm × mm

使用場所
・金属製 ○モルタル製 ※塩ビ製

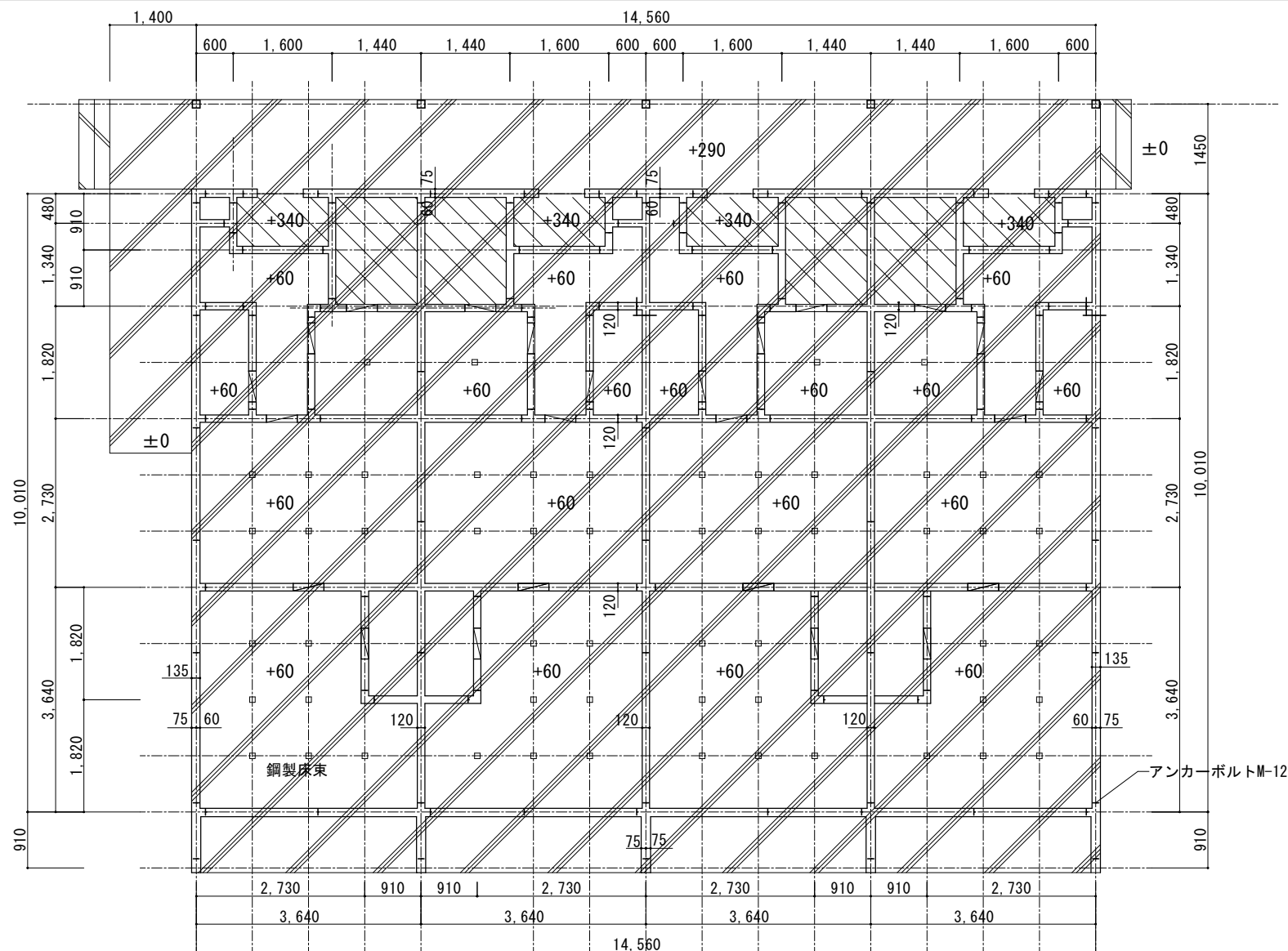
3. 加工組立て

継ぎ手	接合方法	径	施工場所
重ね継ぎ手	ガス圧接	D16以下	柱、梁、主筋
		D16以下	その他
		D19以上	

帯 筋
かぶり厚さ
形式 形（特記無き限り、H形とする）
共通仕様書による。
外壁の打ち増し部は、かぶり厚さに算入しない。

	富永建築設計事務所	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」		縮尺	設計	図面番号
				構造特記仕様書 1		—		B-S01

木造特記仕様書（構造関係） 共通仕様事項 （１）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築木造工事標準仕様書（最新年度版）」（以下、「木造標準仕様書」という。）及びフラット３５対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）及び日本住宅性能表示基準（国土交通省）による。				6 軸組構法（軸構造系）工事	1	木材	<6.2.2> 軸組構法（軸構造系）工事に使用する木材は、使用材料表 1 による	6 軸組構法（軸構造系）工事	9	接着剤	<6.2.4> ○床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類（床根太用接着剤JIS A 5550） 種類（ ○接着剤による接合 ○接着剤を併用した接合 接着剤の種類（ フローリング メーカー指定品 ）																								
章		項 目	特 記 事 項		2	構造用面材	<6.2.3> 軸組構法（軸構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表 4 による		10	現 寸 図	<6.4.2> 床書き現寸図を作成する																								
					3	接合金物	<6.2.4> Z、C、D、Sマーク表示金物 Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 使用位置・規格・強度 フラット３５対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）による。 ○Z、C、D、Sマーク表示金物以外 ※図示		11	孔 あ け 加 工	<6.4.5> ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表5.4.2による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示																								
					4	釘 及 び 木 ね じ	<6.2.4><6.5.10> 釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘 <table><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>その他</th></tr><tr><td>○鉄丸くぎ</td><td>表面処理された鉄</td><td></td></tr><tr><td>○太め鉄丸くぎ</td><td>表面処理された鉄</td><td></td></tr><tr><td>○ステンレス鋼くぎ</td><td>ステンレス製</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 木ねじ（JIS B1112又はJIS B 1135）、その他の木ねじ <table><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>その他</th></tr><tr><td>○十字穴付き木ねじ</td><td>ステンレス製</td><td>JIS B 1112</td></tr><tr><td>○すりわり付き木ねじ</td><td>ステンレス製</td><td>JIS B 1135</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>		種類	材質	その他	○鉄丸くぎ	表面処理された鉄		○太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		○ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		・			・			種類	材質	その他	○十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	○すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135
種類	材質	その他																																	
○鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																		
○太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																		
○ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																		
・																																			
・																																			
種類	材質	その他																																	
○十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																	
○すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																	
4 木 造 工 事	1	防腐・防蟻 処 理	<4.2.1～3> <table><tr><th rowspan="2">適用部材</th><th colspan="3">処理の種類及び処理の方法</th></tr><tr><th>防腐・防蟻処理が不要な樹種</th><th>薬剤の加圧注入</th><th>薬剤の塗布等</th></tr><tr><td>○土台</td><td>○ 桧</td><td>・ K 2 ○K 3 ・ K 4</td><td>○行う</td></tr><tr><td>○地盤面より 1 m 以内の外壁に面する軸組及び下地材</td><td>○ 桧 ○ 杉</td><td></td><td>○行う</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> インサイジング ○適用する ・適用しない ○薬剤の塗布等による処理 薬剤の種類 ※図示 適用部材 ※図示 処理の方法 ※木造標準仕様書4.2.1(㏽)(b)①から⑤による ・図示	適用部材	処理の種類及び処理の方法			防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等	○土台	○ 桧	・ K 2 ○K 3 ・ K 4	○行う	○地盤面より 1 m 以内の外壁に面する軸組及び下地材	○ 桧 ○ 杉		○行う					2	防腐措置	<4.2.4> 基礎外周部の換気孔 ○ねこ土台 材質等（ P P P 質土台パッキン・加工鉄板防風通気水切り ） ※防鼠スクリーン又は防虫網 小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3) ・ (a) ・ (b) ○(c) ・ (d) ・ (e) 換気孔の大きさ ※図示	13	アンカー ボルトの設置	<6.5.3> 埋込み深さ ※図示 保持及び埋込み工法 ・ A 種 ○B 種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示							
		適用部材	処理の種類及び処理の方法																																
			防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等																														
○土台	○ 桧	・ K 2 ○K 3 ・ K 4	○行う																																
○地盤面より 1 m 以内の外壁に面する軸組及び下地材	○ 桧 ○ 杉		○行う																																
3	防火被覆処理	該当なし	5	ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座 金	<6.2.4><6.5.11> Z、C、D、Sマーク表示金物 Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 使用位置・規格・強度 フラット３５対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）による。 ○Z、C、D、Sマーク表示金物以外 ※図示	14	基礎天端及び 柱底均し モルタルの仕 上 げ	<6.5.4> 材料 ・ 木造標準仕様書6.5.4(㏽)による ・ 無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示 柱底均しモルタルの工法 ※B種 ・ A種																											
5	7	8	9	6 ラグスクリュー （コーチボルト）	<6.2.4> Z、C、D、Sマーク表示金物 Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 使用位置・規格・強度 フラット３５対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）による。 ○Z、C、D、Sマーク表示金物以外 ※図示	15	建方精度	<6.5.7> 建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1, 000以下 ・図示																											
5 軸組構法（壁構造系）工事	枠組壁工法工事	丸太組構法工事	CLTパネル工法工事		7	ドリフトピン	<6.2.4> ドリフトピン <table><tr><th>種類</th><th>材質等</th><th>径・寸法等</th><th>表面処理</th></tr><tr><td>・ドリフトピン</td><td>※SS400</td><td>※丸鋼</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼		・				16	接合金物の工法	<6.5.9> 熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ○埋め木 ○簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材（JIS A 9526） ・（ ）													
					種類	材質等	径・寸法等	表面処理																											
					・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼																												
・																																			
5 軸組構法（壁構造系）工事	枠組壁工法工事	丸太組構法工事	CLTパネル工法工事	8	木栓及び 木だぼ	<6.2.4> 木栓及び木だぼ 材料樹種は基材同品とし、各仕様書記載の通りとする。	17	釘及び木ねじの工法	<6.5.10> 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ○釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木 ○木ねじ頭現し平坦迄 該当なし 該当なし																										
					7	ドリフトピン	<6.2.4> ドリフトピン <table><tr><th>種類</th><th>材質等</th><th>径・寸法等</th><th>表面処理</th></tr><tr><td>・ドリフトピン</td><td>※SS400</td><td>※丸鋼</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼		・				18 19 20	輪型ジベル 圧入型ジベル 火打土台	<6.6.2> ・木製の火打土台 ・鋼製火打土台 ○剛床合板工法で不用 <6.7.8><6.8.6>													
					種類	材質等	径・寸法等	表面処理																											
・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼																																	
・																																			
21	火打梁	<6.8.2> 小屋組 ○木製の火打梁 ○鋼製の火打梁 床組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁																																	
				富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司			第一川東公営住宅改築工事（２・３工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号																									
構造特記仕様書 2							－		B-S02																										



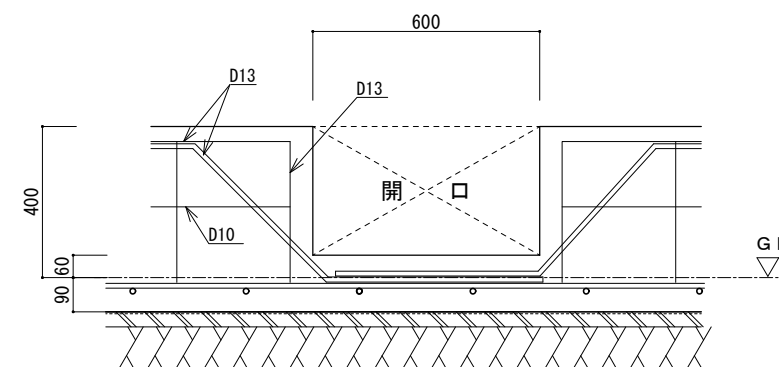
基礎伏図 S:1/100

- 基礎ベース厚150mmコンクリートを示す
D10-@150 シングル配筋
- 立上開口（人入口）の
スラブ補強位置を示す
人入口の開口幅は600mm以下とする。
この範囲の配筋はD13をD10共@150
シングル配筋スラブ筋の中間に補強配筋する。
- 土間コンクリートを示す
6mmメッシュ100×100mmシングル配筋
又はD10-@200メッシュシングル配筋
特記外 厚100とする
- シングルコンクリートを示す
6mmメッシュ100×100mmシングル配筋
又はD10-@200メッシュシングル配筋
特記外 厚100とする

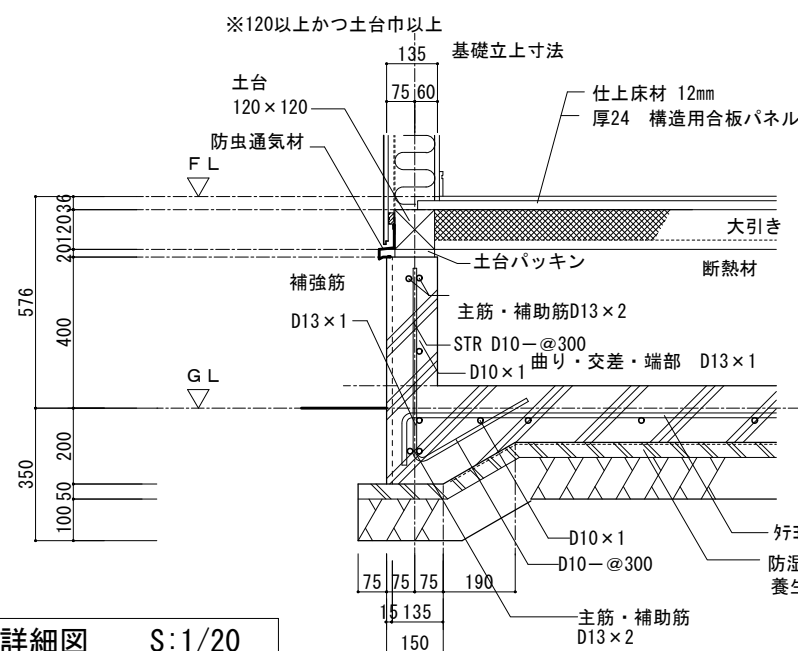
床下換気孔の方式
ねこ土台方式床下換気孔
パッキン厚は20mmとし、メーカー特記仕様による。
アンカーボルト
M-12以上とし、耐力壁・筋違いの取り付け両側及び端部
・土台継手部としその他の部分は@2,000以下に取付ける事

基礎タイプ ベタ基礎構造
使用材料
基礎コンクリート強度
FC=21+3=24N/cm²
スラブ 18cm
鉄筋 SD295

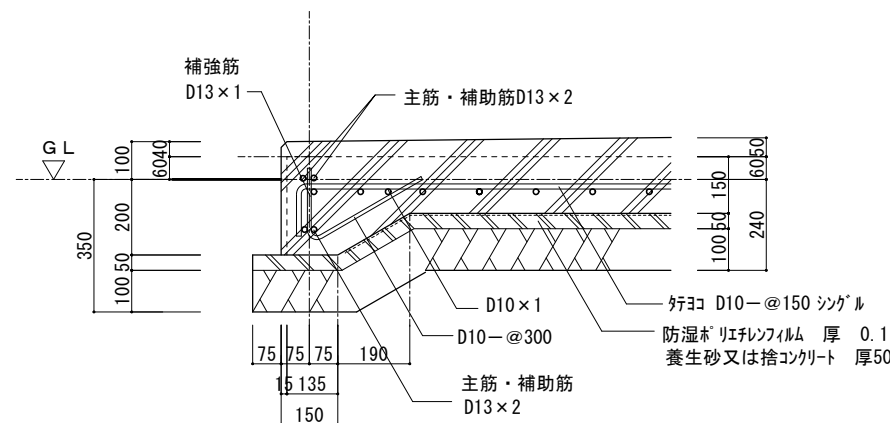
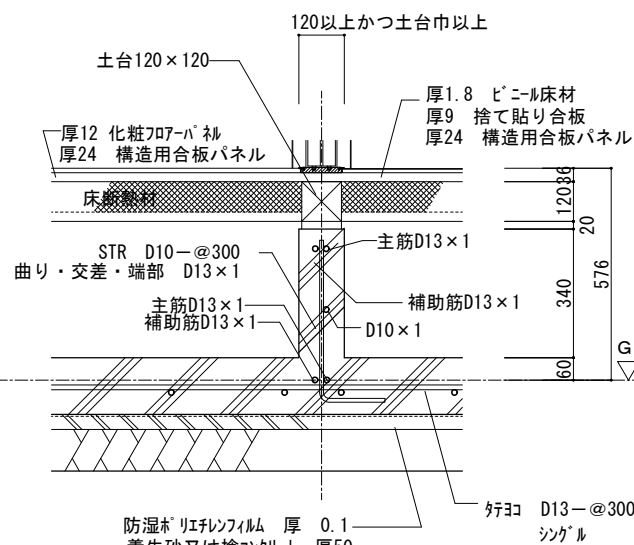
※ 地耐力30kN/m²以上とする。
補強筋は、開口部直下に施すか全部に施す事。
基礎立上り巾は120以上とする。



人入口 S:1/20



基礎詳細図 S:1/20



テラス基礎詳細図 S:1/20

富永建築設計事務所 1級建築士事務所
登録番号 23(1)4914号
広島県庄原市川手町276-1
TEL 0824-72-6669
1級建築士登録
第211472号 富永隆司

第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」

基礎伏図・基礎詳細図

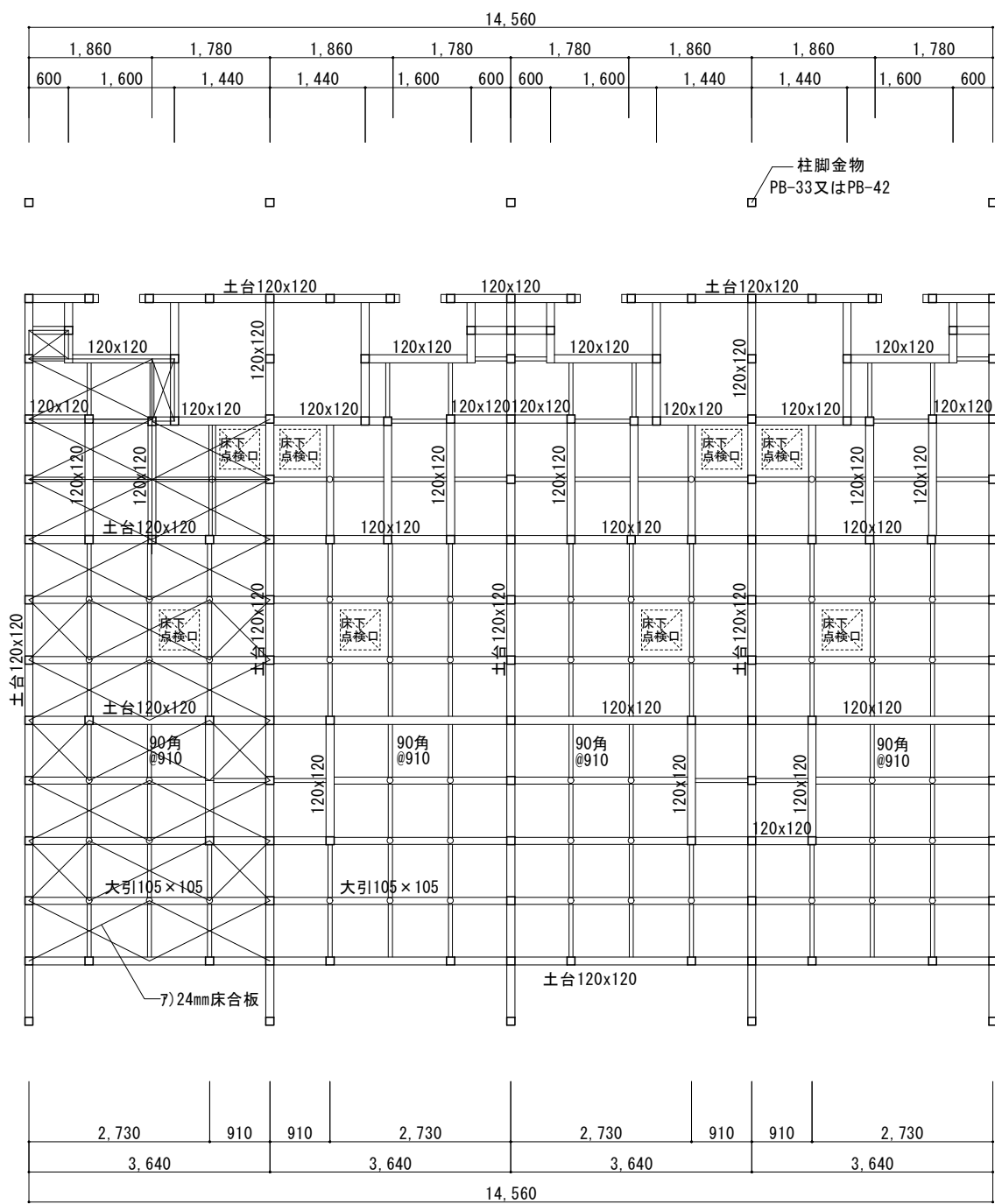
縮尺

S:1/100
1/20

設計

図面番号

B-S04



床伏図	S:1/100
-----	---------

※土台材は全て防腐防蟻処理K3相当以上の土台用材又は、桧とする。

※ 共通柱仕様
隅柱・管柱は全て杉：120角以上とする。

凡 例



火打ち金物 公庫指定 HB金物
又は90×90以上の木材とする。

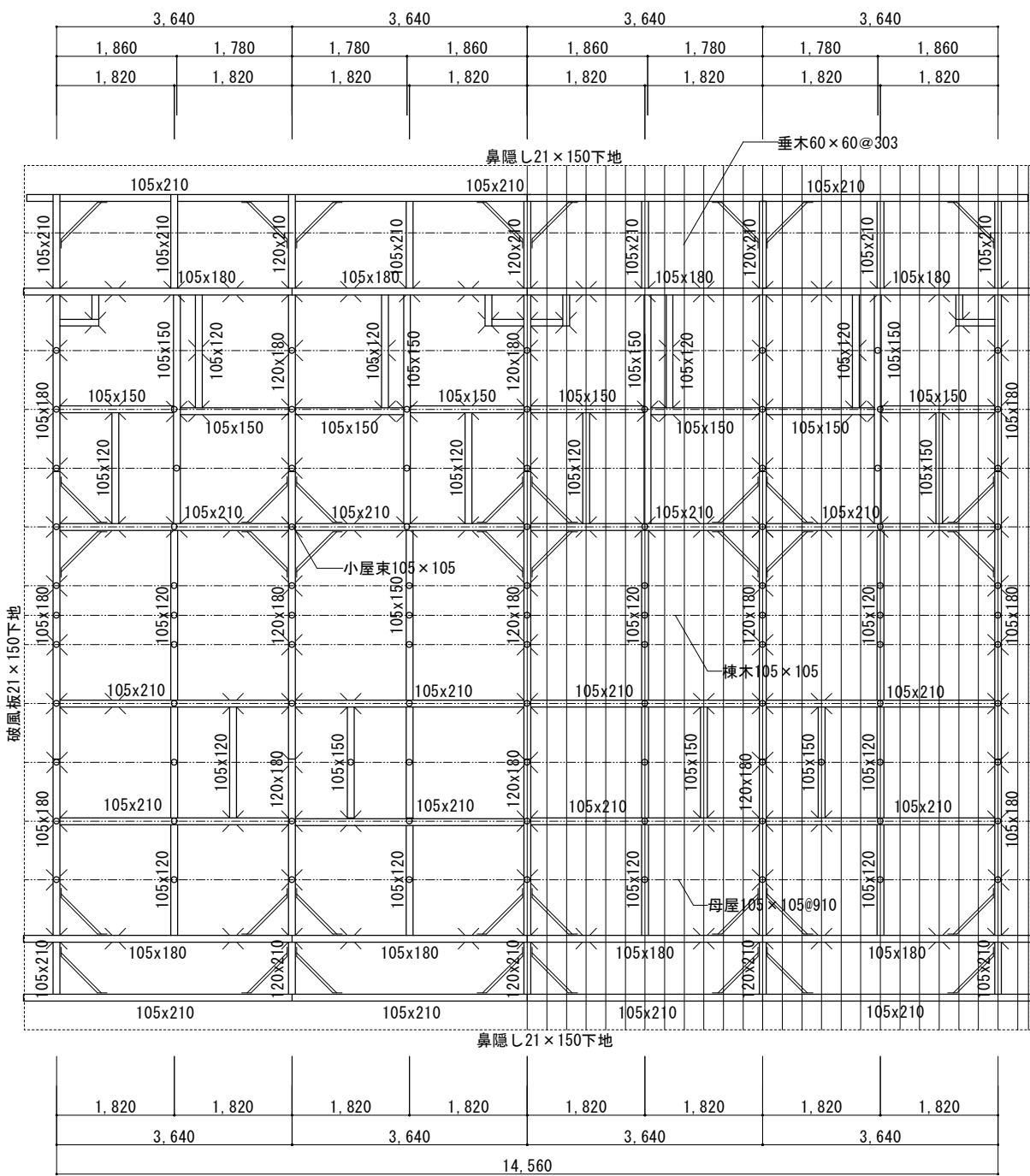
※ 共通注記

柱の逃げ・梁の逃げ方向と寸法に注意する事。

構造施工図は 監督員と打合わせの上承認を必ず受ける事。

1階の床組みは、構造用合板厚24mmパネル面材による剛床工法とする。

構造施工図は 監督員と打合わせの上承認を必ず受ける事。



小屋伏図	S:1/100
------	---------

第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」

縮尺

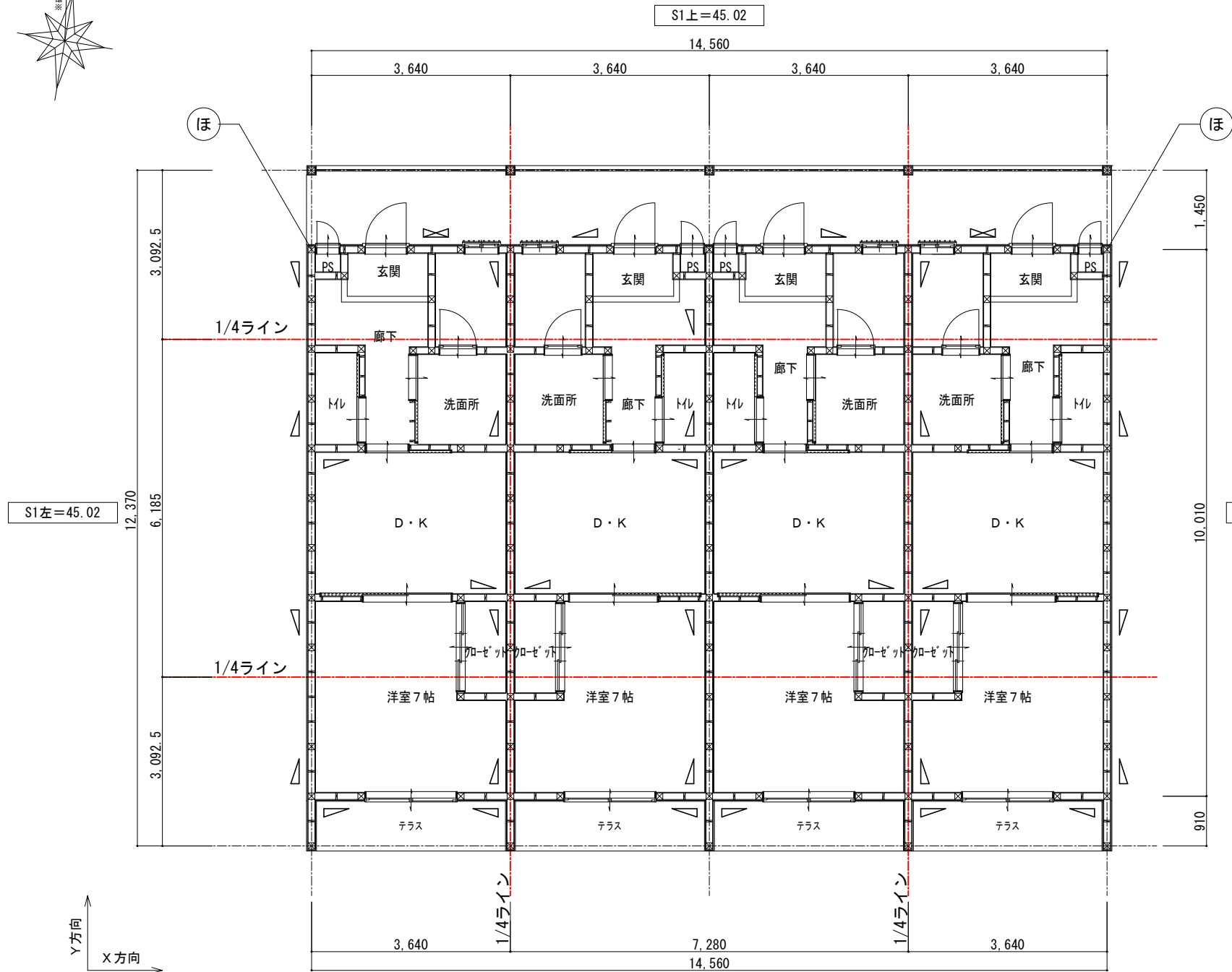
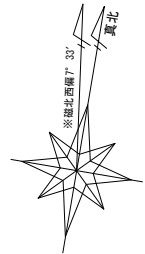
設計

図面番号

木構造図

S: 1/100

3-S05



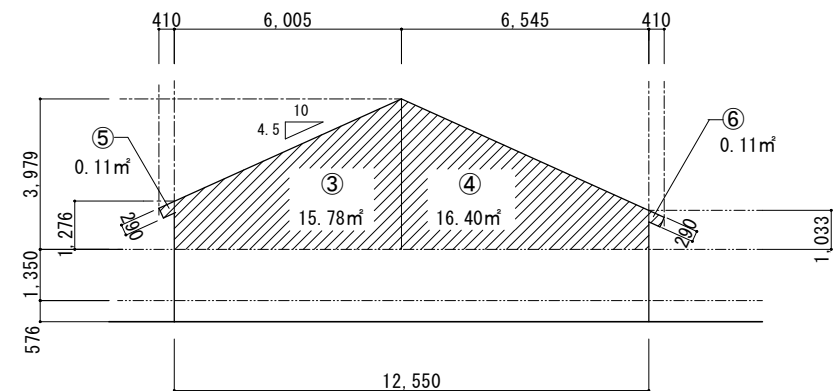
※筋交い：45×90

※特記以外はすべて(は)とする

LN：必要壁量
LD：存在壁量
γ：壁量充足率

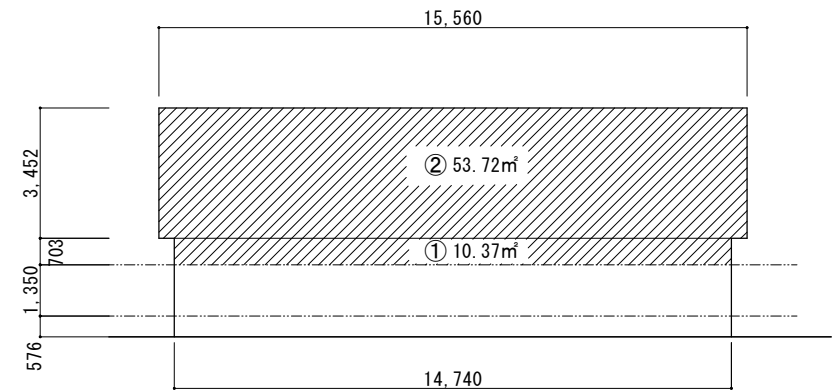
LN1左=45.02×0.19=8.56
LN1右=45.02×0.19=8.56
LD1左=0.91×2.0×8ヶ所=14.56
LD1右=0.91×2.0×8ヶ所=14.56
γ1左=14.56÷8.56=1.70 >1.0
γ1右=14.56÷8.56=1.70 >1.0 OK

LN1上=45.02×0.19=8.56
LN1下=45.02×0.19=8.56
LD1上=0.91×2.0×6ヶ所=10.92
LD1下=0.91×2.0×6ヶ所=10.92
γ1上=10.92÷8.56=1.27 >1.0
γ1下=10.92÷8.56=1.27 >1.0 OK



X方向見付面積		
記号	計算式	面積
③	$(1.276+3.979) \times 6.005 \times 1/2$	15.78
④	$(1.033+3.979) \times 6.545 \times 1/2$	16.40
⑤	0.38×0.29	0.11
⑥	0.38×0.29	0.11
合 計		32.40

X方向壁量算定用見付面積図 S:1/200



Y方向見付面積		
記号	計算式	面積
①	14.74×0.703	10.36
②	15.560×3.452	53.71
合 計		64.07

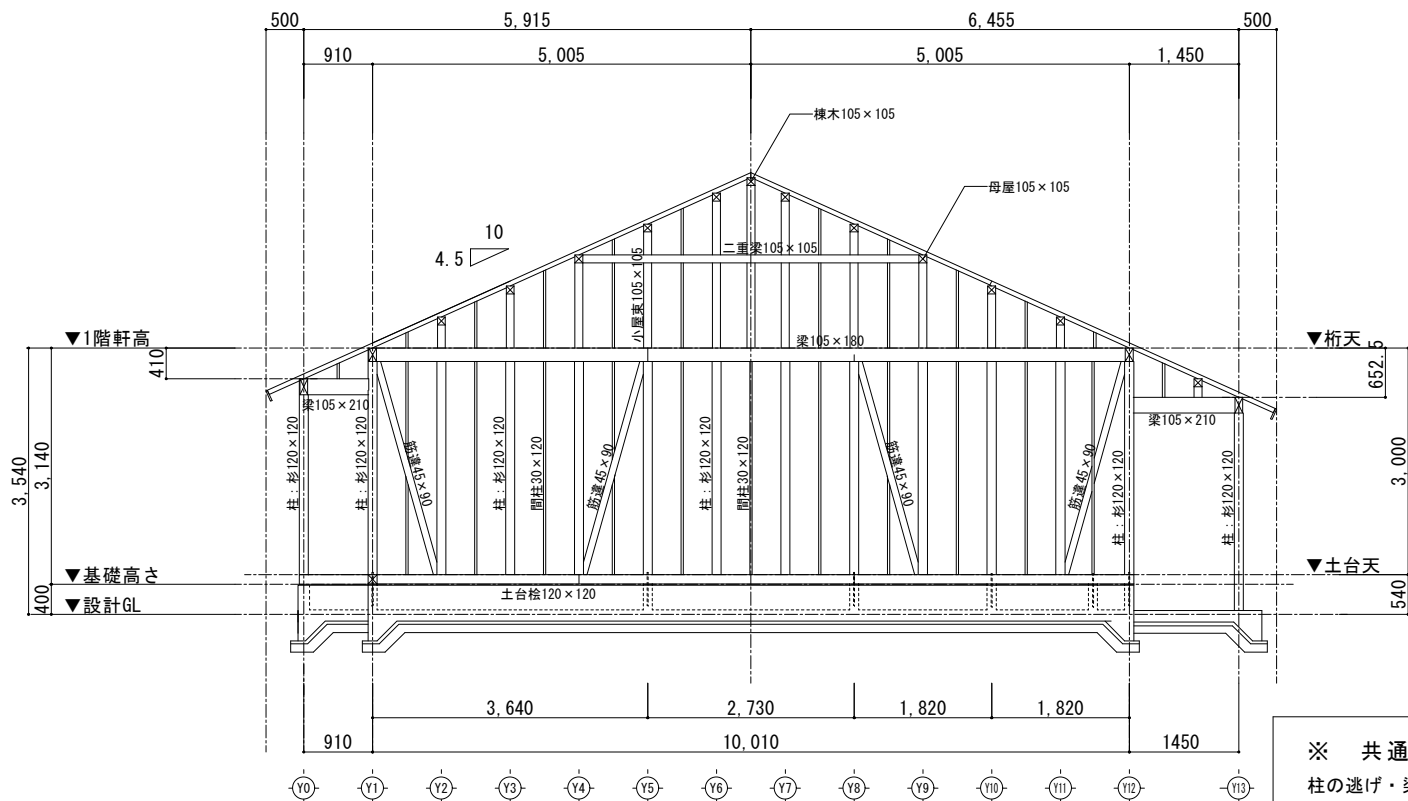
Y方向壁量算定用見付面積図 S:1/200

12.37×14.56
地震用1階床面積 180.11㎡

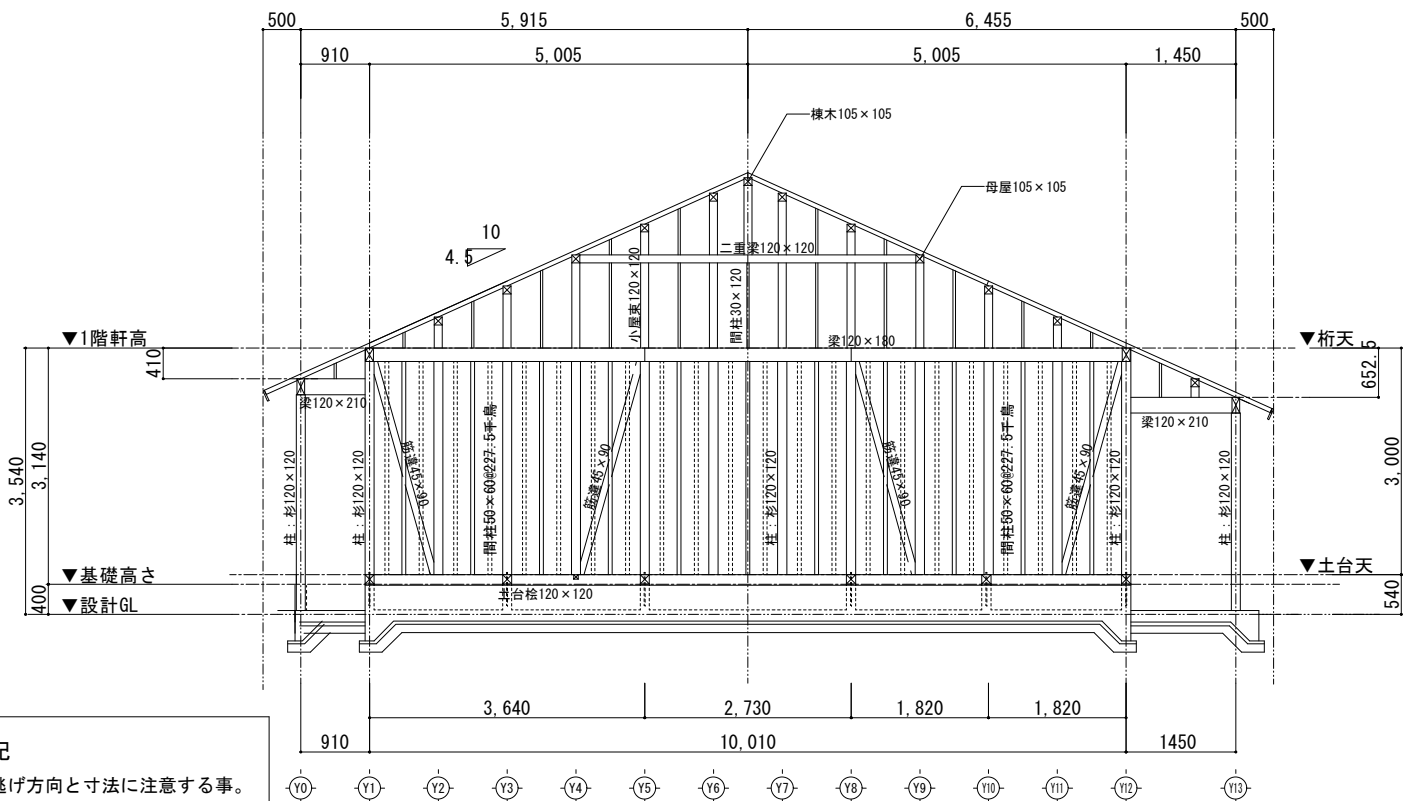
		必 要				有効
		風		地震		
		見付面積：S	S×0.5	対照床面積	面積×0.19	
1 階	X 方向	32.40	16.20	180.11	34.23	0.91×2.0×20ヶ所＝36.40
	Y 方向	64.07	32.04		34.23	0.91×2.0×20ヶ所＝36.40

柱の太さ及び必要壁量の床面積乗数は壁量等の基準（令和7年施行）に
対応した表計算ツールによる

		富永建築設計事務所		1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号	第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」		縮尺	設計	図面番号
		広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669		1級建築士登録 第211472号 富永隆司	筋交い計算検討図		S:1/100 1/200		B-S06

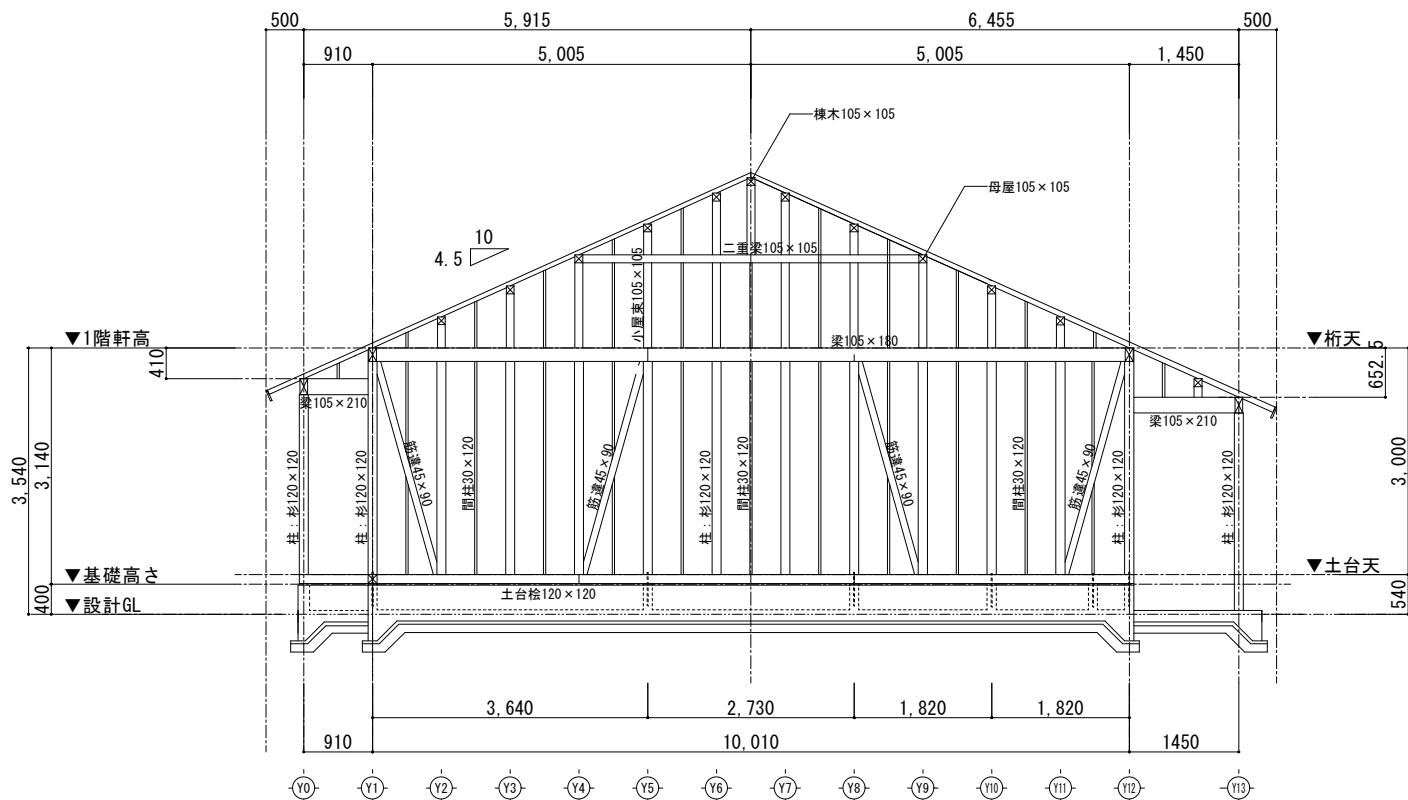


X0通り 軸組図 外壁

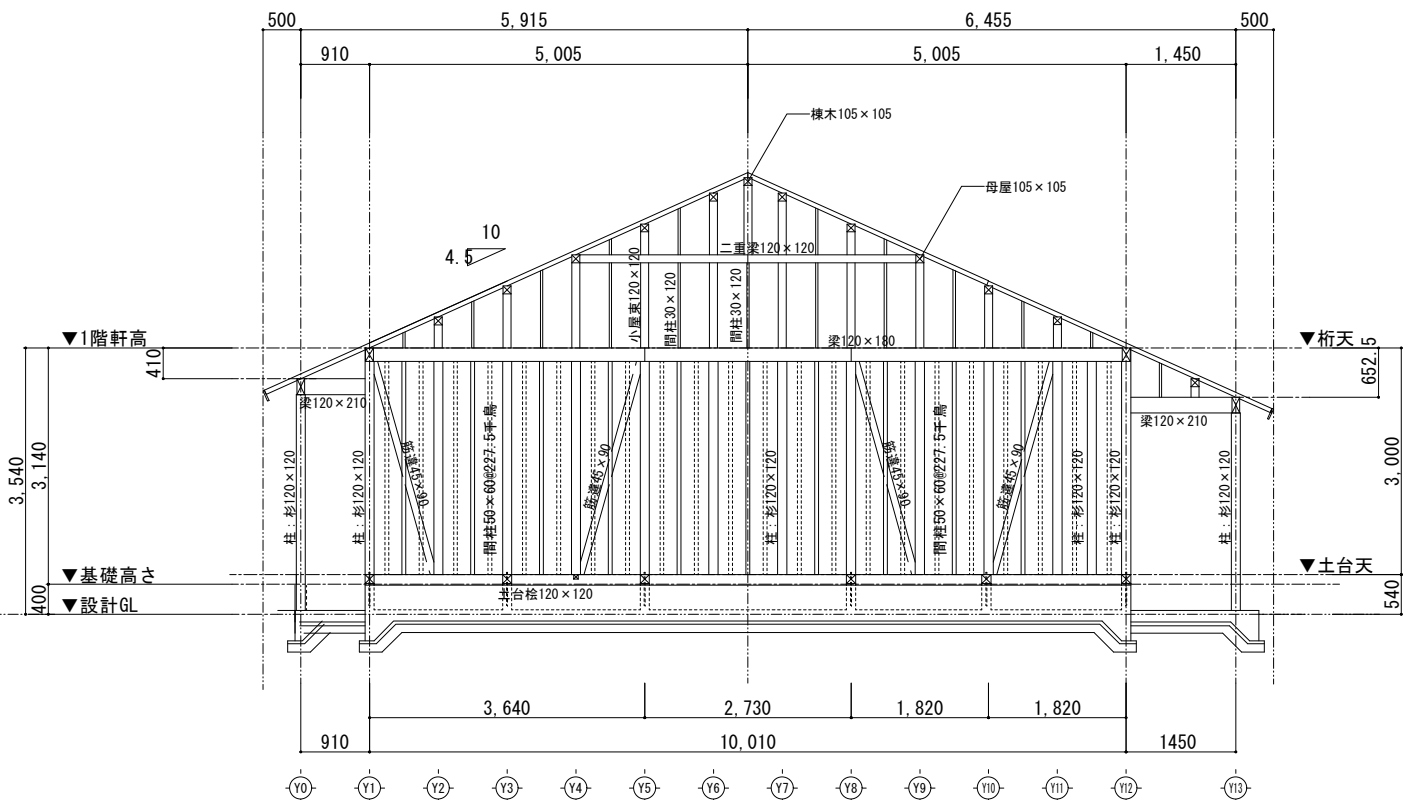


X4・X12通り 軸組図 界壁

※ 共通注記
柱の逃げ・梁の逃げ方向と寸法に注意する事。
構造施工図は 監督員と打合わせの上承認を
必ず受ける事。
隅柱・管柱は全て杉120角以上とする。
筋違は全て杉・45×90以上とする。



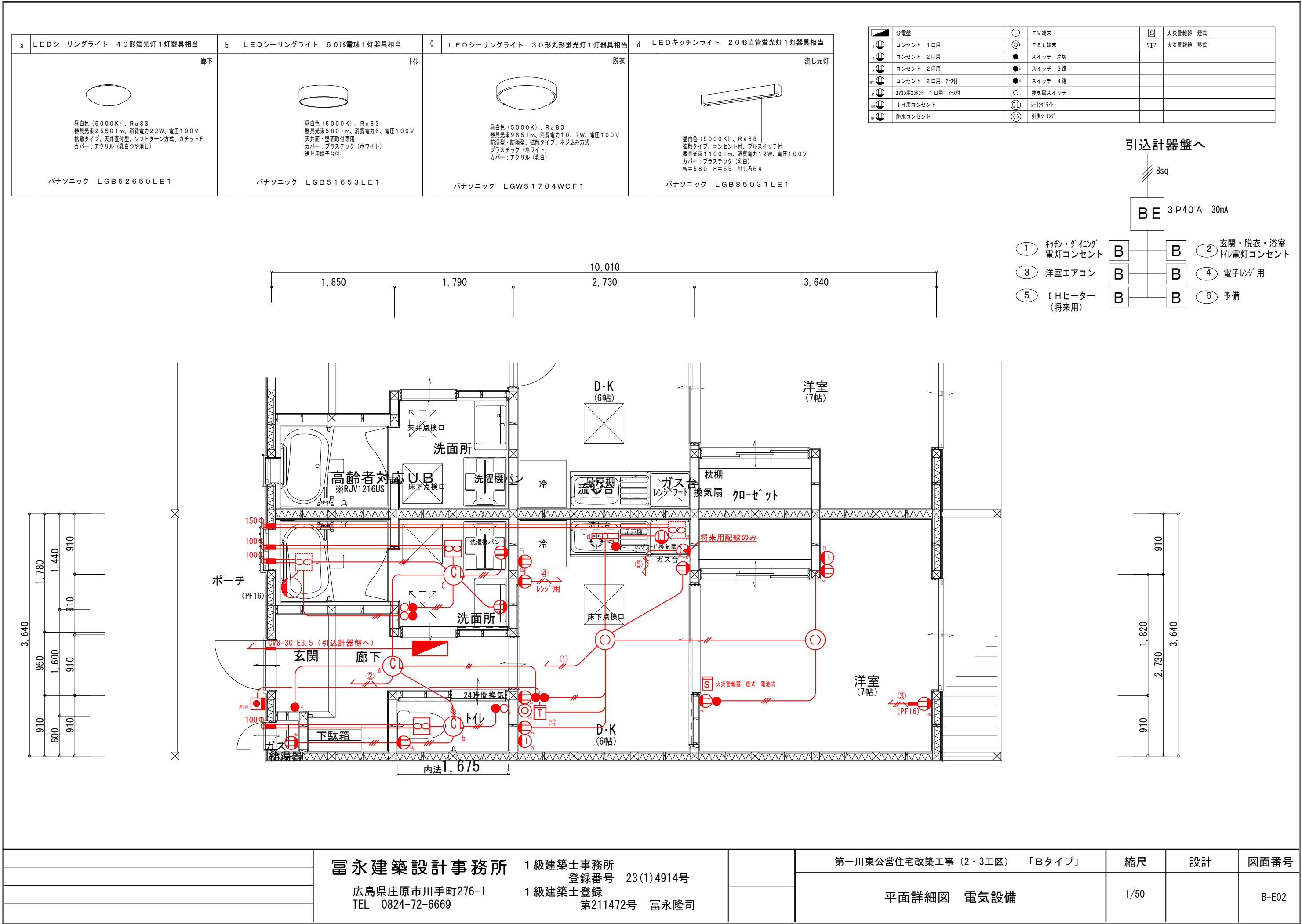
X16通り 軸組図 外壁



X8通り 軸組図 界壁

	富永建築設計事務所 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
				軸組図 1	S:1/100		B-S07

1. 工 事 名 称	第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）「Bタイプ」電気設備工事			6. 工 事 項 目	仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分			6. 工 事 項 目	仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分			凡 例							
2. 工 事 場 所	広島県庄原市東城町川東			監視盤設備	形 式	・ 自立型 ・ デスク型			電気時計設備	親 時 計	水晶発振式（ ・ 壁掛型 ・ 据置型 ）出力 回路			記 号	名 称	適 用	標準取付高さ		
3. 建 物 概 要	・ RC ・ SRC ・ S ○ 木造				監 視 対 象	・ 受変電 ・ 衛生動力 ・ 空調動力 ・ 温湿度				子 時 計	・ 壁掛型 ・ 半埋込型 ・ 埋込型 ・ 吊下げ型			○	白 熱 灯	○コード吊 ○壁付 ●非常照明			
	地下 階／地上 2階／塔屋 階／延面積 m ²					・ 発電機								□	蛍 光 灯	□□ 壁付 □● 非常照明組込			
4. 主 な 用 途	共同住宅				計 装 配 線	・ 含む ・ 含まず													
5. 一 般 事 項																			
1) 適用基準等	本工事は設計図・特記仕様書によると共に、建築設備工事共通仕様書（日本建築家協会監修）、電気設備の技術基準、内線規程、消防法、建築基準法及び、その他関係法令・規則・条例に基づき、完全に施工するものとする。			● 幹 線 設 備	施 工 範 囲	低圧配電盤二次側端子接続より分電盤・制御盤等の一次側接続			● インターホン設備	用 途	○ ドアホン ・ 所内連絡			⊕	誘 導 灯	⊕ 通路誘導灯は矢印を記入			
										通 話 方 式	・ 同時通話 ・ 交互通話				⊕	水 銀 灯			
										形 式	・ 親子式 ・ 相互式								
2) 疑 義	順位は1. 現場説明書 2. 本特記仕様書 3. 図面 4. 共通仕様書とする。					まで。 盤類（ ・ 含む ○ 含まず ）								Ⓢ	コ ン セ ン ト	壁付（2P15A×2コロ）他は口数傍記	FL＋300		
3) 官公庁その他の手続	施工にあたり、疑義が生じた場合は、係員と協議すること。				電 圧	動力 ・ 3φ3W200V（ ・ AC ・ GAC ）										傍記Tは引掛型、Eは接地端子付、WPは防滴型を示す。	和室＋200		
	本工事に必要な官公庁への手続きは、請負業者にて代行し、これに要する費用は、請負業者の負担とする。					動力 ・ 3φ3W V（ ・ AC ・ GAC ）			ナースコール設備	機 器	・ PC型 ・ ボード型 ・ 卓上型								
						電灯 ・ 3φ4W200/100V（ ・ AC ・ GAC ）				通 話 方 式	・ 交互通話 ・ 自動交互通話 ・ 同時通話								
4) 工法の決定	施工者は、係員の承認なく、施工方法、使用材料及び使用機器を変更してはならない。変更を行う場合は、速やかに変更図面を提出し、係員の承認を得た後に施工すること。					電灯 ○ 1φ3W200/100V（ ○ AC ・ GAC ）				夜間切り替え	・ 有 ・ 無								
						直流 ・ 2W108V									・ ス イ ッ チ	・ 片切 ・ 2両切 ・ 3路 ・ 4路	FL＋1300		
					配 線 種 別	一般電灯動力（ ○ 電線管 ○ ケーブル ・ バスダクト ）									・ リモコンスイッチ	回路数は傍記による	和室 1200		
5) 提 出 書 類	下記の ○ 印の書類を係員に提出すること。					非常電灯動力（ ・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル ）			設備						・ パイロットランプ				
	工事書類 ○ 工程表 ○ メーカリスト ○ 承認図 ○ 施工図					直 流 （ ・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル ）									⊕	リモコンスイッチ	確認ランプ付、窓数傍記		
	完成書類 ○ 官公庁等への諸手続きの写し ○ 検査試験成績表														✂	調 光 器	容量傍記、FLは蛍光灯用		
	○ 取扱説明書 ○ 工事記録写真 ○ 竣工図			○ 動力 設備	施 工 範 囲	制御盤を（ ・ 含む ・ 含まず ）二次側端子接続より、各動力負荷一次側接続まで。									・ 自動点滅器	特記なきは3Aとする。			
6) 検 査	工事完成後、経済産業局、その他官公庁の各種検査に合格すると共に、係員の検査に合格すること。					インターロック配線（ ・ 含む ・ 含まず ）			● 自動火災報知設備	受 信 機	・ 単独 ・ 複合 型 級（ ・ 自立型 ・ 壁掛型 ）				▽	自動スイッチ	熱線センサー付		
						自動制御配線（ ・ 含む ・ 含まず ）					（自火報） 回線、（防排煙） 回線				○	制御用スイッチ	○ 〇 フロートスイッチ（極数は傍記）		
7) 特 記 事 項	1) 配線器具プレート（ ○ 樹脂 ・ 新金属 ・ ステンレス ・ ）					警報盤（ ・ 含む ・ 含まず ）				総 合 盤	・ 消火栓組込 ・ 単独						○ 〇 フロートスイッチ		
	2) 工事項目は、番号の入っている設備項目を適用する。					警報配線（ ・ 含む ・ 含まず ）				消火ポンプ起動	・ 発信機連動 ・ 別置押釦			⊕	換 気 扇	大きき傍記、⊕天井扇			
	3) 仕様、工事内容及び工事区分は、○ 印を付したものを適用する。									受信機設置場所									
	4) 機器の取付高さは、特に指示のない場合、標準取付高さによること。										○ 煙感知器（電池式）			Ⓢ	開 閉 器	容量は傍記	FL＋1500		
					● 電灯コンセント設備	施 工 範 囲	分電盤を（ ○ 含む ・ 含まず ）二次側端子接続より、配線器具等の取付まで。			防排煙制御設備	制 御 盤	・ 単独（ 回線 ） ・ 火災報知受信機組込			⚡	電 灯 分 電 盤	上層FL＋1900		
						配線器具等の取付まで。				制 御 対 象	・ 防火戸 ・ ダンパー ・ 防煙垂壁 ・ 排煙口 ・ シャッター			⚡	動力制御盤		#		
					配 線 器 具	・ 連用型 ・ 大角連用型 ○ ワイド型								⚡	灯動共用盤		#		
6. 工 事 項 目	仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分								避 雷 設 備	方 式	・ 突針 ・ 棟上導体				⚡	警 報 盤			
● 引 込 設 備	電 圧 種 別	・ 高圧 φ W V Hz								接 地 極	・ 銅板 場所 ・ 建物接地			⚡	保 安 器 盤				
		○ 低圧 1φ 3W 200/100V 60Hz								突針支持管	・ 鋼管 ・ 黄銅管 ・ アルミ管（ ・ 自立型 ・ 側壁型 ）			⚡	端 子 盤				
		・ 低圧 φ W V Hz								端 子 箱	・ 塩ビ ・ 黄銅 ・ ステン			⚡	接地用端子箱				
				● 照明器具設備	施 工 範 囲	照明器具の供給取付工事			7. 工 事 区 分	（該当欄に ○ 印で記します。）			Ⓢ	電話アウトレット	壁付 ○ 床付（ローテンションスタンド共）				
					器 具 仕 様	非常照明器具（ ・ 専用 ・ 兼用 ・ 組込 ）			項 目	電 気	建 築	衛 生	空 調	別 途	備 考	Ⓢ	情報用7アウトレット	壁付 〇 床付（ローテンションスタンド共）	
						非常照明用予備電源（ ・ 内蔵 ・ 別置 ）			電力会社・NTTに納入する負担金							Ⓢ	スピーカ	天井埋込型 ○ 壁掛型	
						誘導灯用非常電源（ ・ 内蔵 ・ 別置 ）			テレビ受信のビル影障害調査及び補償費							▷	ホーン型スピーカ		
									受電後、引渡し迄の電気基本料金及び使用料金							①	ジャ ッ ク	MJマイクジャック、SJスピーカジャック	
									コンクリート基礎（ ・ キュービクル ・ 発電機 ・ 変圧器 ・ 盤類 ・ 外灯 ）							✂	アッテネータ		
				● 電話配管設備	引 込 方 法	・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中			シンダーコンクリート打設工事							AMP	増 幅 器		
					建物内配管	○ 配管 ・ ケーブルラック			ビット工事（縁金物、蓋共）							RM	遠隔操作器		
					構内配線	・ 含む ○ 含まず			天井に取付ける機器の穴明けと補強工事及び取付枠										
									電気配線用点検口の設置工事							Ⓢ	親 時 計		
																Ⓢ	子 時 計		
				電話 設備	交 換 機	・ 含む ・ 含まず			空調機・ボイラ等の制御機器及び自動制御配線							T	アン テ ナ	種類、素子数傍記	
						・ 電子交換機 局線 回線			換気扇の供給取付工事							Ⓢ	B S アンテナ	大きき傍記	
						・ ボタン電話器 型			電極棒及び保持器							Ⓢ	T V 機器収納函		
									電話器とその取付工事及び入線工事							Ⓢ	直列ユニット	75Ω（ 端子型 ）	
									空調機の室内機・室外機間の互り配線							Ⓢ	インターホン	親器 ①子器	
									8. メ ー カ リ ス ト （その他下記以外で、係員が同等品以上と認めたもの）										
									電線ケーブル	JIS規格品			発 電 機	東芝・日立・三菱・パナソニック					
									バスダクト				エ ン ジ ン	ヤンマー・三菱・いすゞ・川崎			Ⓢ	避 雷 突 針	
									電 線 管	パナソニック・東芝・旗陽・日本パイプ・丸一			直流電源装置			Ⓢ	避雷接地用端子箱		
									電線管付属品	パナソニック・東芝・旗陽・日亜・外山			電話交換機			Ⓢ	接 地 極	種別傍記	
									合成樹脂電線管	積水・パナソニック・古河・ミライ・東拓			放 送 機 器						
									配 線 器 具	パナソニック・東芝・神保・明工社			テ レ ビ 共 聴			□	ジョイントボックス		
									照 明 器 具	パナソニック・東芝・三菱・日立			電 気 時 計			Ⓢ	ブルボックス		
									キュービクル	パナソニック・内外・中電工			インターホン			Ⓢ	ハンドホール	□ マンホール（重荷重傍記）	
									高圧配電盤	パナソニック・内外・中電工			ナースコール						
									制御盤監視盤	パナソニック・内外・中電工			自火報防排煙			✂	配 管 ・ 配 線	立上り、素通し、引下げ	
									分電盤端子盤	パナソニック・内外・中電工			避 雷 針			――――	”	天井	
																――――	”	床	
									高 圧 機 器	三菱・日立・東芝・エナジーサポート戸上						――――	”	露出	
									変 圧 器	三菱・日立・東芝・パナソニック・ダイヘン・中機						――――	”	地中	
									進 相 器	三菱・日立・東芝・パナソニック・ニチコン									（注和室は電天）



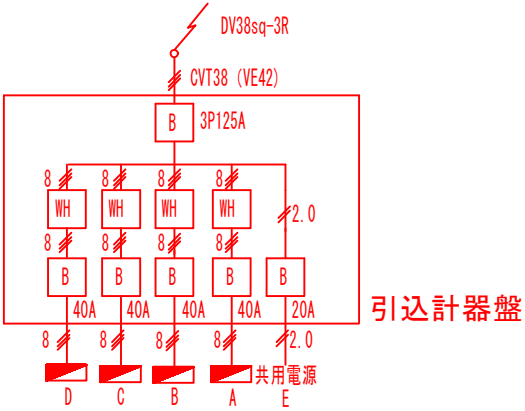
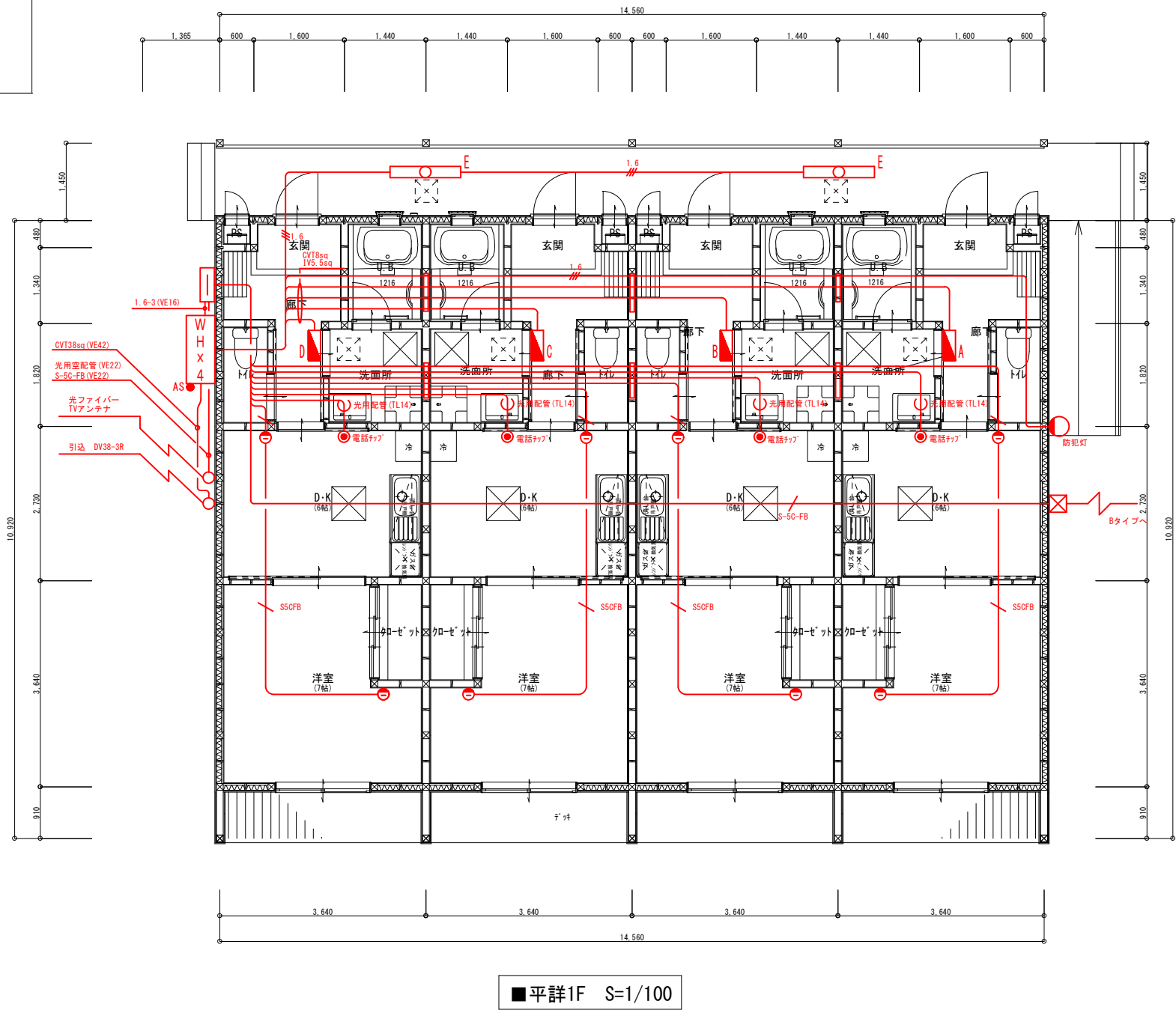
e

i Dシリーズ直付型 20形 Dスタイル W150



一般タイプ、800lmタイプ
消費電力6W、定格出力型、電圧100~242V
本体：銅板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

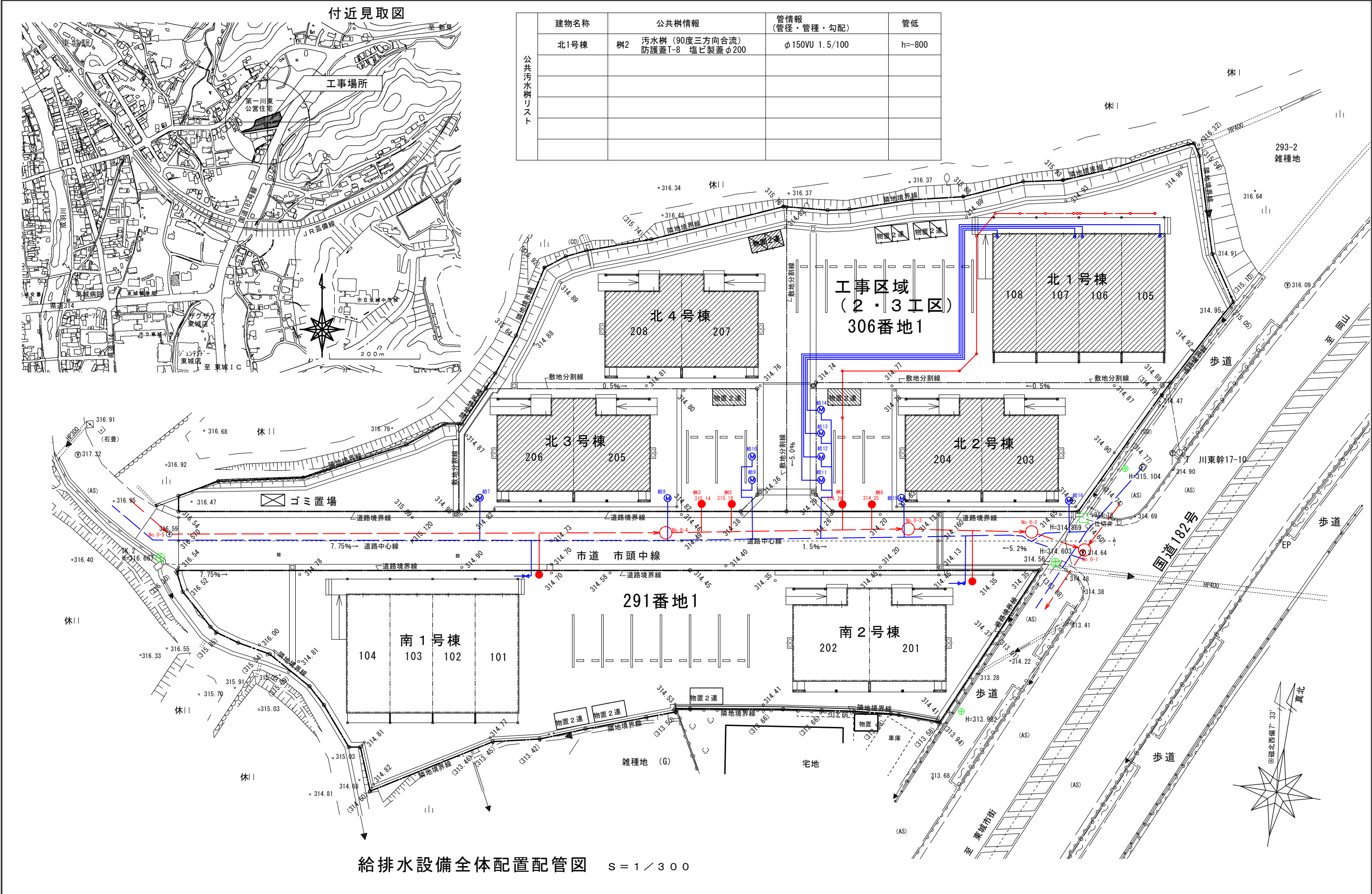
パナソニック 直付X L X 200AENCLE9

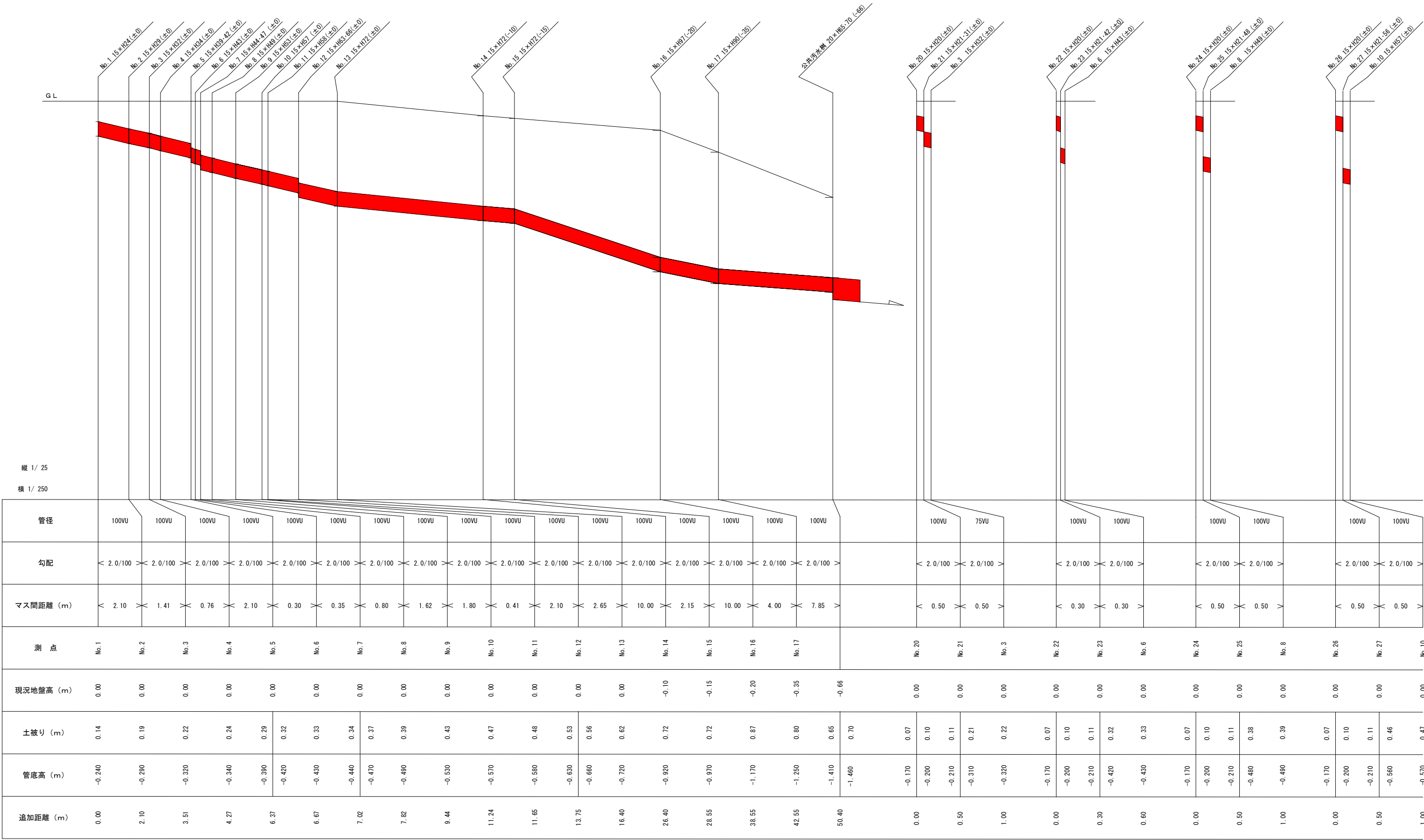


■平詳1F S=1/100

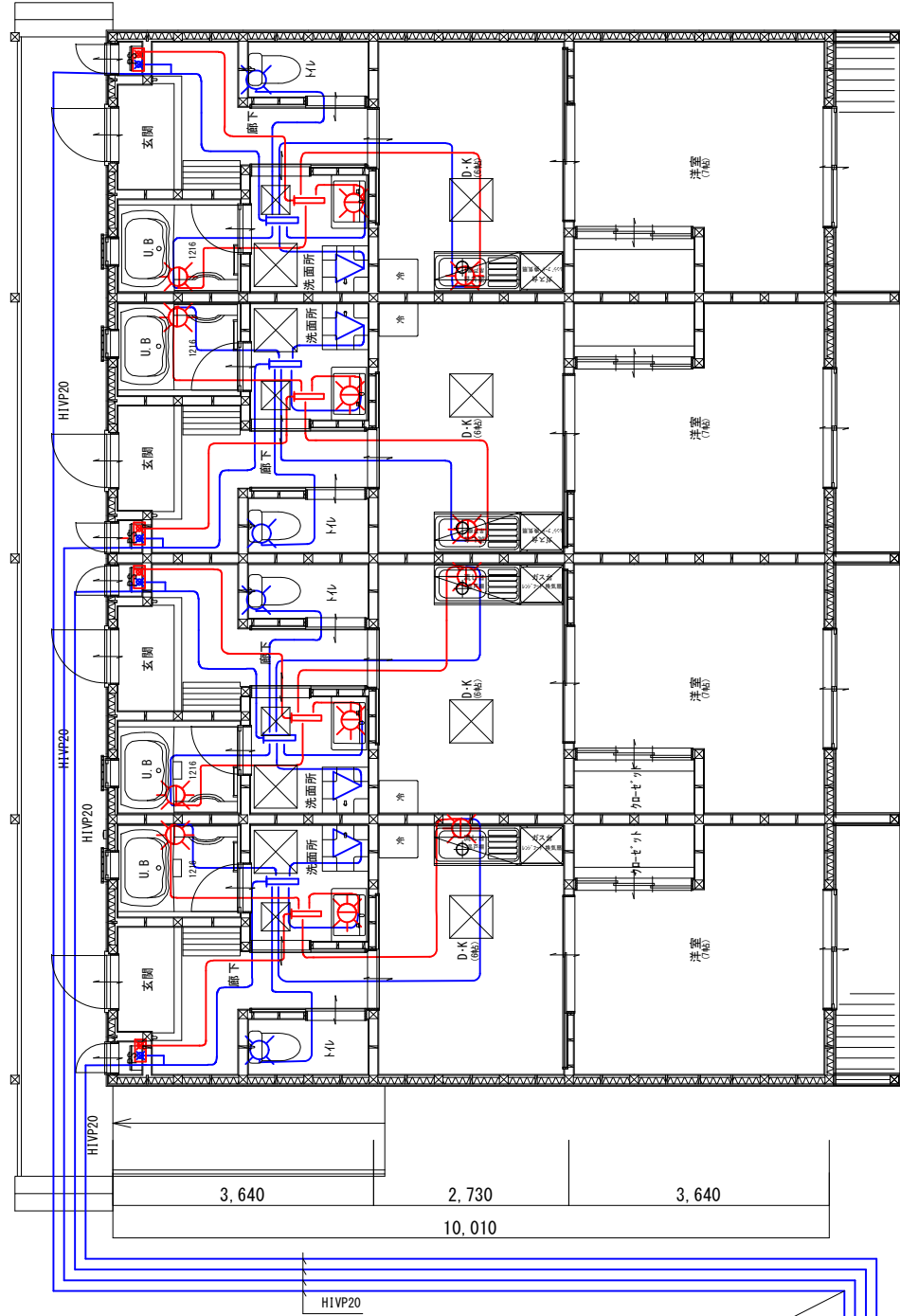
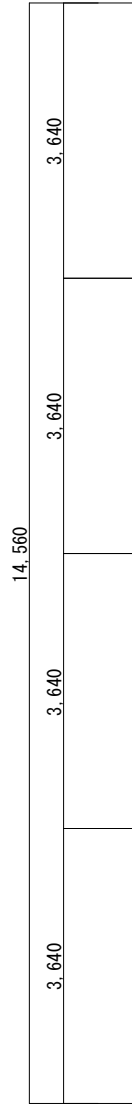
	富永建築設計事務所	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司	第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
	広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669		平面図 電気設備工事（幹線・弱電）	1/100		B-E03

[illegible]





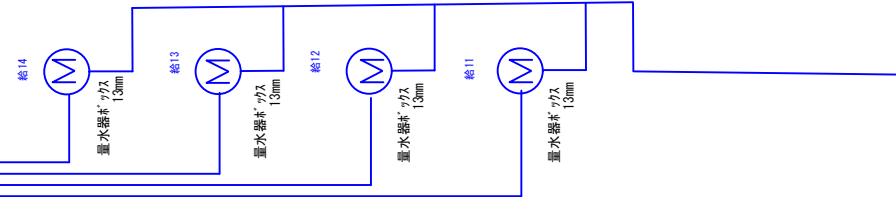
	富永建築設計事務所 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1 級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1 級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号	
					給水平面図・立面図	1/100		B-M06



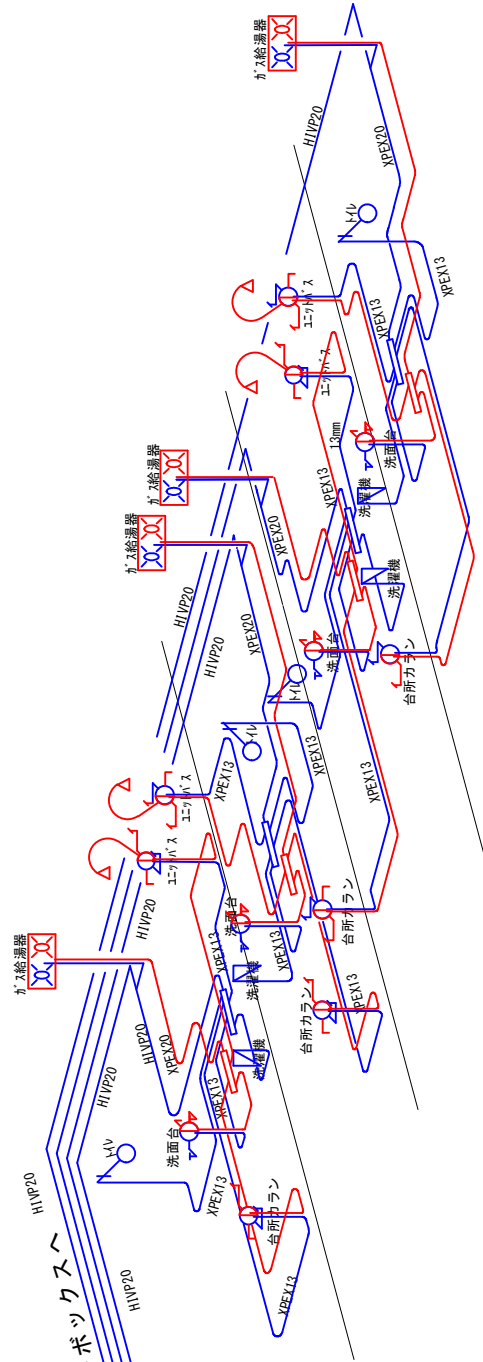
13,500

H1VP20

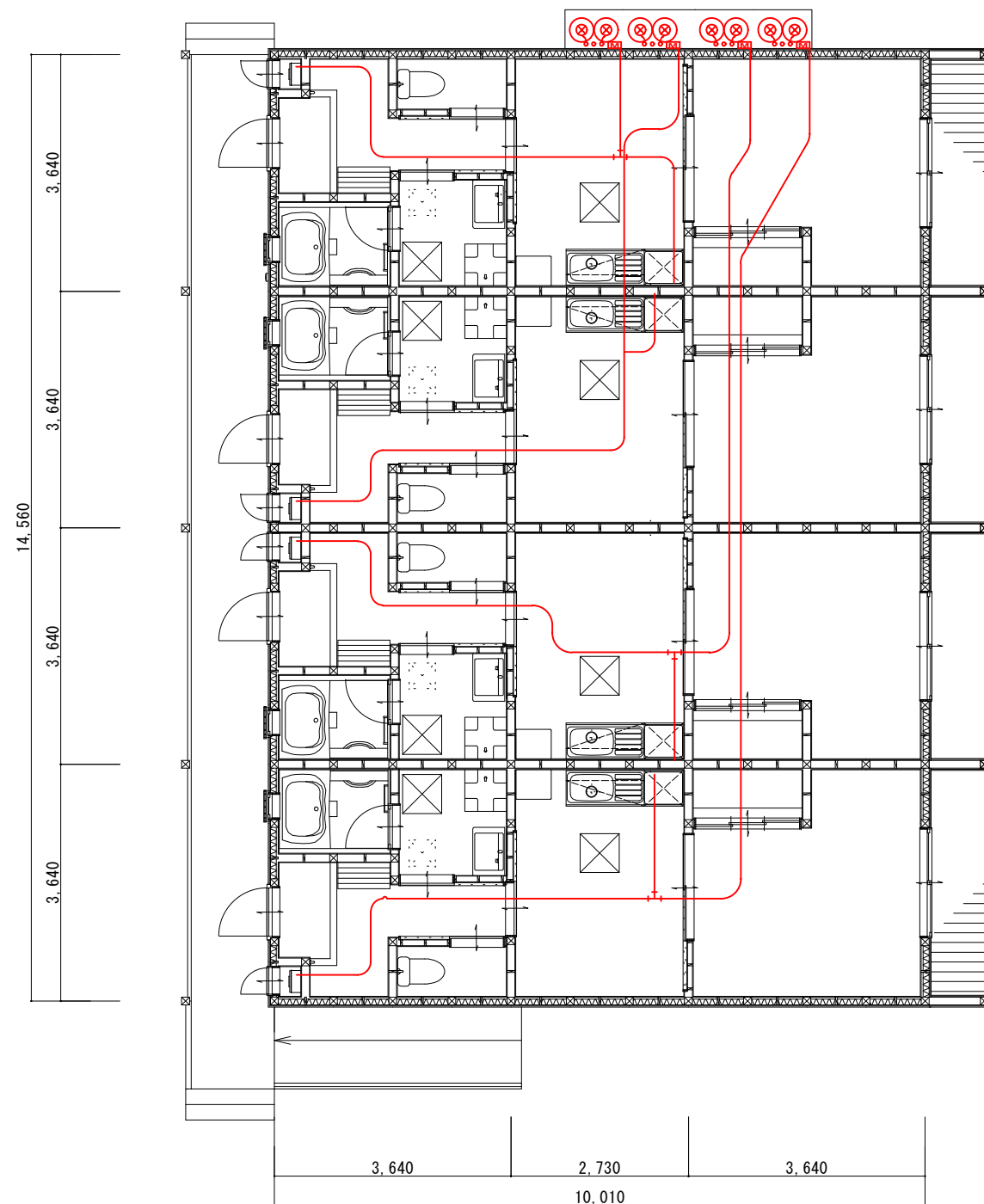
平面図 S: 1/100



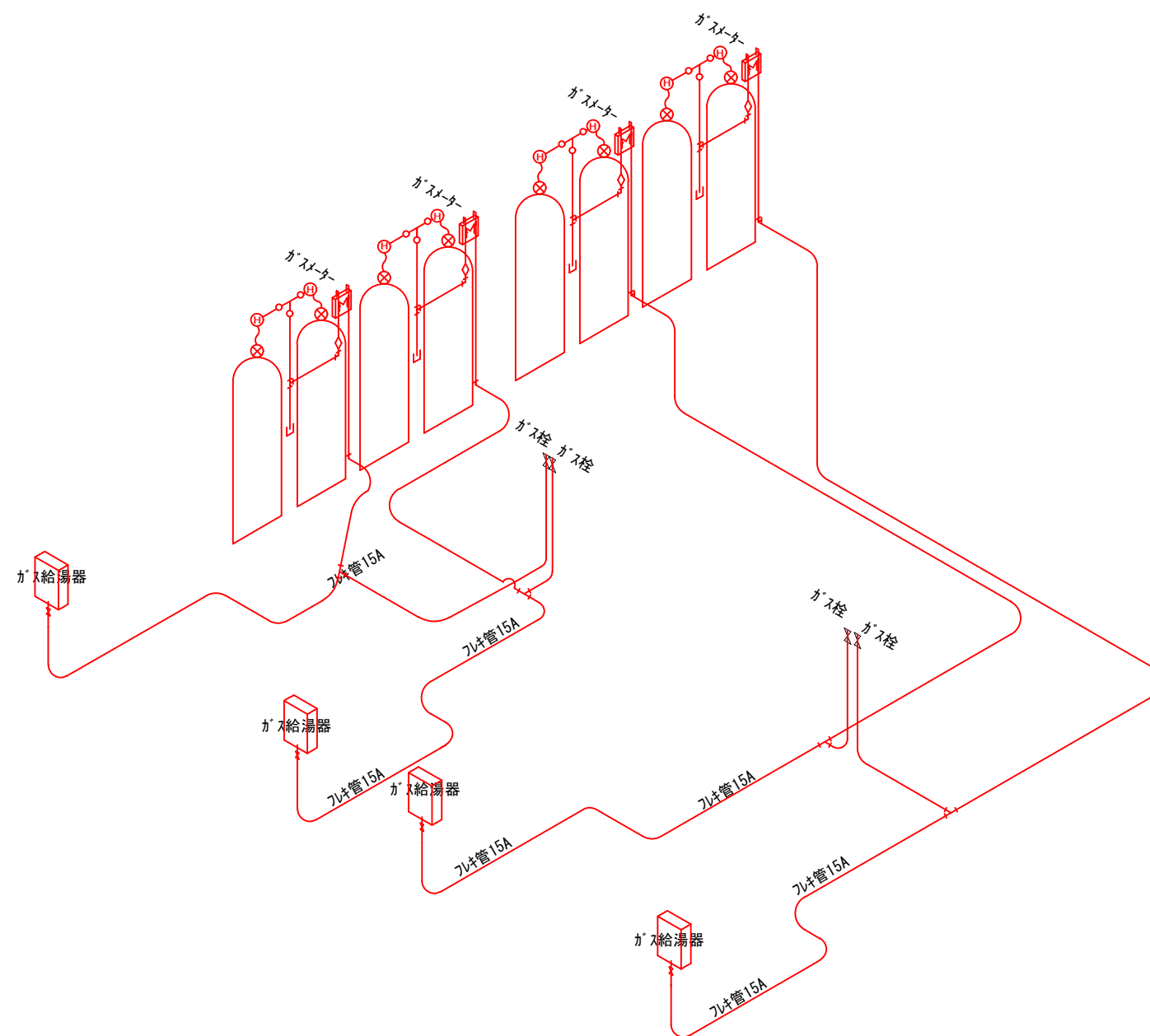
4連メーターボックスへ



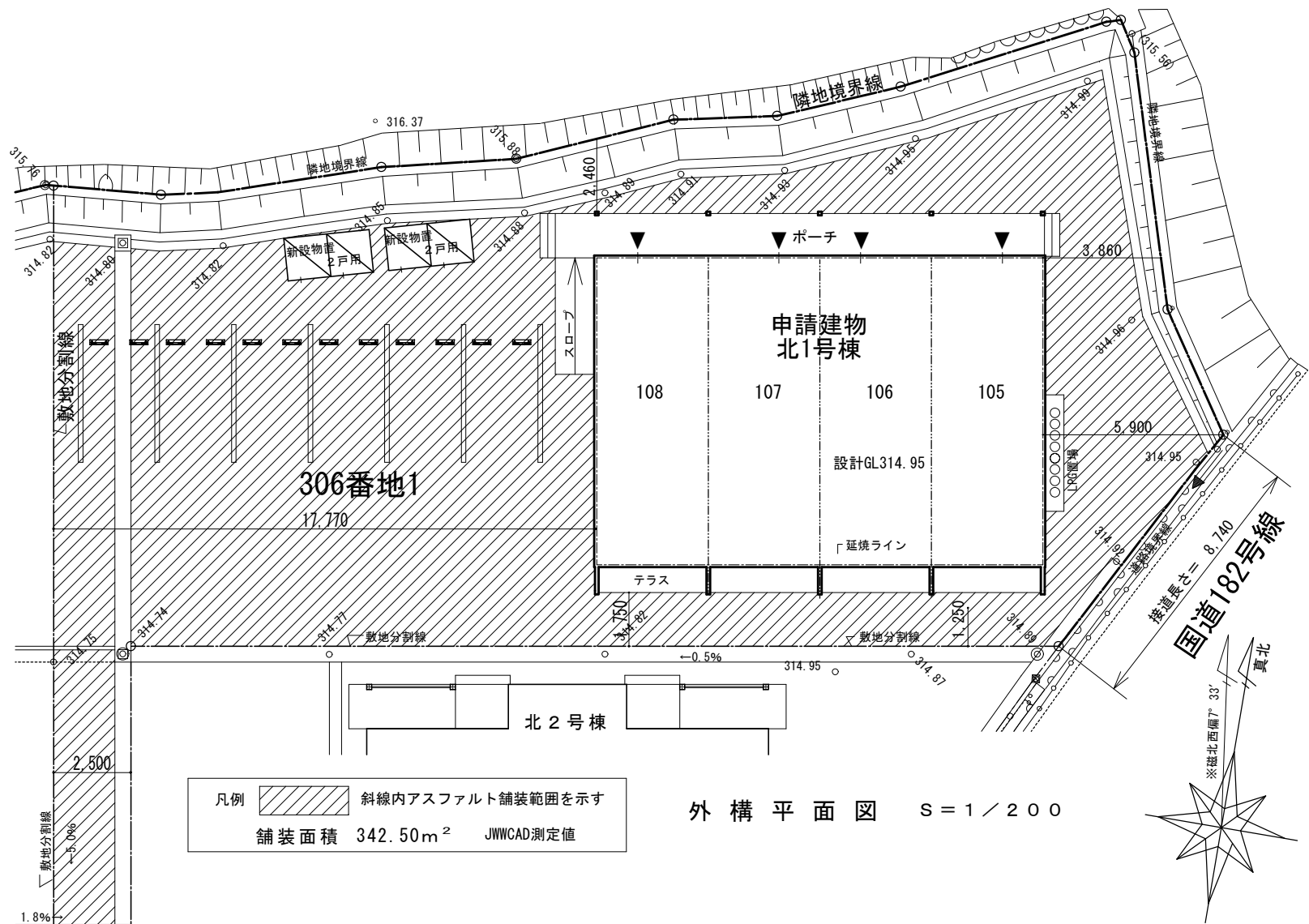
立面図 NoSCALE



平面図 S:1/100



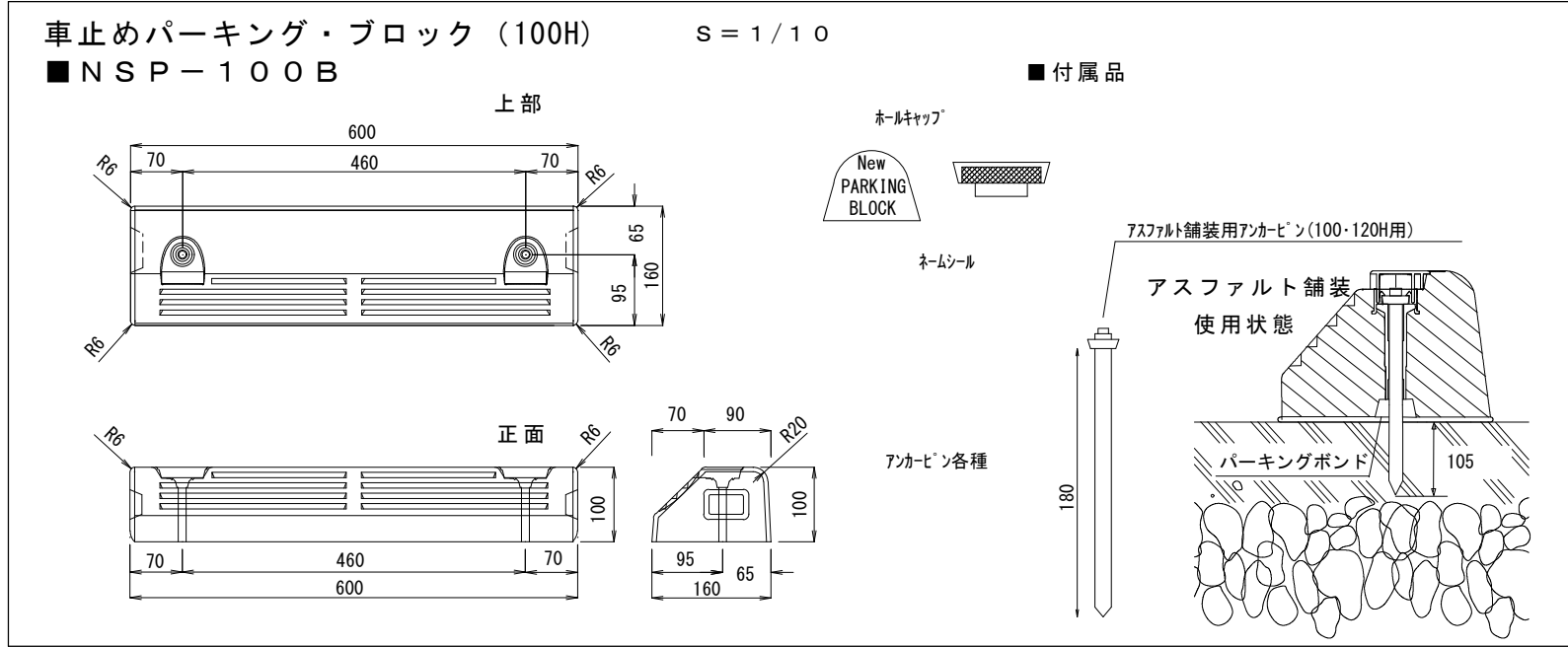
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		第一川東公営住宅改築工事（2・3工区） 「Bタイプ」	縮尺	設計	図面番号
				ガス配管図	1/100		B-M07



凡例 斜線内アスファルト舗装範囲を示す
舗装面積 342.50m² JWWCAD測定値

外構平面図 S = 1 / 200

前面道路
市道 市頭中線

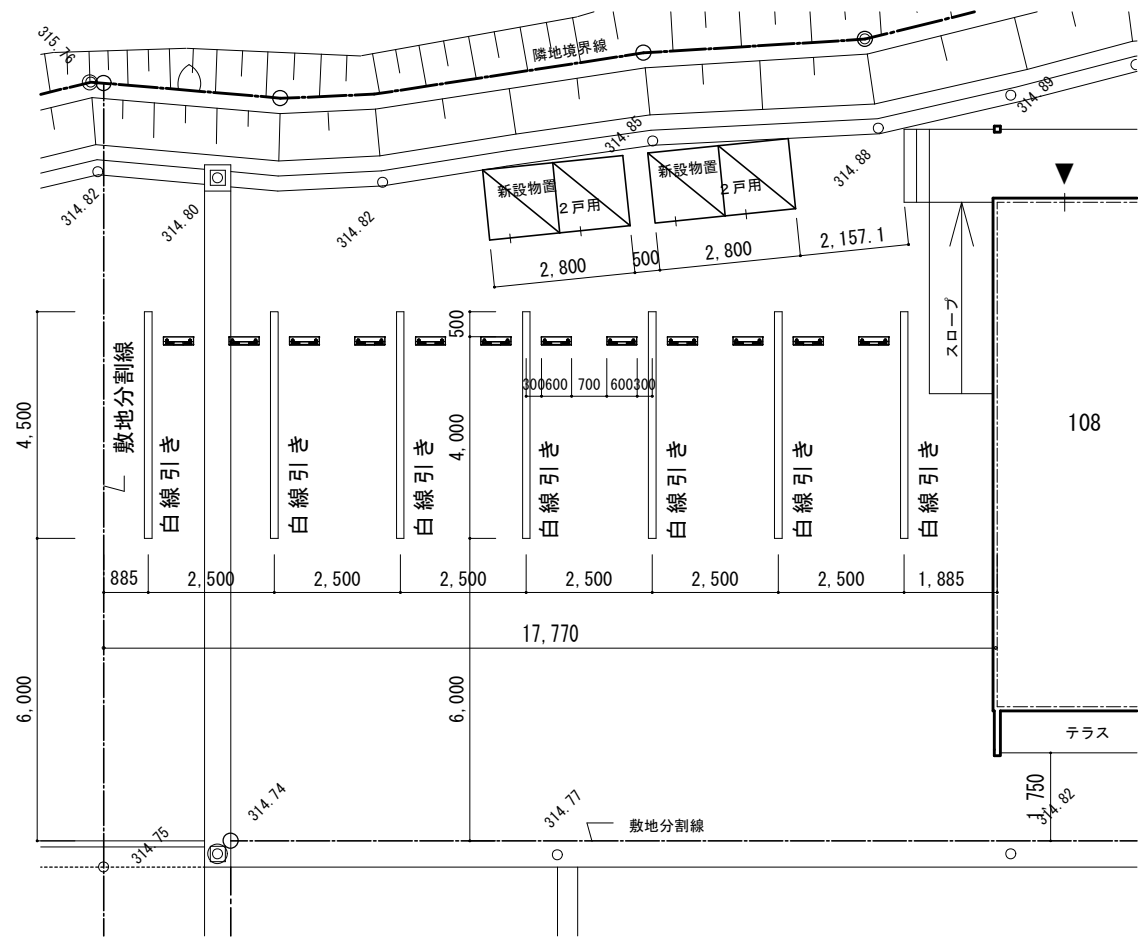


アスファルト舗装

アスファルト舗装
厚50 アスファルト混合物密粒度アスコン
プライムコート PK-3
厚150 路盤材 再生クラッシャラン RC-40

駐車場区画線 (4.5m x 3本)
白線引き 溶融手動式 厚2.0 巾150 ライン

※ 同一工事期間内の他区画構工事を合同で まとめて発注する事。



駐車場廻平面図 S = 1 / 150



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称 <北1号棟>

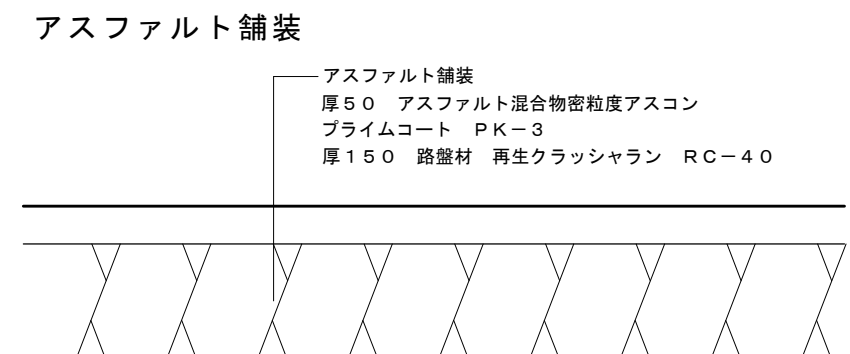
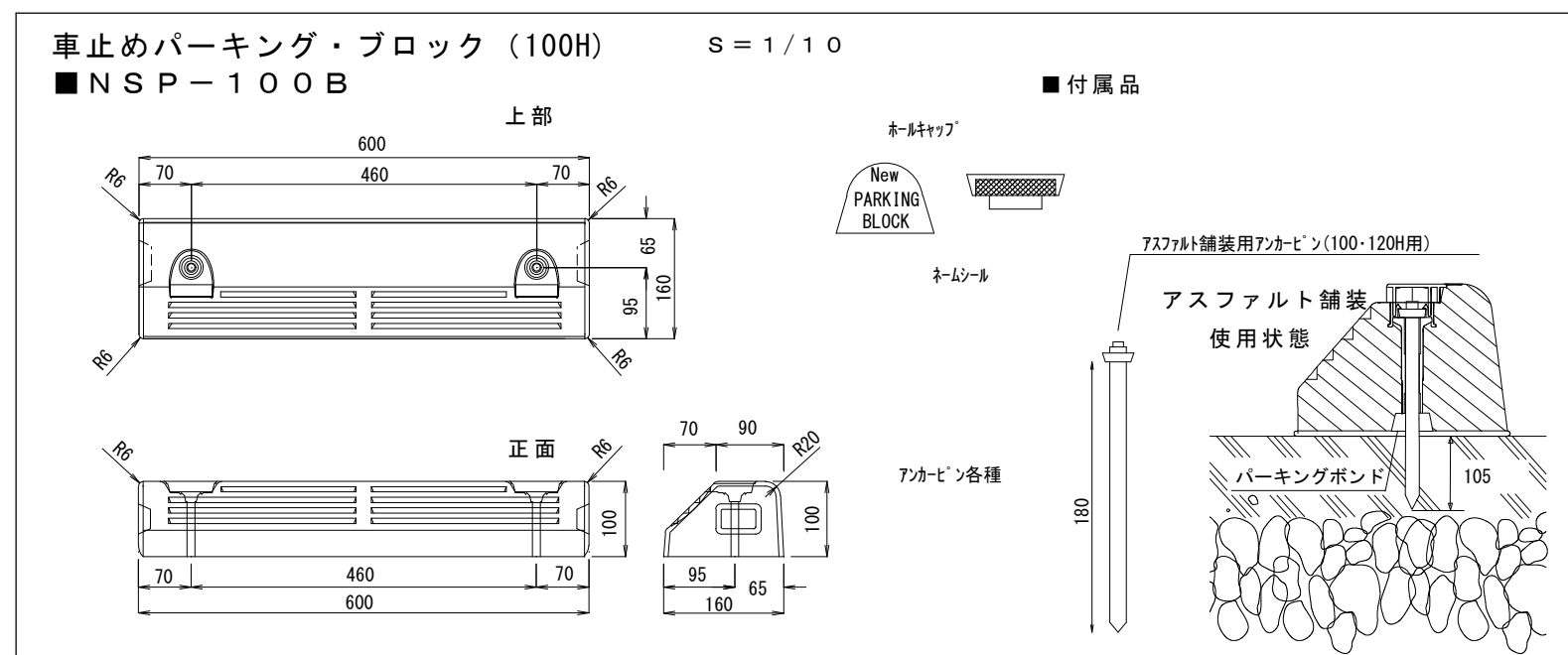
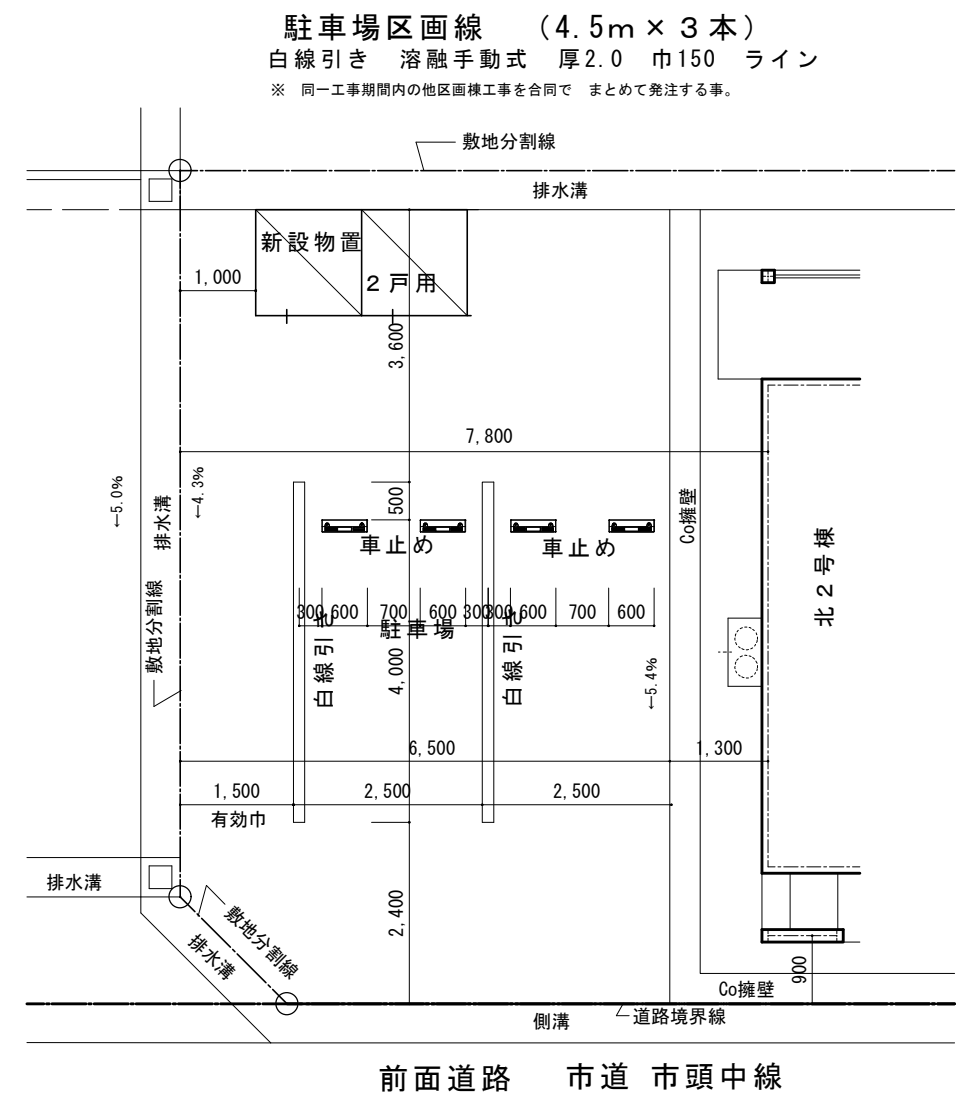
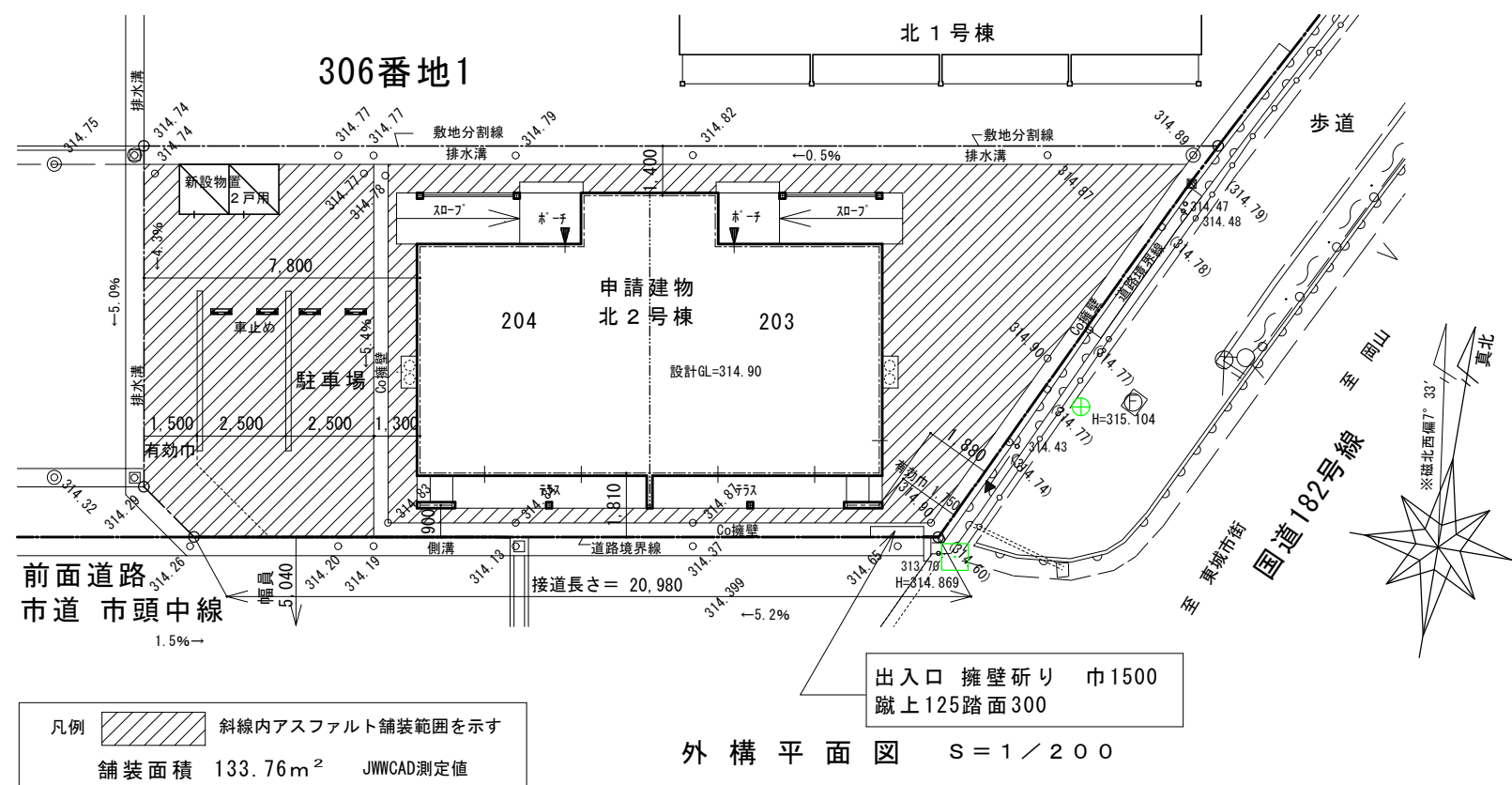
外構図

図面番号

C-1

縮尺 A3版標準スケールとする。

1/200 1/100 1/10



O f f i c e M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 TEL (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛

工事名称

第一川東公營住宅改築工事（2・3工区）

相当

一級建築士 増 原 寛

變更訂正年月日

内容記事欄

図面名称 <北 2 号棟>

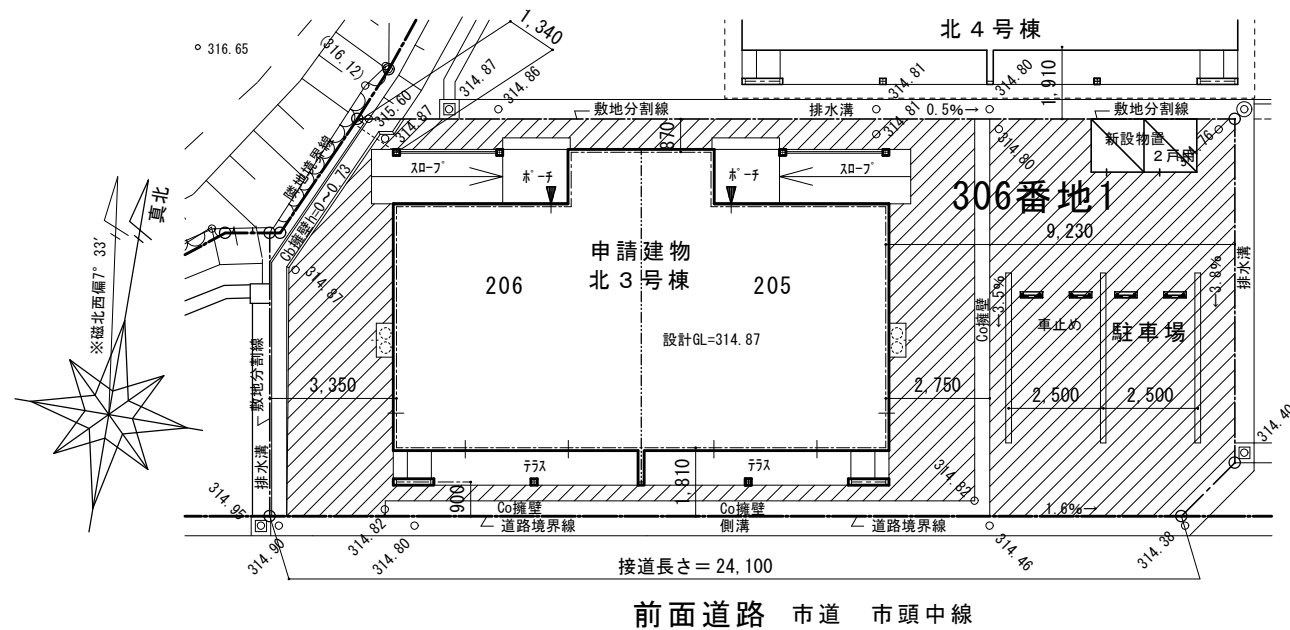
外 構 図

縮尺 A3版標準スケールとする。

1 / 200	1 / 100	1 / 10
---------	---------	--------

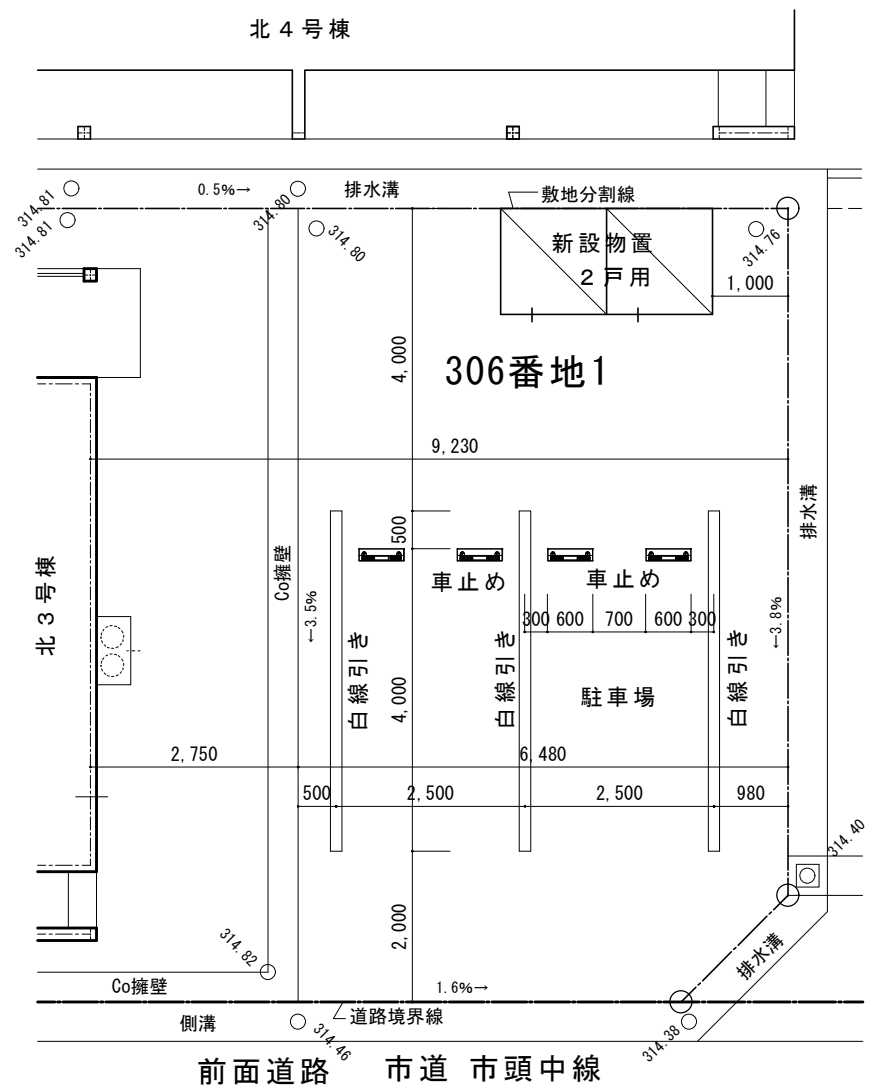
図面番号

C-2



凡例 斜線内アスファルト舗装範囲を示す
舗装面積 121.90m² JWWCAD測定値

外構平面図 S = 1 / 200



前面道路 市道 市頭中線
駐車場廻平面図 S = 1 / 100

駐車場区画線 (4.5m × 3本)
白線引き 溶融手動式 厚2.0 巾150 ライン
※ 同一工事期間内の他区画様工事を合同で まとめて発注する事。

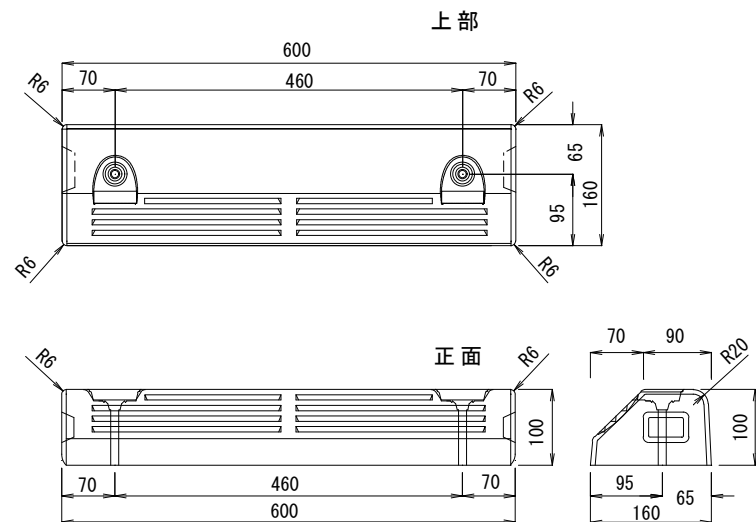
アスファルト舗装

アスファルト舗装
厚50 アスファルト混合物密粒度アスコン
プライムコート PK-3
厚150 路盤材 再生クラッシャーラン RC-40

車止めパーキング・ブロック (100H) ■NSP-100B

S = 1 / 10

■付属品

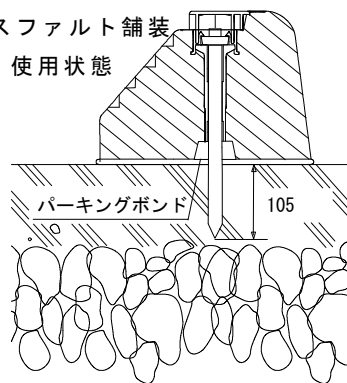


ホルキャップ

アンカーピン各種

アスファルト舗装用アンカーピン(100・120H用)

アスファルト舗装
使用状態



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称 <北3号棟>

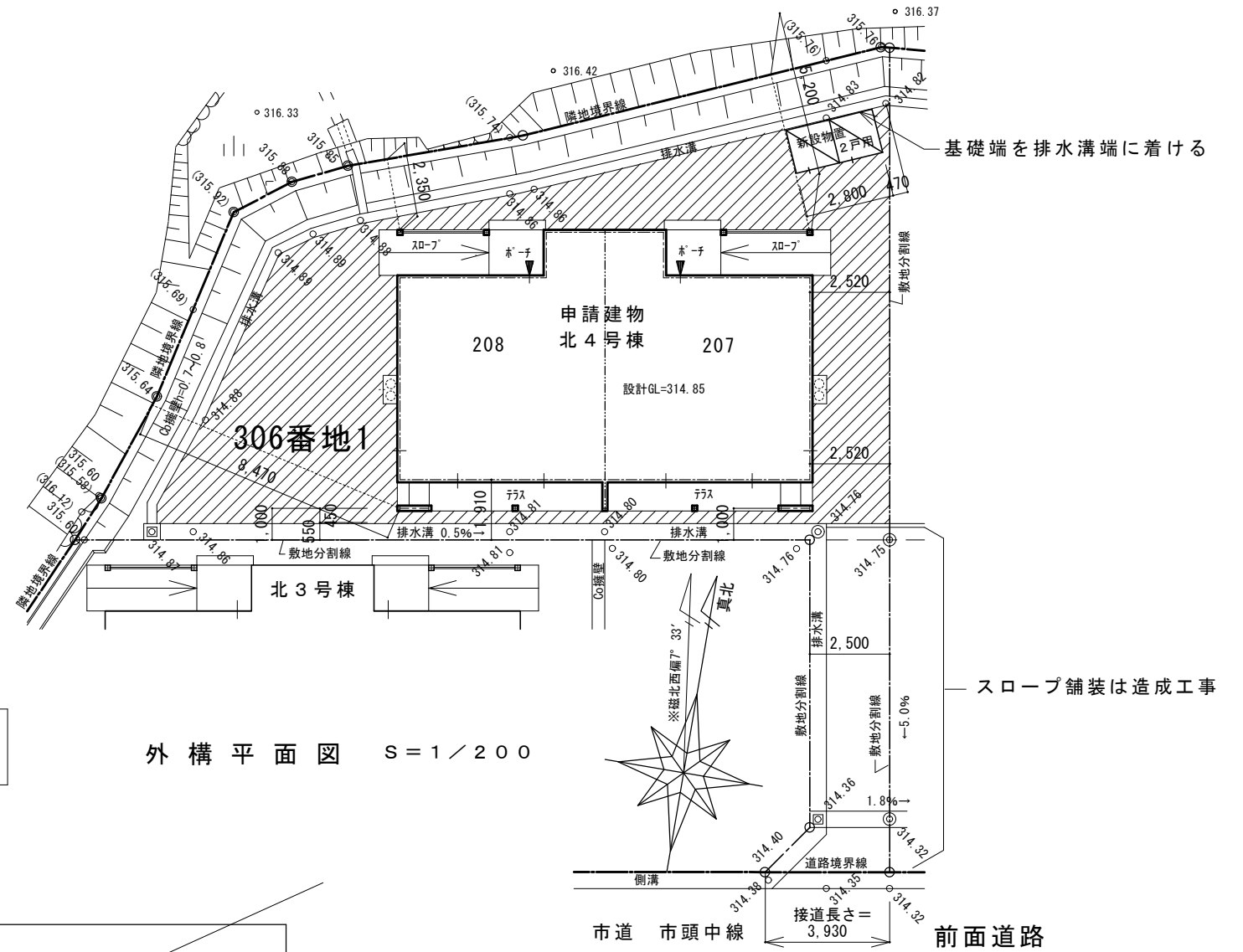
外構図

縮尺 A3版標準スケールとする。

1/200 1/100 1/10

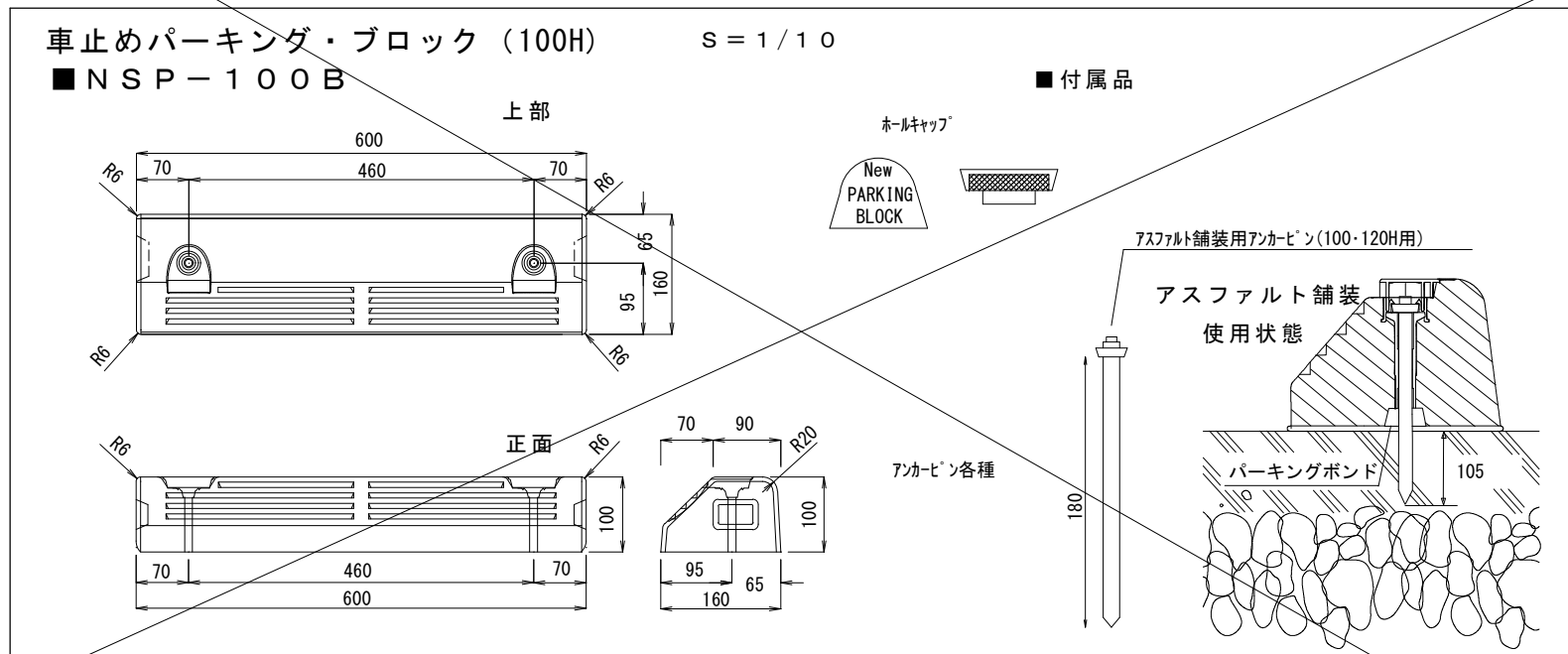
図面番号

C-3



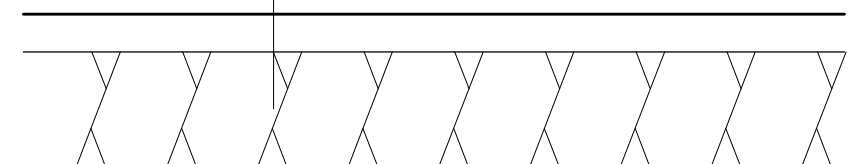
凡例  斜線内アスファルト舗装範囲を示す
舗装面積 105.12m² JWWCAD測定値

外構平面図 S = 1 / 200



アスファルト舗装

アスファルト舗装
厚50 アスファルト混合物密粒度アスコン
プライムコート PK-3
厚150 路盤材 再生クラッシャーラン RC-40



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称 <北4号棟>

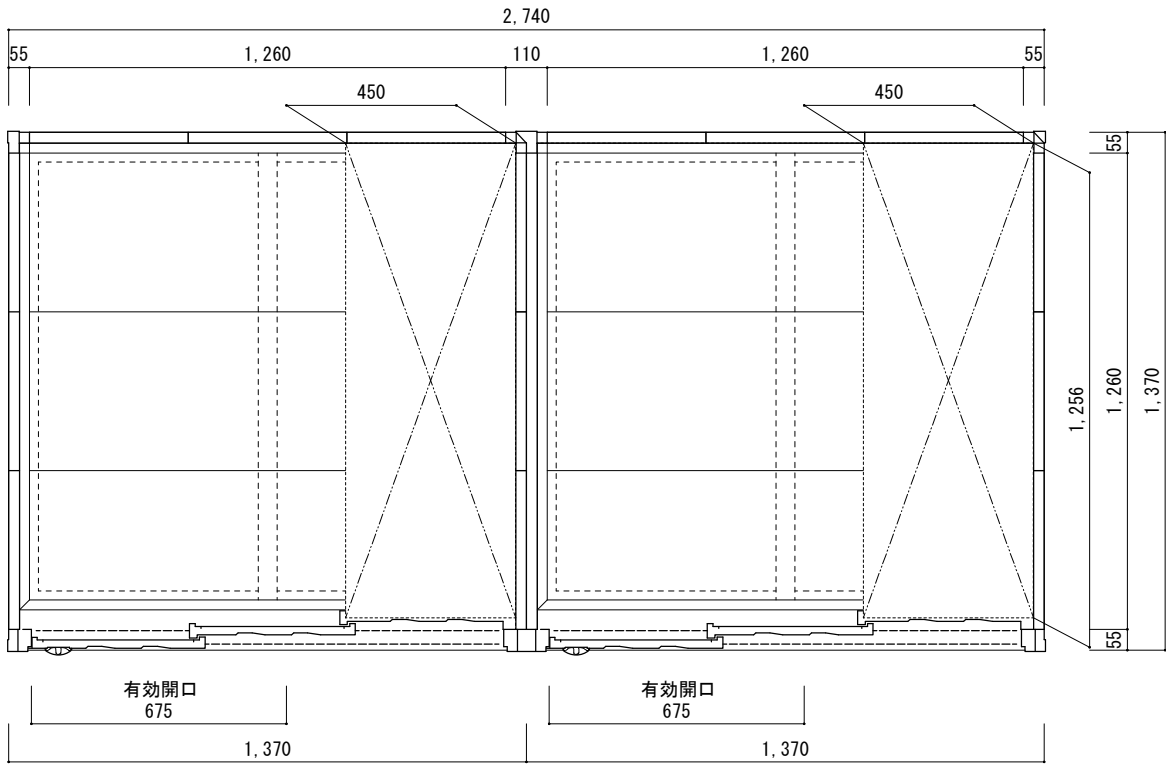
外構図

縮尺 A3版標準スケールとする。

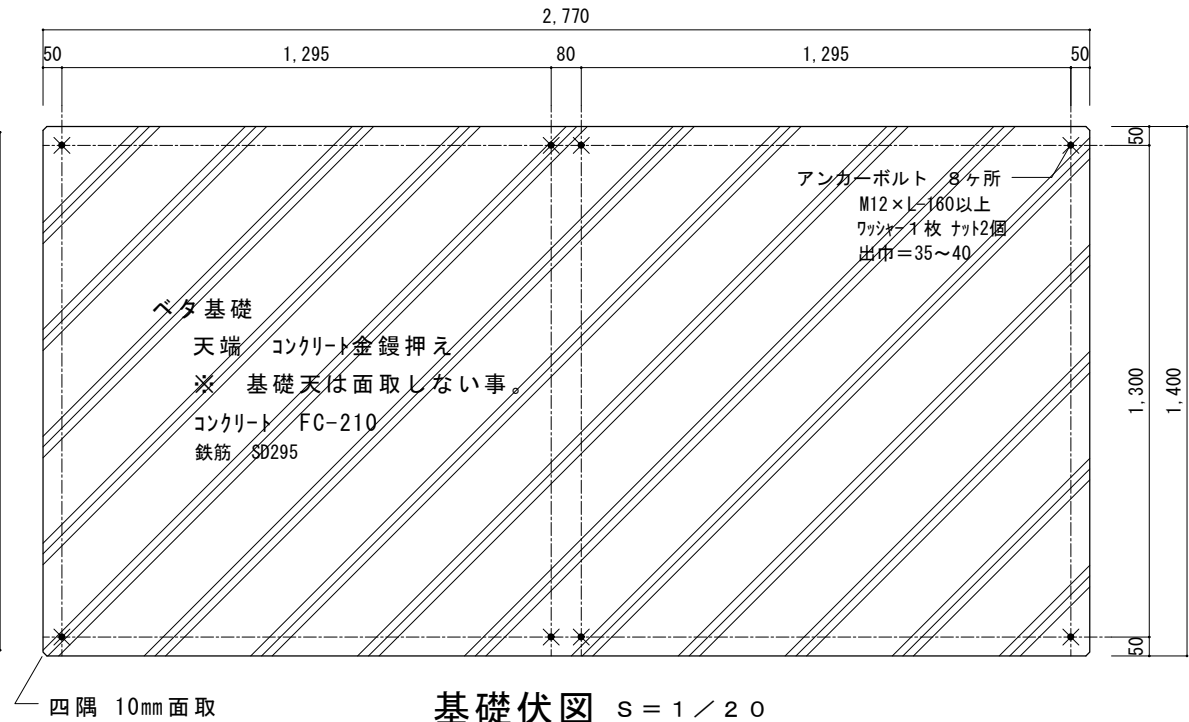
1/200

図面番号

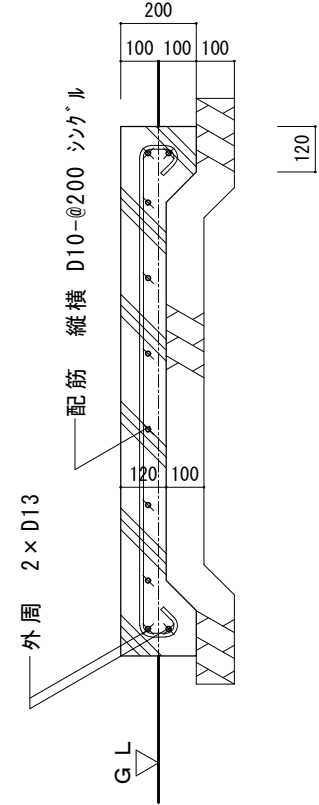
C-4



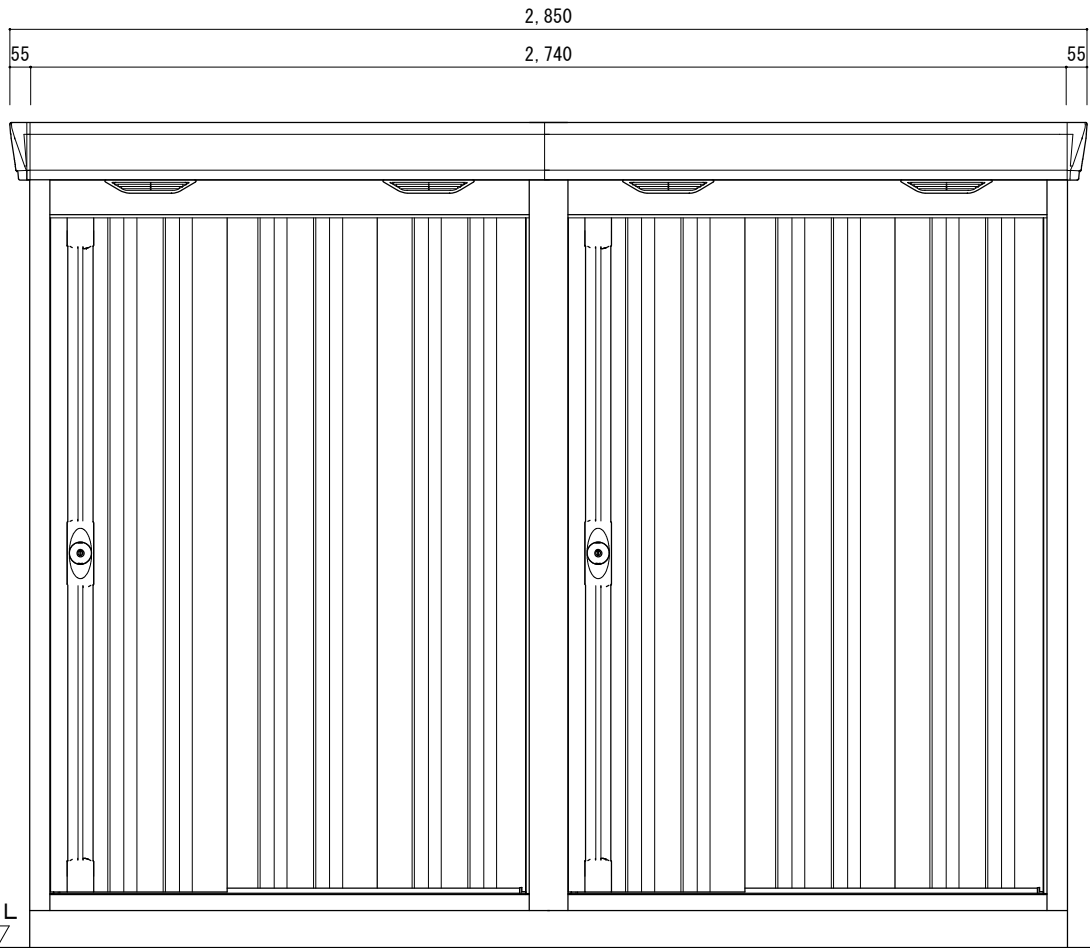
平面図 S = 1 / 2 0



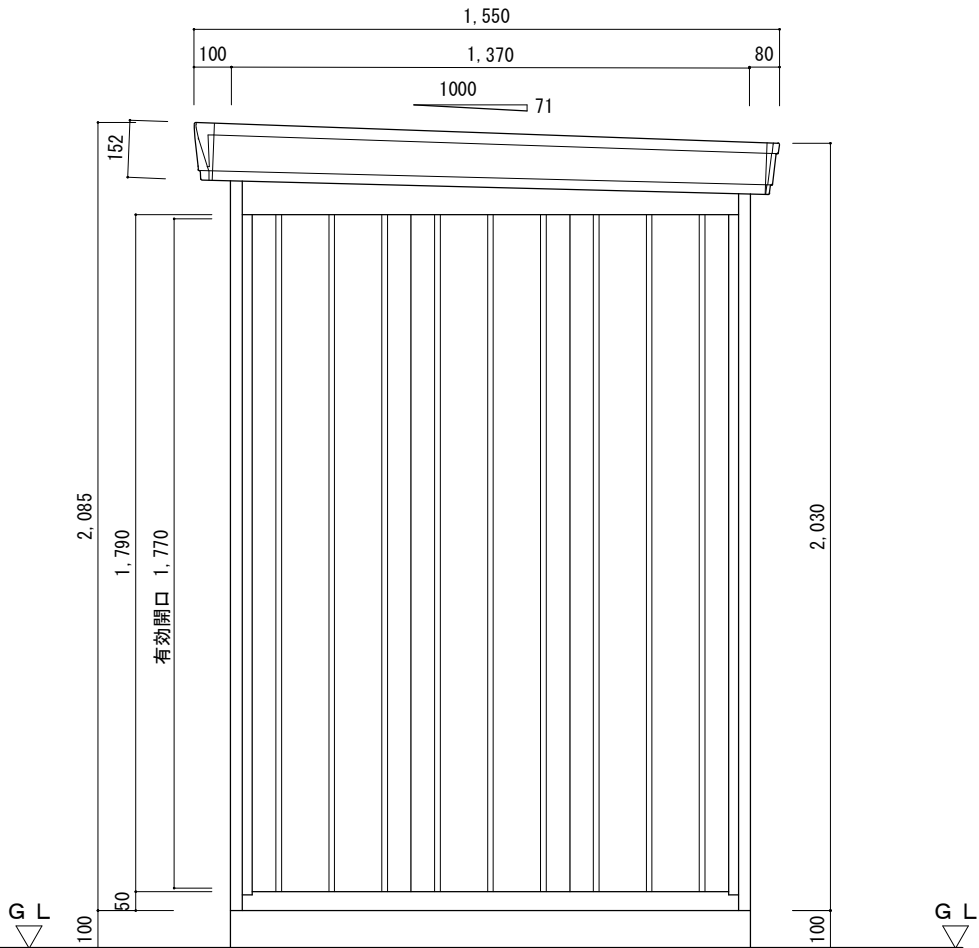
基礎伏図 S = 1 / 2 0



基礎断面配筋図 S = 1 / 2 0



正面図 S = 1 / 2 0



側面図 S = 1 / 2 0

※ 参考品（同等品以上とする）
（株）稲葉製作所 製
～一般型・多雪型・豪雪型～
機種名 F L - 1 4 1 4 S L - 2
○床面積 : 3.76㎡ (1.14坪)
○有効開口寸法 : 675×1770 (mm)

品番	部 品 名	材料 (材質)	板厚 (mm)
1	土台取付板	SGMH400 K27	2.3
2	土台	SGC400 F12	1.2
3	根太	SGCC F12	1.2
4	柱	SGC400 F12	1.2
5	床パネル	SGCC F12	1.0
6	鴨居	SZAC400 Y10	1.0
7	桁後	SZAC400 Y10	1.0
8	妻板左右	SZAC400 Y10	0.7
9	梁中 (奥行1370mm)	SZAC400 Y10	1.0
		SGC400 F12	0.7
10	鼻隠シ前後	SZACC Y10	0.7
11	屋根パネル	SZAC400 Y10	0.5
12	母屋中 (間口1370mm)	一般型	1.0
		多雪型	SGC400 F12
		豪雪型	1.2
13	壁パネル	SGC400 F12	0.6
14	正面パネル	SGC400 F12	0.7
15	扉	SGCC F12	0.8
16	棚板	SGCC F12	0.6
17	アンカープレート	SGHC F12	2.3
SGMH400 : 溶融亜鉛-7%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)			
SGC400, SGCC, SGHC : 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)			
SZAC400, SZACC : 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)			



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Tel (0824) 75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事 (2・3工区)

担当

一級建築士 増原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

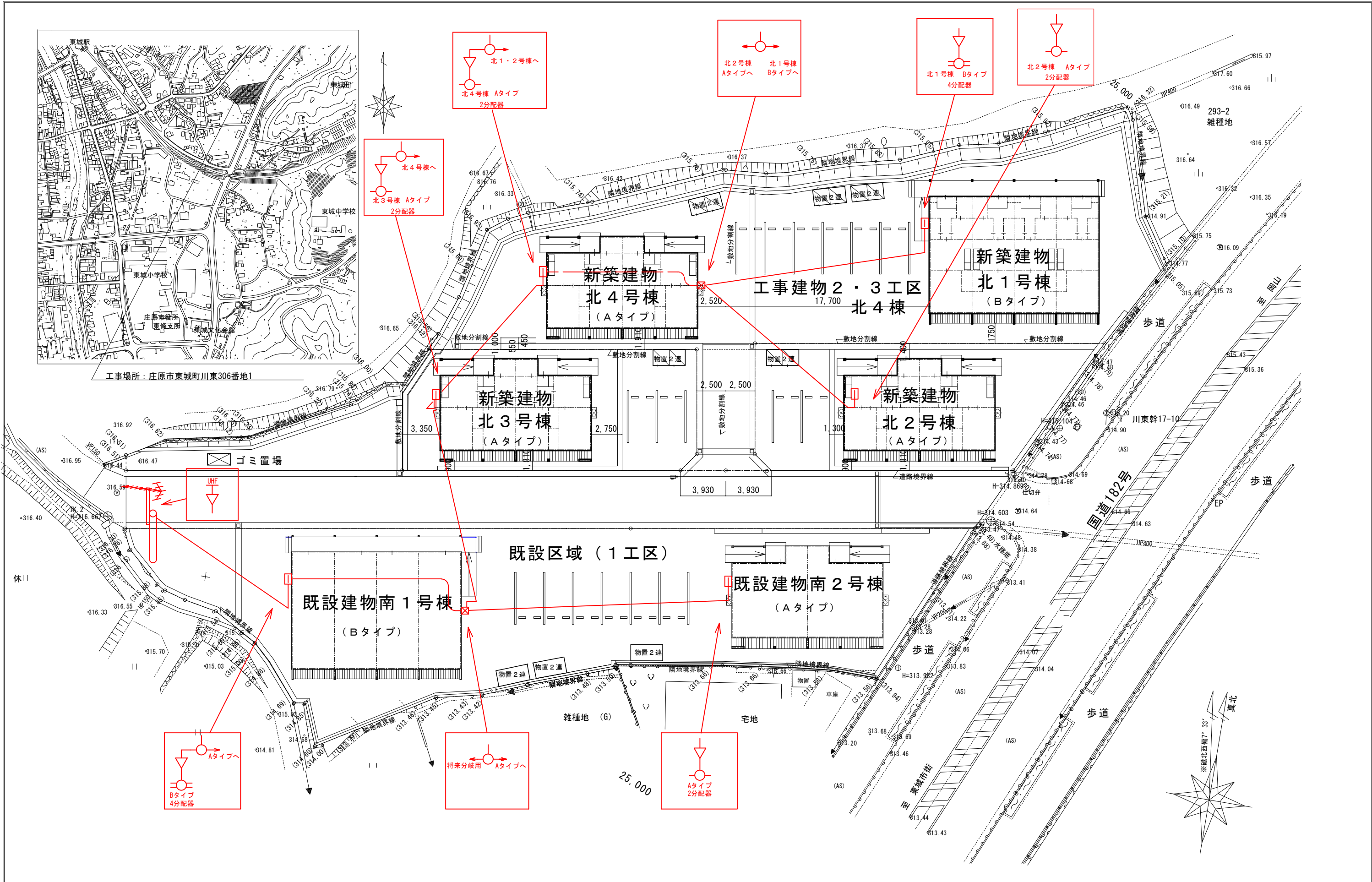
図面名称

物置図 2戸連結

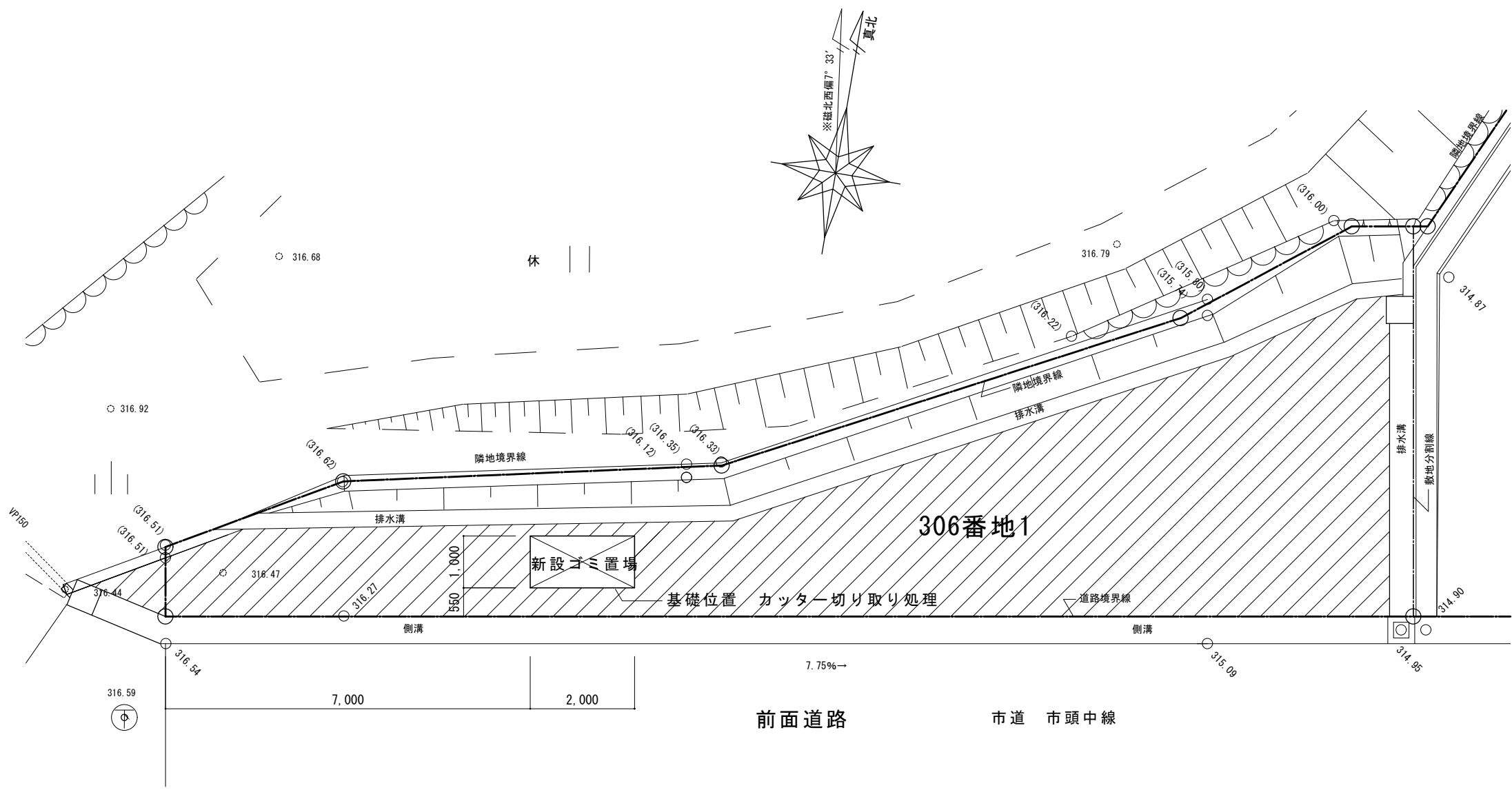
図面番号

C-5

縮尺 A3版標準スケールとする。
1/20



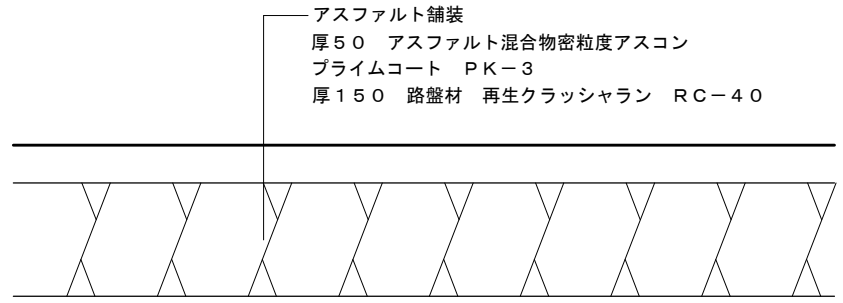
		 美しく輝く 里山共生都市 庄原市 SHOBARA CITY	令和7年度 施行	工事名称 第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）	縮尺 1/300	図面番号 C-6
				図面名称 位置図・全体配置図	日付	



外 構 平 面 図 S = 1 / 1 0 0

凡例
斜線内既設アスファルト舗装範囲を示す

既存アスファルト舗装 ※ カッター切り取り補修参考



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ (0824) 75-4600

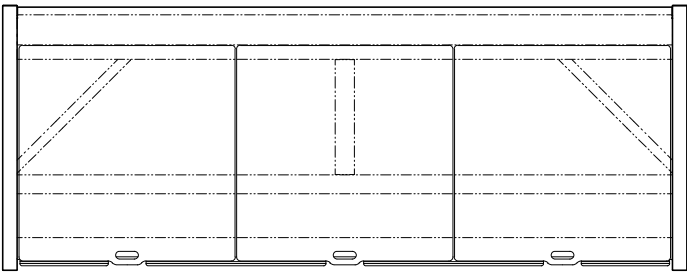
一級建築士事務所 知事登録 20(1)第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増原 寛

工事名称 第一川東公営住宅改築工事(2・3工区)		
担当 一級建築士 増原 寛	変更訂正年月日 内容記事欄	

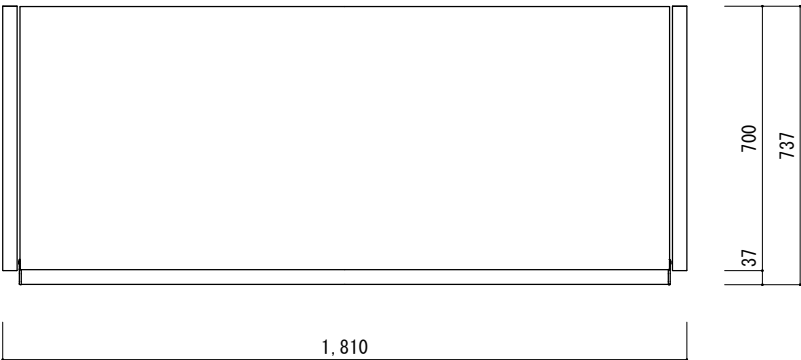
図面名称 ごみ置場配置図	図面番号 C-7
縮尺 A3版標準スケールとする。 1/100 1/10	

※ 参考品（同等品以上とする）
（株）稲葉製作所 製

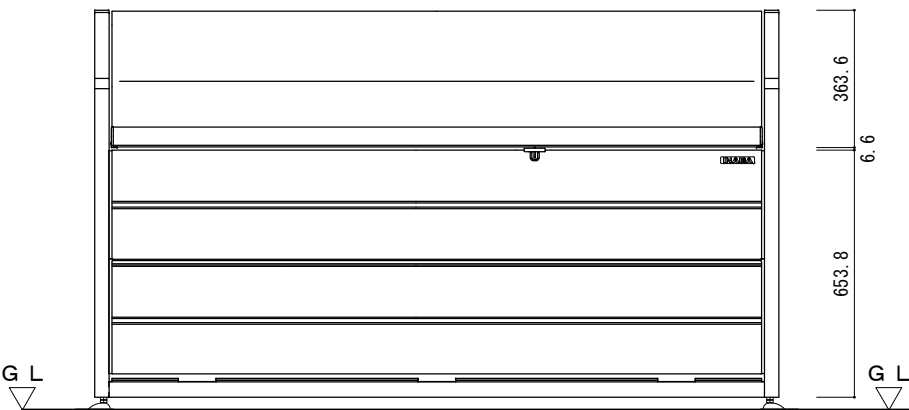
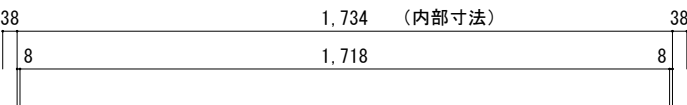
機種名 D B N - 1 8 7 P
○床面積：1.27㎡(0.38坪)
○容量：約1000リットル



DBN-187P（パネル床）
平面断面図 S = 1 / 2 0

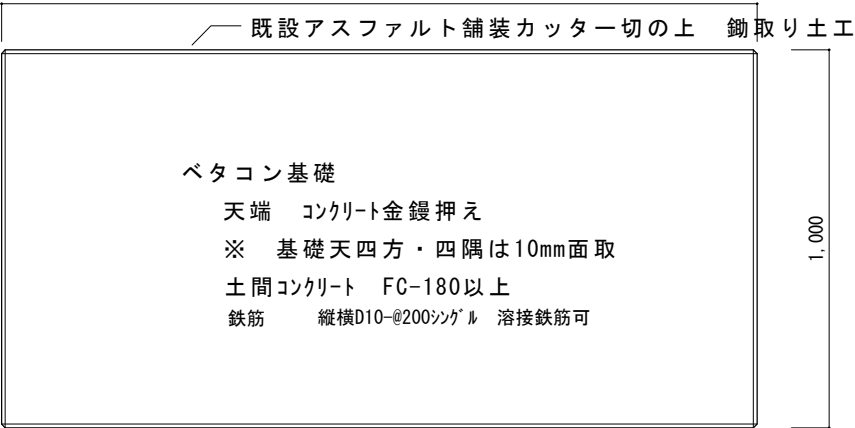
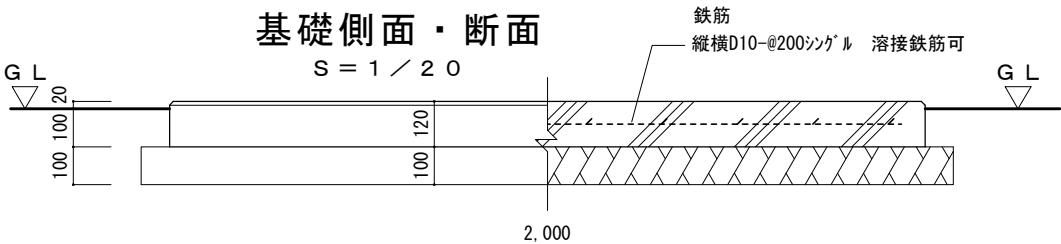


平面図 S = 1 / 2 0

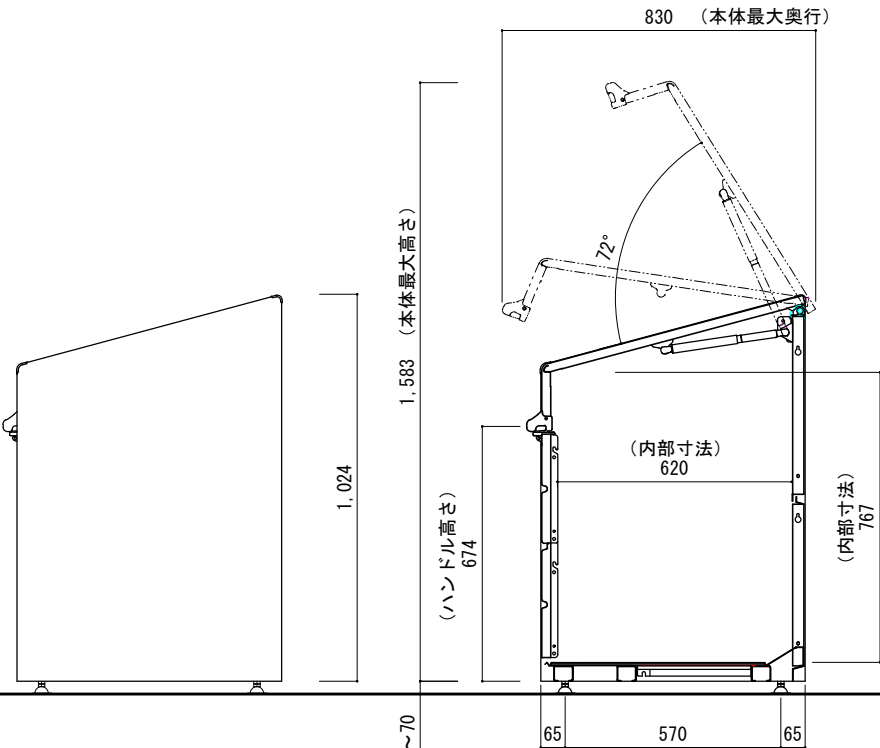


正面図 S = 1 / 2 0

基礎側面・断面



基礎図 S = 1 / 2 0



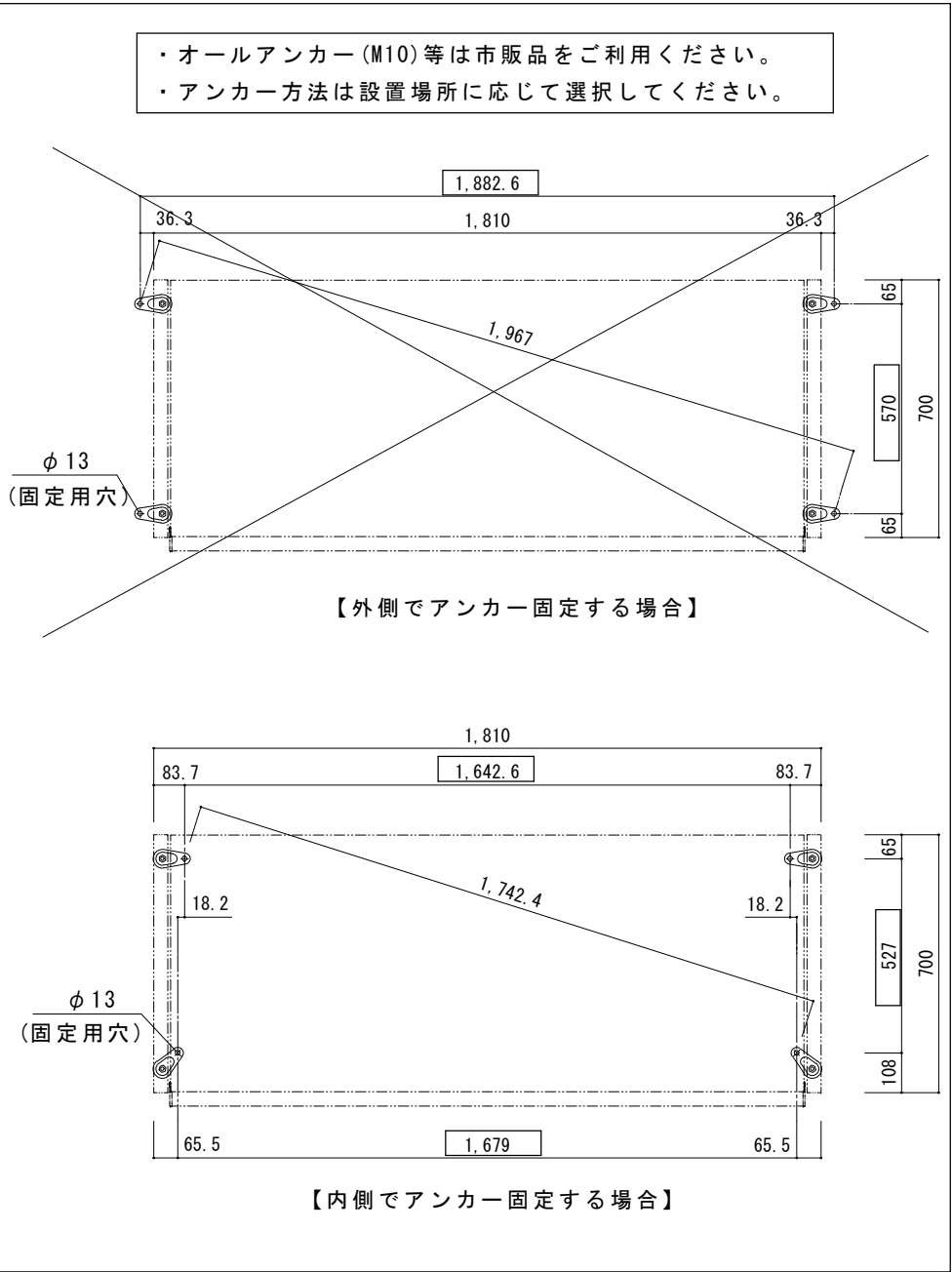
側面図 S = 1 / 2 0

側面断面図 S = 1 / 2 0

品番	部 品 名	材 料（材質）	単 位 mm
1	後板 上・下	Y10	0.7
2	側板	Y10	0.7
3	下補強・前・後・後B・中ガイド	Y10	1.0
4	下補強 後カバー	Y10	0.7
5	前パネル 上・下	Y10	0.7
6	扉	F12	0.7
7	メッシュ床	炭素鋼線材 亜鉛メッキ後PE皮膜	φ3+φ5
8	パネル床	ポリプロピレン+ポリエチレン(再生樹脂)	9.0

F12→溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）
Y10→溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3317）

■ アンカー位置参考図 S = 1 / 2 0



Office M

〒727-0011 広島県庄原市東本町三丁目7番20号 Ⅱ （0824）75-4600

一級建築士事務所 知事登録 20（1）第3525号
一級建築士 大臣登録 第262406号 増 原 寛

工事名称

第一川東公営住宅改築工事（2・3工区）

担当

一級建築士 増 原 寛

変更訂正年月日

内容記事欄

図面名称

ごみ置場図

縮尺 A3版標準スケールとする。
1 / 2 0

図面番号

C - 8